

知立市介護保険・高齢者福祉に関する アンケート調査結果報告書

令和5年3月

知 立 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	2
II	調査結果.....	3
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	3
	（1）あなたのご家族や生活状況について.....	4
	（2）からだを動かすことについて.....	7
	（3）食べることについて.....	18
	（4）毎日の生活について.....	25
	（5）地域での活動について.....	35
	（6）たすけあいについて.....	45
	（7）健康について.....	57
	（8）介護予防について.....	64
	（9）認知症について.....	71
	（10）在宅医療について.....	76
	（11）介護保険について.....	78
	（12）市の高齢者福祉について.....	80
	（13）終末期の考え方について.....	84
2	在宅介護実態調査.....	88
	（1）あて名の方ご自身のことについて.....	88
	（2）介護保険サービスについて.....	103
	（3）在宅医療について.....	107
	（4）今後の介護の希望について.....	110
	（5）終末期の考え方について.....	111
	（6）主な介護者の方について.....	116

3	在宅生活改善調査.....	132
	(1) 自宅等から居所を変更した利用者の行先別の人数.....	132
	(2) 自宅等から居所を変更した利用者の要介護度の内訳.....	133
	(3) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者.....	134
	(4) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性.....	135
	(5) 生活の維持が難しくなっている理由.....	136
	(6) 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更.....	140
	(7) 「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス.....	141
4	ケアマネジャー.....	142
5	事業所.....	158
	(1) 事業所について.....	158
	(2) 事業所の運営上の課題.....	167
	(3) 関係機関との連携について.....	170
	(4) 地域貢献について.....	174
	(5) 今後のサービス提供について.....	175

Ⅲ 分析..... 179

1	前回比較.....	179
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	179
	(2) からだを動かすことについて.....	179
	(5) 地域での活動について.....	183
	(6) たすけあいについて.....	187
	(8) 介護予防について.....	191
	(9) 認知症について.....	192
	(10) 在宅医療について.....	193
	(11) 介護保険について.....	194
	(12) 市の高齢者福祉について.....	195
	(13) 終末期の考え方について.....	197

2	クロス集計	199
	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について	199
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	201
	（2）からだを動かすことについて	202
	（3）食べることについて	205
	（6）たすけあいについて	207
	（7）健康について	210
	（8）介護予防について	211
	（9）認知症について	214
	在宅介護実態調査	215
	（1）あて名の方ご自身のことについて	215
3	機能別リスク該当者割合の分析	218
	（1）運動器	218
	（2）閉じこもり	220
	（3）転倒	222
	（4）栄養	224
	（5）認知	226
	（6）うつ	228
	（7）圏域別リスク該当者割合	230
4	日常生活	231
	（1）手段的自立度（IADL）	231
IV	調査結果のまとめ	233
	（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	233
	（2）在宅介護実態調査	238
	（3）在宅生活改善調査	240
	（4）ケアマネジャー	241
	（5）事業所	242

V	自由意見.....	243
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	243
	（1）生活費や医療費等、経済的なこと.....	243
	（2）買い物や通院等の外出の手段について（公共交通機関についても含む）.....	243
	（3）自分や家族の健康について.....	244
	（4）情報提供や相談について.....	244
	（5）ふだんの生活に対する支援、援助.....	245
	（6）生きがいや地域への貢献について.....	245
	（7）高齢者や高齢者に関わる人、地域の人等の集いの場.....	246
	（8）その他.....	246
2	在宅介護実態調査.....	247
	（1）介護サービスや支援について.....	247
	（2）介護者やその家族の負担について.....	247
	（3）その他.....	248

I 調査の概要

1 調査の目的

「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者福祉計画」策定の基礎資料として、調査を実施したものです。

2 調査対象

		調査対象
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	一般高齢者	市にお住まいの要介護者を除く 65 歳以上の方の中から無作為に抽出
	要支援・ 事業対象者	市にお住まいの要支援認定を受けて在宅で生活している方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者
在宅介護実態調査		市にお住まいの要介護認定を受けて在宅で生活している方
在宅生活改善調査		市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、及びその事業所のケアマネジャー
ケアマネジャー調査		市内の介護保険事業所のケアマネジャー
事業所調査		市内の介護保険事業所

3 調査期間

令和5年1月25日～令和5年2月14日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	3,001 通	1,744 通(web:46 通)	58.1%
在宅介護実態調査	856 通	442 通(web:33 通)	51.6%
在宅生活改善調査	10 通	10 通	100.0%
ケアマネジャー調査	43 通	38 通	88.4%
事業所調査	62 通	50 通	80.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・圏域別で集計している設問について、日常生活圏域は以下のとおりです。

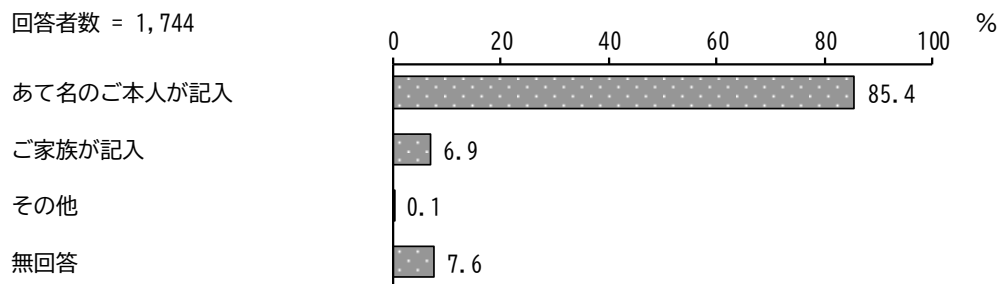
圏域	圏域の範囲
北部圏域	知立小学校区、来迎寺小学校区
東部圏域	知立東小学校区、八ツ田小学校区
西部圏域	猿渡小学校区、知立西小学校区、知立南小学校区

Ⅱ 調査結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか。（回答は1つ）

「あて名のご本人が記入」の割合が 85.4%、「ご家族が記入」の割合が 6.9%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「ご家族が記入」の割合が高くなっています。

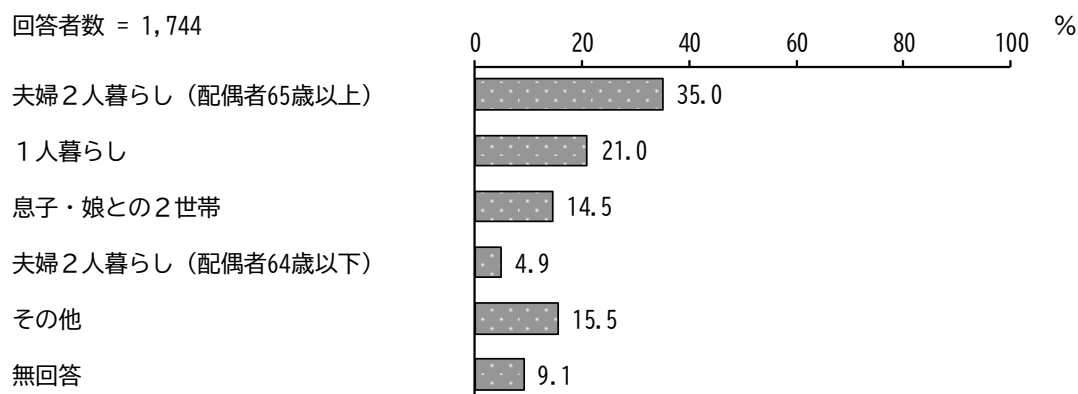
単位：％

区分	回答者数 (件)	あて名のご本人が 記入	ご家族が記入	その他	無回答
全 体	1744	85.4	6.9	0.1	7.6
一般高齢者	1332	89.5	3.6	0.1	6.8
要支援・事業対象者	411	72.3	17.5	0.2	10.0

(1) あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください。(回答は1つ)

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が35.0%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が21.0%、「息子・娘との2世帯」の割合が14.5%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全 体	1744	21.0	35.0	4.9	14.5	15.5	9.1
一般高齢者	1332	16.4	39.2	5.6	14.9	15.5	8.4
要支援・事業対象者	411	36.0	21.4	2.7	13.4	15.3	11.2

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ)

「介護・介助は必要ない」の割合が72.2%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が11.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が11.2%となっています。

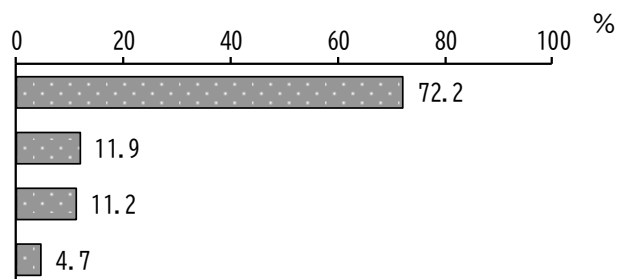
回答者数 = 1,744

介護・介助は必要ない

現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

無回答



【介護状況別】

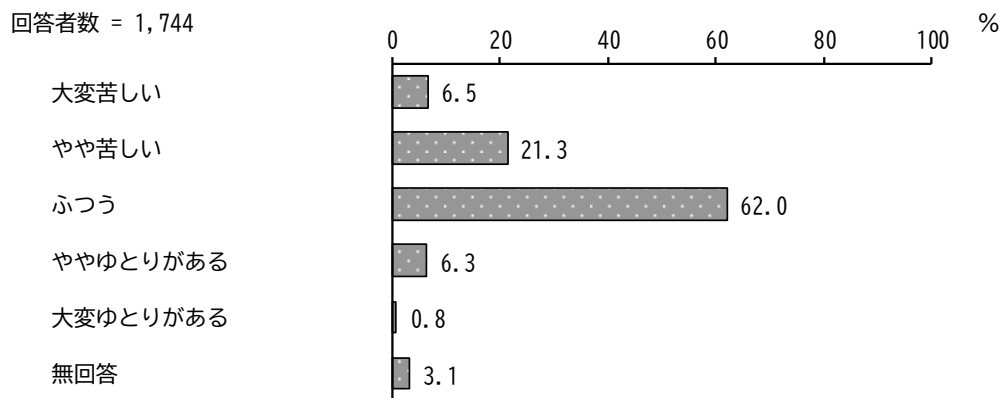
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	無回答
全 体	1744	72.2	11.2	11.9	4.7
一般高齢者	1332	86.8	7.1	2.0	4.1
要支援・事業対象者	411	25.1	24.3	44.0	6.6

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ)

「ふつう」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 21.3%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

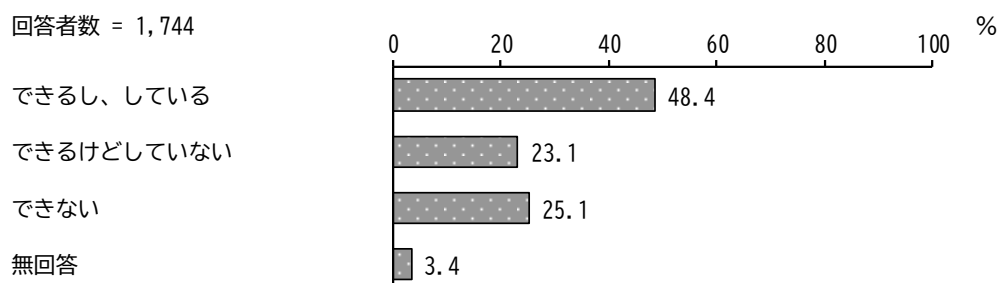
単位：%

区分	回答者数 (件)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全 体	1744	6.5	21.3	62.0	6.3	0.8	3.1
一般高齢者	1332	5.9	21.5	61.4	7.2	1.1	3.0
要支援・事業対象者	411	8.5	20.9	63.7	3.4	—	3.4

(2) からだを動かすことについて

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「できない」の割合が 25.1%、「できるけどしていない」の割合が 23.1%となっています。



【介護状況別】

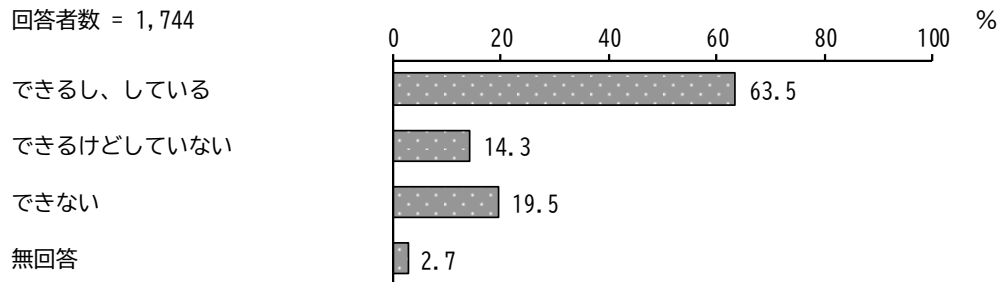
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「できない」の割合が、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無回答
全 体	1744	48.4	23.1	25.1	3.4
一般高齢者	1332	58.5	25.6	12.8	3.2
要支援・事業対象者	411	15.6	15.1	65.2	4.1

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が 19.5%、「できるけどしていない」の割合が 14.3%となっています。



【介護状況別】

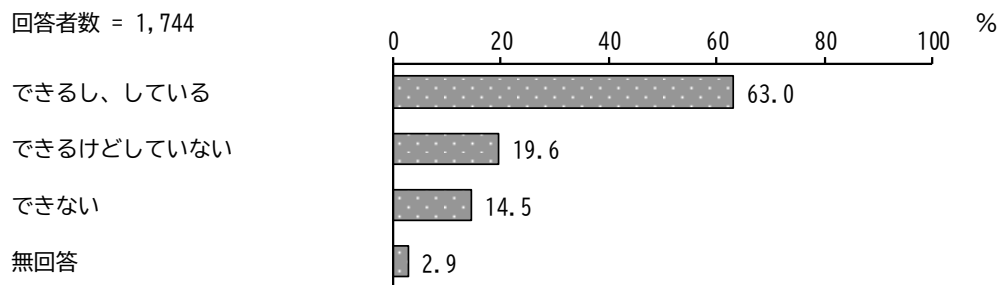
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「できない」の割合が、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無 回答
全 体	1744	63.5	14.3	19.5	2.7
一般高齢者	1332	74.1	14.5	9.2	2.3
要支援・事業対象者	411	29.2	13.6	53.0	4.1

問6 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が63.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.6%、「できない」の割合が14.5%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「できない」の割合が、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無回答
全 体	1744	63.0	19.6	14.5	2.9
一般高齢者	1332	72.2	19.9	5.3	2.6
要支援・事業対象者	411	32.8	18.7	44.5	3.9

【転倒経験別】

転倒経験別にみると、何度もあるで「できない」の割合が、ないで「できるし、している」の割合が高くなっています。

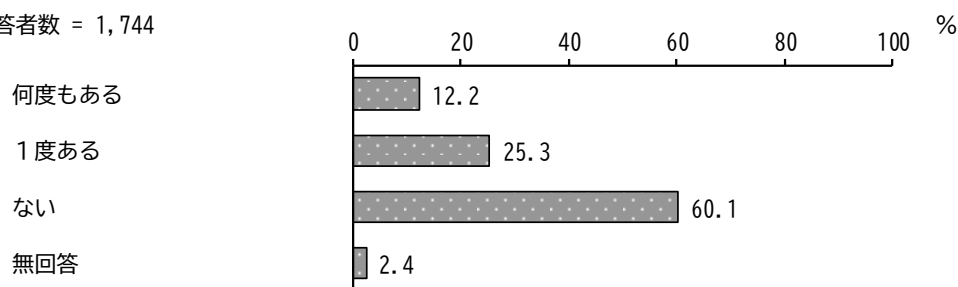
単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1744	63.0	19.6	14.5	2.9
何度もある	213	42.3	14.1	41.3	2.3
1 度ある	441	58.7	22.9	15.9	2.5
ない	1049	70.7	19.5	8.9	0.9

問7 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ)

「ない」の割合が60.1%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が25.3%、「何度もある」の割合が12.2%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では、「何度もある」と「1度ある」を合わせると半数以上が1年間に転んだ経験があります。

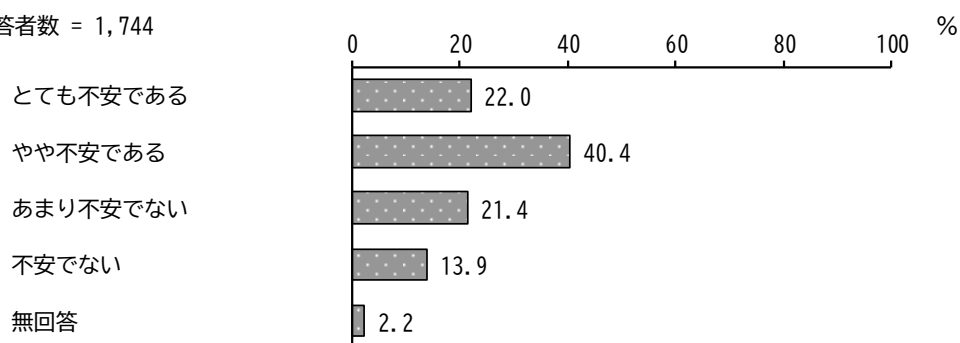
単位：％

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全 体	1744	12.2	25.3	60.1	2.4
一般高齢者	1332	7.4	23.2	67.3	2.1
要支援・事業対象者	411	28.0	31.9	37.0	3.2

問8 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ)

「やや不安である」の割合が40.4%と最も高く、次いで「とても不安である」の割合が22.0%、「あまり不安でない」の割合が21.4%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「とても不安である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全 体	1744	22.0	40.4	21.4	13.9	2.2
一般高齢者	1332	13.4	41.1	26.1	17.6	1.8
要支援・事業対象者	411	50.1	38.4	6.1	1.7	3.6

問9 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ)

「週2～4回」の割合が42.0%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が32.1%、「週1回」の割合が15.1%となっています。

回答者数 = 1,744

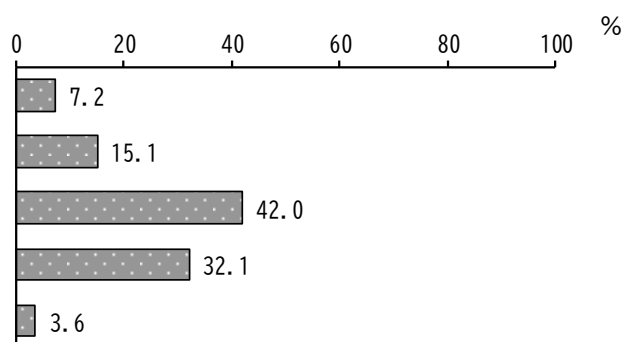
ほとんど外出しない

週1回

週2～4回

週5回以上

無回答



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「週1回」の割合が、一般高齢者で「週5回以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全 体	1744	7.2	15.1	42.0	32.1	3.6
一般高齢者	1332	3.6	11.6	43.1	38.9	2.9
要支援・事業対象者	411	18.7	26.8	38.7	10.0	5.8

【転倒経験別】

転倒経験別にみると、ないで「週5回以上」の割合が高くなっています。

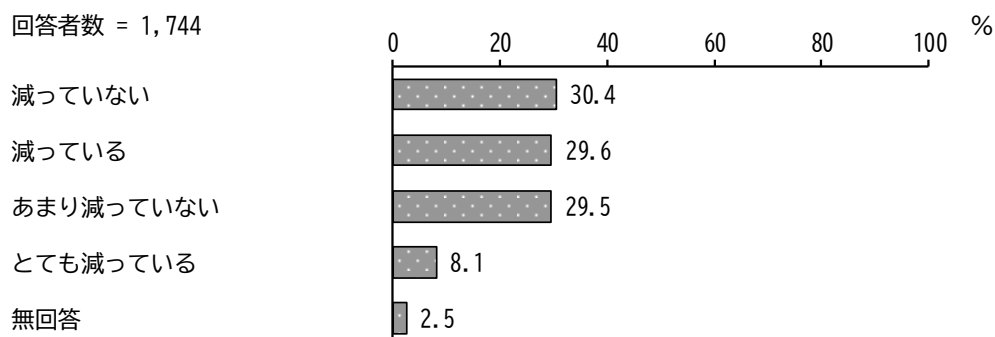
単位：％

区分	回答者数 (件)	い ほ と ん ど 外 出 し な	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全 体	1744	7.2	15.1	42.0	32.1	3.6
何度もある	213	17.8	19.7	37.6	21.1	3.8
1度ある	441	7.3	20.0	43.8	25.9	3.2
ない	1049	5.1	12.6	42.9	37.8	1.7

問 10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ)

「減っていない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「減っている」の割合が29.6%、「あまり減っていない」の割合が29.5%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「減っている」の割合が、一般高齢者で「減っていない」の割合が高くなっています。

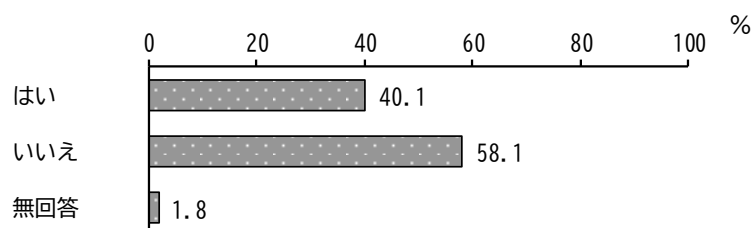
単位：％

区分	回答者数 (件)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全 体	1744	8.1	29.6	29.5	30.4	2.5
一般高齢者	1332	4.4	25.5	31.7	36.3	2.1
要支援・事業対象者	411	20.0	42.8	22.4	11.2	3.6

問 11 外出を控えていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が40.1%、「いいえ」の割合が58.1%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

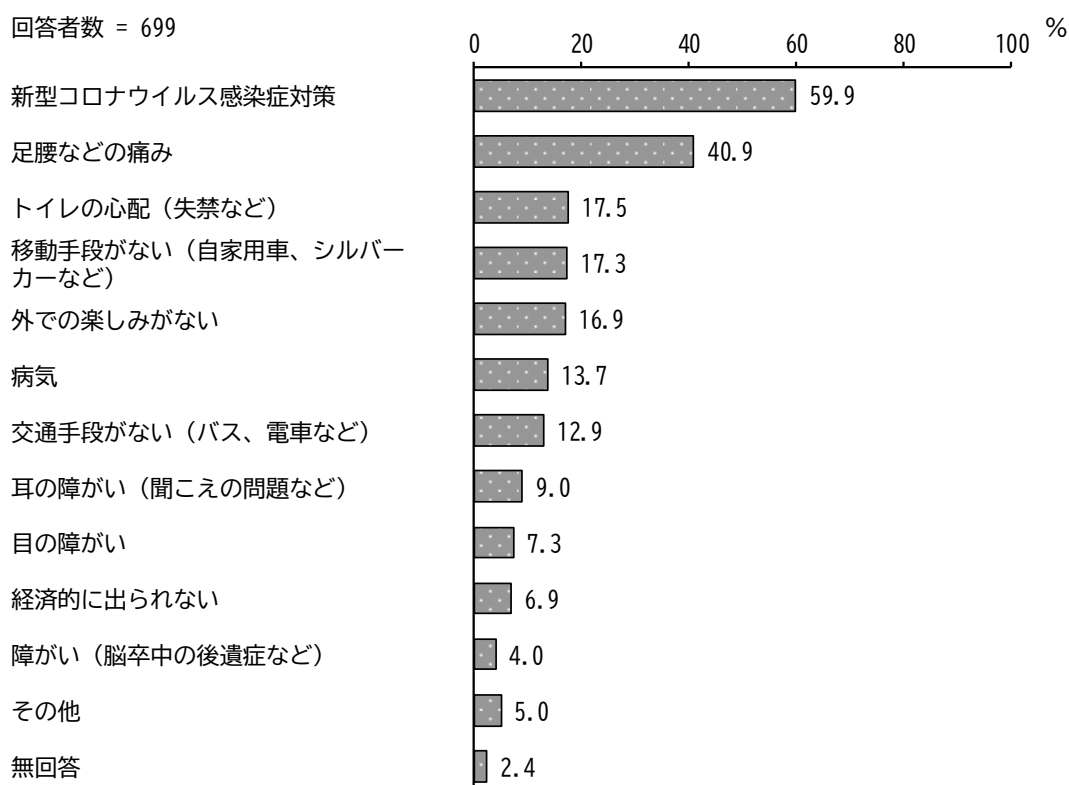
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	40.1	58.1	1.8
一般高齢者	1332	32.2	66.0	1.8
要支援・事業対象者	411	65.7	32.4	1.9

【問 11 で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

問 11-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

「新型コロナウイルス感染症対策」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が 40.9%となっています。

回答者数 = 699



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「足腰などの痛み」の割合が、一般高齢者で「新型コロナウイルス感染症対策」の割合が高くなっています。

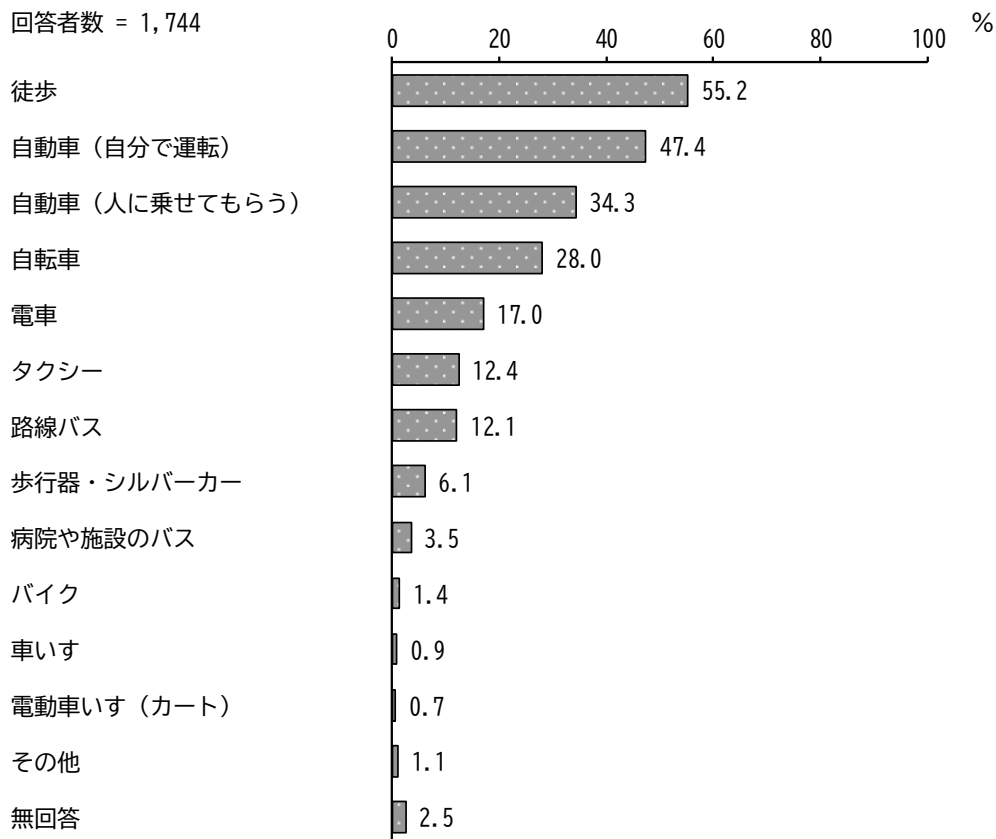
単位：％

区分	回答者数(件)	病気	障がい(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障がい(聞こえの問題など)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない(バス、電車など)	移動手段がない(自家用車、シルバーカーなど)	新型コロナウイルス感染症対策	その他	無回答
全 体	699	13.7	4.0	40.9	17.5	9.0	7.3	16.9	6.9	12.9	17.3	59.9	5.0	2.4
一般高齢者	429	8.2	1.6	28.9	13.1	6.8	4.0	15.9	7.7	9.1	13.1	71.3	4.2	3.0
要支援・事業対象者	270	22.6	7.8	60.0	24.4	12.6	12.6	18.5	5.6	18.9	24.1	41.9	6.3	1.5

問 12 どのようにして外出していますか。(いくつでも)

「徒歩」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が 47.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 34.3%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「自動車（人に乗せてもらう）」「徒歩」の割合が、一般高齢者で「徒歩」「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

単位：％

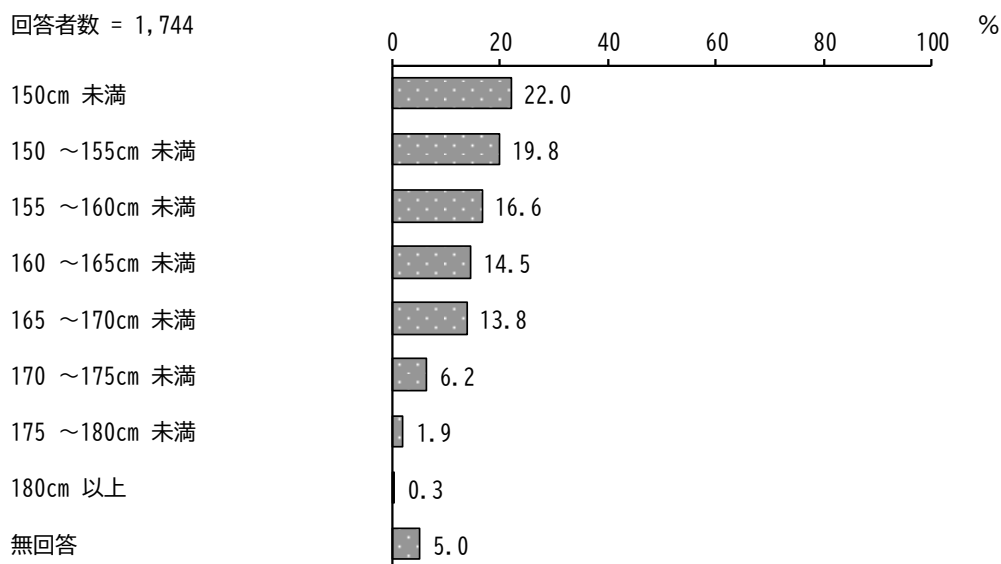
区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車（人に乗せて もらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カー ト）	歩行器・シルバーカ ー	タクシー	その他	無回答
全 体	1744	55.2	28.0	1.4	47.4	34.3	17.0	12.1	3.5	0.9	0.7	6.1	12.4	1.1	2.5
一 般 高 齢 者	1332	60.2	34.2	1.8	57.1	29.9	19.6	10.6	1.3	0.2	0.1	1.4	6.8	0.4	2.4
要支援・事 業対象者	411	38.9	8.0	－	15.6	48.9	8.8	17.0	10.7	3.2	2.9	21.2	30.9	3.4	2.9

(3) 食えることについて

問 13 身長・体重

身長

「150cm 未満」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「150 ～155cm 未満」の割合が 19.8%、「155 ～160cm 未満」の割合が 16.6%となっています。



【介護状況別】

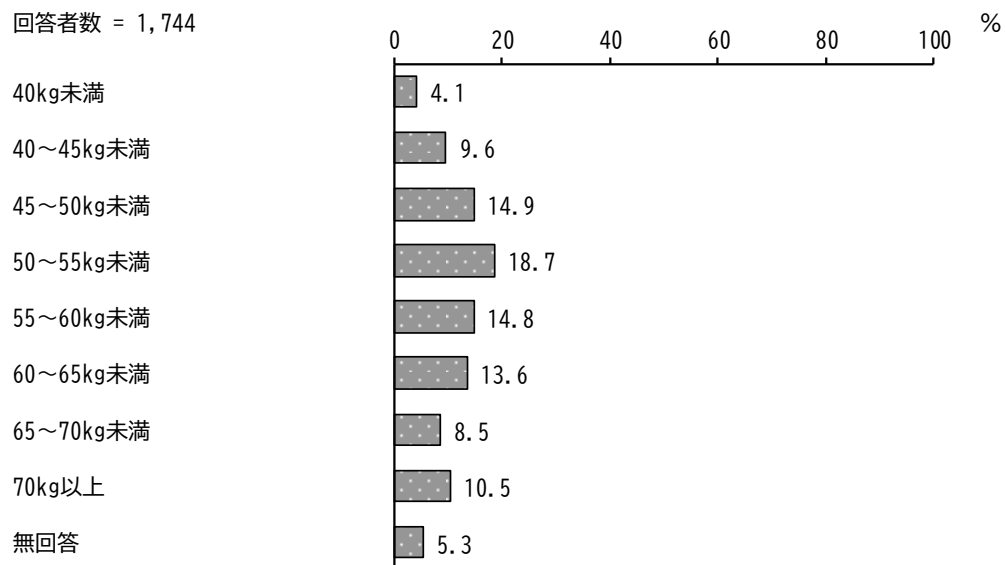
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「150cm 未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	150 cm 未満	150 ～ 155 cm 未満	155 ～ 160 cm 未満	160 ～ 165 cm 未満	165 ～ 170 cm 未満	170 ～ 175 cm 未満	175 ～ 180 cm 未満	180 cm 以上	無 回 答
全 体	1744	22.0	19.8	16.6	14.5	13.8	6.2	1.9	0.3	5.0
一般高齢者	1332	18.2	20.0	18.6	15.7	14.6	6.8	2.3	0.2	3.5
要支援・事業対象者	411	33.8	19.2	10.0	10.7	10.9	4.1	0.7	0.7	9.7

体重

「50～55kg 未満」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「45～50kg 未満」の割合が 14.9%、「55～60kg 未満」の割合が 14.8%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

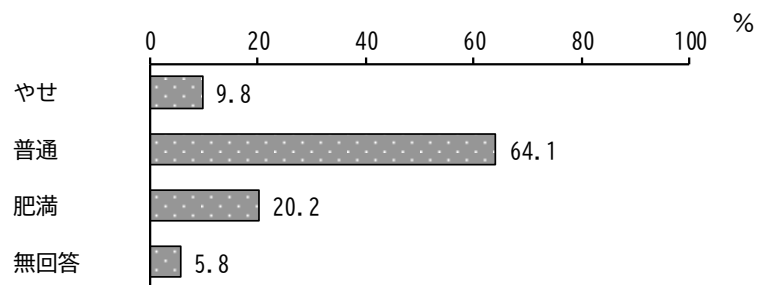
単位：%

区分	回答者数 (件)	40 kg 未満	40 ～ 45 kg 未満	45 ～ 50 kg 未満	50 ～ 55 kg 未満	55 ～ 60 kg 未満	60 ～ 65 kg 未満	65 ～ 70 kg 未満	70 kg 以上	無 回 答
全 体	1744	4.1	9.6	14.9	18.7	14.8	13.6	8.5	10.5	5.3
一般高齢者	1332	3.4	8.1	14.0	19.1	15.1	15.1	8.8	12.1	4.4
要支援・事業対象者	411	6.6	14.4	17.8	17.3	13.9	8.8	7.5	5.4	8.5

BMI

「普通」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 20.2%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

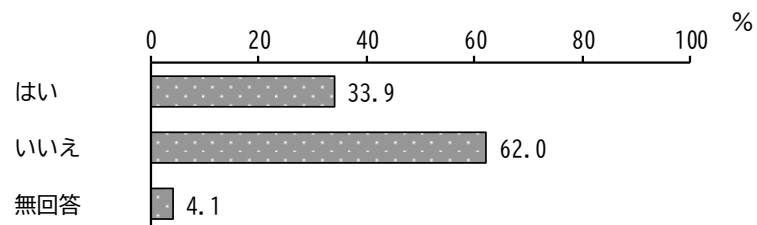
単位：%

区分	回答者数 (件)	やせ	普通	肥満	無回答
全 体	1744	9.8	64.1	20.2	5.8
一般高齢者	1332	9.0	65.9	20.6	4.5
要支援・事業対象者	411	12.4	58.4	19.0	10.2

問 14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ)

「はい」の割合が 33.9%、「いいえ」の割合が 62.0%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

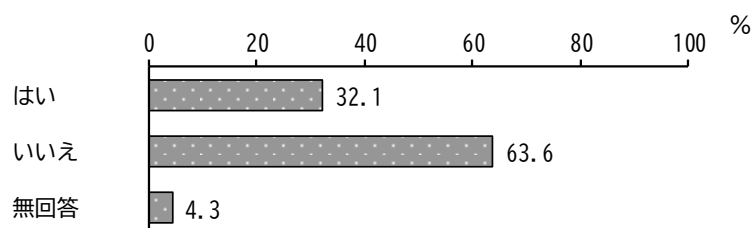
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	33.9	62.0	4.1
一般高齢者	1332	29.1	67.6	3.4
要支援・事業対象者	411	49.9	43.8	6.3

問 15 お茶や汁物等でむせることがありますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が 32.1%、「いいえ」の割合が 63.6%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

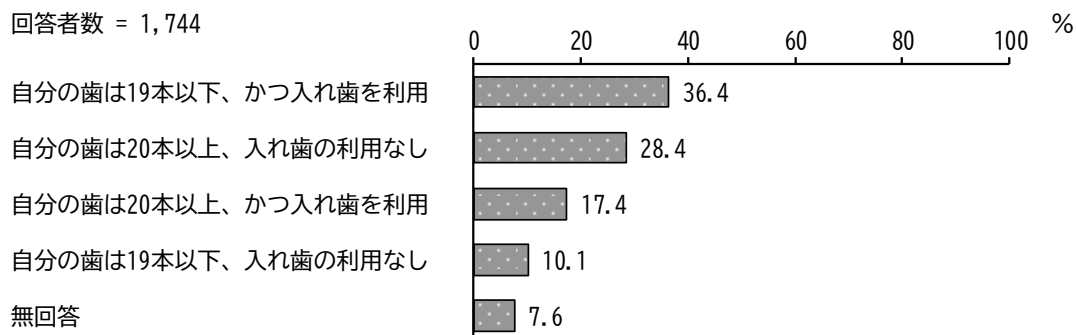
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	32.1	63.6	4.3
一般高齢者	1332	28.2	68.2	3.6
要支援・事業対象者	411	44.5	48.9	6.6

問 16 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(回答は1つ)

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が36.4%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が28.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が17.4%となっています。



【介護状況別】

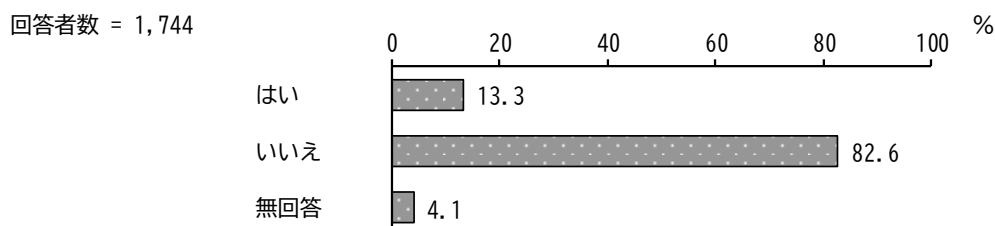
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	無回答
全 体	1744	17.4	28.4	36.4	10.1	7.6
一般高齢者	1332	18.0	31.3	34.4	10.0	6.3
要支援・事業対象者	411	15.6	19.0	42.8	10.7	11.9

問 17 6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(回答は1つ)

「はい」の割合が13.3%、「いいえ」の割合が82.6%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

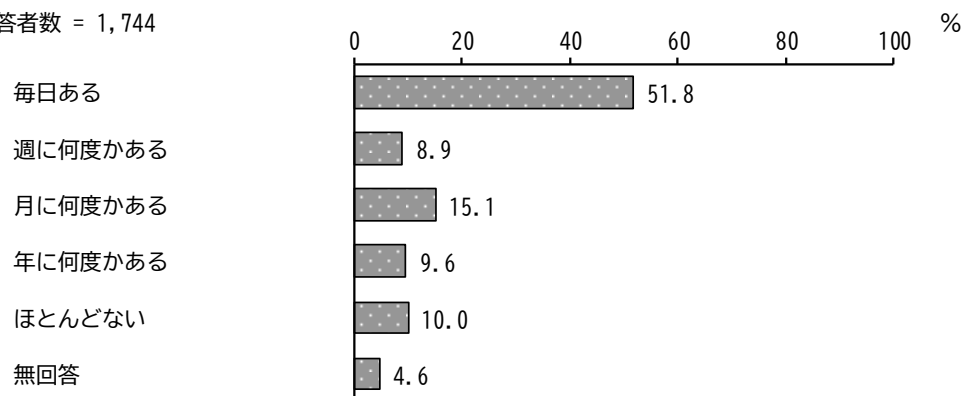
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	13.3	82.6	4.1
一般高齢者	1332	10.7	86.0	3.3
要支援・事業対象者	411	21.9	71.5	6.6

問 18 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ)

「毎日ある」の割合が51.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が15.1%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「毎日ある」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「毎日ある」の割合が低く、「ほとんどない」の割合が高くなっています。

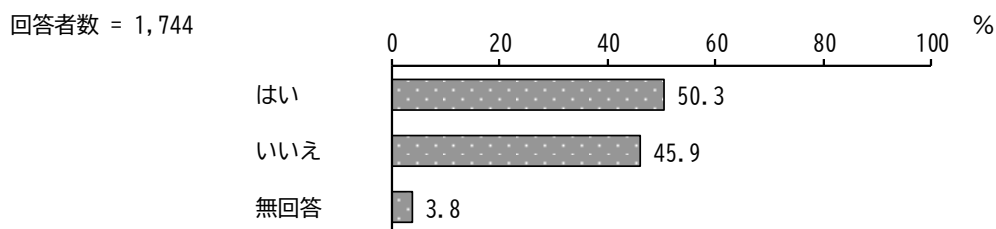
単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1744	51.8	8.9	15.1	9.6	10.0	4.6
一般高齢者	1332	56.8	8.0	14.2	9.2	8.0	3.8
要支援・事業対象者	411	35.8	11.7	18.0	10.7	16.3	7.5

(4) 毎日の生活について

問 19 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が50.3%、「いいえ」の割合が45.9%となっています。



【介護状況別】

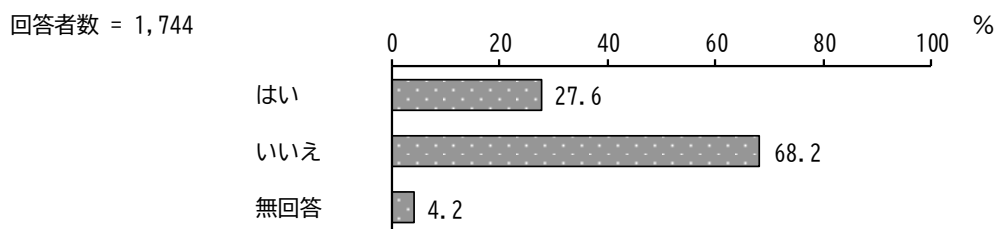
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	50.3	45.9	3.8
一般高齢者	1332	47.7	48.9	3.3
要支援・事業対象者	411	58.6	35.8	5.6

問 20 今日が何月何日かわからない時がありますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が27.6%、「いいえ」の割合が68.2%となっています。



【介護状況別】

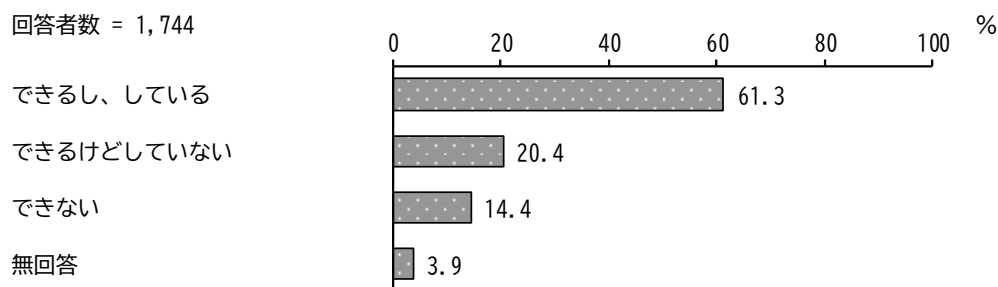
介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	27.6	68.2	4.2
一般高齢者	1332	24.8	71.5	3.8
要支援・事業対象者	411	36.5	57.9	5.6

問 21 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ)

「できるし、している」の割合が61.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が20.4%、「できない」の割合が14.4%となっています。



【介護状況別】

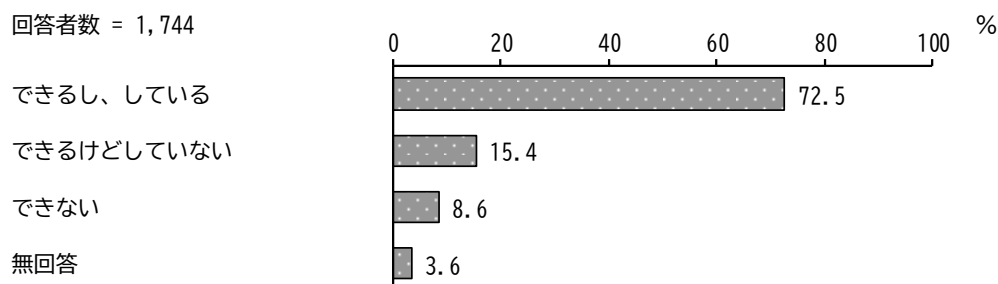
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「できない」の割合が、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1744	61.3	20.4	14.4	3.9
一般高齢者	1332	71.2	20.8	4.8	3.2
要支援・事業対象者	411	29.2	19.0	45.5	6.3

問 22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が72.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.4%となっています。



【介護状況別】

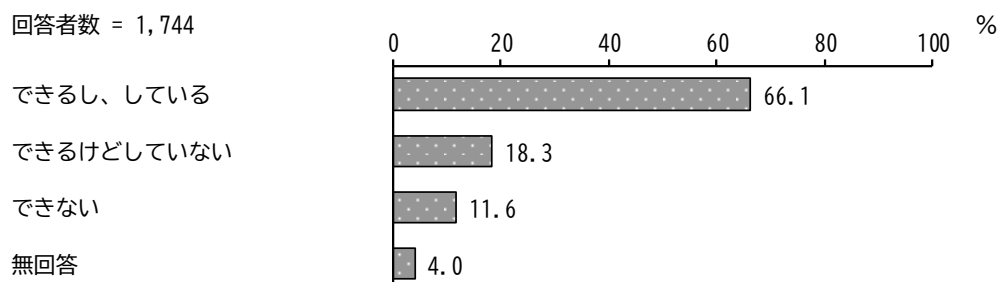
介護状況別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無 回 答
全 体	1744	72.5	15.4	8.6	3.6
一般高齢者	1332	81.1	13.7	2.3	2.9
要支援・事業対象者	411	44.5	20.7	29.0	5.8

問 23 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が66.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が18.3%、「できない」の割合が11.6%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1744	66.1	18.3	11.6	4.0
一般高齢者	1332	69.5	19.0	8.1	3.4
要支援・事業対象者	411	54.7	16.1	23.1	6.1

問 24 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が77.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.7%となっています。

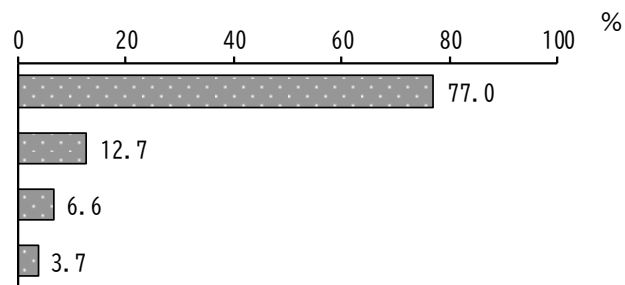
回答者数 = 1,744

できるし、している

できるけどしていない

できない

無回答



【介護状況別】

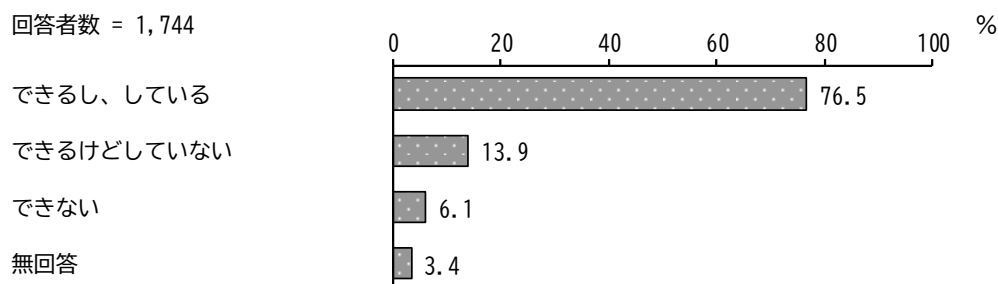
介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1744	77.0	12.7	6.6	3.7
一般高齢者	1332	81.2	12.4	3.3	3.1
要支援・事業対象者	411	63.3	13.9	17.3	5.6

問 25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が76.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.9%となっています。



【介護状況別】

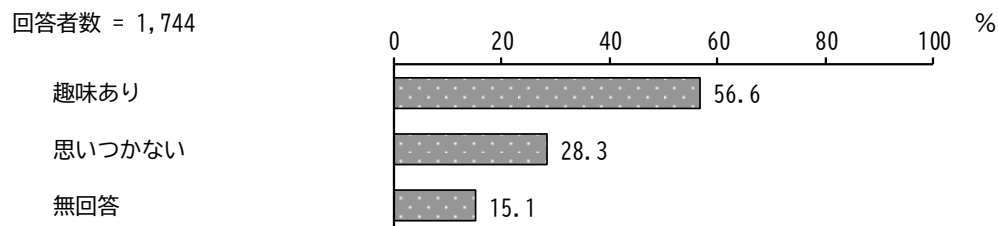
介護状況別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無 回 答
全 体	1744	76.5	13.9	6.1	3.4
一般高齢者	1332	81.7	12.0	3.7	2.6
要支援・事業対象者	411	59.9	20.0	14.1	6.1

問 26 趣味はありますか。(回答は1つ)

「趣味あり」の割合が56.6%、「思いつかない」の割合が28.3%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「趣味あり」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では大きな差はみられません。

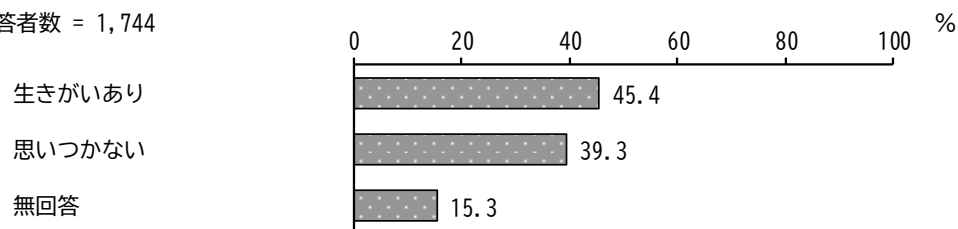
単位：％

区分	回答者数 (件)	趣味あり	思いつかない	無回答
全 体	1744	56.6	28.3	15.1
一般高齢者	1332	61.7	25.0	13.3
要支援・事業対象者	411	39.9	38.9	21.2

問 27 生きがいがありますか。(回答は1つ)

「生きがいあり」の割合が45.4%、「思いつかない」の割合が39.3%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

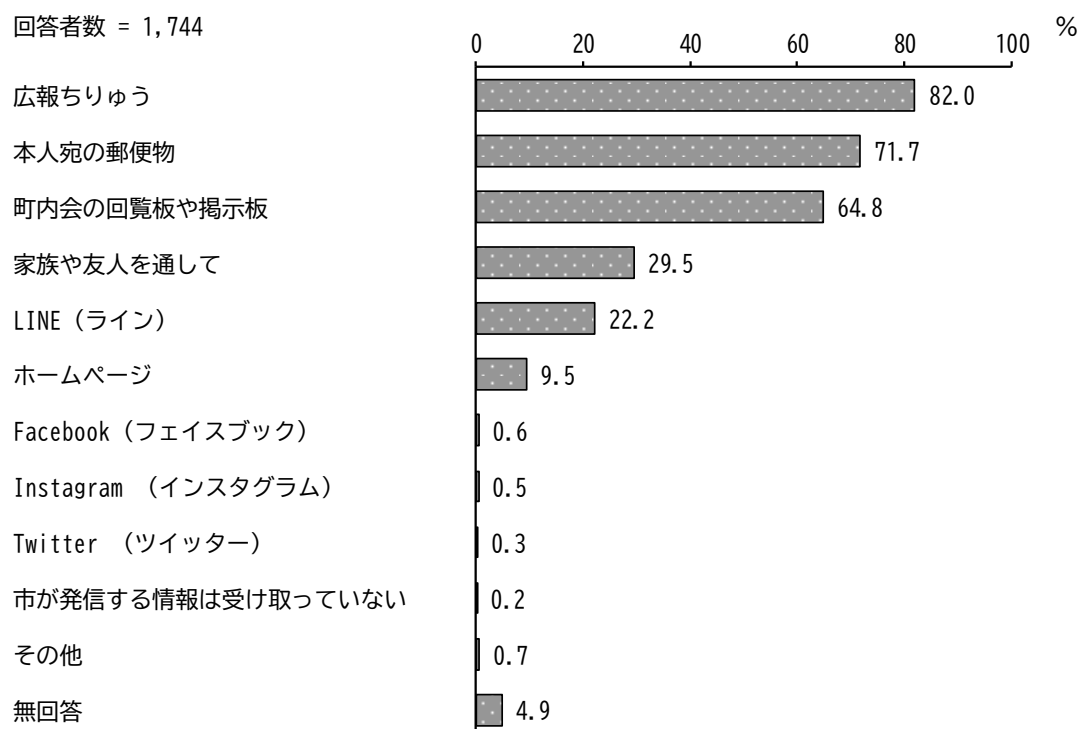
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「思いつかない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	生きがいあり	思いつかない	無回答
全 体	1744	45.4	39.3	15.3
一般高齢者	1332	49.5	35.6	14.9
要支援・事業対象者	411	31.6	51.6	16.8

問 28 市が発信する情報をどのようにして確認していますか。(いくつでも)

「広報ちりゅう」の割合が 82.0%と最も高く、次いで「本人宛の郵便物」の割合が 71.7%、「町内会の回覧板や掲示板」の割合が 64.8%となっています。



【介護状況別】

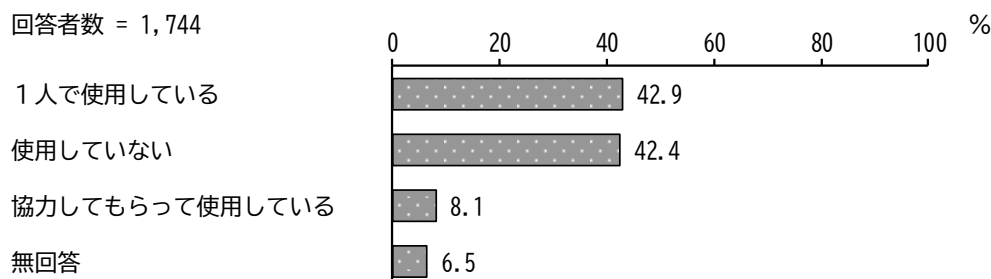
介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「LINE (ライン)」「ホームページ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	本人宛の郵便物	広報ちりゅう	町内会の回覧板や掲示板	ホームページ	LINE (ライン)	Instagram (インスタグラム)	Facebook (フェイスブック)	Twitter (ツイッター)	家族や友人を通して	市が発信する情報は受け取っていない	その他	無回答
全 体	1744	71.7	82.0	64.8	9.5	22.2	0.5	0.6	0.3	29.5	0.2	0.7	4.9
一般高齢者	1332	70.9	85.1	67.5	10.7	26.1	0.5	0.7	0.3	29.4	0.2	0.5	4.3
要支援・事業対象者	411	74.2	71.8	56.0	5.6	9.2	0.2	0.5	0.2	29.7	0.5	1.2	6.8

問 29 パソコン・スマートフォン等を使って、LINE（ライン）やメールを使用していますか。（回答は1つ）

「1人で使用している」の割合が42.9%と最も高く、次いで「使用していない」の割合が42.4%となっています。



【介護状況別】

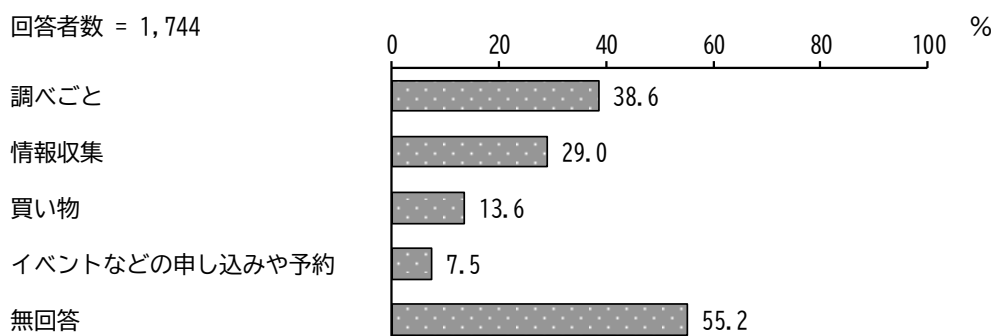
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「使用していない」の割合が、一般高齢者で「1人で使用している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1人で使用している	協力してもらって使用している	使用していない	無回答
全 体	1744	42.9	8.1	42.4	6.5
一般高齢者	1332	49.3	8.7	36.6	5.4
要支援・事業対象者	411	22.1	6.1	61.6	10.2

問 30 インターネットを活用して、次のことをしていますか。（いくつでも）

「調べごと」の割合が38.6%と最も高く、次いで「情報収集」の割合が29.0%、「買い物」の割合が13.6%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「調べごと」の割合が高くなっています。

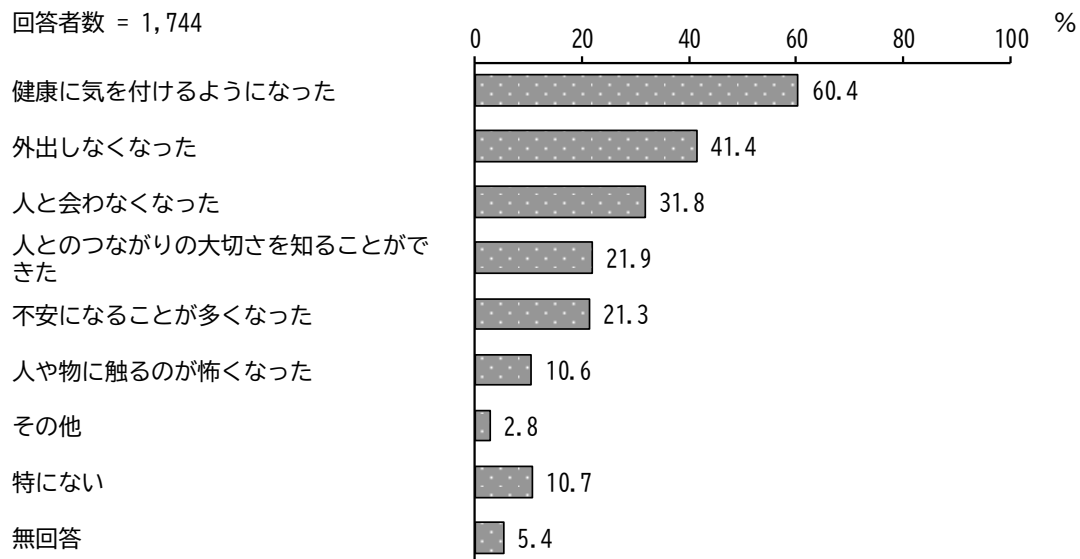
単位：％

区分	回答者数 (件)	情報収集	調べごと	買い物	イベントなどの申し込みや予約	無回答
全 体	1744	29.0	38.6	13.6	7.5	55.2
一般高齢者	1332	33.0	44.5	16.2	9.1	49.4
要支援・事業対象者	411	15.8	19.5	5.4	2.4	74.0

問 31 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか。(いくつでも)

「健康に気を付けるようになった」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「外出しなくなった」の割合が 41.4%、「人と会わなくなった」の割合が 31.8%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「外出しなくなった」「不安になることが多くなった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	外出しなくなった	人と会わなくなつた	人や物に触るのが怖くなった	不安になることが多くなった	健康に気を付けるようになった	人とのつながりの大切さを知ることができた	その他	特にない	無回答
全 体	1744	41.4	31.8	10.6	21.3	60.4	21.9	2.8	10.7	5.4
一般高齢者	1332	38.8	31.7	10.9	19.4	61.9	22.4	2.8	11.0	4.5
要支援・事業対象者	411	49.9	32.1	9.7	27.5	55.5	20.2	2.7	9.5	8.3

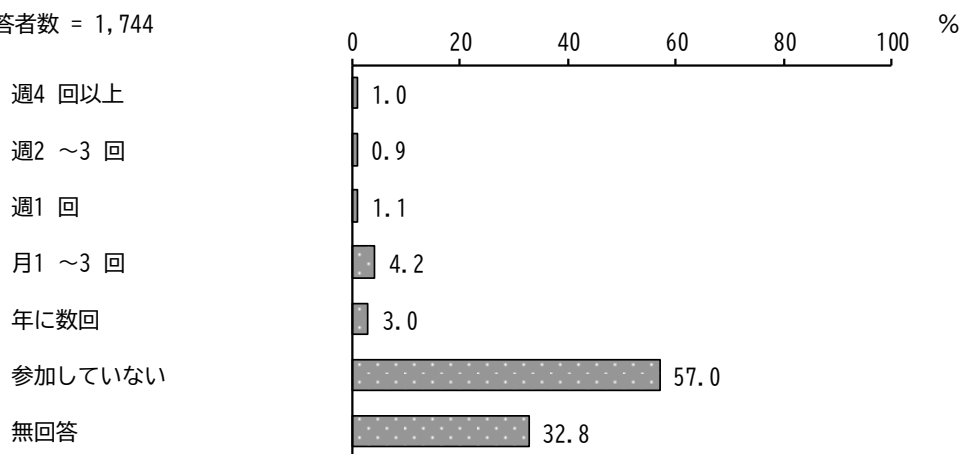
(5) 地域での活動について

問 32 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(ア～クそれぞれ1つに回答)

ア ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が 57.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

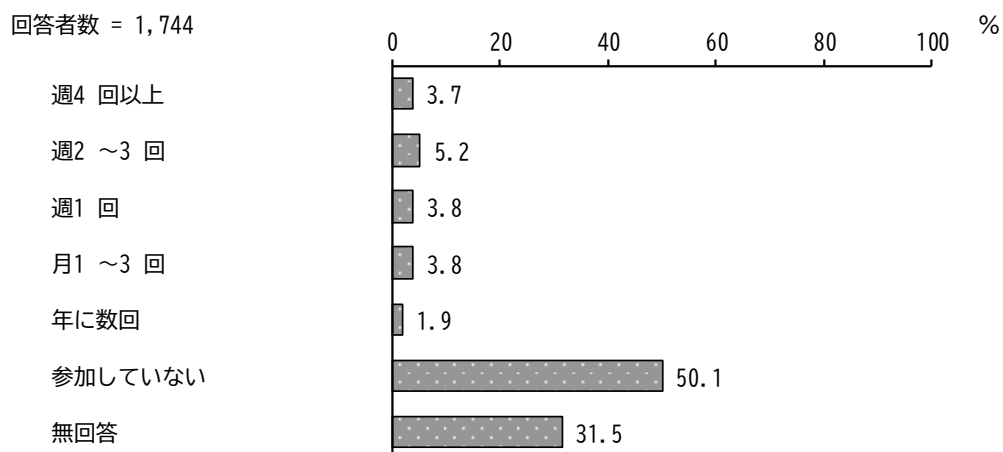
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4 回以上	週2 ～3 回	週1 回	月1 ～3 回	年に 数回	参加 して いない	無 回 答
全 体	1744	1.0	0.9	1.1	4.2	3.0	57.0	32.8
一般高齢者	1332	1.1	1.0	1.4	5.1	3.5	59.2	28.8
要支援・事業対象者	411	0.5	0.7	—	1.2	1.5	50.1	46.0

イ スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が50.1%と最も高くなっています。



【介護状況別】

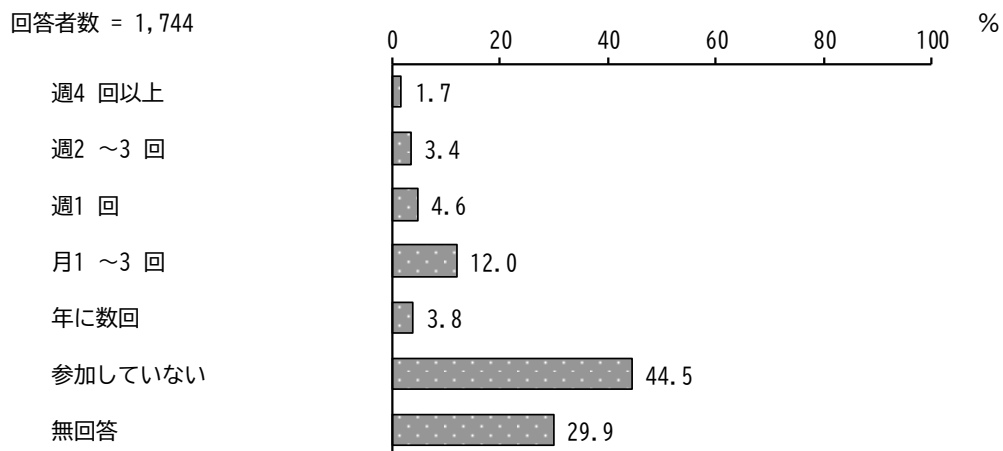
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	3.7	5.2	3.8	3.8	1.9	50.1	31.5
一般高齢者	1332	4.9	6.1	4.7	4.7	2.6	50.8	26.4
要支援・事業対象者	411	—	2.2	1.0	0.7	—	47.7	48.4

ウ 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が12.0%となっています。



【介護状況別】

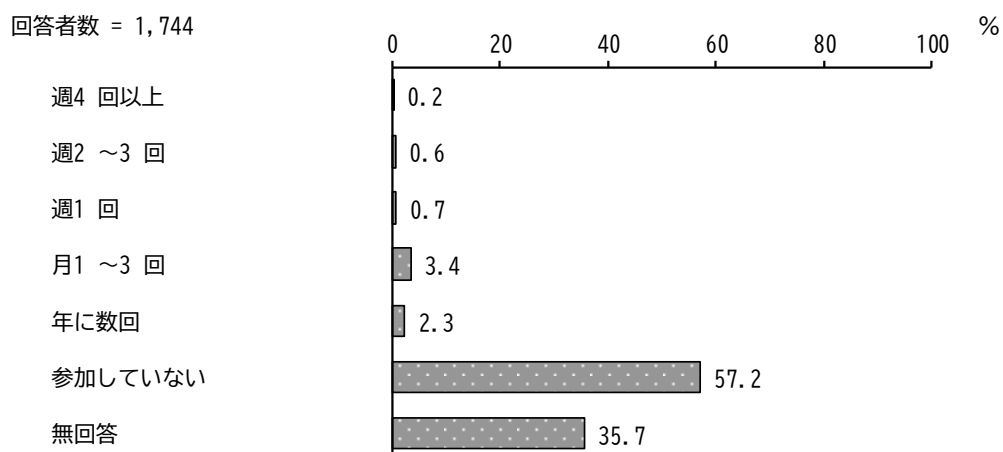
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	1.7	3.4	4.6	12.0	3.8	44.5	29.9
一般高齢者	1332	2.1	3.8	5.3	13.1	4.4	45.3	26.0
要支援・事業対象者	411	0.5	2.2	2.4	8.5	1.7	41.8	42.8

エ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が57.2%と最も高くなっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

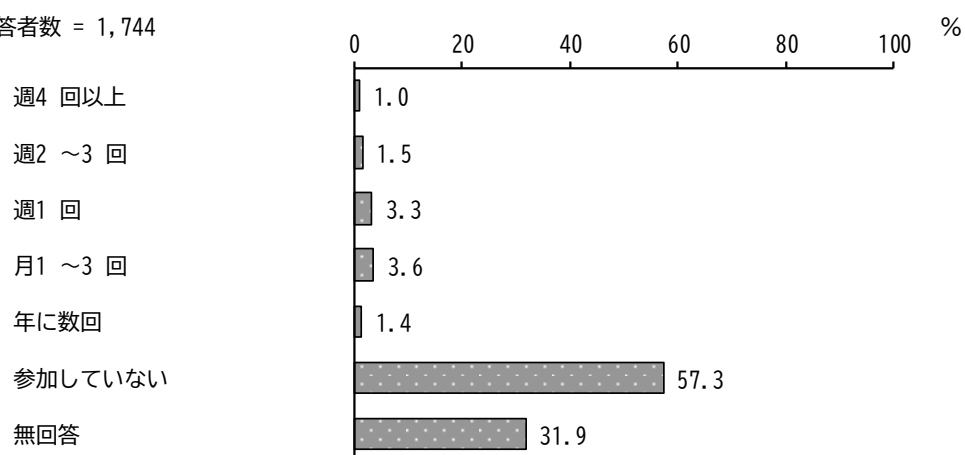
単位：％

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	0.2	0.6	0.7	3.4	2.3	57.2	35.7
一般高齢者	1332	0.3	0.5	0.7	4.1	2.8	59.8	31.8
要支援・事業対象者	411	－	0.7	0.7	1.2	0.7	48.4	48.2

オ まちかど運動教室・高齢者サロンなどの介護予防のための通いの場

「参加していない」の割合が57.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

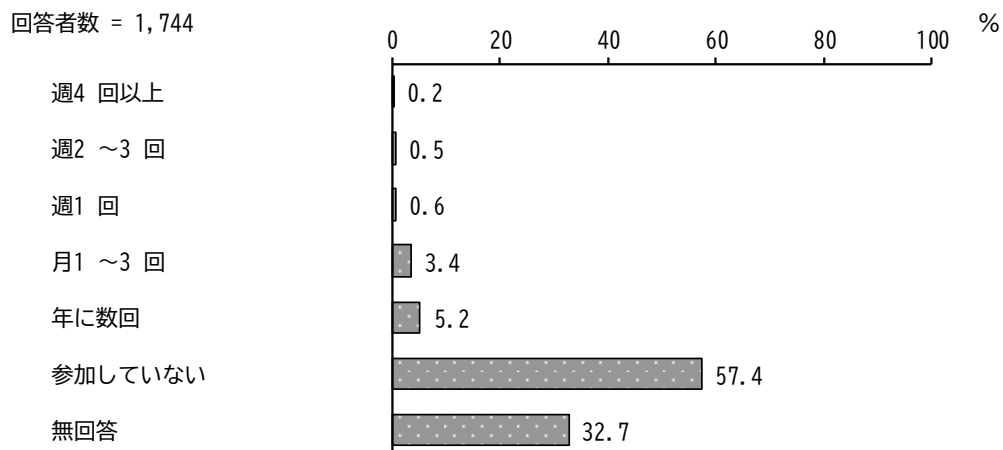
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	1.0	1.5	3.3	3.6	1.4	57.3	31.9
一般高齢者	1332	1.0	1.0	2.5	3.1	1.7	61.6	29.2
要支援・事業対象者	411	1.2	3.4	5.8	5.1	0.7	43.1	40.6

カ 老人クラブ

「参加していない」の割合が57.4%と最も高くなっています。



【介護状況別】

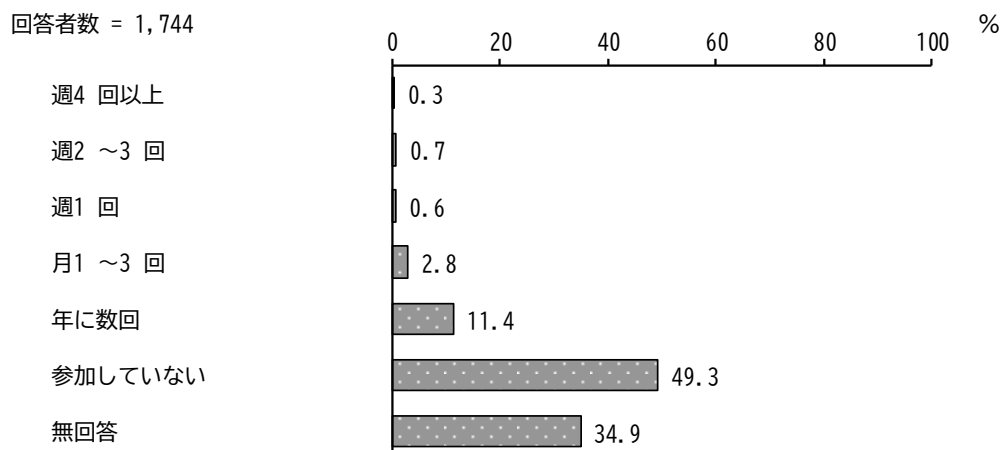
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	0.2	0.5	0.6	3.4	5.2	57.4	32.7
一般高齢者	1332	0.3	0.5	0.7	3.8	5.1	60.6	29.0
要支援・事業対象者	411	—	0.5	0.2	1.9	5.4	47.0	45.0

キ 町内会・自治会

「参加していない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が11.4%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「月1～3回」「年に数回」の割合が高くなっています。

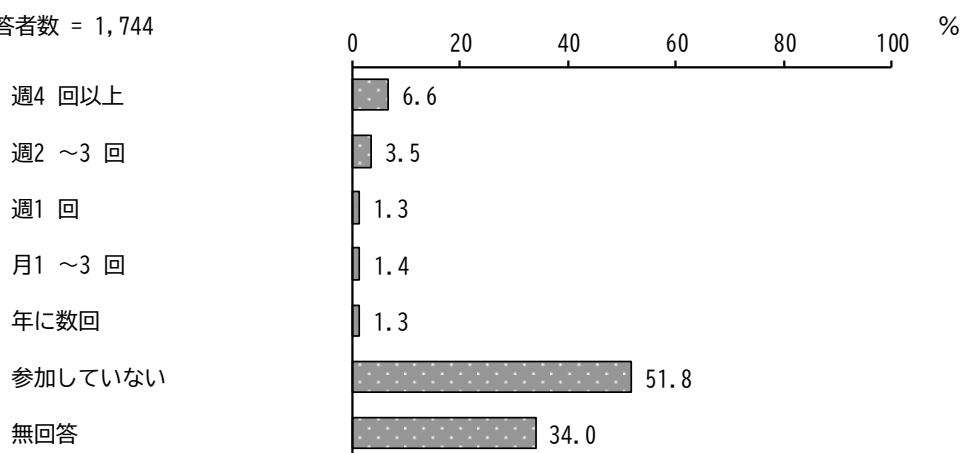
単位：％

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	0.3	0.7	0.6	2.8	11.4	49.3	34.9
一般高齢者	1332	0.3	0.8	0.7	3.5	14.2	49.5	30.9
要支援・事業対象者	411	0.2	0.5	0.2	0.2	2.4	48.4	47.9

ク 収入のある仕事

「参加していない」の割合が51.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

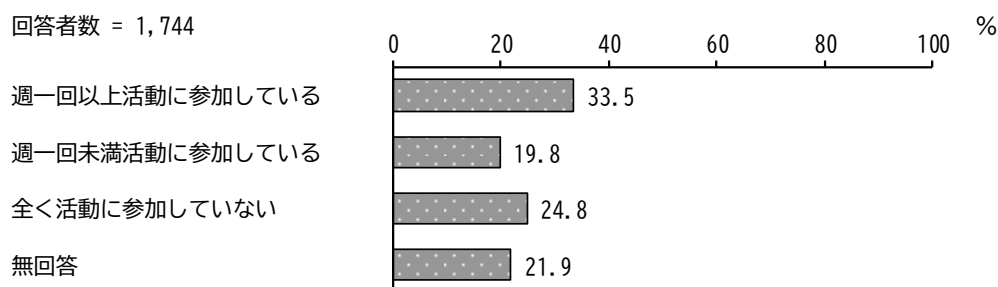
介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1744	6.6	3.5	1.3	1.4	1.3	51.8	34.0
一般高齢者	1332	8.6	4.4	1.7	1.9	1.5	52.5	29.5
要支援・事業対象者	411	0.2	0.5	0.2	—	0.7	49.6	48.7

地域活動への参加状況

「週一回以上活動に参加している」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「全く活動に参加していない」の割合が 24.8%、「週一回未満活動に参加している」の割合が 19.8%となっています。



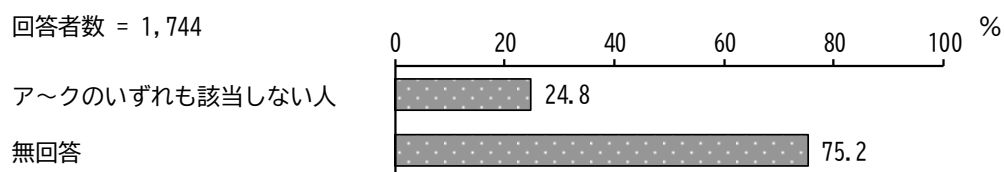
【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

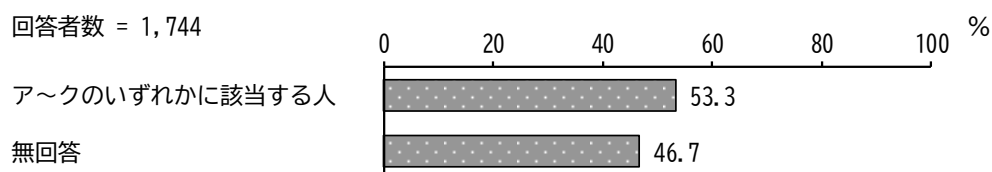
単位：%

区分	回答者数(件)	週一回以上活動に参加している	週一回未満活動に参加している	全く活動に参加していない	無回答
全 体	1744	33.5	19.8	24.8	21.9
一般高齢者	1332	37.8	20.6	23.3	18.2
要支援・事業対象者	411	19.5	17.0	29.4	34.1

ア～クのいずれも該当しない人

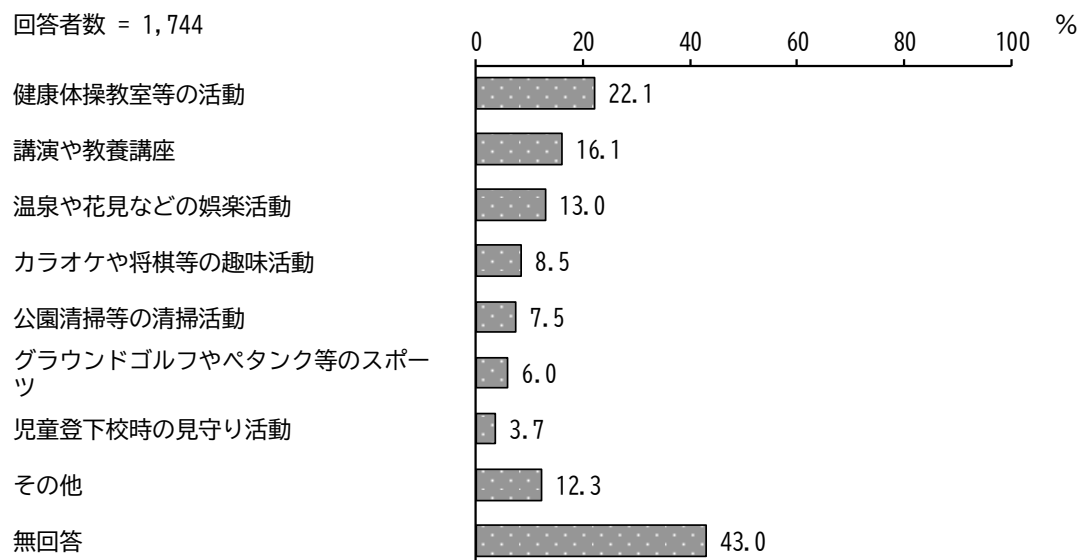


ア～クのいずれかに該当する人



問 33 老人クラブにどんな活動があれば加入を考えますか。(いくつでも)

「健康体操教室等の活動」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「講演や教養講座」の割合が 16.1%、「温泉や花見などの娯楽活動」の割合が 13.0%となっています。



【介護状況別】

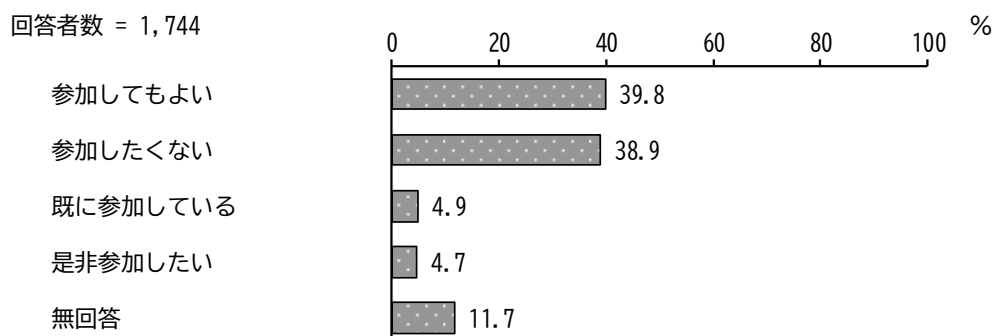
介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で割合が高い活動が多くなっています。しかし、「健康体操教室等の活動」「カラオケや将棋等の趣味活動」では、介護状況によって大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	健康 体操 教室 等の 活動	公園 清掃 等の 清掃 活動	温泉 や花 見な どの 娯 楽 活 動	講 演 や 教 養 講 座	カ ラ オ ケ や 将 棋 等 の 趣 味 活 動	グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ や バ タ ン ク 等 の ス ポ ー ツ	児 童 登 下 校 時 の 見 守 り 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体	1744	22.1	7.5	13.0	16.1	8.5	6.0	3.7	12.3	43.0
一般高齢者	1332	22.6	9.1	14.3	17.6	8.6	6.9	4.4	12.8	39.0
要支援・事業対象者	411	20.4	2.2	9.0	11.4	8.5	2.9	1.2	10.9	56.0

問 34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(回答は1つ)

「参加してもよい」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 38.9%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。

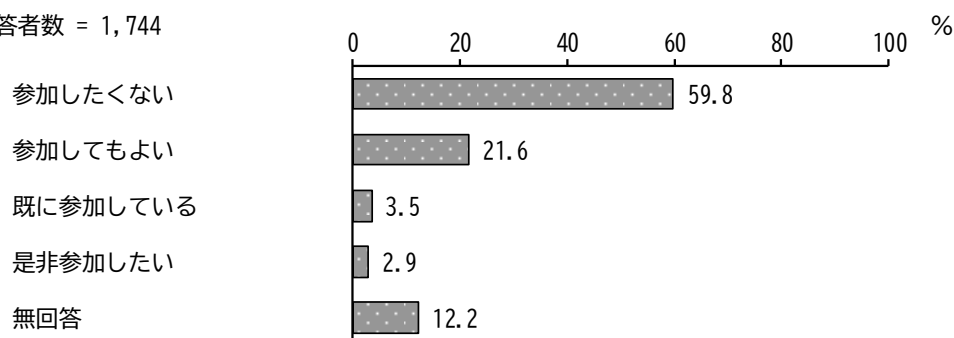
単位：%

区分	回答者数 (件)	是非 参加 したい	参加 しても よい	参加 した く ない	既 に 参 加 し て い る	無 回 答
全 体	1744	4.7	39.8	38.9	4.9	11.7
一般高齢者	1332	4.7	43.3	36.7	5.6	9.6
要支援・事業対象者	411	4.6	28.2	46.2	2.4	18.5

問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（回答は1つ）

「参加したくない」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 21.6%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

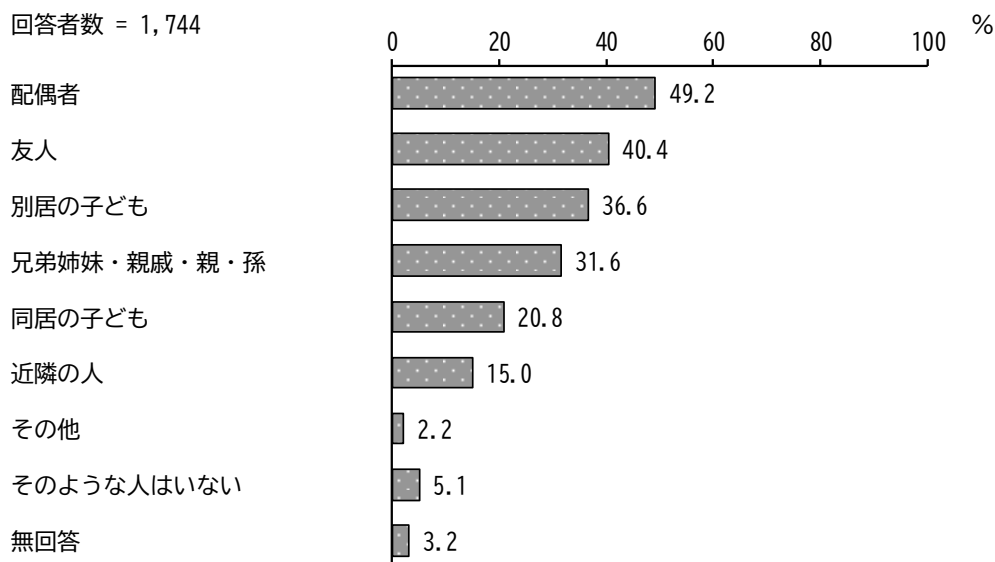
単位：%

区分	回答者数 (件)	是非 参加 したい	参加 しても よい	参加 した く ない	既に 参加 して いる	無 回 答
全 体	1744	2.9	21.6	59.8	3.5	12.2
一般高齢者	1332	2.7	23.8	59.5	4.0	10.0
要支援・事業対象者	411	3.6	14.4	60.8	1.9	19.2

(6) たすけあいについて

問 36 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が49.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が40.4%、「別居の子ども」の割合が36.6%となっています。



【介護状況別】

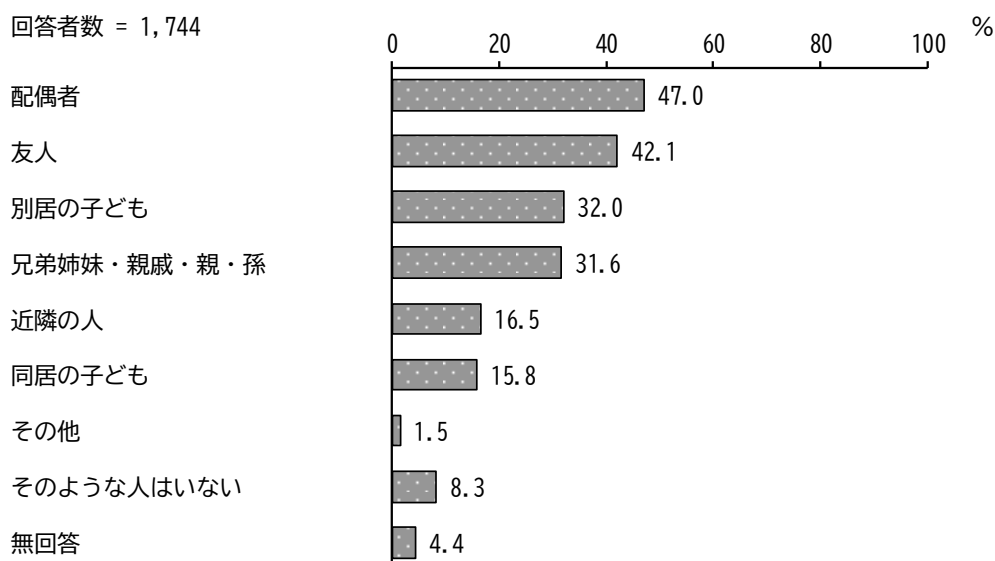
介護状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣の人	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	1744	49.2	20.8	36.6	31.6	15.0	40.4	2.2	5.1	3.2
一般高齢者	1332	54.9	21.3	35.7	31.5	14.6	43.1	2.0	4.7	2.9
要支援・事業対象者	411	30.9	19.0	39.2	31.6	16.3	31.6	2.9	6.3	4.1

問 37 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が47.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が42.1%となっています。



【介護状況別】

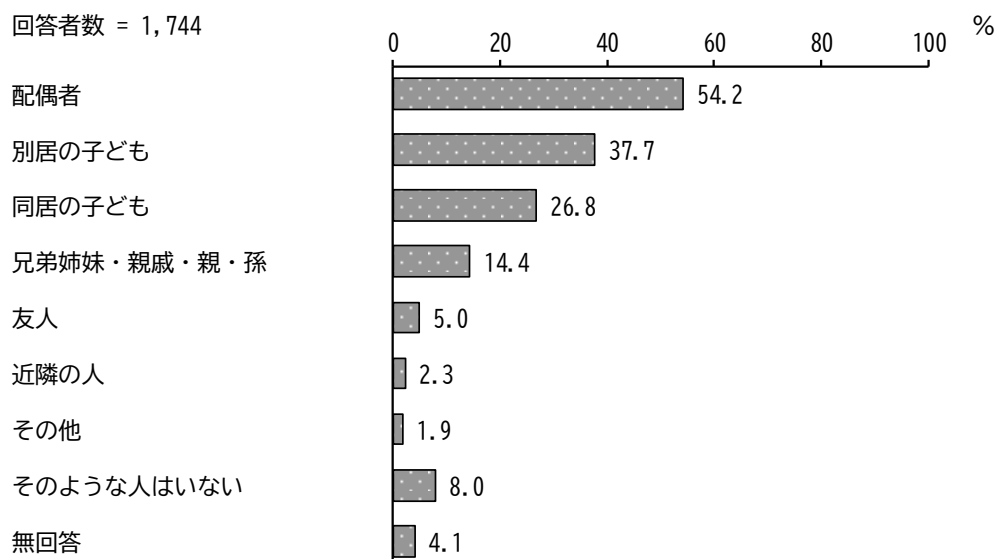
介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で聞いてあげる人の割合が高くなっています。特に、「配偶者」の割合が高くなっています。反対に、要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣の人	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	1744	47.0	15.8	32.0	31.6	16.5	42.1	1.5	8.3	4.4
一般高齢者	1332	52.8	17.4	34.1	33.0	17.3	46.1	1.3	5.9	3.3
要支援・事業対象者	411	28.5	10.5	25.1	27.0	13.4	29.2	2.4	16.3	8.0

問 38 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 37.7%、「同居の子ども」の割合が 26.8%となっています。



【介護状況別】

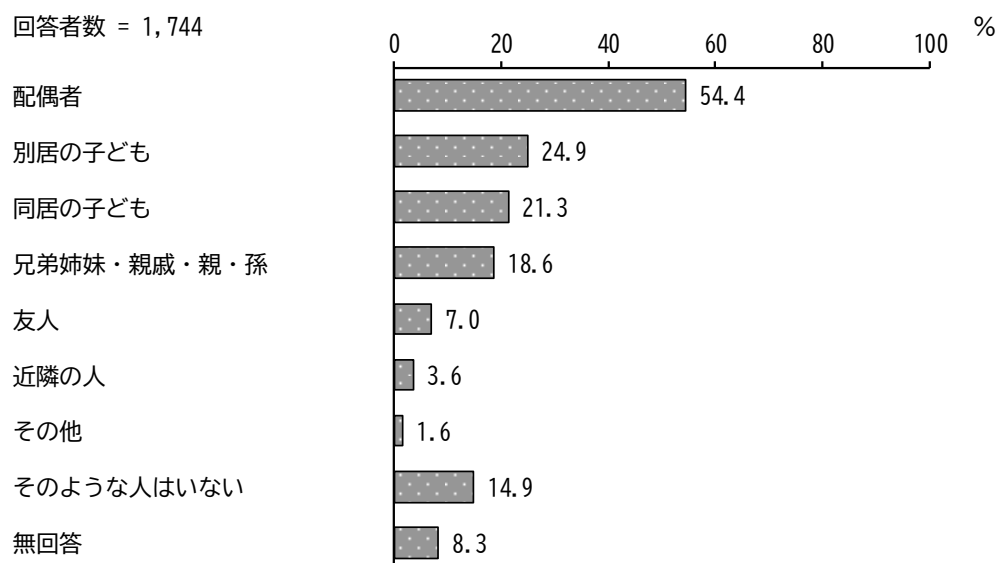
介護状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1744	54.2	26.8	37.7	14.4	2.3	5.0	1.9	8.0	4.1
一般高齢者	1332	61.0	27.2	37.4	14.0	2.3	5.0	1.2	6.3	3.5
要支援・事業対象者	411	32.6	25.5	38.7	15.6	2.2	5.4	4.4	13.6	6.3

問 39 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 24.9%、「同居の子ども」の割合が 21.3%となっています。



【介護状況別】

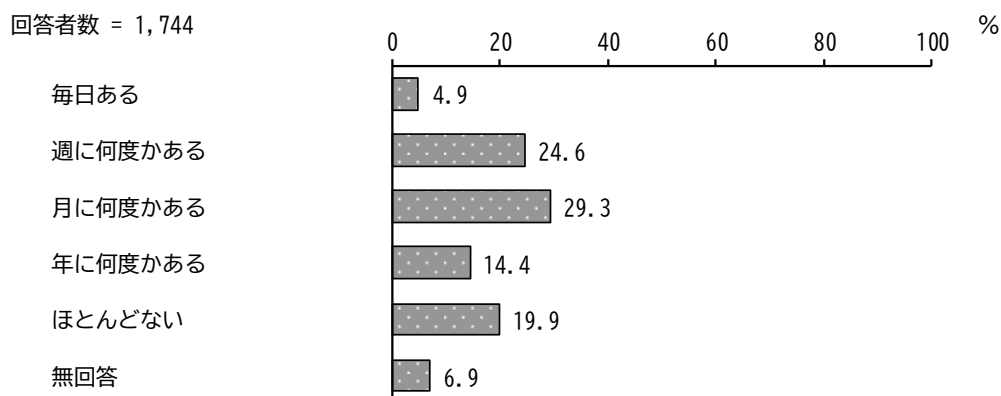
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「そのような人はいない」の割合が、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣の人	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	1744	54.4	21.3	24.9	18.6	3.6	7.0	1.6	14.9	8.3
一般高齢者	1332	61.6	23.9	28.1	21.6	4.1	7.7	1.2	9.8	6.2
要支援・事業対象者	411	31.1	12.7	14.6	8.8	1.9	4.4	2.9	31.4	15.1

問 40 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(回答は1つ)

「月に何度かある」の割合が29.3%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が24.6%、「ほとんどない」の割合が19.9%となっています。



【介護状況別】

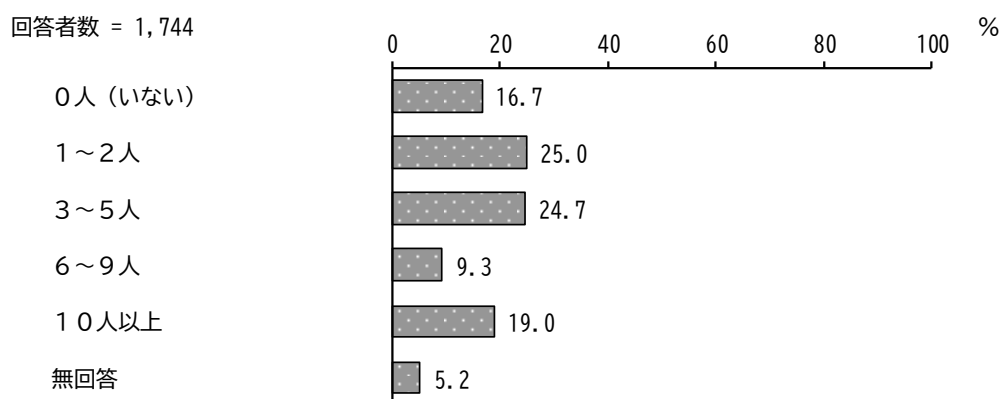
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1744	4.9	24.6	29.3	14.4	19.9	6.9
一般高齢者	1332	5.7	25.9	30.2	15.4	16.3	6.5
要支援・事業対象者	411	2.2	20.2	26.5	11.4	31.6	8.0

問 41 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(回答は1つ)

「1～2人」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が24.7%、「10人以上」の割合が19.0%となっています。



【介護状況別】

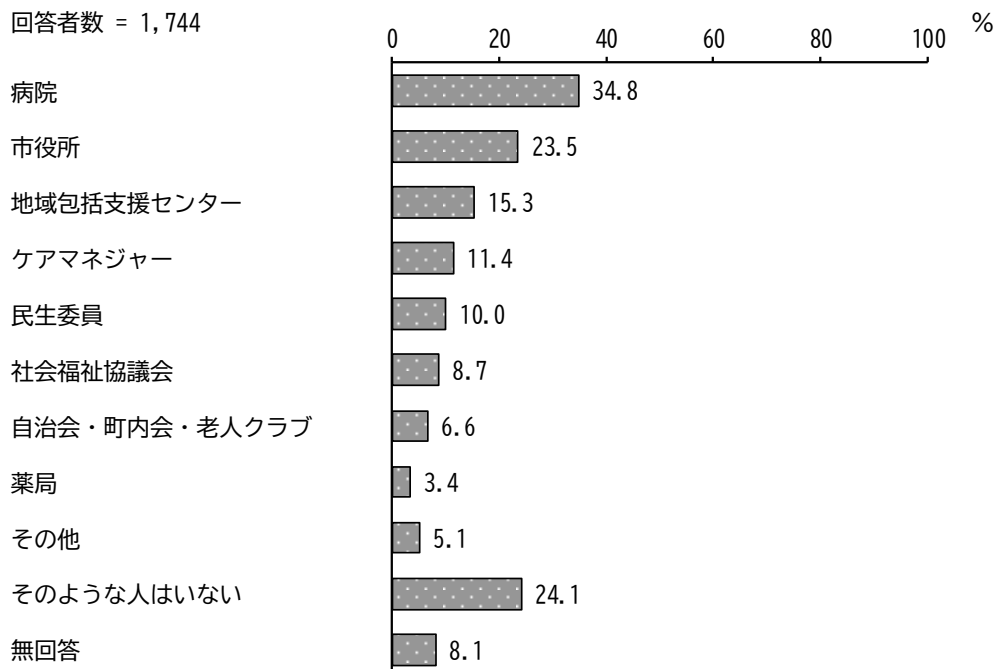
介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「10人以上」の割合が高くなっています。反対に、要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「0人（いない）」「1～2人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	0人 (いない)	1 ～ 2人	3 ～ 5人	6 ～ 9人	10 人以上	無回答
全 体	1744	16.7	25.0	24.7	9.3	19.0	5.2
一般高齢者	1332	14.7	23.1	25.2	9.7	22.9	4.4
要支援・事業対象者	411	23.4	31.1	23.4	8.0	6.3	7.8

問 42 家族や友人・知人以外で、何かあったときにどこに相談しますか。(いくつでも)

「病院」の割合が34.8%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が24.1%、「市役所」の割合が23.5%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「ケアマネジャー」「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。反対に、一般高齢者では、要支援・事業対象者に比べ「市役所」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

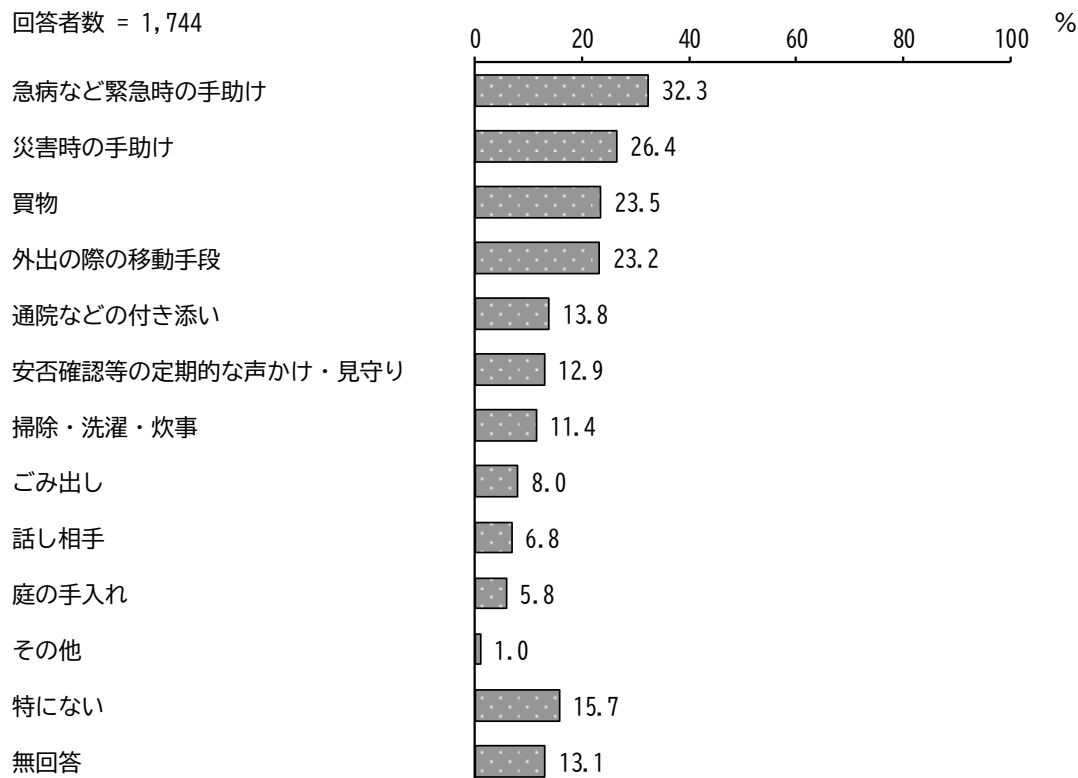
単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・ 老人クラブ	社会福祉協議会	民生委員	病院	薬局	地域包括支援 センター	ケアマネジャー	市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1744	6.6	8.7	10.0	34.8	3.4	15.3	11.4	23.5	5.1	24.1	8.1
一般高齢者	1332	7.4	7.8	9.5	35.3	3.6	10.4	3.0	26.4	5.2	27.6	7.8
要支援・事業 対象者	411	4.1	11.4	11.4	33.3	2.9	31.1	38.4	14.1	4.9	13.1	9.2

問 43 あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(回答は3つまで)

「急病など緊急時の手助け」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 26.4%、「買物」の割合が 23.5%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

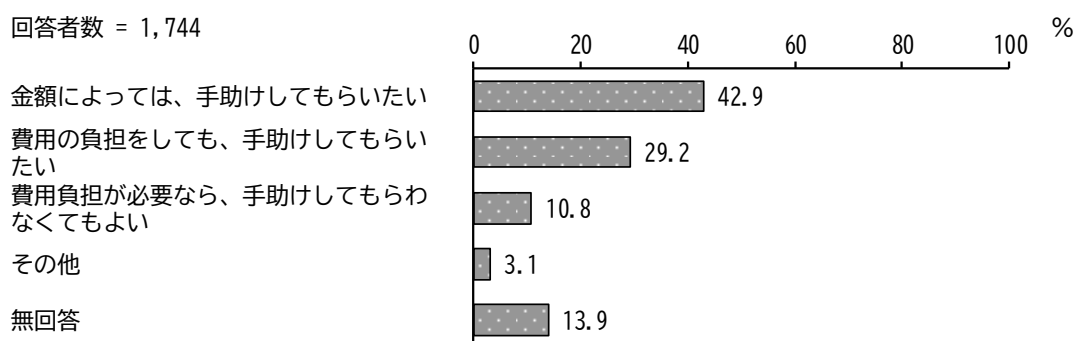
単位：％

区分	回答者数 (件)	外出の際の移動手段	話し相手	買物	ごみ出し	庭の手入れ	掃除・洗濯・炊事	通院などの付き添い	手助け 急病など緊急時の手助け	災害時の手助け	安否確認等の定期的な声かけ・見守り	その他	特にない	無回答
全 体	1744	23.2	6.8	23.5	8.0	5.8	11.4	13.8	32.3	26.4	12.9	1.0	15.7	13.1
一般高齢者	1332	23.4	6.7	23.8	7.1	5.6	10.8	12.6	33.5	27.6	13.7	1.1	16.5	11.6
要支援・事業対象者	411	22.4	7.1	22.4	10.9	6.3	13.4	17.8	28.7	22.4	10.2	1.0	13.1	18.0

問 44 問 43 のような手助けに対し、費用の負担をすることをどう思いますか。(回答は 1 つ)

「金額によっては、手助けしてもらいたい」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「費用の負担をしても、手助けしてもらいたい」の割合が 29.2%、「費用負担が必要なら、手助けしてもらわなくてもよい」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

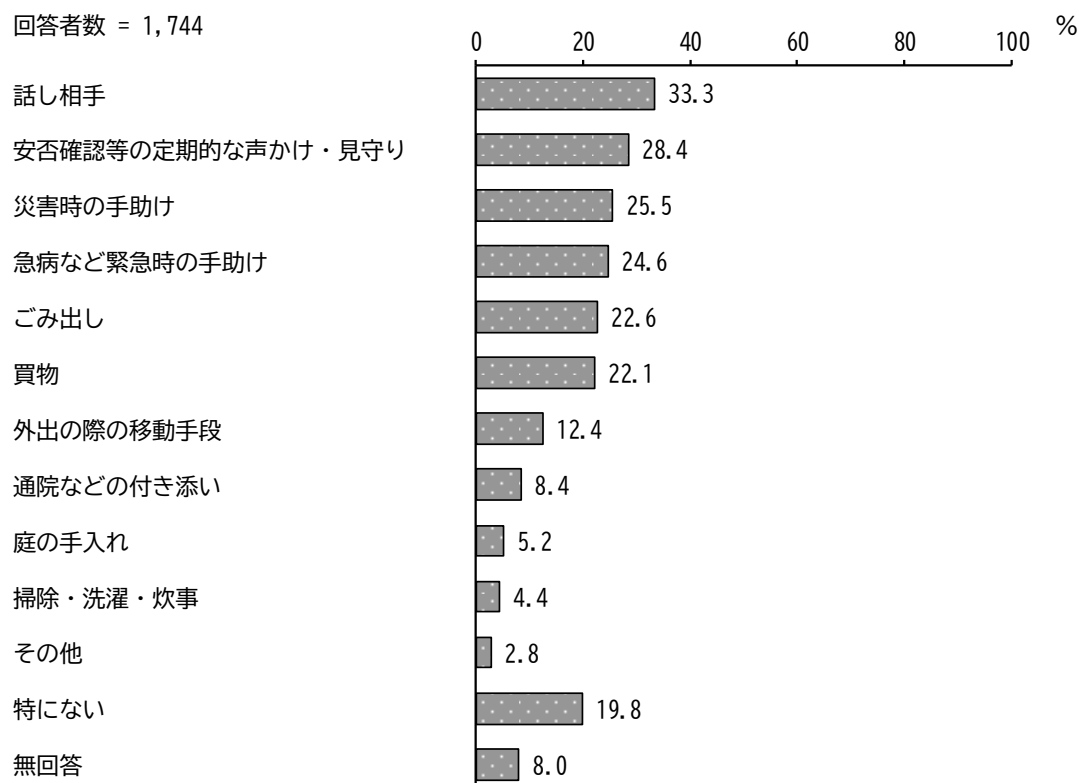
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	費用の負担をしても、手助けしてもらいたい	金額によっては、手助けしてもらいたい	費用負担が必要なら、手助けしてもらわなくてもよい	その他	無回答
全 体	1744	29.2	42.9	10.8	3.1	13.9
一般高齢者	1332	28.4	44.7	11.0	3.5	12.3
要支援・事業対象者	411	32.1	37.0	10.2	1.7	19.0

問 45 あなたのご近所で、高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯があったら、どんな対応ができますか。(いくつでも)

「話し相手」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が 28.4%、「災害時の手助け」の割合が 25.5%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

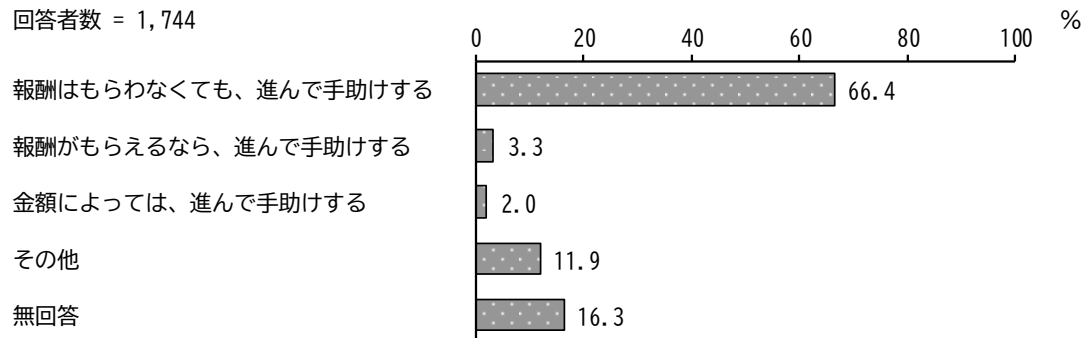
単位：%

区分	回答者数(件)	外出の際の移動手段	話し相手	買物	ごみ出し	庭の手入れ	掃除・洗濯・炊事	通院などの付き添い	急病など緊急時の手助け	災害時の手助け	安否確認等の定期的な声かけ・見守り	その他	特にない	無回答
全 体	1744	12.4	33.3	22.1	22.6	5.2	4.4	8.4	24.6	25.5	28.4	2.8	19.8	8.0
一般高齢者	1332	14.3	34.1	25.5	25.5	6.4	4.6	9.8	27.9	30.6	31.6	2.1	16.4	6.1
要支援・事業対象者	411	6.3	30.4	10.9	13.1	1.5	3.6	4.1	13.9	8.8	17.8	4.9	30.9	14.4

問 46 問 45 のような手助けに対し、報酬をもらうことをどう思いますか。(回答は1つ)

「報酬はもらわなくても、進んで手助けする」の割合が 66.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

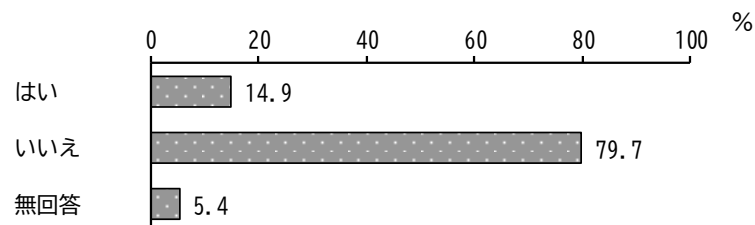
単位：%

区分	回答者数 (件)	報酬はもらわなくても、 進んで手助けする	報酬がもらえるなら、 進んで手助けする	金額によっては、 進んで手助けする	その他	無回答
全 体	1744	66.4	3.3	2.0	11.9	16.3
一般高齢者	1332	70.9	4.1	2.3	10.1	12.7
要支援・事業対象者	411	51.8	1.0	1.0	18.0	28.2

問 47 生活支援コーディネーターを知っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が 14.9%、「いいえ」の割合が 79.7%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

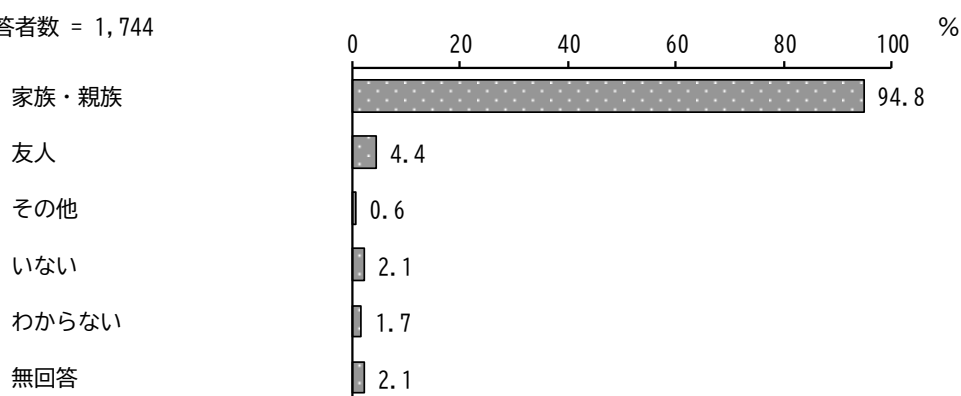
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	14.9	79.7	5.4
一般高齢者	1332	14.6	80.9	4.4
要支援・事業対象者	411	15.8	75.7	8.5

問 48 あなたが入院などをして身元保証人を求められたときに、身元保証人になる人はいますか。(いくつでも)

「家族・親族」の割合が 94.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

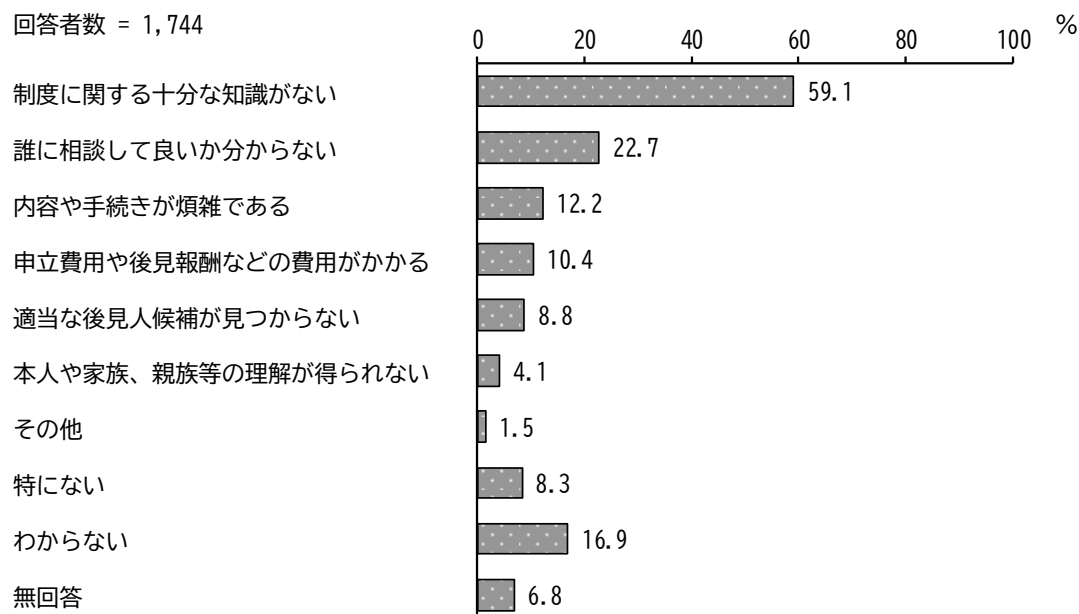
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人	その他	いない	わからない	無回答
全 体	1744	94.8	4.4	0.6	2.1	1.7	2.1
一般高齢者	1332	95.9	4.9	0.5	1.7	1.7	1.7
要支援・事業対象者	411	91.0	2.9	1.2	3.6	1.7	3.4

問 49 成年後見制度の利用促進に向けての課題は何だと思いますか。(いくつでも)

「制度に関する十分な知識がない」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「誰に相談して良いかわからない」の割合が 22.7%、「わからない」の割合が 16.9%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

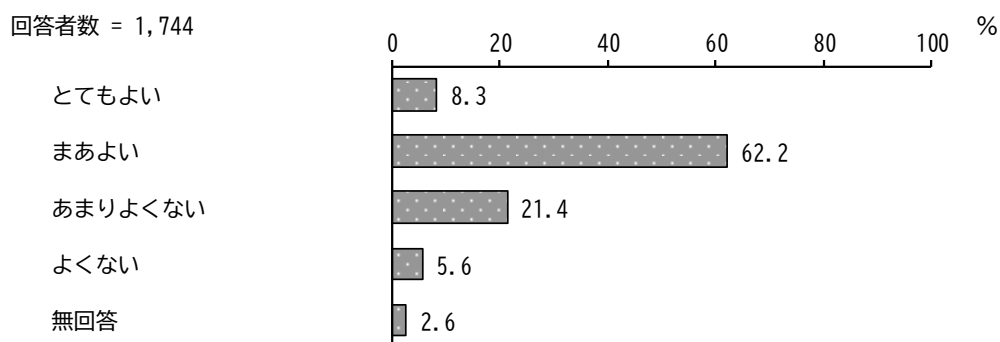
単位：%

区分	回答者数 (件)	制度に関する十分な知識がない	誰に相談して良いかわからない	本人や家族、親族等の理解が得られない	申立費用や後見報酬などの費用がかかる	内容や手続きが煩雑である	適当な後見人候補が見つからない	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	1744	59.1	22.7	4.1	10.4	12.2	8.8	1.5	8.3	16.9	6.8
一般高齢者	1332	61.2	22.6	4.0	10.7	11.7	8.6	1.7	8.3	16.4	5.6
要支援・事業対象者	411	52.3	23.1	4.4	9.5	13.6	9.5	1.2	8.3	18.2	10.9

(7) 健康について

問 50 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ)

「まあよい」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 21.4%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「まあよい」の割合が高くなっています。また、要支援・事業対象者に比べ「とてもよい」の割合も高くなっています。反対に、要支援・事業対象者では「あまりよくない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ「よくない」の割合も高くなっています。

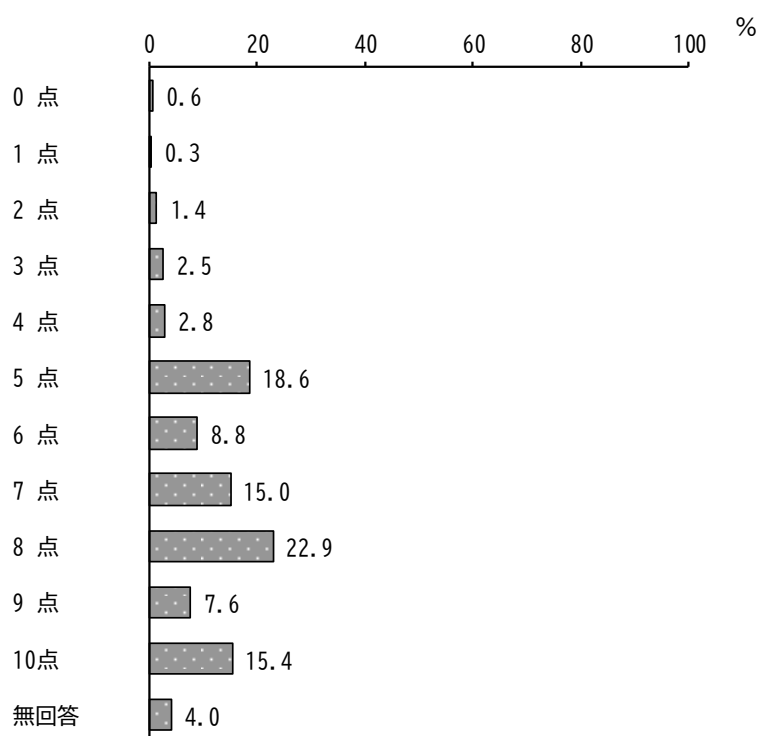
単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1744	8.3	62.2	21.4	5.6	2.6
一般高齢者	1332	10.4	69.7	15.2	2.3	2.3
要支援・事業対象者	411	1.2	37.5	41.6	16.1	3.6

問 51 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「8点」の割合が22.9%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.6%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

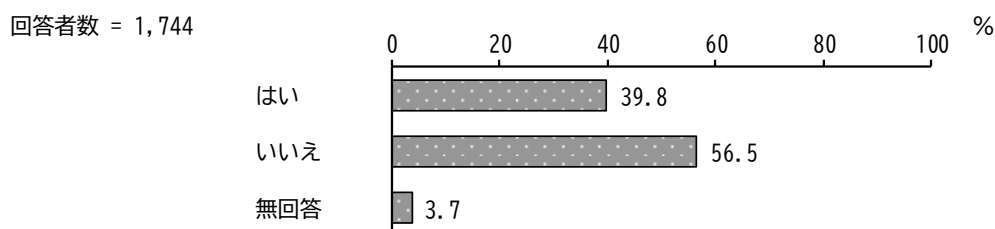
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「5点」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全 体	1744	0.6	0.3	1.4	2.5	2.8	18.6	8.8	15.0	22.9	7.6	15.4	4.0
一般高齢者	1332	0.2	0.2	1.1	1.6	2.2	16.5	9.1	15.6	23.9	8.6	17.3	3.7
要支援・事業対象者	411	1.9	0.7	2.4	5.6	4.6	25.3	8.0	12.9	20.0	4.1	9.2	5.1

問 52 この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(回答は1つ)

「はい」の割合が39.8%、「いいえ」の割合が56.5%となっています。



【介護状況別】

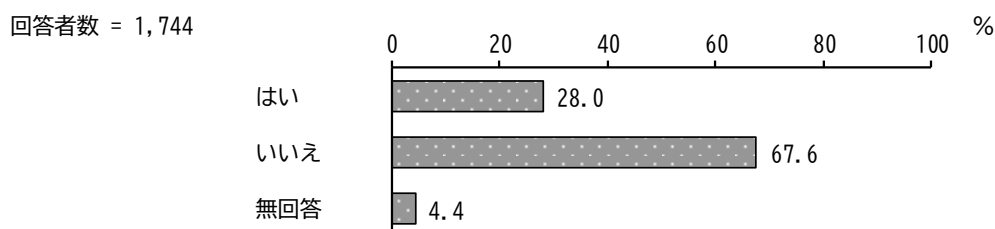
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	39.8	56.5	3.7
一般高齢者	1332	35.2	61.4	3.4
要支援・事業対象者	411	54.7	40.6	4.6

問 53 この1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ)

「はい」の割合が28.0%、「いいえ」の割合が67.6%となっています。



【介護状況別】

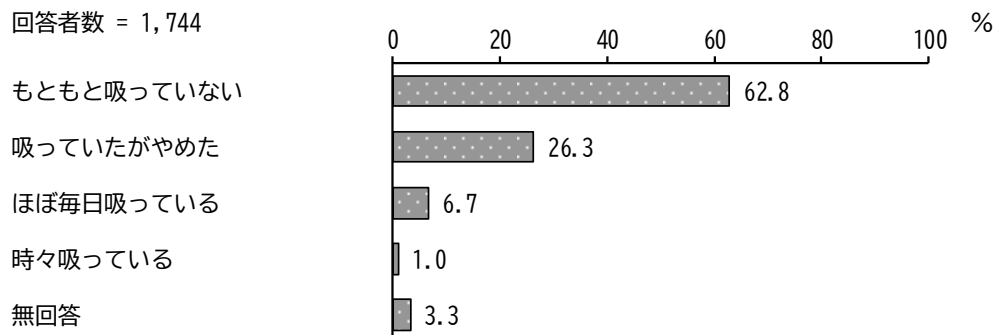
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	28.0	67.6	4.4
一般高齢者	1332	22.4	74.2	3.4
要支援・事業対象者	411	46.2	46.2	7.5

問 54 タバコは吸っていますか。(回答は1つ)

「もともと吸っていない」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 26.3%となっています。



【介護状況別】

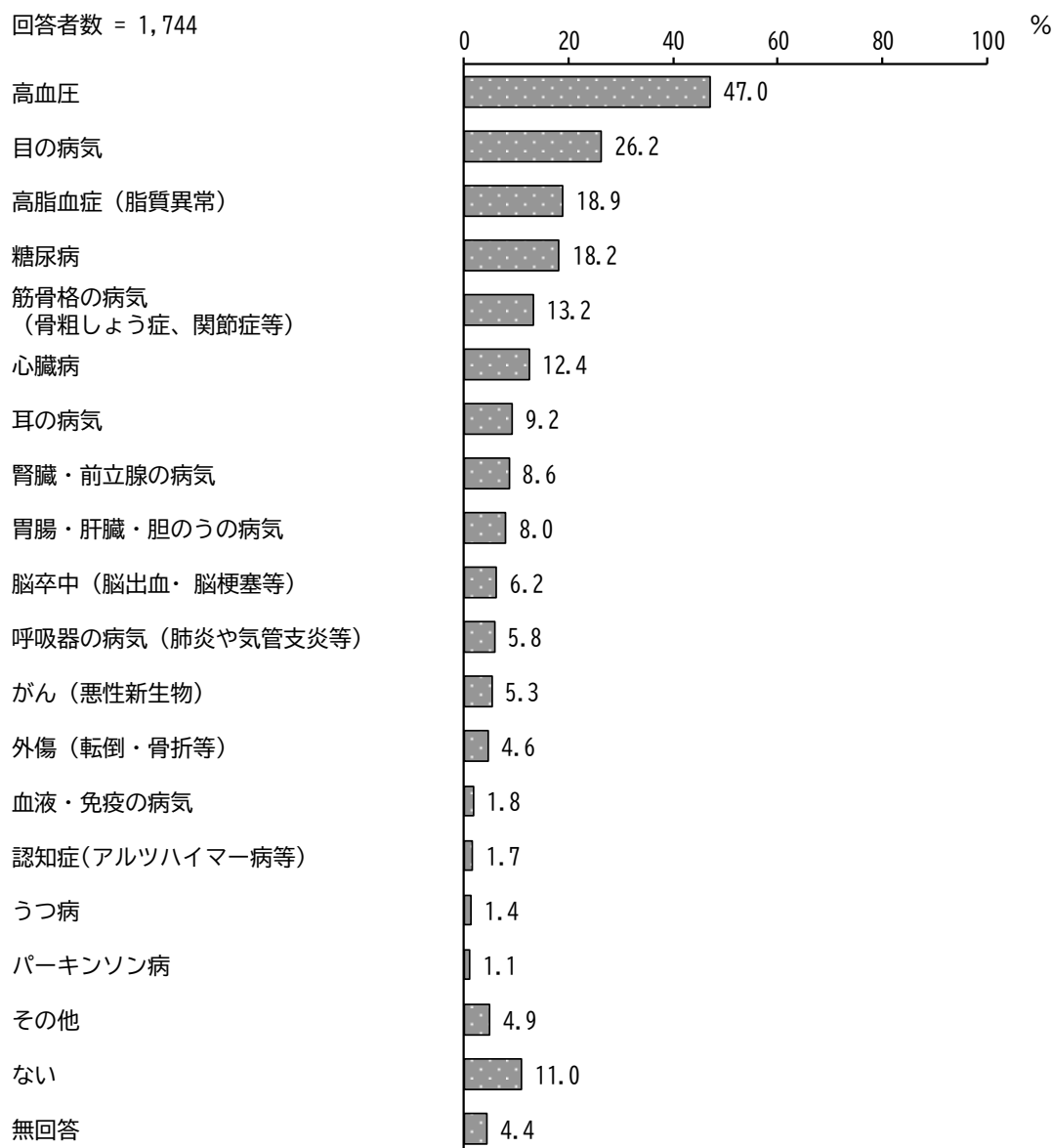
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全 体	1744	6.7	1.0	26.3	62.8	3.3
一般高齢者	1332	7.8	0.8	26.6	62.2	2.6
要支援・事業対象者	411	2.9	1.5	25.3	64.7	5.6

問 55 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

「高血圧」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 26.2%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「心臓病」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「外傷（転倒・骨折等）」の割合が高くなっています。反対に、一般高齢者では、要支援・事業対象者に比べ「高脂血症（脂質異常）」「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

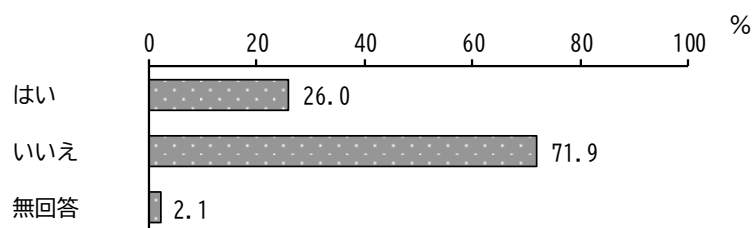
区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異 常)	呼吸器の病気 (肺炎 や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆の うの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)
全 体	1744	11.0	47.0	6.2	12.4	18.2	18.9	5.8	8.0	8.6	13.2
一般高齢者	1332	13.7	45.0	4.0	10.3	17.5	21.1	4.9	6.5	7.2	9.5
要支援・事業 対象者	411	2.4	53.8	13.4	19.2	20.7	11.7	9.0	12.9	13.1	25.3

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	4.6	5.3	1.8	1.4	1.7	1.1	26.2	9.2	4.9	4.4
一般高齢者	2.0	4.4	1.4	1.0	0.9	0.3	24.2	8.0	4.7	4.6
要支援・事業 対象者	13.1	8.3	2.9	2.7	4.1	3.6	32.8	13.1	5.4	3.9

問 56 生活の中で「耳の聞こえ」について困っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が26.0%、「いいえ」の割合が71.9%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

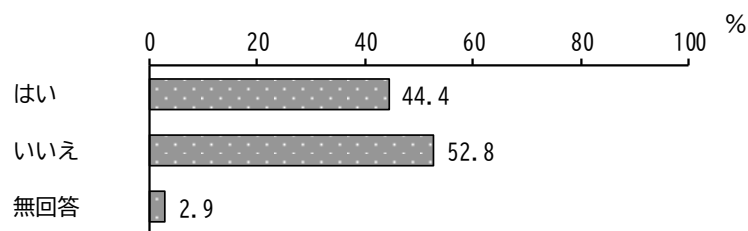
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	26.0	71.9	2.1
一般高齢者	1332	22.4	76.1	1.5
要支援・事業対象者	411	37.7	58.2	4.1

【問 56 で「はい」の方のみ】

問 56-① 補聴器などを必要としていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が44.4%、「いいえ」の割合が52.8%となっています。

回答者数 = 453



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

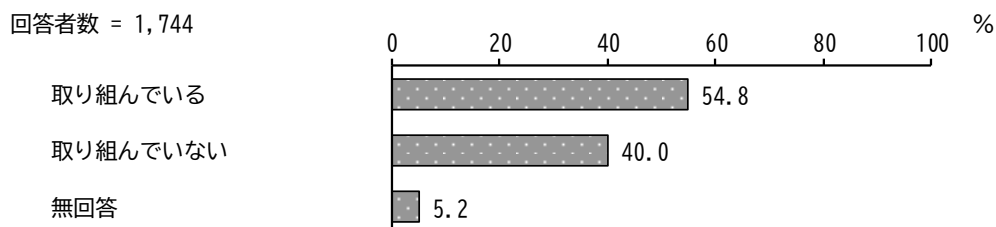
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	453	44.4	52.8	2.9
一般高齢者	298	40.6	57.0	2.3
要支援・事業対象者	155	51.6	44.5	3.9

(8) 介護予防について

問 57 あなたは、寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。(回答は1つ)

「取り組んでいる」の割合が 54.8%、「取り組んでいない」の割合が 40.0%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「取り組んでいる」の割合が高くなっています。

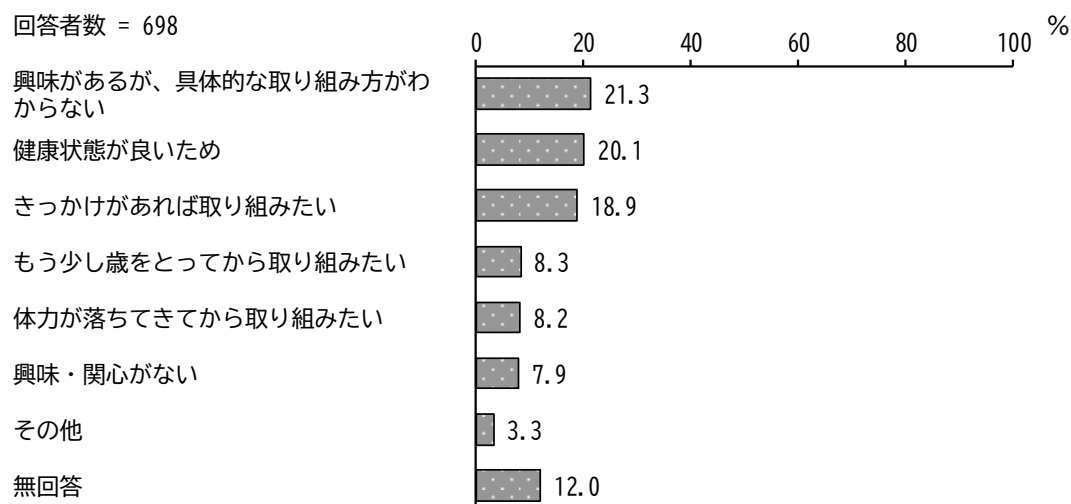
単位：%

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全 体	1744	54.8	40.0	5.2
一般高齢者	1332	52.6	43.0	4.4
要支援・事業対象者	411	62.0	30.2	7.8

【問 57 で「取り組んでいない」の方のみ】

問 57-① あなたが介護予防に取り組んでいない理由を教えてください。(回答は 1 つ)

「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「健康状態が良いため」の割合が 20.1%、「きっかけがあれば取り組みたい」の割合が 18.9%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「健康状態が良いため」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「興味・関心がない」の割合が高くなっています。

単位：%

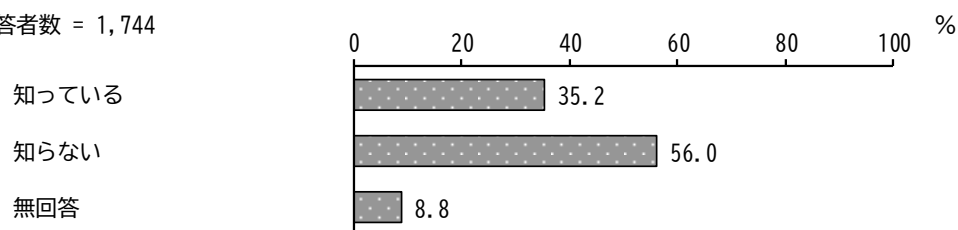
区分	回答者数 (件)	健康状態が 良いため	体力が落ちて きてから 取り組みたい	もう少し歳を とってから 取り組みたい	きっかけが あれば取 組みたい	興味があるが、 具体的な取 組み方がわ からない	興味・関心 がない	その他	無回答
全 体	698	20.1	8.2	8.3	18.9	21.3	7.9	3.3	12.0
一般高齢者	573	23.4	8.9	8.6	19.4	20.4	6.1	2.1	11.2
要支援・事業対象者	124	4.0	4.8	7.3	16.9	25.8	16.1	8.9	16.1

問 58 介護予防（介護が必要な状態にならないようにすること）について、以下の活動を知っていますか。また、参加したいですか。（それぞれ回答は1つ）

認知度 ア まちかど運動教室（介護予防を目的とした体操教室）

「知っている」の割合が 35.2%、「知らない」の割合が 56.0%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

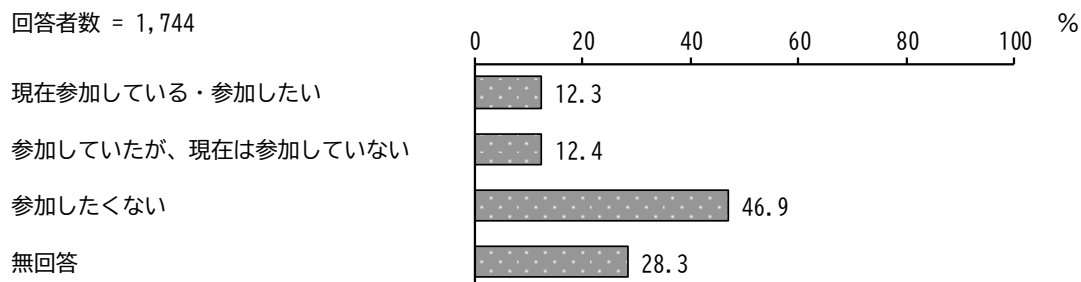
単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1744	35.2	56.0	8.8
一般高齢者	1332	34.3	58.2	7.5
要支援・事業対象者	411	38.2	48.7	13.1

参加意欲 ア まちかど運動教室（介護予防を目的とした体操教室）

「参加したくない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「参加していたが、現在は参加していない」の割合が12.4%、「現在参加している・参加したい」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

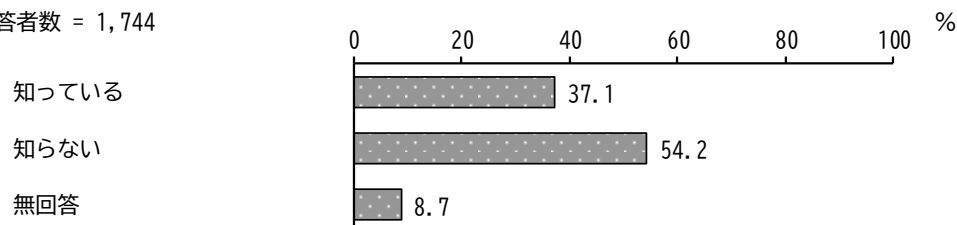
単位：%

区分	回答者数(件)	現在参加している・参加したい	参加していたが、現在は参加していない	参加したくない	無回答
全 体	1744	12.3	12.4	46.9	28.3
一般高齢者	1332	12.7	11.4	48.7	27.2
要支援・事業対象者	411	11.2	15.8	40.9	32.1

認知度 イ 高齢者サロン（身近な場所で高齢者等が定期的に交流する場）

「知っている」の割合が37.1%、「知らない」の割合が54.2%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

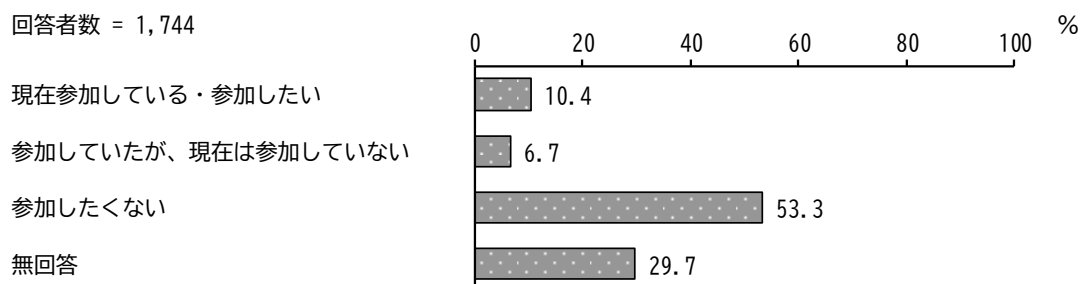
単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1744	37.1	54.2	8.7
一般高齢者	1332	37.2	55.2	7.6
要支援・事業対象者	411	36.7	51.1	12.2

参加意欲 イ 高齢者サロン（身近な場所で高齢者等が定期的に交流する場）

「参加したくない」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「現在参加している・参加したい」の割合が 10.4%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

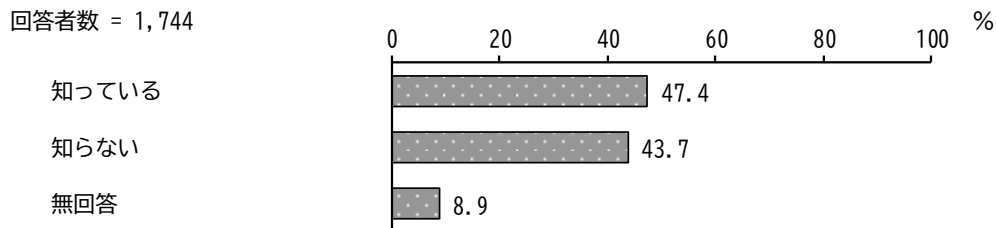
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在参加している・ 参加したい	参加していたが、現 在は参加していない	参加したくない	無回答
全 体	1744	10.4	6.7	53.3	29.7
一般高齢者	1332	10.1	5.9	55.8	28.2
要支援・事業対象者	411	11.4	9.0	45.0	34.5

認知度 ウ 老人福祉センターの健康教室・講座（福祉体育館内で体操やヨガなど健康づくりの事業を行っています。）

「知っている」の割合が 47.4%、「知らない」の割合が 43.7%となっています。



【介護状況別】

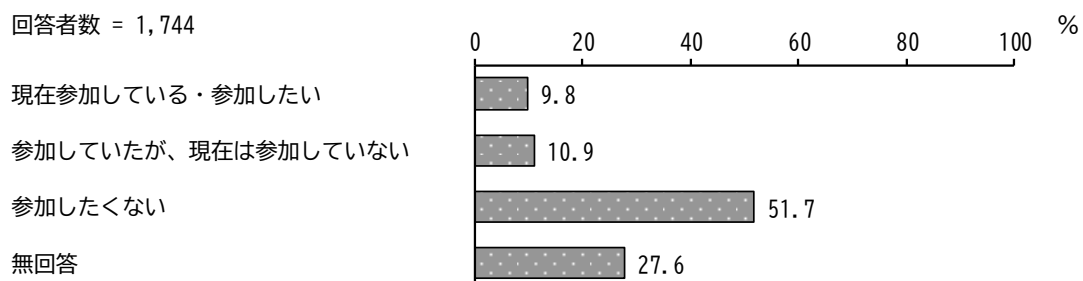
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1744	47.4	43.7	8.9
一般高齢者	1332	47.6	44.6	7.8
要支援・事業対象者	411	46.5	40.9	12.7

参加意欲 ウ 老人福祉センターの健康教室・講座（福祉体育館内で体操やヨガなど健康づくりの事業を行っています。）

「参加したくない」の割合が 51.7%と最も高くなっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

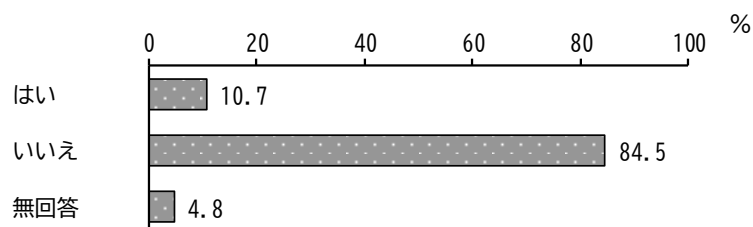
区分	回答者数(件)	現在参加している・ 参加したい	参加していたが、現 在は参加していない	参加したくない	無回答
全 体	1744	9.8	10.9	51.7	27.6
一般高齢者	1332	9.8	10.0	54.1	26.1
要支援・事業対象者	411	9.7	13.9	43.8	32.6

(9) 認知症について

問 59 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が10.7%、「いいえ」の割合が84.5%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

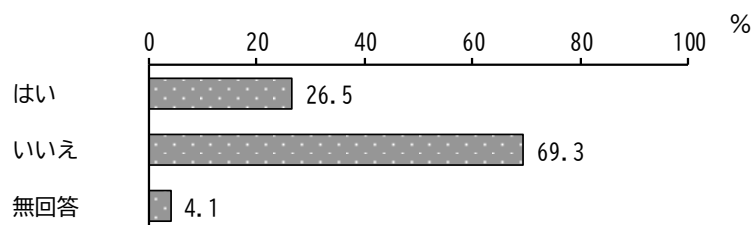
単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	10.7	84.5	4.8
一般高齢者	1332	10.0	85.7	4.3
要支援・事業対象者	411	13.1	80.5	6.3

問 60 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が26.5%、「いいえ」の割合が69.3%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

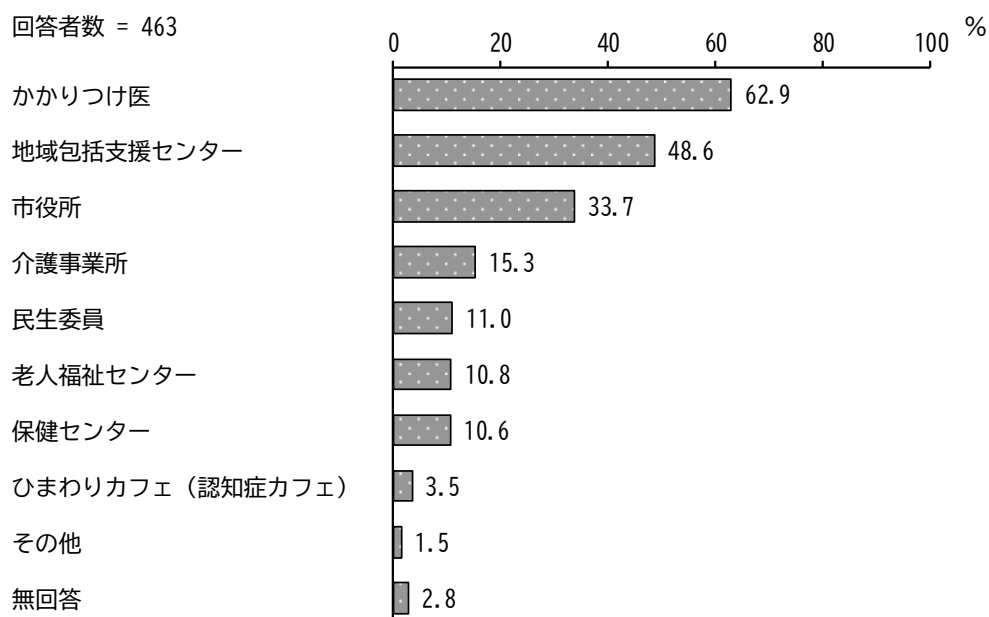
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	26.5	69.3	4.1
一般高齢者	1332	25.9	70.6	3.5
要支援・事業対象者	411	28.7	65.0	6.3

【問 60 で「はい」の方のみ】

問 60-① 認知症に関する相談をどこにしようと思いますか。(いくつでも)

「かかりつけ医」の割合が 62.9％と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 48.6％、「市役所」の割合が 33.7％となっています。

回答者数 = 463



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「地域包括支援センター」「介護事業所」の割合が高くなっています。一般高齢者では、要支援・事業対象者に比べ「市役所」「保健センター」「老人福祉センター」の割合が高くなっています。

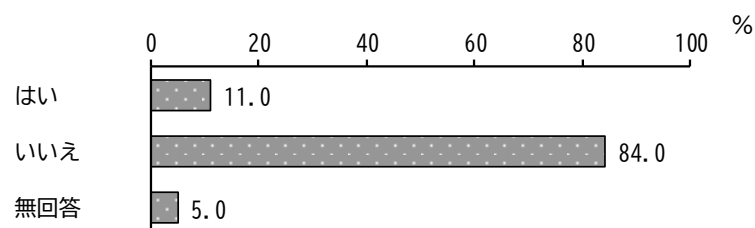
単位：％

区分	回答者数(件)	かかりつけ医	地域包括支援センター	老人福祉センター	ひまわりカフェ(認知症カフェ)	介護事業所	民生委員	市役所	保健センター	その他	無回答
全 体	463	62.9	48.6	10.8	3.5	15.3	11.0	33.7	10.6	1.5	2.8
一般高齢者	345	62.6	45.8	12.2	3.2	12.5	11.0	35.9	12.5	1.7	2.6
要支援・事業対象者	118	63.6	56.8	6.8	4.2	23.7	11.0	27.1	5.1	0.8	3.4

問 61 ひまわりカフェを知っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が11.0%、「いいえ」の割合が84.0%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

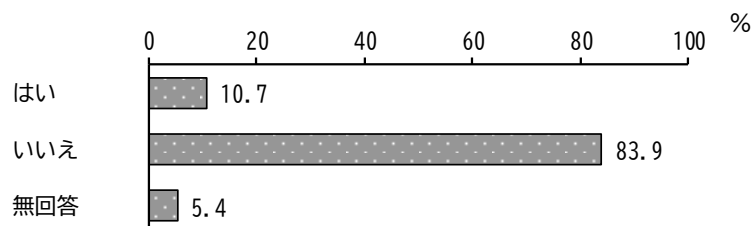
単位：％

区分	回答者数(件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	11.0	84.0	5.0
一般高齢者	1332	11.5	84.4	4.1
要支援・事業対象者	411	9.5	82.7	7.8

問 62 認知症サポーターを知っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が10.7%、「いいえ」の割合が83.9%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

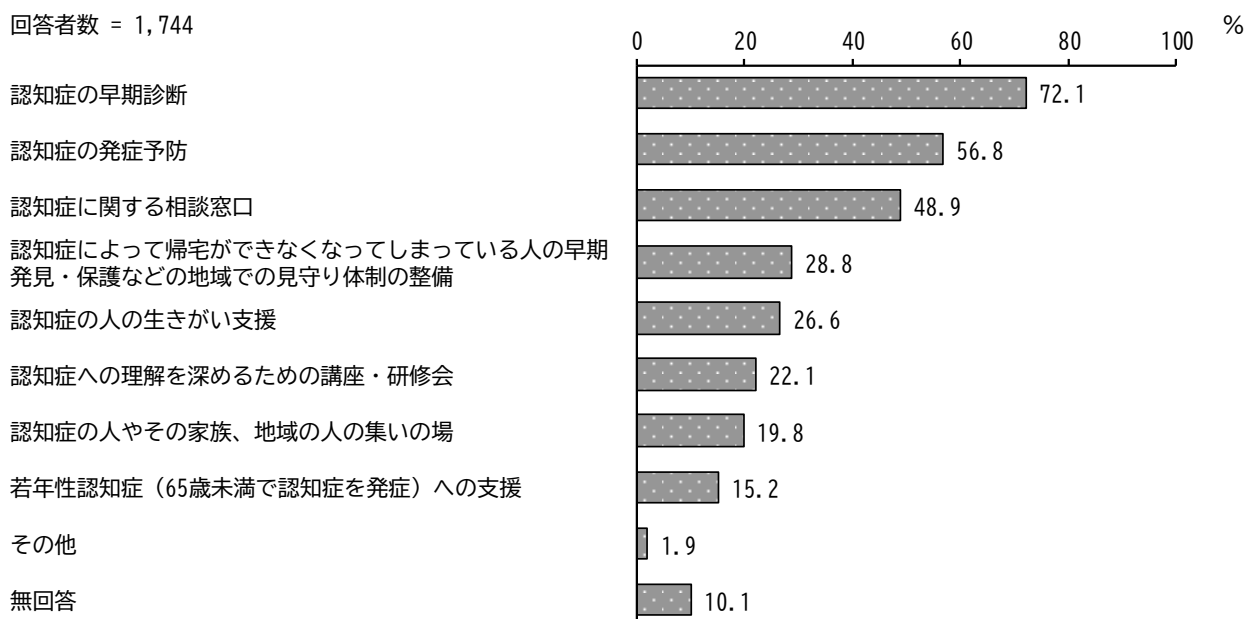
単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	10.7	83.9	5.4
一般高齢者	1332	11.3	84.4	4.4
要支援・事業対象者	411	8.8	82.5	8.8

問 63 認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために何が必要ですか。(いくつでも)

「認知症の早期診断」の割合が72.1%と最も高く、次いで「認知症の発症予防」の割合が56.8%、「認知症に関する相談窓口」の割合が48.9%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

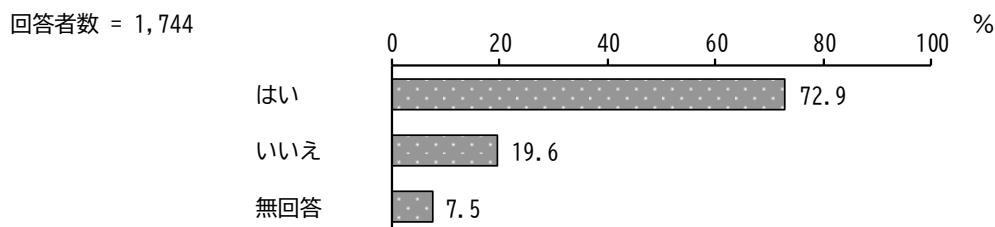
単位：％

区分	回答者数（件）	認知症の早期診断	認知症の発症予防	認知症に関する相談窓口	認知症によって帰宅ができなくなつてしまつている人の早期発見・保護などの地域での見守り体制の整備	認知症の人の生きがい支援	認知症への理解を深めるための講座・研修会	認知症の人やその家族、地域の人の集いの場	若年性認知症（25歳未満で認知症を発症）への支援	その他	無回答
全 体	1744	72.1	56.8	48.9	28.8	26.6	22.1	19.8	15.2	1.9	10.1
一般高齢者	1332	73.0	57.3	48.6	29.0	25.8	22.5	20.4	14.9	1.9	8.6
要支援・事業対象者	411	69.1	55.0	49.6	28.2	29.0	20.4	18.0	16.1	1.9	14.8

(10) 在宅医療について

問 64 日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が72.9%、「いいえ」の割合が19.6%となっています。



【介護状況別】

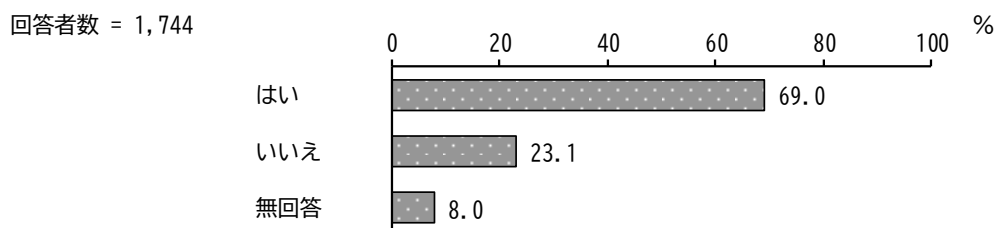
介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	72.9	19.6	7.5
一般高齢者	1332	70.8	22.0	7.2
要支援・事業対象者	411	79.8	11.7	8.5

問 65 日ごろから治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」はいますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が69.0%、「いいえ」の割合が23.1%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

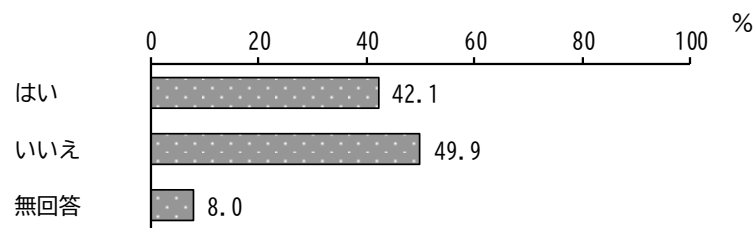
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	69.0	23.1	8.0
一般高齢者	1332	70.3	22.2	7.5
要支援・事業対象者	411	64.7	25.8	9.5

問 66 日ごろから指導を受けたり、薬に関して相談できる「かかりつけ薬局」はありますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が42.1%、「いいえ」の割合が49.9%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	42.1	49.9	8.0
一般高齢者	1332	38.9	53.3	7.8
要支援・事業対象者	411	52.8	38.7	8.5

(11) 介護保険について

問 67 今後、あなたご自身に介護が必要となった場合、どのような介護を希望しますか。(回答は1つ)

「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.2%、「老人ホームなどに入所したい」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 1,744

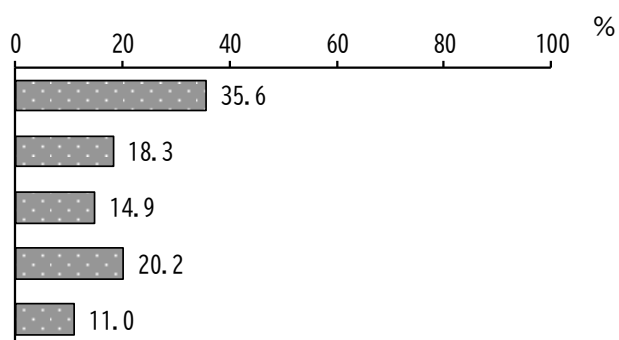
介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい

老人ホームなどに入所したい

家族などを中心に自宅で介護してほしい

わからない

無回答



【介護状況別】

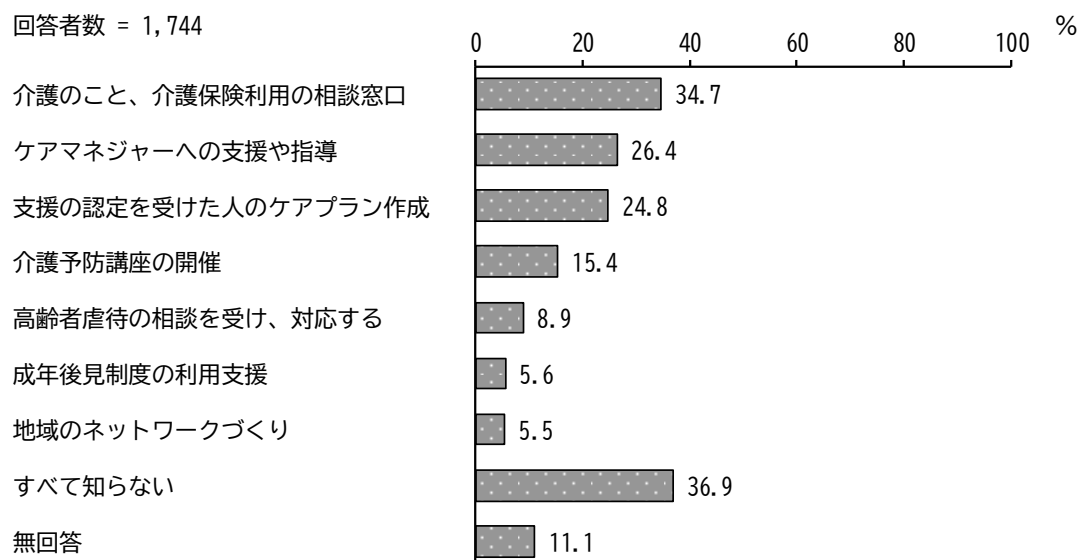
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族などを中心に自宅で介護してほしい	介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい	老人ホームなどに入所したい	わからない	無回答
全 体	1744	14.9	35.6	18.3	20.2	11.0
一般高齢者	1332	14.8	35.5	19.1	20.9	9.8
要支援・事業対象者	411	15.1	36.0	16.1	18.0	14.8

問 68 地域包括支援センターの役割として知っているものはどれですか。(いくつでも)

「すべて知らない」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が 34.7%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者で「すべて知らない」の割合が高く、要支援・事業対象者で「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」「ケアマネジャーへの支援や指導」「支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が高くなっています。

単位：%

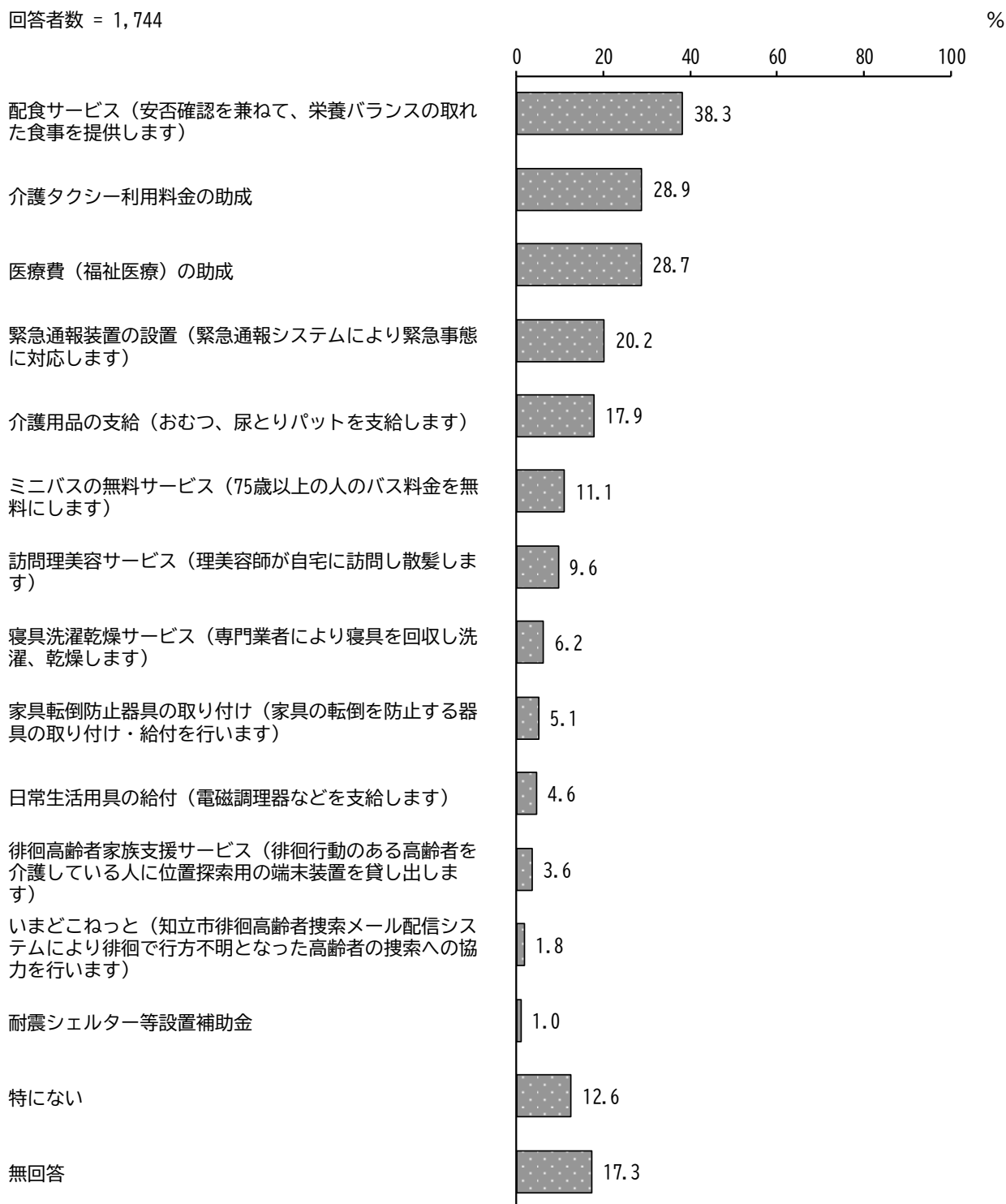
区分	回答者数(件)	介護予防講座の開催	高齢者虐待の相談を受け、対応する	成年後見制度の利用支援	介護のこと、介護保険利用の相談窓口	支援の認定を受けた人のケアプラン作成	地域のネットワークづくり	ケアマネジャーへの支援や指導	すべて知らない	無回答
全 体	1744	15.4	8.9	5.6	34.7	24.8	5.5	26.4	36.9	11.1
一般高齢者	1332	15.2	8.0	5.3	31.2	20.5	5.4	20.7	43.2	10.7
要支援・事業対象者	411	16.3	11.7	6.3	45.7	38.7	5.8	45.0	16.5	12.2

(12) 市の高齢者福祉について

問 69 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて、今後利用したいサービスはありますか。(回答は3つまで)

「配食サービス（安否確認を兼ねて、栄養バランスの取れた食事を提供します）」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「介護タクシー利用料金の助成」の割合が 28.9%、「医療費（福祉医療）の助成」の割合が 28.7%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「配食サービス（安否確認を兼ねて、栄養バランスの取れた食事を提供します）」「医療費（福祉医療）の助成」「緊急通報装置の設置（緊急通報システムにより緊急事態に対応します）」の割合が高くなっています。要支援・事業対象者では、一般高齢者に比べ「介護用品の支給（おむつ、尿とりパットを支給します）」「訪問理美容サービス（理美容師が自宅に訪問し散髪します）」の割合が高くなっています。

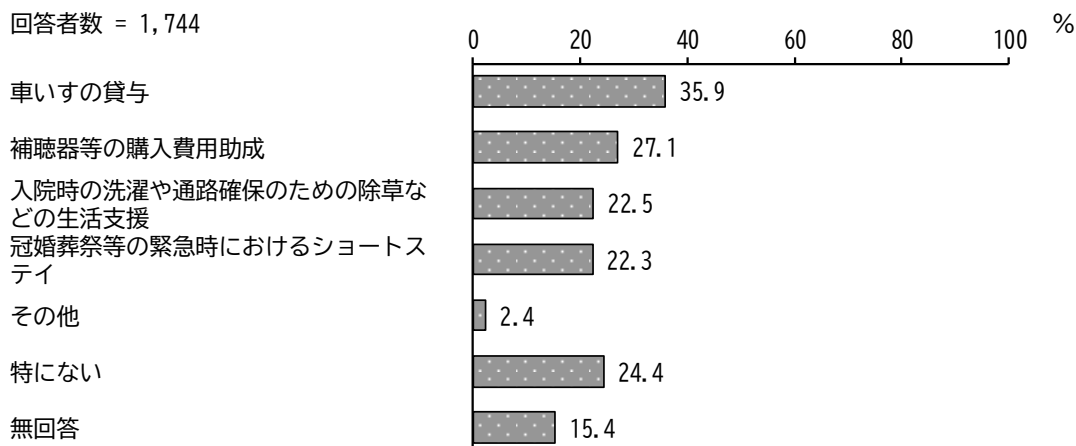
単位：％

区分	回答者数（件）	配食サービス（安否確認を兼ねて、栄養バランスの取れた食事を提供します）	日常生活用具の給付（電磁調理器などを支給します）	介護用品の支給（おむつ、尿とりパットを支給します）	緊急通報装置の設置（緊急通報システムにより緊急事態に対応します）	訪問理美容サービス（理美容師が自宅に訪問し散髪します）	ミニバスの無料サービス（75歳以上の人のバス料金を無料にします）	介護タクシー利用料金の助成	寝具洗濯乾燥サービス（専門業者により寝具を回収し洗濯、乾燥します）	徘徊高齢者家族支援サービス（徘徊行動のある高齢者を介護している人に位置探索用の端末を回収し洗濯、乾燥します）	いまだこねっと（知立市徘徊高齢者捜索メール配信システムにより徘徊で方向不明となつた徘徊高齢者を支援するサービス）	耐震シエルター等設置補助金	家具転倒防止器具の取り付け（家具の転倒を防止する器具の取り付け・給付を行います）	医療費（福祉医療）の助成	特にない	無回答
全 体	1744	38.3	4.6	17.9	20.2	9.6	11.1	28.9	6.2	3.6	1.8	1.0	5.1	28.7	12.6	17.3
一般高齢者	1332	40.5	4.9	16.4	21.9	7.4	12.1	28.0	5.8	3.6	2.2	1.1	4.5	31.5	13.8	15.8
要支援・事業対象者	411	31.4	3.6	22.9	14.8	16.8	8.0	31.9	7.5	3.4	0.5	1.0	7.1	19.7	8.3	22.1

問 70 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて、今後実施してほしいサービスはありますか。（回答は3つまで）

「車いすの貸与」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「補聴器等の購入費用助成」の割合が 27.1%、「特にない」の割合が 24.4%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、大きな差はみられません。

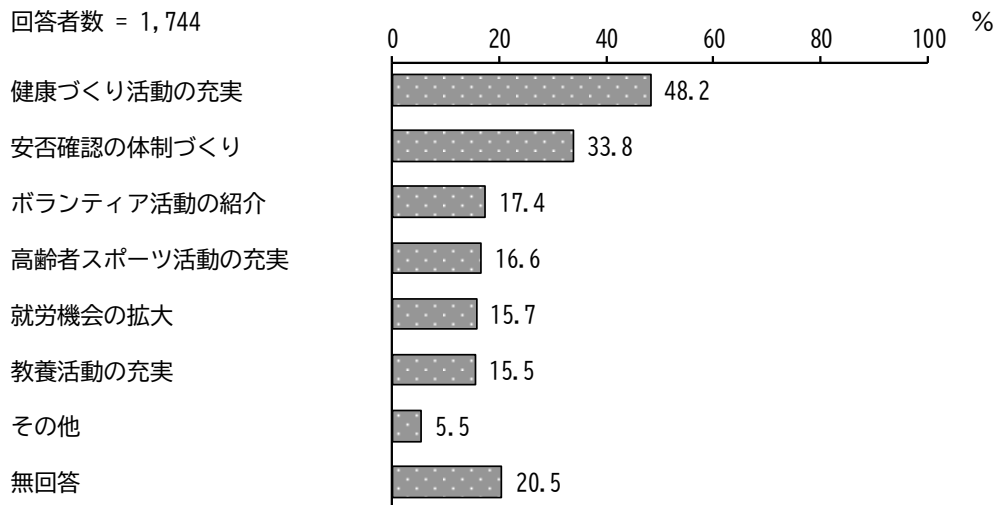
単位：％

区分	回答者数 (件)	車いすの貸与	冠婚葬祭等の緊急時 におけるシヨーツス ティ	入院時の洗濯や通路 確保のための除草な どの生活支援	補聴器等の購入費用 助成	その他	特にな い	無回 答
全 体	1744	35.9	22.3	22.5	27.1	2.4	24.4	15.4
一般高齢者	1332	36.6	23.3	22.2	27.4	2.5	25.4	13.9
要支援・事業対象者	411	33.8	19.0	23.4	26.0	2.2	21.2	20.4

問 71 高齢者の方々が生きがいをもって暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください。(回答は3つまで)

「健康づくり活動の充実」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「安否確認の体制づくり」の割合が 33.8%となっています。

回答者数 = 1,744



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「就労機会の拡大」「高齢者スポーツ活動の充実」の割合が高くなっています。

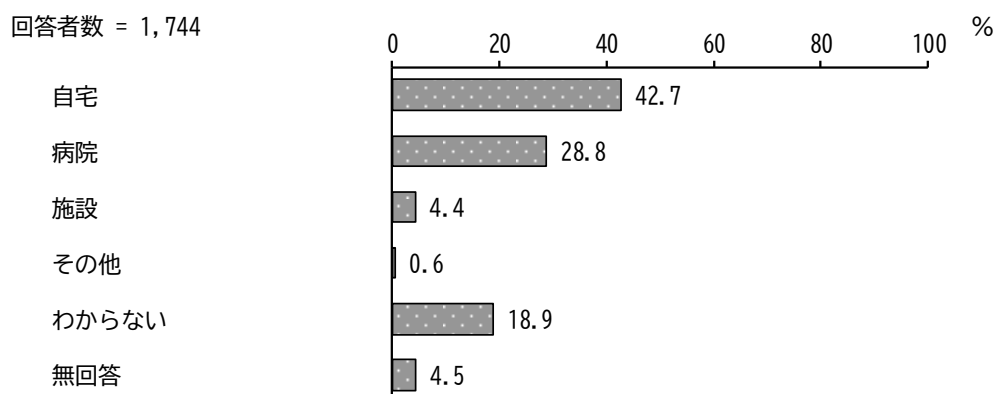
単位：％

区分	回答者数 (件)	就労機会の拡大	ボランティア活動 の紹介	教養活動の充実	安否確認の体制づ くり	健康づくり活動の 充実	高齢者スポーツ活 動の充実	その他	無回答
全 体	1744	15.7	17.4	15.5	33.8	48.2	16.6	5.5	20.5
一般高齢者	1332	18.4	17.5	16.2	34.3	50.3	18.8	4.7	18.5
要支援・事業対象 者	411	6.8	17.0	13.1	32.4	41.6	9.2	8.0	27.0

(13) 終末期の考え方について

問 72 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか。(回答は1つ)

「自宅」の割合が42.7%と最も高く、次いで「病院」の割合が28.8%、「わからない」の割合が18.9%となっています。



【介護状況別】

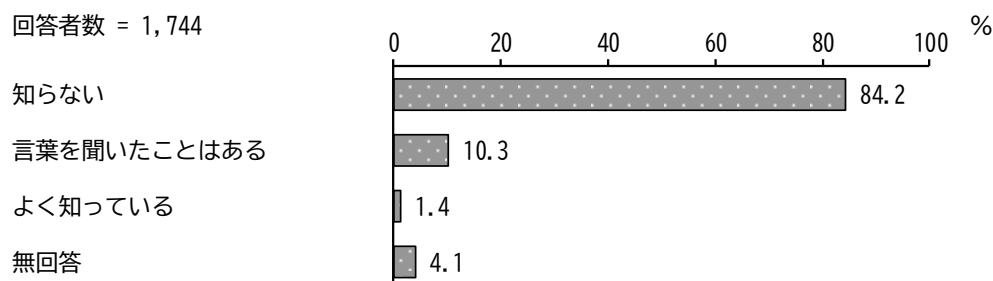
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅	病院	施設	その他	わからない	無回答
全 体	1744	42.7	28.8	4.4	0.6	18.9	4.5
一般高齢者	1332	43.2	28.6	3.8	0.8	20.0	3.7
要支援・事業対象者	411	41.4	29.7	6.1	0.2	15.3	7.3

問 73 「人生会議（ACP）」について、知っていますか。（回答は1つ）

「知らない」の割合が84.2%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」の割合が10.3%となっています。



【介護状況別】

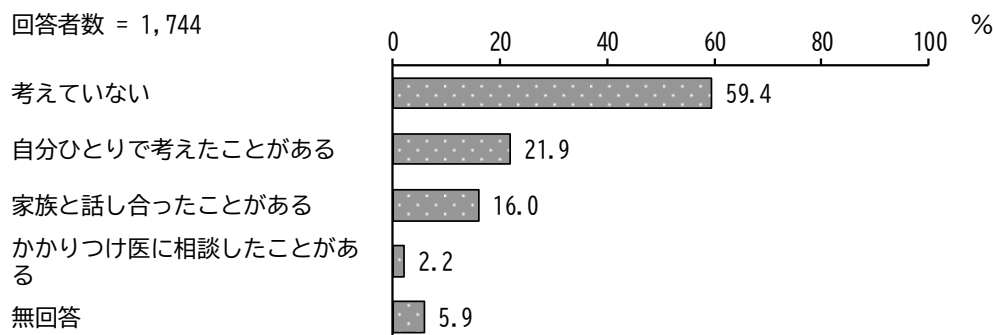
介護状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく 知っている	言葉 を聞いた ことは ある	知らない	無 回答
全 体	1744	1.4	10.3	84.2	4.1
一般高齢者	1332	1.4	9.8	85.2	3.5
要支援・事業対象者	411	1.2	11.9	80.8	6.1

問 74 あなたは、「人生会議（ACP）」について、考えていますか。（いくつでも）

「考えていない」の割合が59.4%と最も高く、次いで「自分ひとりで考えたことがある」の割合が21.9%、「家族と話し合ったことがある」の割合が16.0%となっています。



【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者では「考えていない」の割合が高くなっています。反対に、要支援・事業対象者では「考えたことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

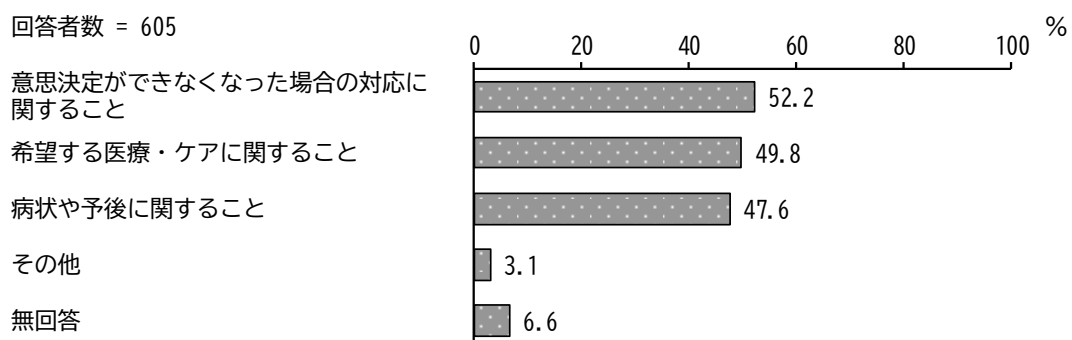
区分	回答者数 (件)	自分ひとりで考 えたことがある	かかりつけ医に相 談したことがある	家族と話し合っ たことがある	考えていない	無回 答
全 体	1744	21.9	2.2	16.0	59.4	5.9
一般高齢者	1332	20.3	1.4	15.3	62.5	4.4
要支援・事業対象者	411	27.0	4.6	18.2	49.1	10.7

【問 74 で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」の方のみ】

問 74-① どのような内容を考えましたか、または話しましたか。(いくつでも)

「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」の割合が49.8%、「病状や予後に関すること」の割合が47.6%となっています。

回答者数 = 605



【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「希望する医療・ケアに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

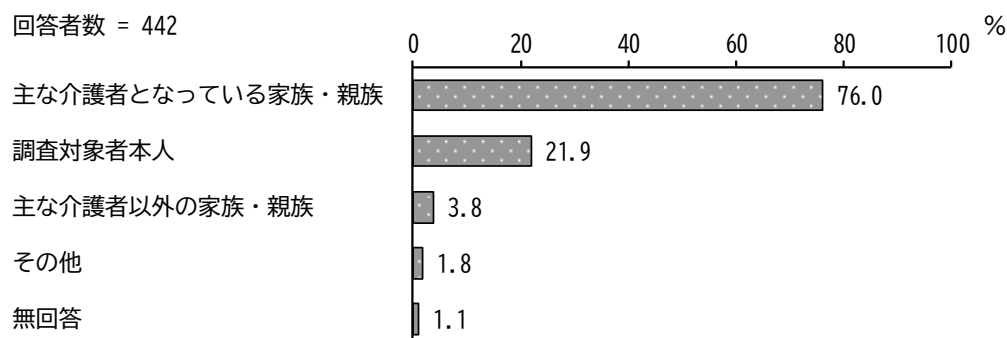
区分	回答者数(件)	病状や予後に関する こと	希望する医療・ケア に関すること	意思決定ができな くなった場合の対 応に関すること	その他	無回答
全 体	605	47.6	49.8	52.2	3.1	6.6
一般高齢者	440	46.6	47.7	52.7	3.0	5.7
要支援・事業対象者	165	50.3	55.2	50.9	3.6	9.1

2 在宅介護実態調査

(1) あて名の方ご自身のことについて

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数選択可)

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が76.0%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が21.9%となっています。



【介護度別】

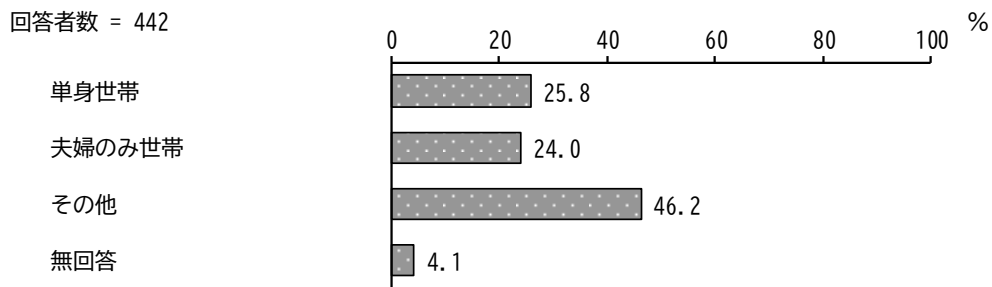
介護度別にみると、要介護1で他の介護度と比べて「調査対象者本人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答
全 体	442	21.9	76.0	3.8	1.8	1.1
要介護1	161	27.3	72.0	1.9	1.9	—
要介護2	129	21.7	72.9	8.5	2.3	—
要介護3	63	14.3	84.1	3.2	1.6	3.2
要介護4	54	18.5	83.3	1.9	—	1.9
要介護5	34	17.6	79.4	—	2.9	5.9

問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

「単身世帯」の割合が25.8%、「夫婦のみ世帯」の割合が24.0%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「単身世帯」の割合が低くなる傾向にありますが、要介護5の「単身世帯」の割合は要介護3、要介護4に比べ高くなっています。

単位：％

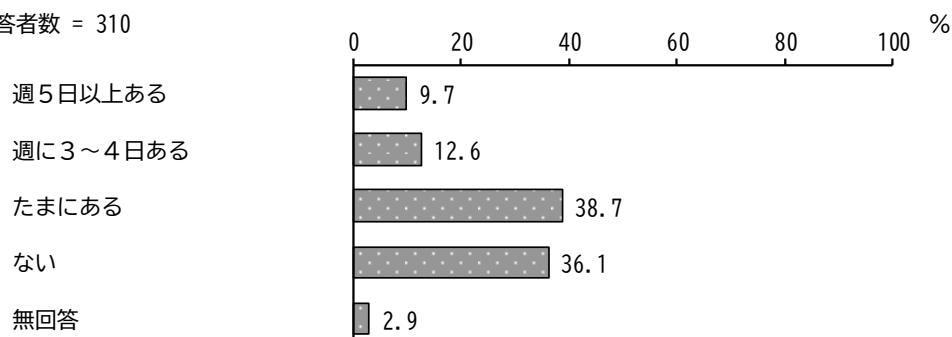
区分	回答者数 (件)	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全 体	442	25.8	24.0	46.2	4.1
要介護1	161	33.5	26.1	38.5	1.9
要介護2	129	27.9	20.9	46.5	4.7
要介護3	63	11.1	31.7	55.6	1.6
要介護4	54	13.0	22.2	55.6	9.3
要介護5	34	26.5	14.7	50.0	8.8

【問2で「夫婦のみ世帯」「その他」と回答した方にお伺いします】

問2-1 ご本人は、日中一人になることがありますか。（1つを選択）

「たまにある」の割合が38.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が36.1%となっています。

回答者数 = 310



【介護度別】

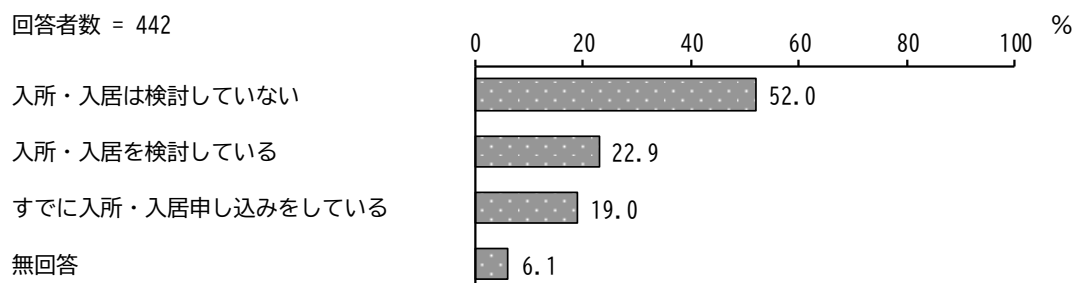
介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護5で「ない」の割合が高く、「たまにある」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	週5日以上ある	週に3～4日ある	たまにある	ない	無回答
全 体	310	9.7	12.6	38.7	36.1	2.9
要介護1	104	14.4	14.4	39.4	29.8	1.9
要介護2	87	11.5	11.5	39.1	35.6	2.3
要介護3	55	3.6	16.4	41.8	32.7	5.5
要介護4	42	4.8	7.1	42.9	42.9	2.4
要介護5	22	4.5	9.1	18.2	63.6	4.5

問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

「入所・入居は検討していない」の割合が52.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が22.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が19.0%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高く、「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっています。

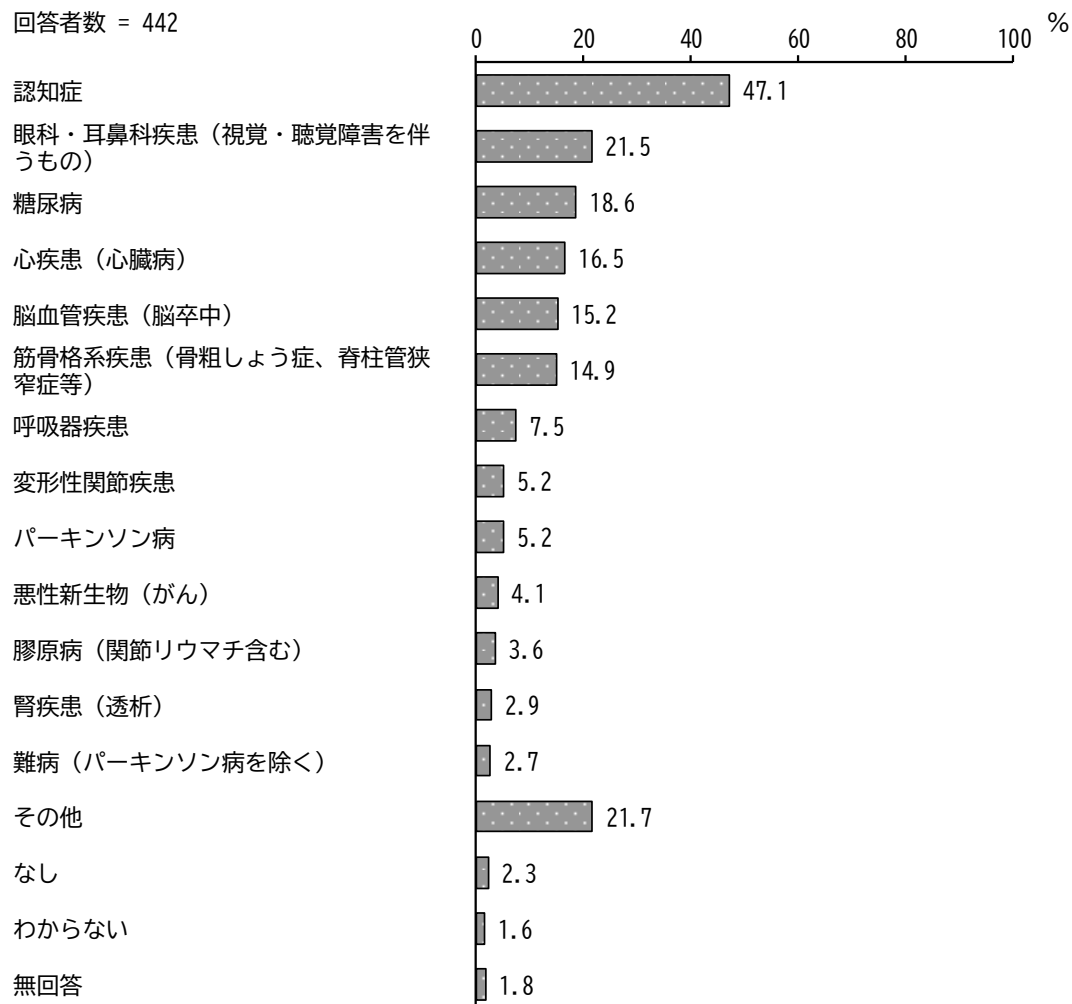
単位：%

区分	回答者数 (件)	入所・入居は検討 していない	入所・入居を検討 している	すでに入所・入居申 し込みをしている	無回答
全 体	442	52.0	22.9	19.0	6.1
要介護1	161	59.0	21.1	12.4	7.5
要介護2	129	51.2	27.1	15.5	6.2
要介護3	63	49.2	22.2	25.4	3.2
要介護4	54	44.4	20.4	29.6	5.6
要介護5	34	41.2	20.6	32.4	5.9

問4 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

「認知症」の割合が47.1%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が21.5%、「糖尿病」の割合が18.6%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、要介護１で「認知症」の割合が、要介護３で「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が、要介護５で「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が高くなっています。

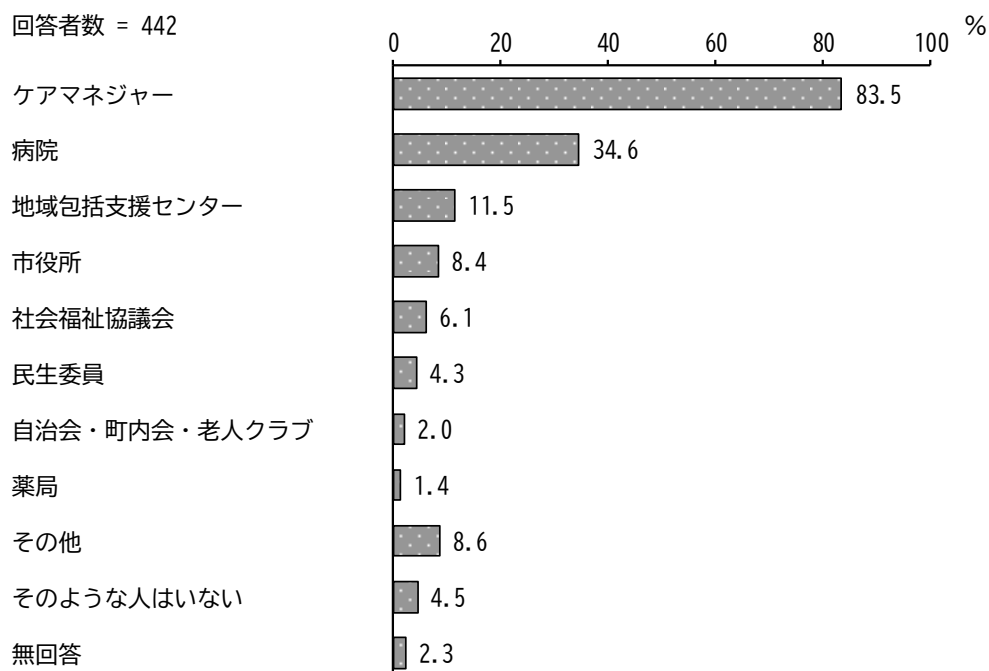
単位：％

区分	回答者数（件）	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患
全 体	442	15.2	16.5	4.1	7.5	2.9	14.9	3.6	5.2
要介護１	161	11.8	15.5	3.7	5.6	1.9	16.1	2.5	5.0
要介護２	129	14.7	20.9	5.4	10.1	2.3	15.5	3.1	3.9
要介護３	63	22.2	19.0	1.6	6.3	3.2	15.9	6.3	9.5
要介護４	54	14.8	7.4	3.7	11.1	3.7	9.3	5.6	5.6
要介護５	34	20.6	14.7	5.9	2.9	8.8	14.7	2.9	2.9

区分	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	（眼科・耳鼻科疾患を伴うもの）	その他	なし	わからない	無回答
全 体	47.1	5.2	2.7	18.6	21.5	21.7	2.3	1.6	1.8
要介護１	59.6	3.1	2.5	21.7	24.2	21.7	3.1	0.6	1.2
要介護２	41.1	3.1	2.3	20.2	22.5	19.4	1.6	1.6	1.6
要介護３	46.0	9.5	1.6	15.9	23.8	20.6	－	1.6	1.6
要介護４	33.3	11.1	3.7	11.1	16.7	22.2	1.9	5.6	1.9
要介護５	32.4	5.9	5.9	14.7	8.8	32.4	5.9	－	5.9

問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（複数選択可）

「ケアマネジャー」の割合が83.5%と最も高く、次いで「病院」の割合が34.6%、「地域包括支援センター」の割合が11.5%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護5で「社会福祉協議会」の割合が高くなっています。また、要介護1と要介護2では、他の介護度に比べ「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。

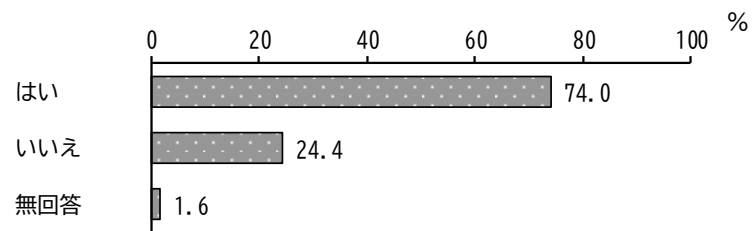
単位：%

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会	ケアマネジャー	民生委員	病院	薬局	地域包括支援センター	市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	442	2.0	6.1	83.5	4.3	34.6	1.4	11.5	8.4	8.6	4.5	2.3
要介護1	161	1.2	1.9	84.5	4.3	29.2	0.6	14.9	4.3	7.5	6.8	1.9
要介護2	129	3.9	6.2	79.8	4.7	38.0	2.3	15.5	10.9	4.7	4.7	1.6
要介護3	63	—	9.5	82.5	7.9	44.4	1.6	6.3	14.3	14.3	3.2	1.6
要介護4	54	3.7	5.6	92.6	1.9	25.9	—	3.7	3.7	5.6	—	3.7
要介護5	34	—	20.6	79.4	—	44.1	2.9	2.9	14.7	23.5	2.9	5.9

問6 外出を控えていますか。(1つを選択)

「はい」の割合が74.0%、「いいえ」の割合が24.4%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が上がるにつれて外出を控える傾向にあります。

単位：%

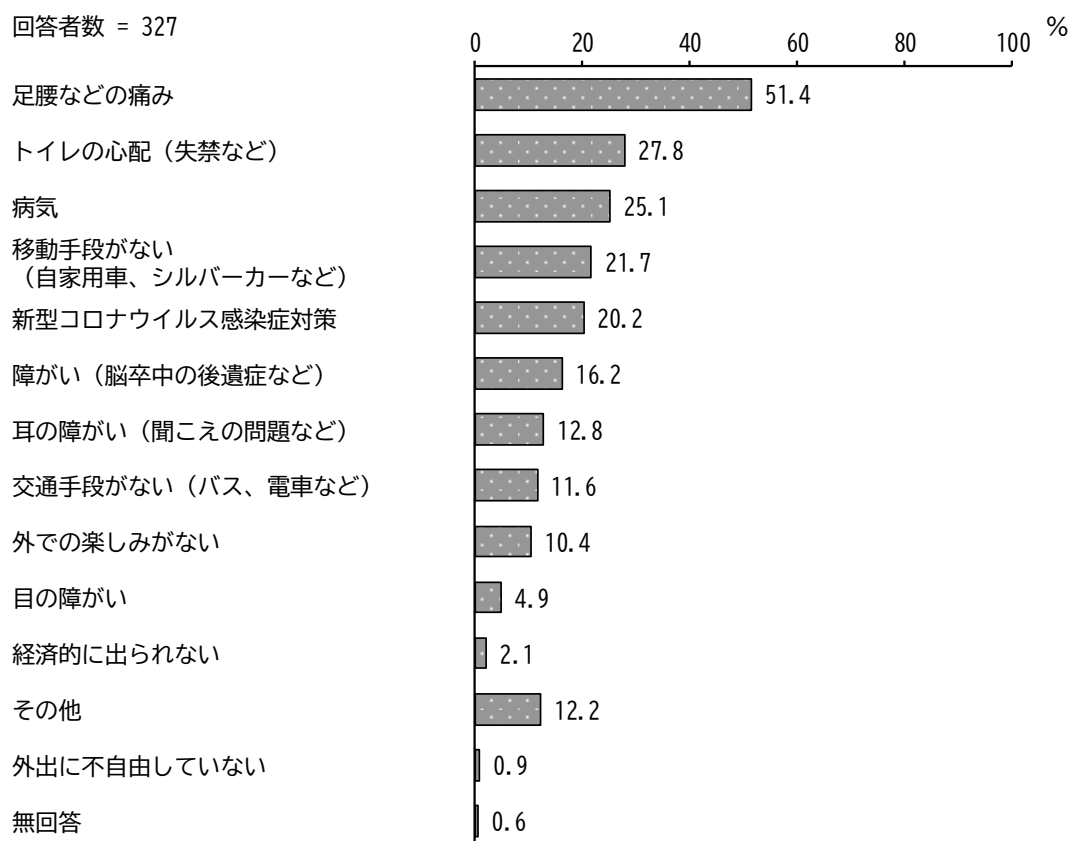
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	442	74.0	24.4	1.6
要介護1	161	65.2	34.8	—
要介護2	129	78.3	20.9	0.8
要介護3	63	76.2	20.6	3.2
要介護4	54	79.6	16.7	3.7
要介護5	34	85.3	8.8	5.9

【問6で「はい」（外出を控えている）と回答した方にお伺いします】

問6-1 外出を難しくしている理由は、次のどれですか。（複数選択可）

「足腰などの痛み」の割合が51.4%と最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」の割合が27.8%、「病気」の割合が25.1%となっています。

回答者数 = 327



【介護度別】

介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護 5 で「病気」「障がい（脳卒中の後遺症など）」の割合が高く、「足腰などの痛み」「耳の障がい（聞こえの問題など）」の割合が低くなっています。要介護 1 では、他の介護度に比べ「トイレの心配（失禁など）」の割合が低くなっています。また、介護度が上がるにつれて「交通手段がない（バス、電車など）」の割合は低くなる傾向にあります。要介護 5 では他の介護度に比べ「交通手段がない（バス、電車など）」の割合が高くなっています。

単位：％

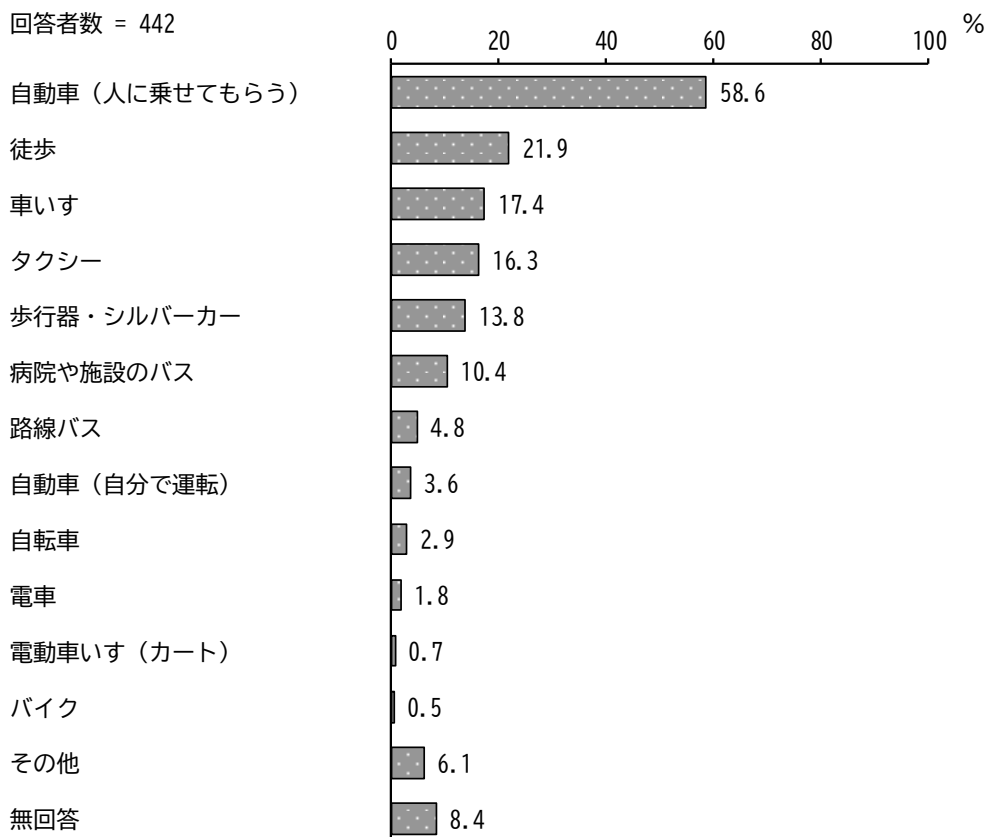
区分	回答者数（件）	病気	障がい（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	い外での楽しみがない
全 体	327	25.1	16.2	51.4	27.8	12.8	4.9	10.4
要介護 1	105	18.1	7.6	61.0	18.1	12.4	2.9	17.1
要介護 2	101	25.7	15.8	55.4	34.7	14.9	6.9	10.9
要介護 3	48	29.2	22.9	47.9	29.2	12.5	8.3	2.1
要介護 4	43	23.3	14.0	44.2	34.9	14.0	4.7	4.7
要介護 5	29	44.8	41.4	20.7	27.6	6.9	—	6.9

区分	い 経済的に出られない	交通手段がない（バス、電車など）	移動手段がない（自家用車、シルバーカーなど）	新型コロナウイルス感染症対策	その他	外出に不自由していない	無回答
全 体	2.1	11.6	21.7	20.2	12.2	0.9	0.6
要介護 1	1.0	14.3	27.6	17.1	10.5	—	1.0
要介護 2	1.0	12.9	24.8	21.8	10.9	1.0	—
要介護 3	6.3	6.3	14.6	16.7	14.6	—	—
要介護 4	2.3	4.7	11.6	20.9	11.6	4.7	—
要介護 5	3.4	17.2	17.2	27.6	20.7	—	3.4

問7 どのようにして外出していますか。(複数選択可)

「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 21.9%、「車いす」の割合が 17.4%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「歩行器・シルバーカー」の割合が低くなり、「車いす」の割合が高くなる傾向にあります。要介護5では、「電動車いす（カート）」を利用する人もいます。また、要介護5では他の介護度に比べ「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が低くなっています。

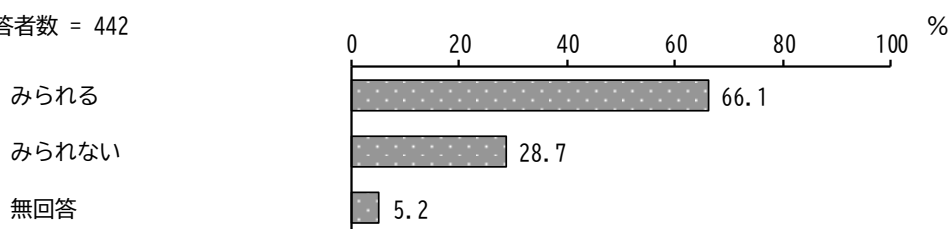
単位：%

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車 (人に乗せて もらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体	442	21.9	2.9	0.5	3.6	58.6	1.8	4.8	10.4	17.4	0.7	13.8	16.3	6.1	8.4
要介護1	161	36.0	6.2	0.6	5.6	65.2	4.3	5.6	13.7	6.2	—	16.1	14.3	3.1	1.9
要介護2	129	25.6	2.3	0.8	5.4	59.7	0.8	8.5	6.2	13.2	0.8	17.8	18.6	5.4	6.2
要介護3	63	7.9	—	—	—	69.8	—	1.6	7.9	25.4	—	11.1	11.1	4.8	14.3
要介護4	54	1.9	—	—	—	44.4	—	—	13.0	40.7	—	7.4	16.7	11.1	16.7
要介護5	34	—	—	—	—	23.5	—	—	11.8	35.3	5.9	2.9	23.5	17.6	23.5

問8 認知症の症状（記憶が抜け落ちてしまう、日時や場所がわからない、今までできたことができなくなる等）がみられますか。（1つを選択）

「みられる」の割合が66.1%、「みられない」の割合が28.7%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、要介護4で「みられない」の割合が、要介護1で「みられる」の割合が高くなっています。

単位：%

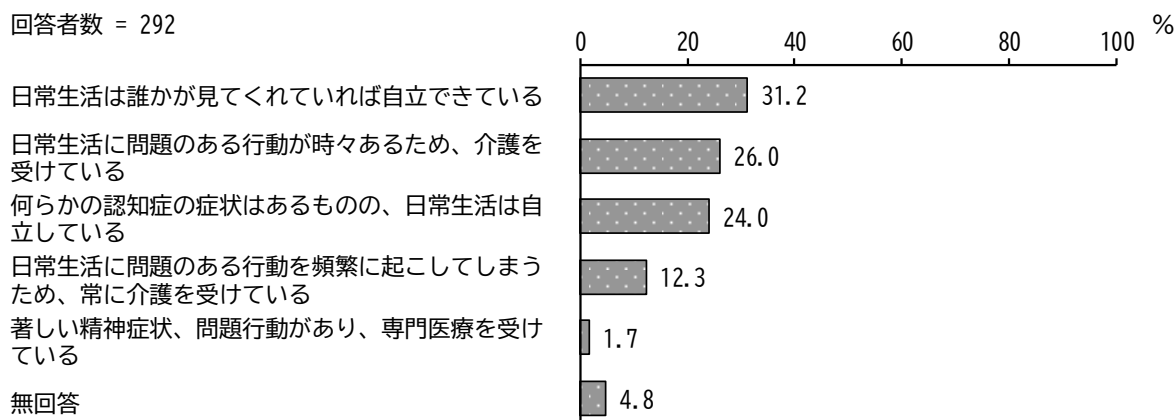
区分	回答者数 (件)	みられる	みられない	無回答
全 体	442	66.1	28.7	5.2
要介護1	161	72.7	22.4	5.0
要介護2	129	63.6	30.2	6.2
要介護3	63	61.9	33.3	4.8
要介護4	54	57.4	38.9	3.7
要介護5	34	64.7	29.4	5.9

【問8で「みられる」と回答した方にお伺いします】

問8-1 それは以下のどの状態に近いですか。次の番号から選んでください。
(1つを選択)

「日常生活は誰かが見てくれていると自立できている」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」の割合が 26.0%、「何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している」の割合が 24.0%となっています。

回答者数 = 292



【介護度別】

介護度別にみると、要介護5で「日常生活に問題のある行動を頻繁に起こしてしまうため、常に介護を受けている」の割合が、要介護3で「日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」の割合が、要介護4で「何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	日常生活は自立している	日常生活は誰かが見てくれていると自立できている	日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている	日常生活に問題のある行動を頻繁に起こしてしまうため、常に介護を受けている	著しい精神症状、問題行動があり、専門医療を受けている	無回答
全 体	292	24.0	31.2	26.0	12.3	1.7	4.8
要介護1	117	30.8	38.5	23.1	3.4	1.7	2.6
要介護2	82	18.3	36.6	25.6	13.4	1.2	4.9
要介護3	39	17.9	12.8	38.5	20.5	—	10.3
要介護4	31	32.3	29.0	22.6	16.1	—	—
要介護5	22	9.1	9.1	27.3	31.8	9.1	13.6

【問8-1で「日常生活は誰かが見てくれていると回答した方にお伺いします】

問8-2 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。（1つを選択）

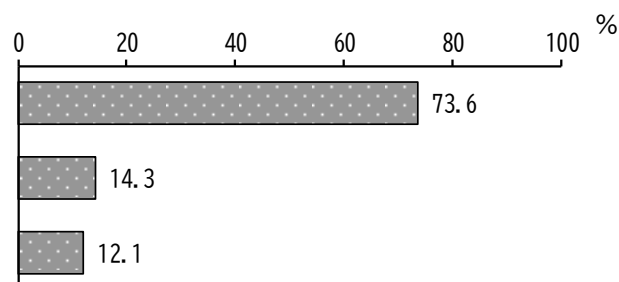
「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い」の割合が14.3%、「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったりするだけでなく、家庭でも薬の管理ができなかったり、電話の対応ができないことがある」の割合が73.6%となっています。

回答者数 = 91

外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったりするだけでなく、家庭でも薬の管理ができなかったり、電話の対応ができないことがある

外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い

無回答



【介護度別】

介護度別にみると、要介護1で「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったりするだけでなく、家庭でも薬の管理ができなかったり、電話の対応ができないことがある」の割合が、要介護2で「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い」の割合が高くなっています。

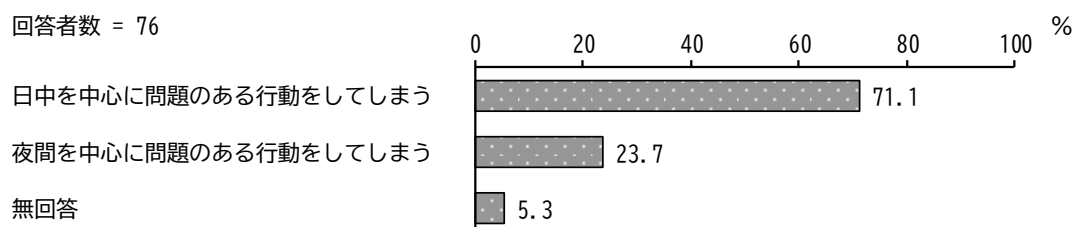
単位：％

区分	回答者数（件）	外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い	外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったりするだけでなく、家庭でも薬の管理ができなかったり、電話の対応ができないことがある	無回答
全 体	91	14.3	73.6	12.1
要介護1	45	8.9	84.4	6.7
要介護2	30	20.0	66.7	13.3
要介護3	5	—	40.0	60.0
要介護4	9	33.3	55.6	11.1
要介護5	2	—	100.0	—

【問8-1で「日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」と回答した方にお伺いします】

問8-3 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。（1つを選択）

「日中を中心に問題のある行動をしてしまう」の割合が71.1%、「夜間を中心に問題のある行動をしてしまう」の割合が23.7%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、要介護3で「夜間を中心に問題のある行動をしてしまう」の割合が、要介護1で「日中を中心に問題のある行動をしてしまう」の割合が高くなっています。

単位：%

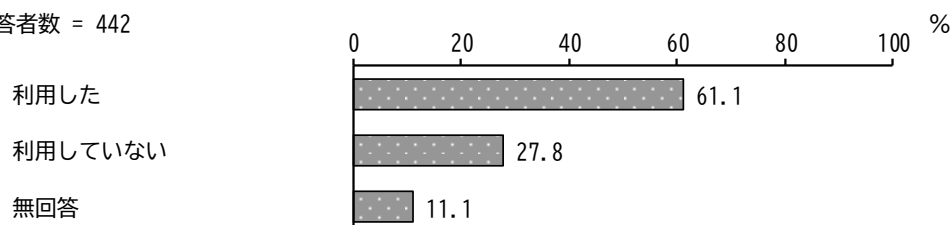
区分	回答者数 (件)	日中を中心に問題 のある行動をして しまう	夜間を中心に問題 のある行動をして しまう	無回答
全 体	76	71.1	23.7	5.3
要介護1	27	88.9	7.4	3.7
要介護2	21	71.4	23.8	4.8
要介護3	15	53.3	46.7	—
要介護4	7	42.9	42.9	14.3
要介護5	6	66.7	16.7	16.7

(2) 介護保険サービスについて

問9 最近1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

「利用した」の割合が61.1%、「利用していない」の割合が27.8%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、要介護4で「利用した」の割合が、要介護3で「利用した」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用した	利用していない	無回答
全 体	442	61.1	27.8	11.1
要介護1	161	57.8	30.4	11.8
要介護2	129	58.1	31.0	10.9
要介護3	63	66.7	20.6	12.7
要介護4	54	68.5	25.9	5.6
要介護5	34	64.7	20.6	14.7

【問9で「利用していない」と回答した方にお伺いします】

問9-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」の割合が 21.1%、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 16.3%となっています。

回答者数 = 123

現状では、サービスを利用するほどの状態ではない

家族が介護をするため必要ない

本人にサービス利用の希望がない

住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため

サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない

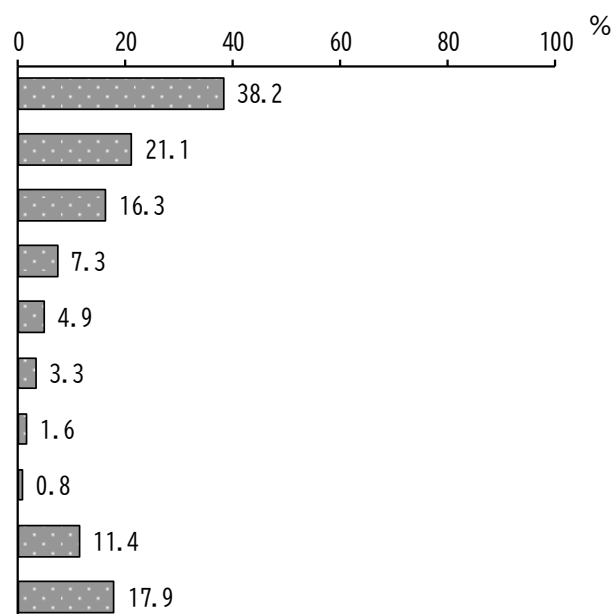
利用したいサービスが利用できない、身近にない

利用料を支払うのが難しい

以前、利用していたサービスに不満があった

その他

無回答



【介護度別】

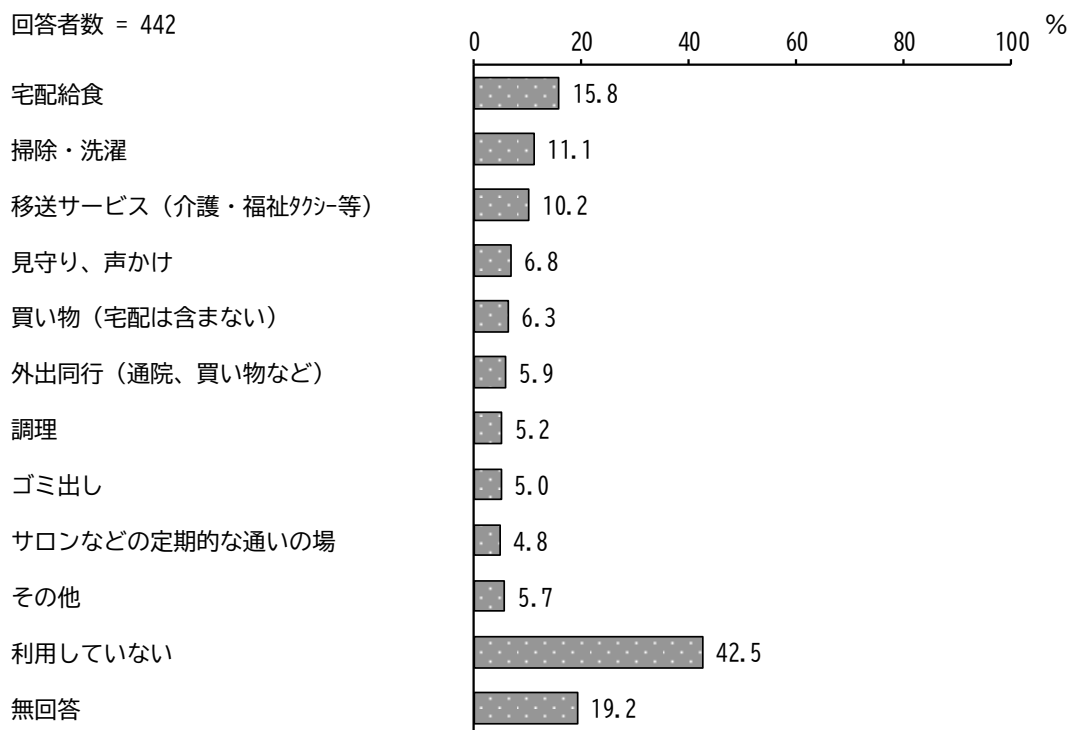
介護度別にみると、要介護1で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全 体	123	38.2	16.3	21.1	0.8	1.6	3.3	7.3	4.9	11.4	17.9
要介護1	49	49.0	26.5	16.3	—	2.0	—	2.0	6.1	8.2	12.2
要介護2	40	37.5	12.5	25.0	—	—	10.0	10.0	2.5	7.5	17.5
要介護3	13	23.1	15.4	23.1	7.7	—	—	15.4	7.7	7.7	30.8
要介護4	14	28.6	—	14.3	—	—	—	—	7.1	35.7	21.4
要介護5	7	14.3	—	42.9	—	14.3	—	28.6	—	14.3	28.6

問 10 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

「利用していない」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「宅配給食」の割合が 15.8%となっています。



【介護度別】

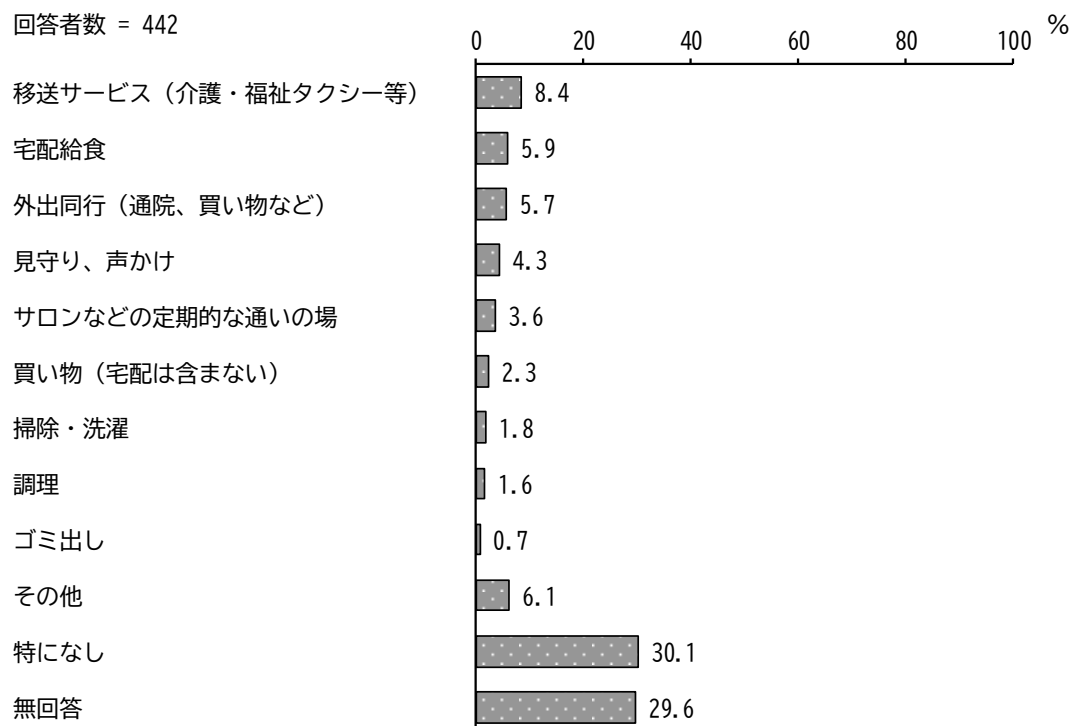
介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「宅配給食」の割合が低くなり、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなる傾向にあります。また、介護度が上がるにつれて「掃除・洗濯」の割合は低くなる傾向にあります。要介護5では他の介護度に比べ「掃除・洗濯」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	宅配給食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体	442	15.8	5.2	11.1	6.3	5.0	5.9	10.2	6.8	4.8	5.7	42.5	19.2
要介護1	161	20.5	6.2	11.2	6.2	5.0	5.0	6.8	6.2	4.3	7.5	42.9	16.1
要介護2	129	17.1	3.1	10.9	6.2	5.4	5.4	4.7	6.2	7.0	3.9	42.6	22.5
要介護3	63	12.7	6.3	9.5	6.3	6.3	7.9	7.9	9.5	3.2	4.8	50.8	20.6
要介護4	54	9.3	1.9	5.6	3.7	1.9	5.6	22.2	3.7	3.7	5.6	37.0	20.4
要介護5	34	5.9	8.8	20.6	8.8	5.9	8.8	32.4	8.8	2.9	5.9	35.3	17.6

問 11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（1つを選択）

「特になし」の割合が 30.1%と最も高くなっています。



【介護度別】

介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護 4 で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

単位：%

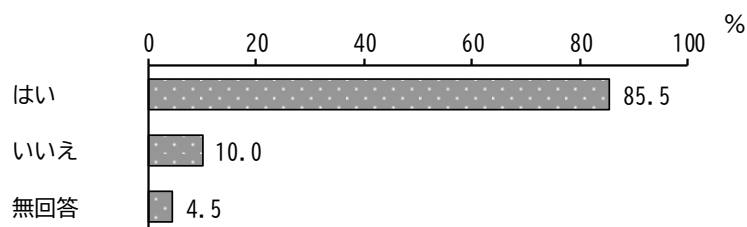
区分	回答者数 (件)	宅配給食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含 まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買 い物など)	移送サ ービス (介護・ 福祉タ クシー 等)	見守り、 声かけ	サロ ンな どの 定 期 的 な 通 い の 場	その他	特になし	無回答
全 体	442	5.9	1.6	1.8	2.3	0.7	5.7	8.4	4.3	3.6	6.1	30.1	29.6
要介護 1	161	5.6	2.5	—	3.1	1.2	6.8	6.8	6.2	5.0	2.5	27.3	32.9
要介護 2	129	7.8	1.6	2.3	0.8	—	6.2	8.5	3.9	4.7	7.8	31.8	24.8
要介護 3	63	4.8	1.6	4.8	1.6	—	1.6	3.2	3.2	3.2	7.9	34.9	33.3
要介護 4	54	3.7	—	1.9	—	1.9	5.6	20.4	3.7	—	11.1	27.8	24.1
要介護 5	34	5.9	—	2.9	8.8	—	2.9	5.9	—	—	5.9	32.4	35.3

(3) 在宅医療について

問 12 日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。(1つを選択)

「はい」の割合が85.5%、「いいえ」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	442	85.5	10.0	4.5
要介護1	161	83.9	11.8	4.3
要介護2	129	82.2	12.4	5.4
要介護3	63	88.9	7.9	3.2
要介護4	54	92.6	3.7	3.7
要介護5	34	88.2	5.9	5.9

問 13 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

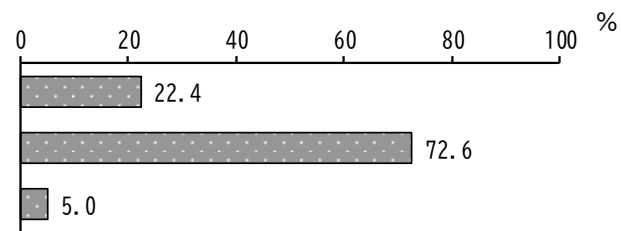
「利用している」の割合が 22.4%、「利用していない」の割合が 72.6%となっています。

回答者数 = 442

利用している

利用していない

無回答



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「利用している」の割合が高くなる傾向にあります。

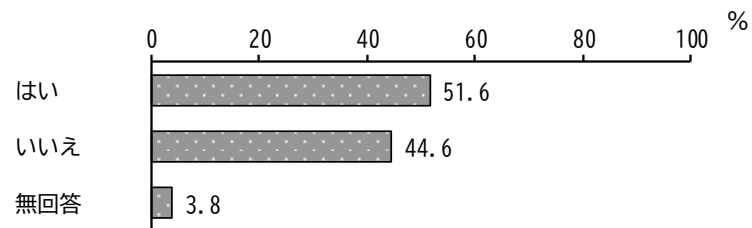
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
全 体	442	22.4	72.6	5.0
要介護 1	161	8.7	87.6	3.7
要介護 2	129	17.8	76.0	6.2
要介護 3	63	22.2	71.4	6.3
要介護 4	54	42.6	51.9	5.6
要介護 5	34	70.6	26.5	2.9

問 14 日ごろから治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」はいますか。（1つを選択）

「はい」の割合が51.6%、「いいえ」の割合が44.6%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、要介護4で「はい」の割合が、要介護1で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：%

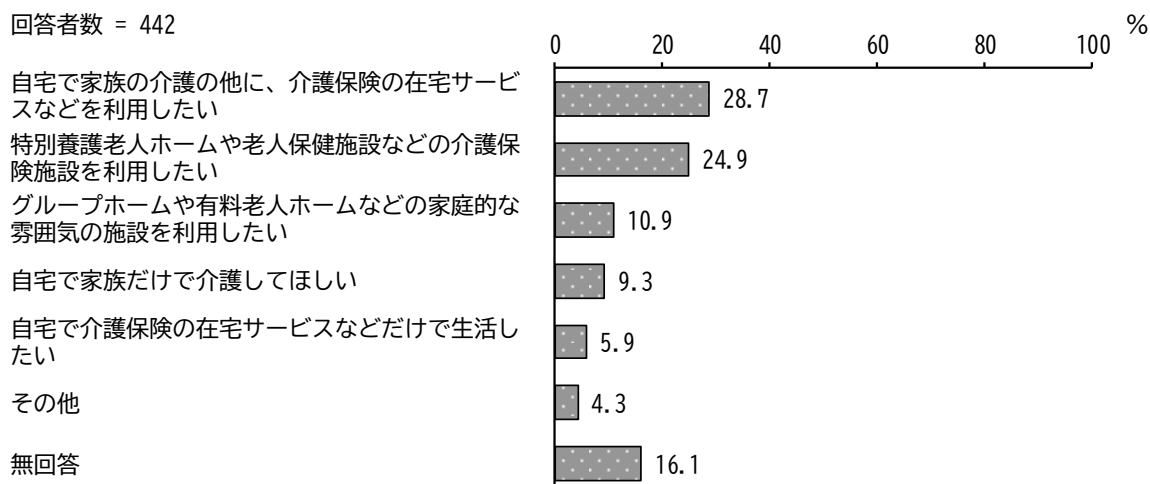
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	442	51.6	44.6	3.8
要介護1	161	46.6	50.9	2.5
要介護2	129	52.7	42.6	4.7
要介護3	63	49.2	46.0	4.8
要介護4	54	63.0	35.2	1.9
要介護5	34	55.9	35.3	8.8

(4) 今後の介護の希望について

問 15 今後、どのように介護してほしいと思いますか。(1つを選択)

「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」の割合が28.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」の割合が24.9%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護5で「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」の割合が低くなっています。

単位：%

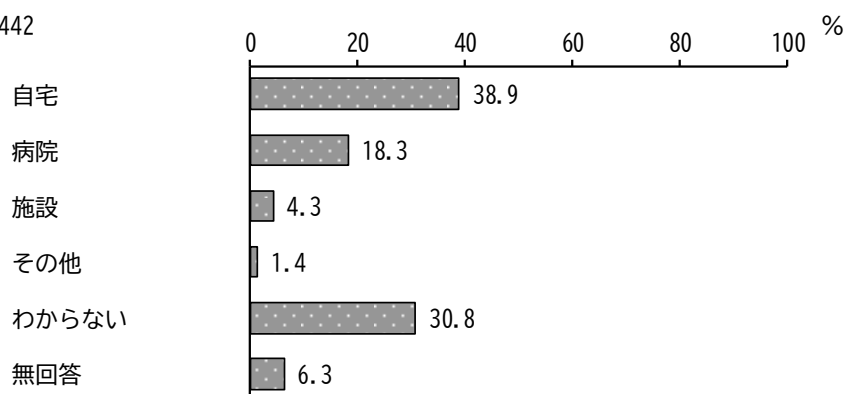
区分	回答者数(件)	自宅で家族だけで介護してほしい	他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい	自宅で介護保険の在宅サービスなどで生活したい	グループホームや有料老人ホームなどの家庭的な雰囲気の施設を利用したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい	その他	無回答
全 体	442	9.3	28.7	5.9	10.9	24.9	4.3	16.1
要介護1	161	8.1	26.7	7.5	13.0	24.8	5.6	14.3
要介護2	129	10.1	33.3	3.1	10.9	21.7	3.1	17.8
要介護3	63	11.1	30.2	3.2	6.3	28.6	4.8	15.9
要介護4	54	7.4	31.5	9.3	9.3	25.9	3.7	13.0
要介護5	34	11.8	14.7	8.8	11.8	26.5	2.9	23.5

(5) 終末期の考え方について

問 16 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか。(1つを選択)

「自宅」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 30.8%、「病院」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

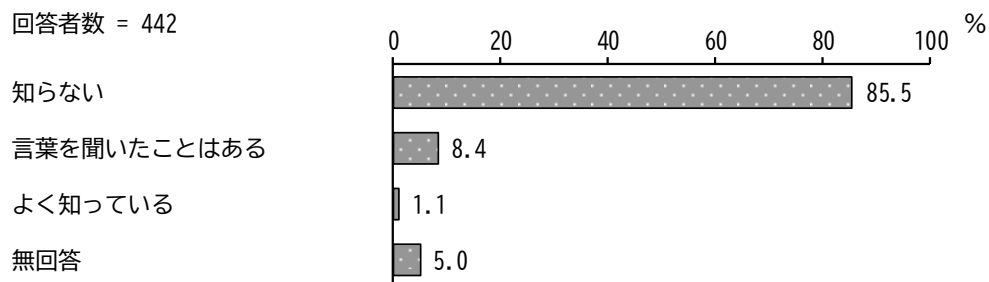
介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護5で「施設」の割合が高く、「わからない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	病院	施設	その他	わからない	無回答
全 体	442	38.9	18.3	4.3	1.4	30.8	6.3
要介護1	161	32.9	16.8	2.5	1.9	40.4	5.6
要介護2	129	40.3	24.0	5.4	1.6	23.3	5.4
要介護3	63	36.5	20.6	1.6	—	34.9	6.3
要介護4	54	50.0	7.4	3.7	1.9	29.6	7.4
要介護5	34	47.1	17.6	14.7	—	8.8	11.8

問 17 「人生会議（ACP）」について、知っていますか。（1つを選択）

「知らない」の割合が85.5%と最も高くなっています。



【介護度別】

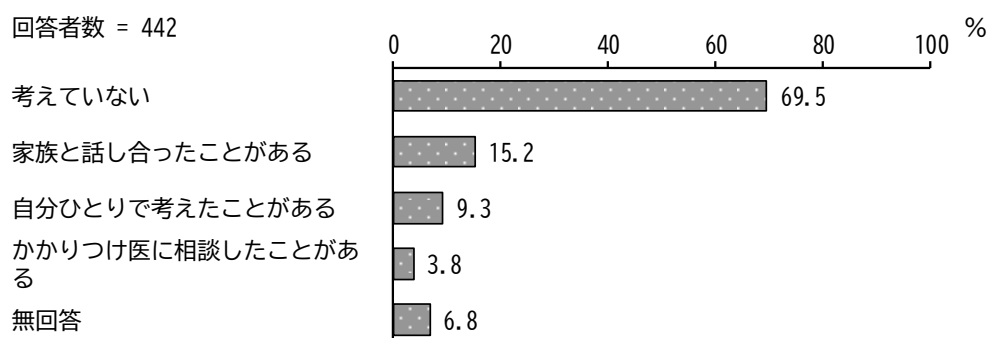
介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく 知っている	言葉 を聞いたこと はある	知らない	無 回答
全 体	442	1.1	8.4	85.5	5.0
要介護1	161	1.2	5.6	90.7	2.5
要介護2	129	0.8	10.9	82.2	6.2
要介護3	63	—	6.3	85.7	7.9
要介護4	54	1.9	11.1	81.5	5.6
要介護5	34	2.9	11.8	79.4	5.9

問 18 あなたは、「人生会議（ACP）」について、考えていますか。（複数選択可）

「考えていない」の割合が 69.5%と最も高くなっています。



【介護度別】

介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護 5 で「考えたことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

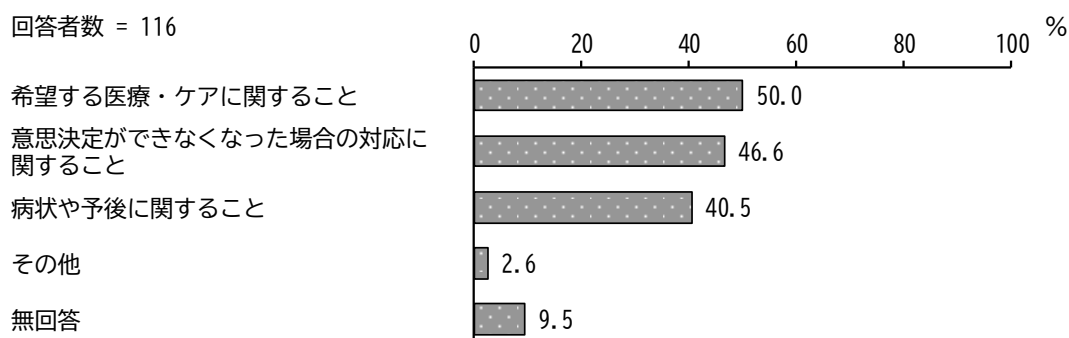
区分	回答者数（件）	自分ひとりで考えたことがある	かかりつけ医に相談したことがある	家族と話し合ったことがある	考えていない	無回答
全 体	442	9.3	3.8	15.2	69.5	6.8
要介護 1	161	6.8	3.1	13.7	73.9	6.8
要介護 2	129	8.5	3.9	17.1	70.5	5.4
要介護 3	63	7.9	1.6	14.3	74.6	4.8
要介護 4	54	14.8	5.6	11.1	57.4	11.1
要介護 5	34	17.6	8.8	23.5	52.9	8.8

【問 18 で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」と回答した方にお伺いします】

問 18-1 どのような内容を考えてみたか、または話しましたか。(複数選択可)

「希望する医療・ケアに関すること」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が 46.6%、「病状や予後に関すること」の割合が 40.5%となっています。

回答者数 = 116



【介護度別】

介護度別にみると、要介護5で「希望する医療・ケアに関すること」「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が、要介護3で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が高くなっています。

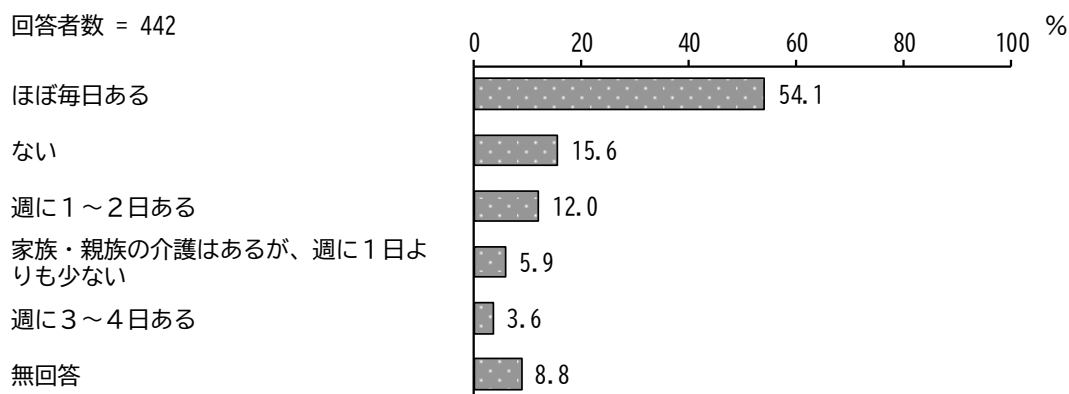
単位：%

区分	回答者数(件)	病状や予後に関すること	希望する医療・ケアに関すること	意思決定ができなくなった場合の対応に関すること	その他	無回答
全 体	116	40.5	50.0	46.6	2.6	9.5
要介護1	35	40.0	60.0	48.6	8.6	8.6
要介護2	35	40.0	40.0	42.9	—	11.4
要介護3	14	35.7	21.4	64.3	—	7.1
要介護4	17	35.3	47.1	23.5	—	11.8
要介護5	15	53.3	80.0	60.0	—	6.7

問 20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

「ほぼ毎日ある」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「ない」の割合が 15.6%、「週に1～2日ある」の割合が 12.0%となっています。

回答者数 = 442



【介護度別】

介護度別にみると、要介護3で「ほぼ毎日ある」の割合が、要介護5で「ない」の割合が、要介護1で「週に1～2日ある」の割合が高くなっています。

単位：%

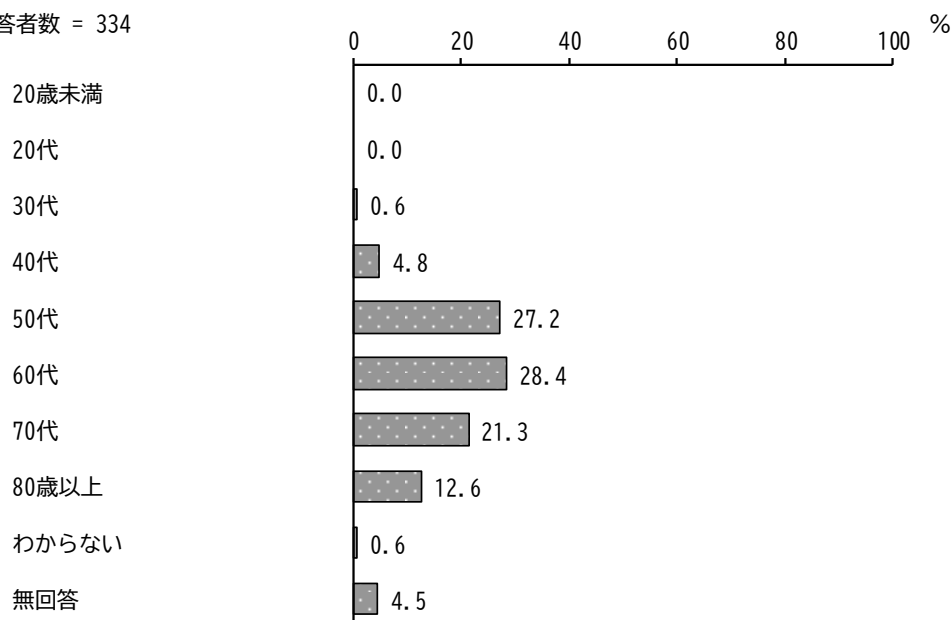
区分	回答者数(件)	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全 体	442	15.6	5.9	12.0	3.6	54.1	8.8
要介護1	161	16.8	8.7	18.0	3.1	44.7	8.7
要介護2	129	14.0	4.7	10.1	3.1	58.1	10.1
要介護3	63	14.3	1.6	4.8	1.6	71.4	6.3
要介護4	54	9.3	3.7	9.3	9.3	59.3	9.3
要介護5	34	29.4	8.8	8.8	2.9	41.2	8.8

(6) 主な介護者の方について

問 21 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

「60代」の割合が28.4%と最も高く、次いで「50代」の割合が27.2%、「70代」の割合が21.3%となっています。

回答者数 = 334



【介護度別】

介護度別にみると、要介護4で「70代」の割合が、要介護2で「80歳以上」の割合が、要介護1で「60代」の割合が高くなっています。

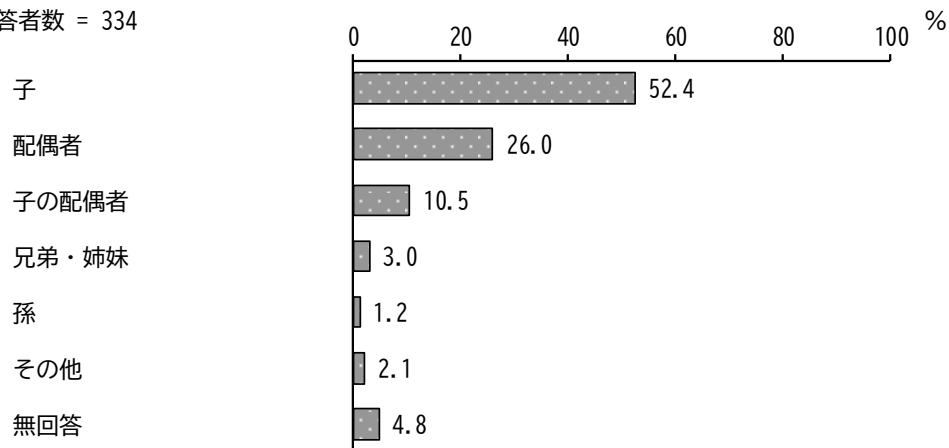
単位：%

区分	回答者数(件)	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全 体	334	—	—	0.6	4.8	27.2	28.4	21.3	12.6	0.6	4.5
要介護1	120	—	—	0.8	3.3	33.3	35.0	16.7	5.8	0.8	4.2
要介護2	98	—	—	1.0	5.1	28.6	19.4	20.4	19.4	1.0	5.1
要介護3	50	—	—	—	2.0	22.0	32.0	24.0	16.0	—	4.0
要介護4	44	—	—	—	6.8	18.2	25.0	31.8	13.6	—	4.5
要介護5	21	—	—	—	14.3	14.3	33.3	23.8	9.5	—	4.8

問 22 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

「子」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 26.0%、「子の配偶者」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 334



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「配偶者」の割合が高くなり、「子」の割合が低くなる傾向にあります。一方で、要介護 5 では、他の介護度に比べ「配偶者」の割合が低く、「子」の割合が高くなっています。

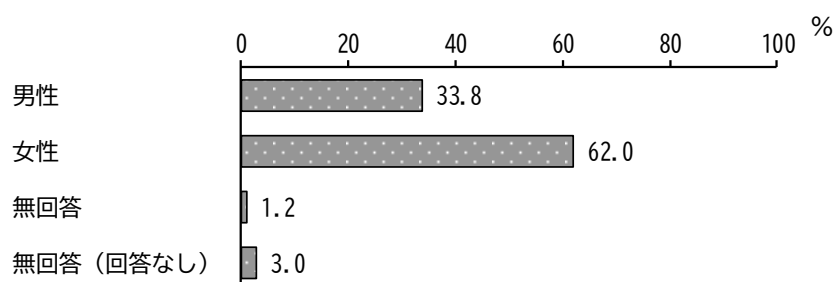
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	子	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	無回答
全 体	334	26.0	52.4	10.5	1.2	3.0	2.1	4.8
要介護 1	120	15.0	60.0	10.8	1.7	4.2	3.3	5.0
要介護 2	98	29.6	51.0	10.2	1.0	2.0	1.0	5.1
要介護 3	50	38.0	40.0	16.0	—	—	2.0	4.0
要介護 4	44	38.6	43.2	9.1	2.3	—	2.3	4.5
要介護 5	21	19.0	61.9	—	—	14.3	—	4.8

問 23 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

「男性」の割合が 33.8%、「女性」の割合が 62.0%となっています。

回答者数 = 334



【介護度別】

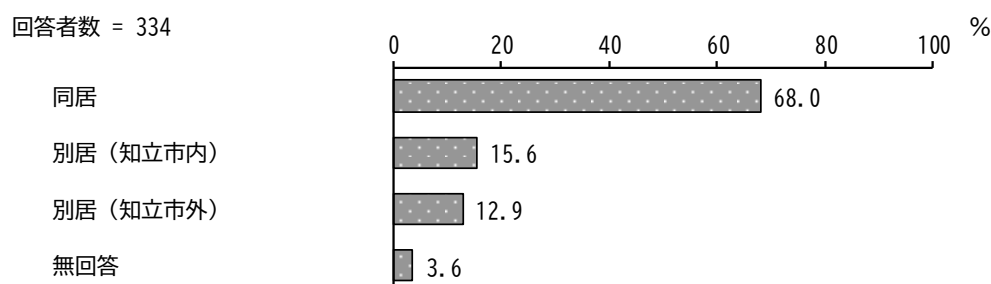
介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「男性」の割合が高くなり、「女性」の割合が低くなる傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性	女性	無回答	無回答 (回答なし)
全 体	334	33.8	62.0	1.2	3.0
要介護1	120	30.8	64.2	0.8	4.2
要介護2	98	32.7	63.3	2.0	2.0
要介護3	50	36.0	60.0	2.0	2.0
要介護4	44	38.6	59.1	—	2.3
要介護5	21	42.9	52.4	—	4.8

問 24 主な介護者は、あて名の方と同居していますか。（1つを選択）

「同居」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「別居（知立市内）」の割合が 15.6%、「別居（知立市外）」の割合が 12.9%となっています。



【介護度別】

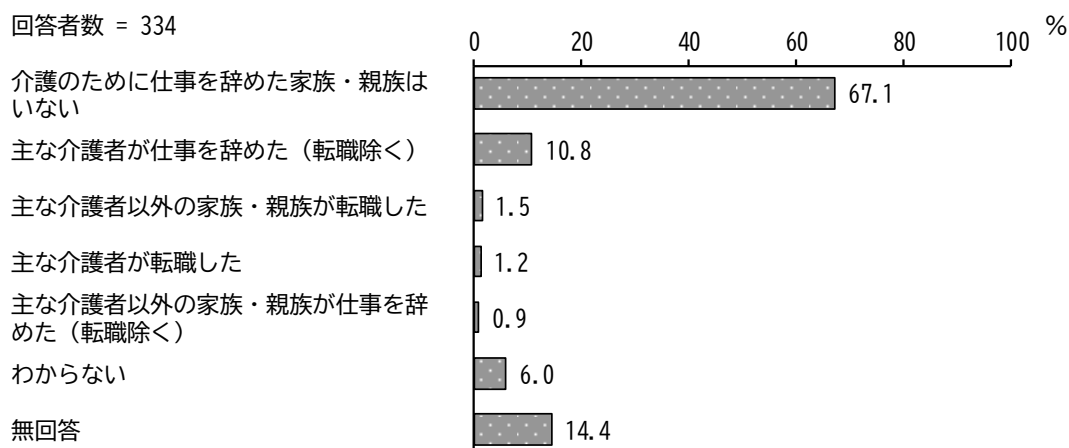
介護度別にみると、要介護3で「同居」の割合が、要介護4で「同居」の割合が、要介護5で「別居（知立市内）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	同居	別居 (知立市内)	別居 (知立市外)	無回答
全 体	334	68.0	15.6	12.9	3.6
要介護1	120	51.7	20.8	22.5	5.0
要介護2	98	72.4	14.3	9.2	4.1
要介護3	50	88.0	6.0	4.0	2.0
要介護4	44	84.1	9.1	4.5	2.3
要介護5	21	61.9	28.6	9.5	—

問 25 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が 10.8%となっています。



【介護度別】

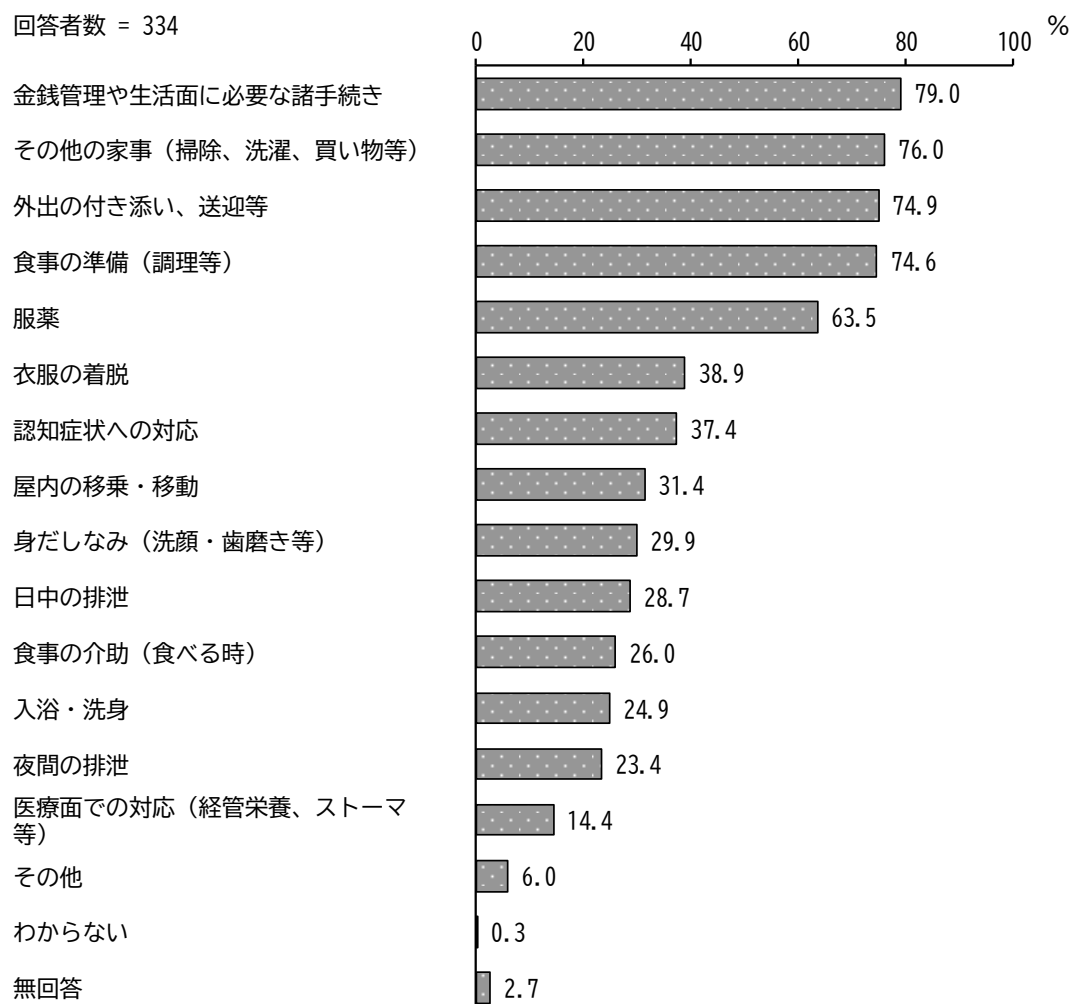
介護度別にみると、要介護 5 で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が、要介護 3 で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が、要介護 1 で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	334	10.8	0.9	1.2	1.5	67.1	6.0	14.4
要介護 1	120	7.5	0.8	2.5	2.5	73.3	5.0	10.8
要介護 2	98	9.2	1.0	—	—	66.3	4.1	19.4
要介護 3	50	18.0	—	—	2.0	62.0	8.0	12.0
要介護 4	44	11.4	2.3	2.3	2.3	56.8	11.4	18.2
要介護 5	21	19.0	—	—	—	66.7	4.8	9.5

問 26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 76.0%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 74.9%、「食事の準備（調理等）」の割合が 74.6%、「服薬」の割合が 63.5%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、「要介護1・2」に比べ、「要介護3・4・5」で「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」の割合が高くなっています。

単位：％

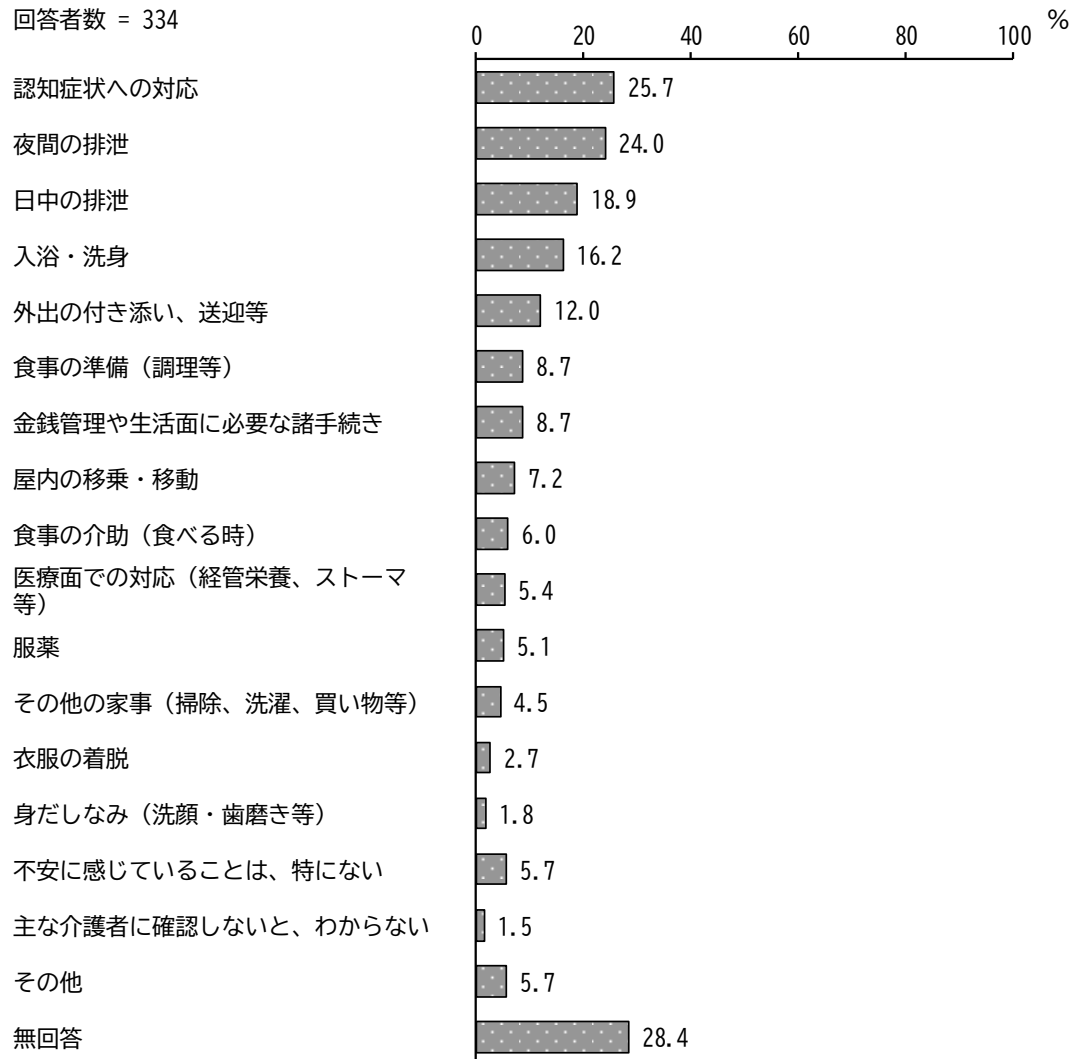
区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全 体	334	28.7	23.4	26.0	24.9	29.9	38.9	31.4	74.9
要介護1	120	6.7	4.2	5.8	15.0	17.5	15.0	15.8	77.5
要介護2	98	18.4	12.2	23.5	29.6	24.5	35.7	17.3	74.5
要介護3	50	64.0	54.0	54.0	38.0	46.0	70.0	60.0	80.0
要介護4	44	61.4	54.5	47.7	29.5	50.0	68.2	65.9	75.0
要介護5	21	52.4	47.6	42.9	14.3	47.6	52.4	42.9	47.6

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	63.5	37.4	14.4	74.6	76.0	79.0	6.0	0.3	2.7
要介護1	52.5	44.2	5.0	60.0	71.7	75.0	8.3	0.8	3.3
要介護2	65.3	30.6	12.2	82.7	76.5	76.5	3.1	—	3.1
要介護3	76.0	46.0	24.0	94.0	80.0	84.0	6.0	—	—
要介護4	77.3	25.0	22.7	81.8	86.4	88.6	2.3	—	—
要介護5	57.1	33.3	38.1	57.1	66.7	81.0	14.3	—	9.5

問 27 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）

「認知症状への対応」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が 24.0%、「日中の排泄」の割合が 18.9%となっています。

回答者数 = 334



【介護度別】

介護度別にみると、他の介護度に比べ、要介護5で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっています。

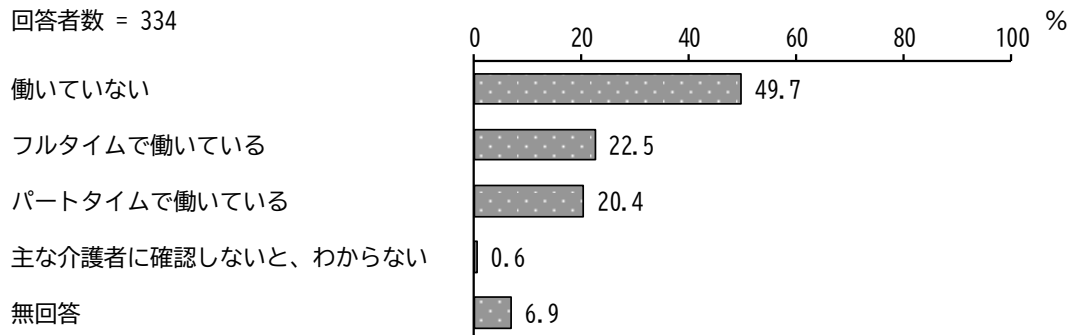
単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	334	18.9	24.0	6.0	16.2	1.8	2.7	7.2	12.0	5.1
要介護1	120	19.2	18.3	3.3	14.2	3.3	2.5	6.7	12.5	10.0
要介護2	98	19.4	28.6	7.1	21.4	1.0	3.1	8.2	12.2	2.0
要介護3	50	26.0	26.0	10.0	22.0	2.0	4.0	12.0	12.0	—
要介護4	44	11.4	25.0	2.3	11.4	—	2.3	2.3	6.8	—
要介護5	21	14.3	28.6	14.3	—	—	—	4.8	14.3	9.5

区分	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	25.7	5.4	8.7	4.5	8.7	5.7	5.7	1.5	28.4
要介護1	35.8	5.0	10.0	5.8	10.0	4.2	5.0	2.5	25.0
要介護2	18.4	4.1	5.1	5.1	6.1	4.1	5.1	2.0	33.7
要介護3	14.0	—	10.0	2.0	4.0	8.0	2.0	—	36.0
要介護4	25.0	9.1	11.4	—	9.1	9.1	13.6	—	22.7
要介護5	28.6	19.0	9.5	9.5	23.8	9.5	4.8	—	19.0

問 28 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

「働いていない」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 22.5%、「パートタイムで働いている」の割合が 20.4%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、介護度が下がるにつれて「働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	フル タイム で働 い て い る	パ ー ト タ イ ム で 働 い て い る	働 い て い な い	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い と、 わ か ら な い	無 回 答
全 体	334	22.5	20.4	49.7	0.6	6.9
要介護 1	120	30.8	24.2	37.5	0.8	6.7
要介護 2	98	21.4	16.3	53.1	1.0	8.2
要介護 3	50	14.0	22.0	62.0	—	2.0
要介護 4	44	13.6	20.5	59.1	—	6.8
要介護 5	21	14.3	14.3	57.1	—	14.3

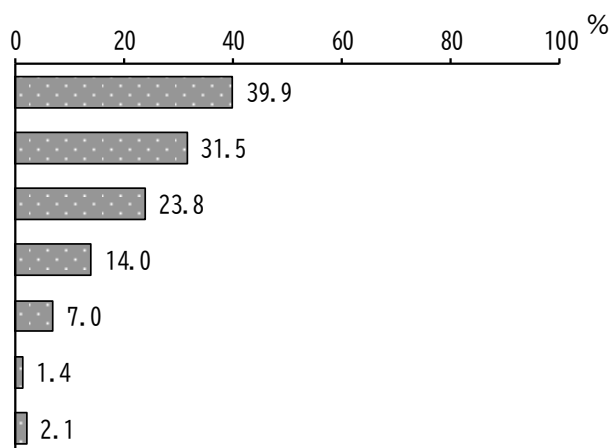
【問 28 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問 28-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（複数選択可）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が 31.5%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 23.8%となっています。

回答者数 = 143

介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
特に行っていない
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
介護のために、②～④以外の調整をしながら、働いている
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
主な介護者に確認しないと、わからない
無回答



【介護度別】

介護度別にみると、要介護4で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が、要介護3で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が、要介護2で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が高くなっています。

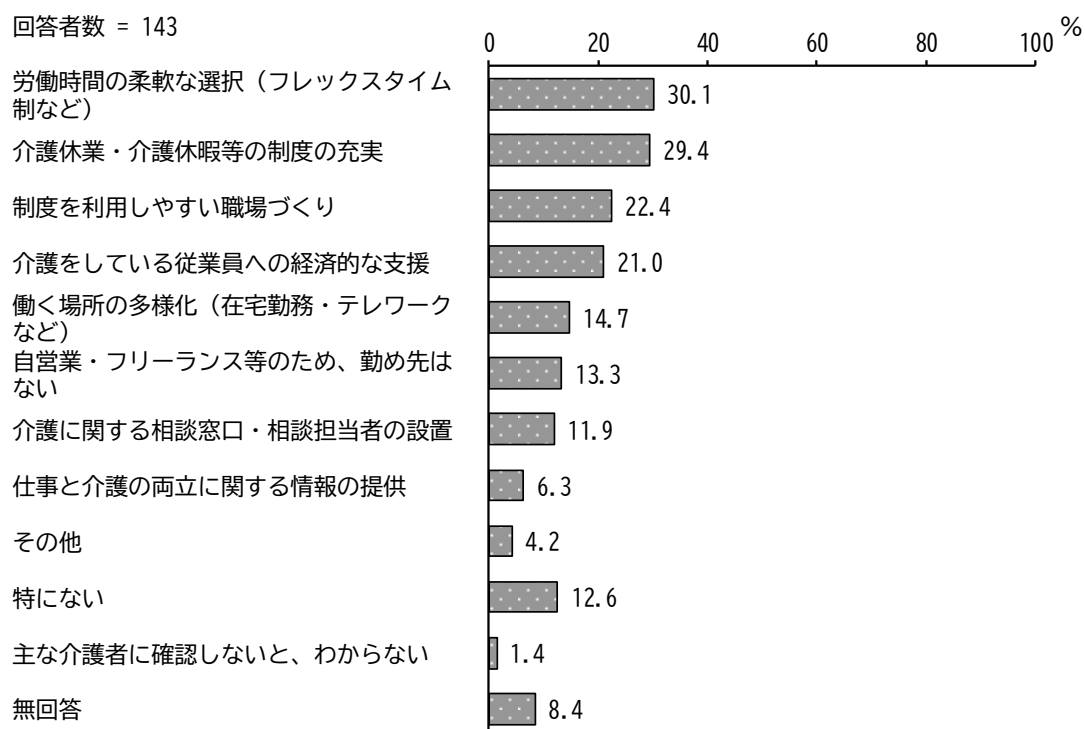
単位：%

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、②～④以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	143	31.5	39.9	23.8	7.0	14.0	1.4	2.1
要介護1	66	34.8	31.8	25.8	6.1	13.6	1.5	3.0
要介護2	37	29.7	45.9	24.3	8.1	13.5	2.7	2.7
要介護3	18	22.2	50.0	22.2	16.7	11.1	—	—
要介護4	15	26.7	53.3	20.0	—	13.3	—	—
要介護5	6	33.3	33.3	16.7	—	33.3	—	—

【問 28 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問 28-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 29.4%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、要介護４で「介護をしている従業員への経済的な支援」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」の割合が、要介護２で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全 体	143	13.3	29.4	22.4	30.1	14.7	6.3
要介護１	66	19.7	25.8	25.8	30.3	22.7	3.0
要介護２	37	10.8	40.5	21.6	24.3	2.7	8.1
要介護３	18	5.6	22.2	16.7	38.9	16.7	5.6
要介護４	15	－	33.3	20.0	33.3	－	13.3
要介護５	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	－

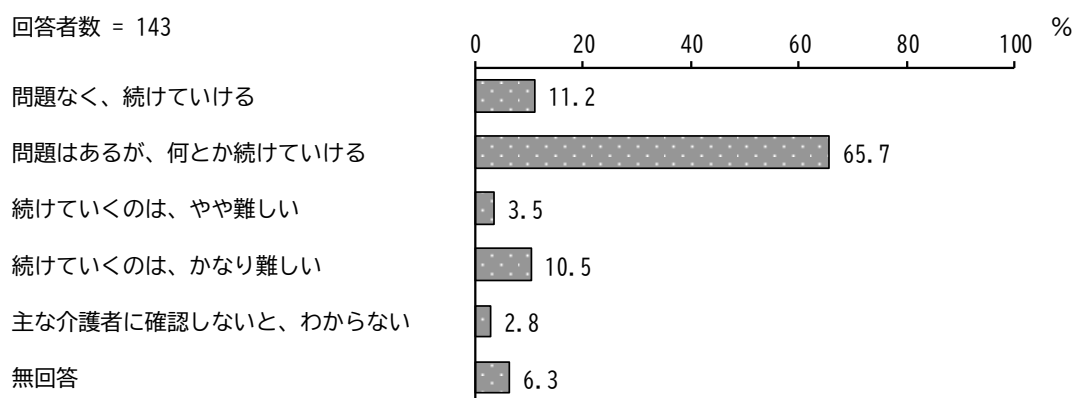
区分	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	11.9	21.0	4.2	12.6	1.4	8.4
要介護１	9.1	13.6	4.5	13.6	1.5	6.1
要介護２	13.5	27.0	5.4	2.7	2.7	8.1
要介護３	5.6	16.7	－	22.2	－	22.2
要介護４	26.7	46.7	－	20.0	－	6.7
要介護５	－	16.7	16.7	16.7	－	－

【問 28 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問 28-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(1 つを選択)

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 11.2%、「続けていくのは、かなり難しい」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 143



【介護度別】

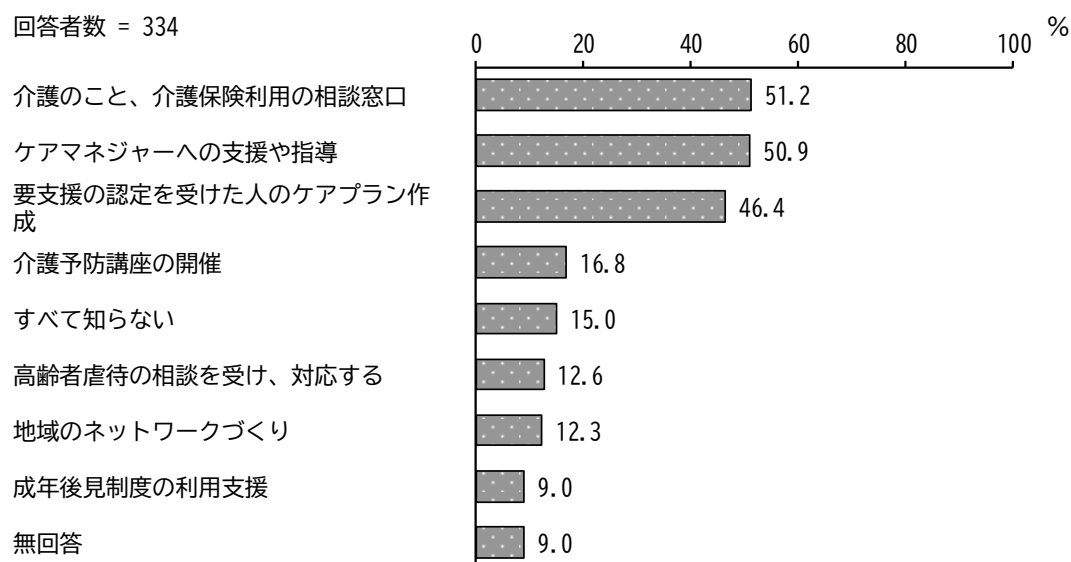
大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	143	11.2	65.7	3.5	10.5	2.8	6.3
要介護1	66	16.7	59.1	3.0	9.1	4.5	7.6
要介護2	37	2.7	78.4	2.7	10.8	2.7	2.7
要介護3	18	5.6	77.8	—	11.1	—	5.6
要介護4	15	13.3	60.0	—	13.3	—	13.3
要介護5	6	16.7	33.3	33.3	16.7	—	—

問 29 地域包括支援センターの役割として知っているものはどれですか。
(複数選択可)

「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「ケアマネジャーへの支援や指導」の割合が 50.9%、「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が 46.4%となっています。



【介護度別】

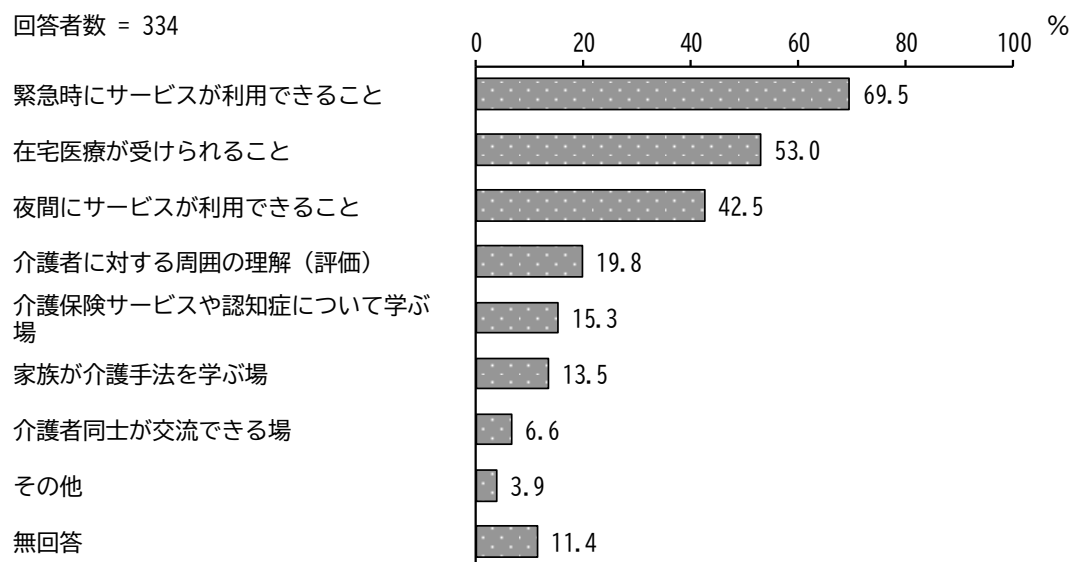
介護度別にみると、要介護3で「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が、要介護1で「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」「地域のネットワークづくり」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	介護予防講座の開催	高齢者虐待の相談を受け、対応する	成年後見制度の利用支援	介護のこと、介護保険利用の相談窓口	要支援の認定を受けた人のケアプラン作成	地域のネットワークづくり	ケアマネジャーへの支援や指導	すべて知らない	無回答
全 体	334	16.8	12.6	9.0	51.2	46.4	12.3	50.9	15.0	9.0
要介護1	120	20.0	15.0	13.3	58.3	50.0	18.3	50.0	11.7	6.7
要介護2	98	14.3	12.2	6.1	43.9	44.9	9.2	50.0	18.4	8.2
要介護3	50	16.0	12.0	8.0	54.0	54.0	10.0	52.0	12.0	8.0
要介護4	44	13.6	9.1	6.8	45.5	40.9	6.8	56.8	18.2	13.6
要介護5	21	19.0	9.5	4.8	47.6	23.8	4.8	42.9	19.0	19.0

問 30 在宅で介護するために、ご本人と家族にとってどのようなことが重要だと思いますか。（複数選択可）

「緊急時にサービスが利用できること」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「在宅医療が受けられること」の割合が 53.0%、「夜間にサービスが利用できること」の割合が 42.5%となっています。



【介護度別】

介護度別にみると、要介護5で「在宅医療が受けられること」「家族が介護手法を学ぶ場」「介護者に対する周囲の理解（評価）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	在宅医療が受けられること	緊急時にサービスが利用できること	夜間にサービスが利用できること	介護者に対する周囲の理解（評価）	介護保険サービスや認知症について学ぶ場	家族が介護手法を学ぶ場	介護者同士が交流できる場	その他	無回答
全 体	334	53.0	69.5	42.5	19.8	15.3	13.5	6.6	3.9	11.4
要介護1	120	50.0	70.0	43.3	21.7	19.2	11.7	10.0	5.8	10.8
要介護2	98	51.0	70.4	39.8	15.3	12.2	8.2	4.1	2.0	10.2
要介護3	50	54.0	72.0	48.0	18.0	12.0	20.0	4.0	8.0	4.0
要介護4	44	56.8	59.1	36.4	22.7	15.9	15.9	4.5	—	20.5
要介護5	21	71.4	76.2	47.6	28.6	14.3	28.6	9.5	—	19.0

3 在宅生活改善調査

(1) 自宅等から居所を変更した利用者の行先別の人数

過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者は110人で、行先別の人数をみると、特別養護老人ホームが34人(30.9%)、介護老人保健施設が17人(15.5%)と多く、住宅型有料老人ホームが15人(13.6%)、その他が9人(8.2%)と続いています。

過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者の行先別の人数

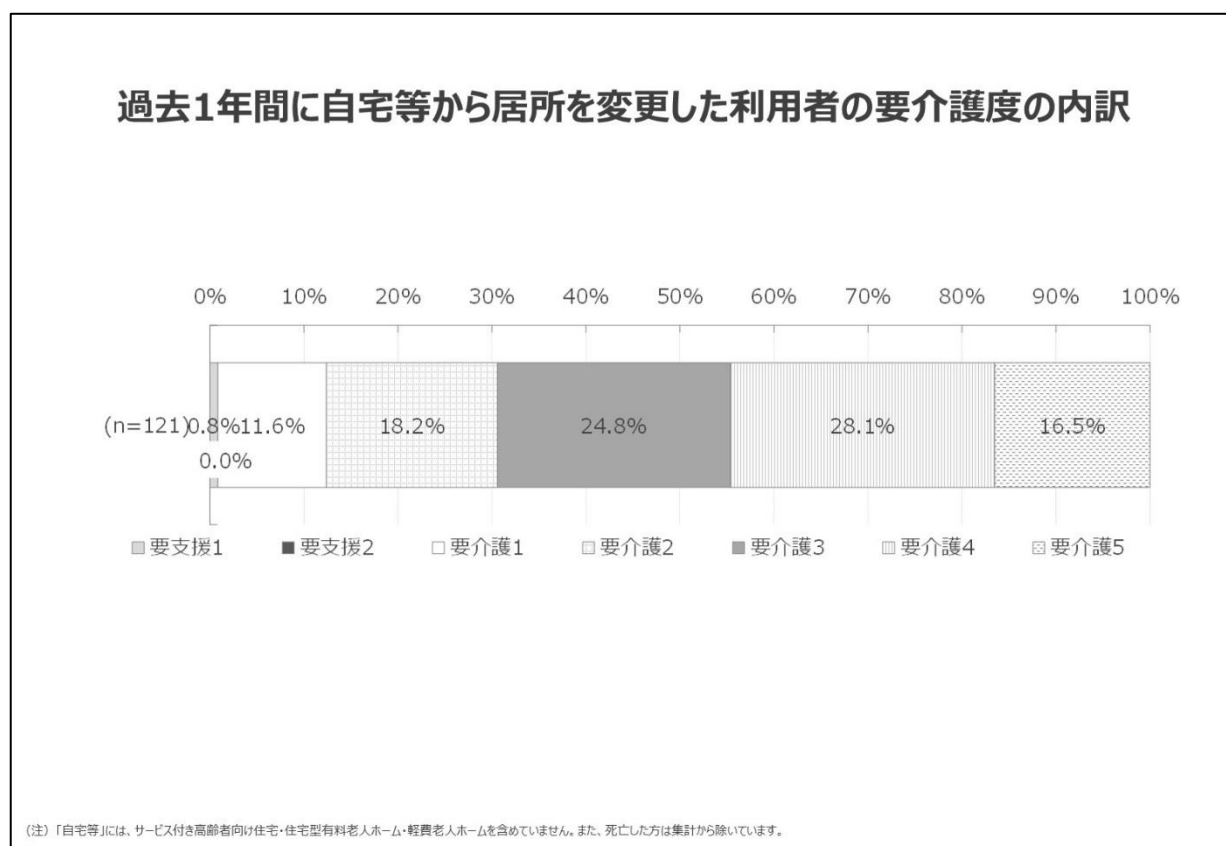
行先	市内	市外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	0人 0.0%	3人 2.7%	3人 2.7%
住宅型有料老人ホーム	5人 4.5%	10人 9.1%	15人 13.6%
軽費老人ホーム	1人 0.9%	0人 0.0%	1人 0.9%
サービス付き高齢者向け住宅	1人 0.9%	7人 6.4%	8人 7.3%
グループホーム	1人 0.9%	1人 0.9%	2人 1.8%
特定施設	1人 0.9%	4人 3.6%	5人 4.5%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	6人 5.5%	11人 10.0%	17人 15.5%
療養型・介護医療院	0人 0.0%	2人 1.8%	2人 1.8%
特別養護老人ホーム	21人 19.1%	13人 11.8%	34人 30.9%
地域密着型特別養護老人ホーム	5人 4.5%	0人 0.0%	5人 4.5%
その他	5人 4.5%	4人 3.6%	9人 8.2%
行先を把握していない			9人 8.2%
合計	46人 41.8%	55人 50.0%	110人 100.0%

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

(注2) 表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「相推計」されたものではありません。

(2) 自宅等から居所を変更した利用者の要介護度の内訳

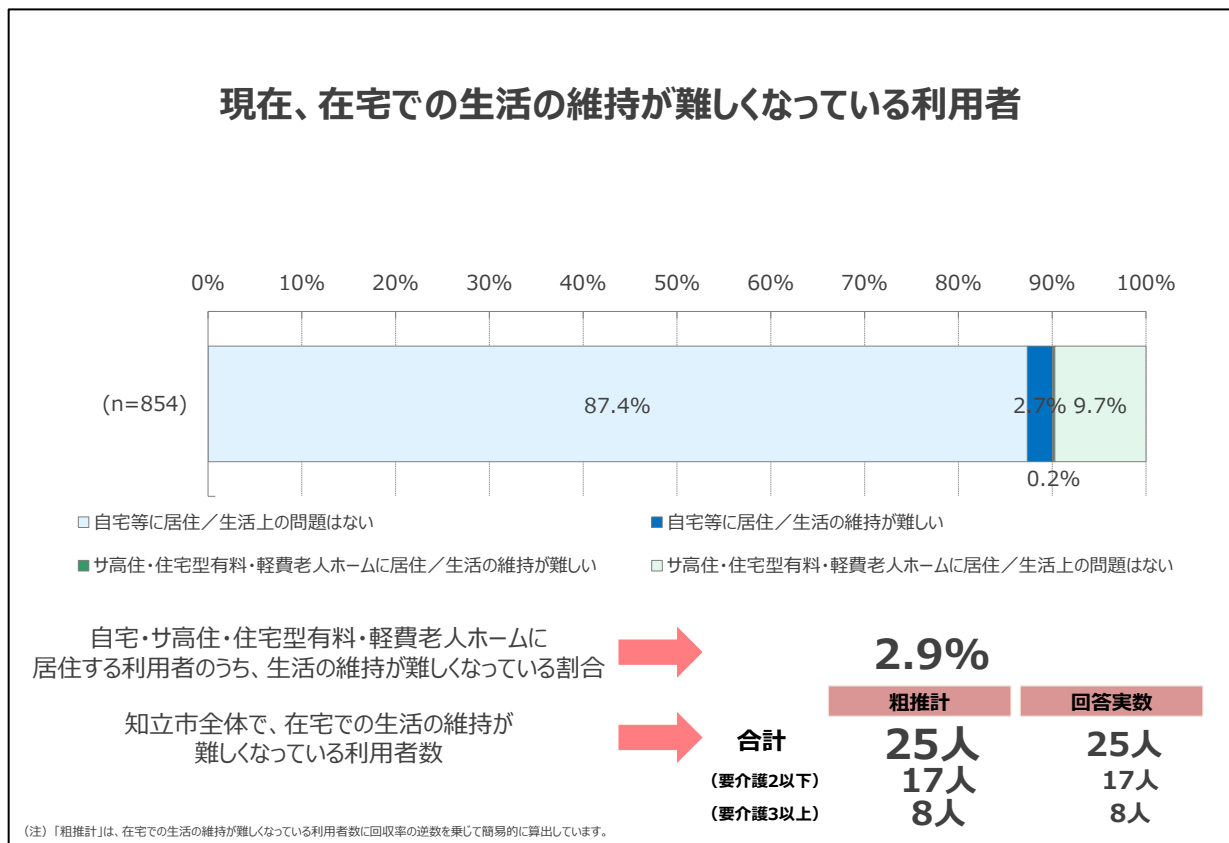
過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者のうち、死亡を除いた要介護度の内訳をみると、要介護4が28.1%と最も多く、要介護3が24.8%、要介護2が18.2%、要介護5が16.5%とそれに続きます。



（３）現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者

以下の図表は、ケアマネジャーの方に、担当する利用者で、自宅等で生活されている方のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についてご回答いただいたものです。

現在自宅等で生活している要支援・要介護者のうち、「生活の維持が難しくなっている人」の規模感を知ることができます。該当者は 25 人で生活の維持が難しくなっている利用者が 2.9%となっています。



(4) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

現在、自宅等で生活している要支援・要介護者のうち、「生活の維持が難しくなっている人」を属性別にみると、「独居で、自宅等（持ち家）に住む、要介護2以下」の割合が28.0%と最も高くなっています。また、居所が自宅等（持ち家）の利用者が全体の約6割を占めていることが分かります。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10類型)	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等（持ち家）	自宅等（借家）	サ高住・住宅型有料老人ホーム	介2以下	介3以上
1	7人	7人	28.0%	★				★			★	
2	3人	3人	12.0%				★	★			★	
2	3人	3人	12.0%	★					★		★	
4	2人	2人	8.0%				★	★				★
4	2人	2人	8.0%		★				★			★
4	2人	2人	8.0%	★				★				★
7	1人	1人	4.0%			★		★			★	
7	1人	1人	4.0%		★				★		★	
7	1人	1人	4.0%		★			★			★	
7	1人	1人	4.0%	★						★		★
上記以外	2人	2人	8.0%									
合計	25人	25人	100.0%									

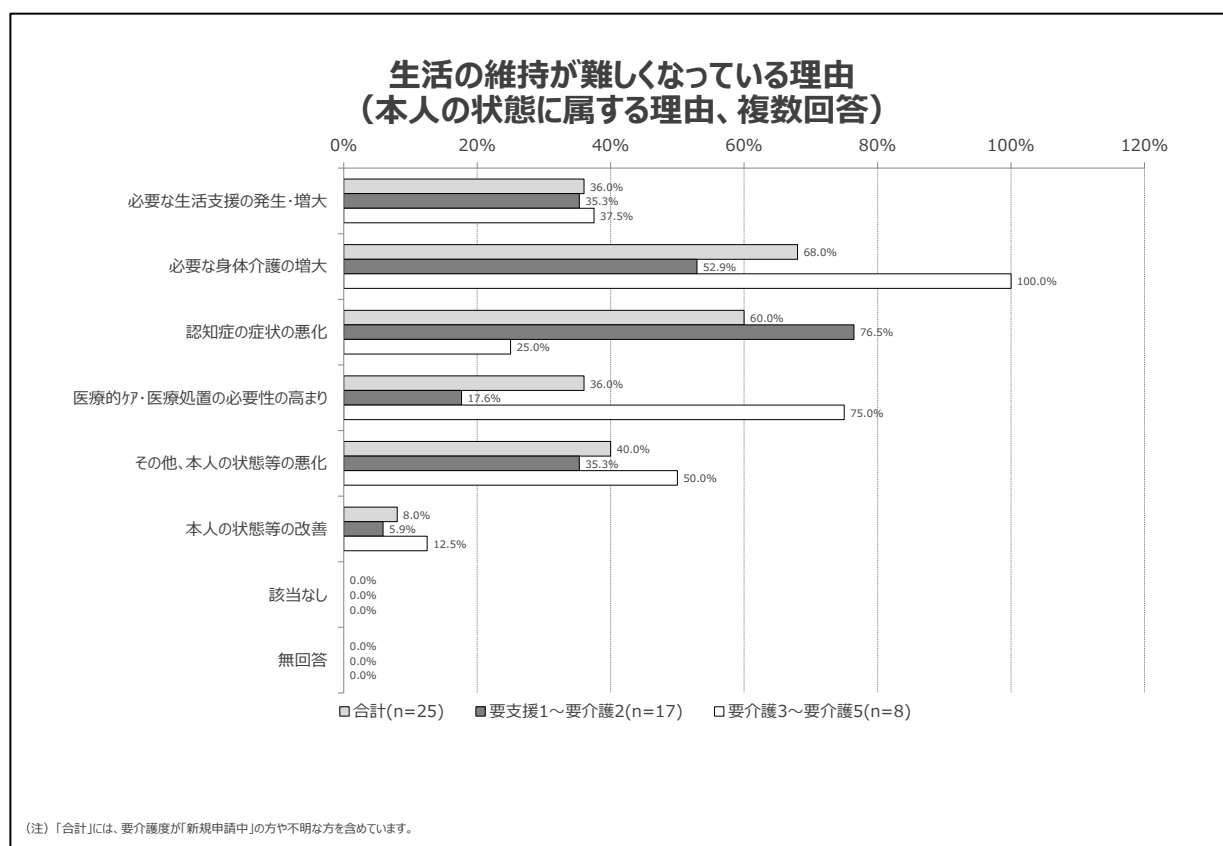
(注) 「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

（５）生活の維持が難しくなっている理由

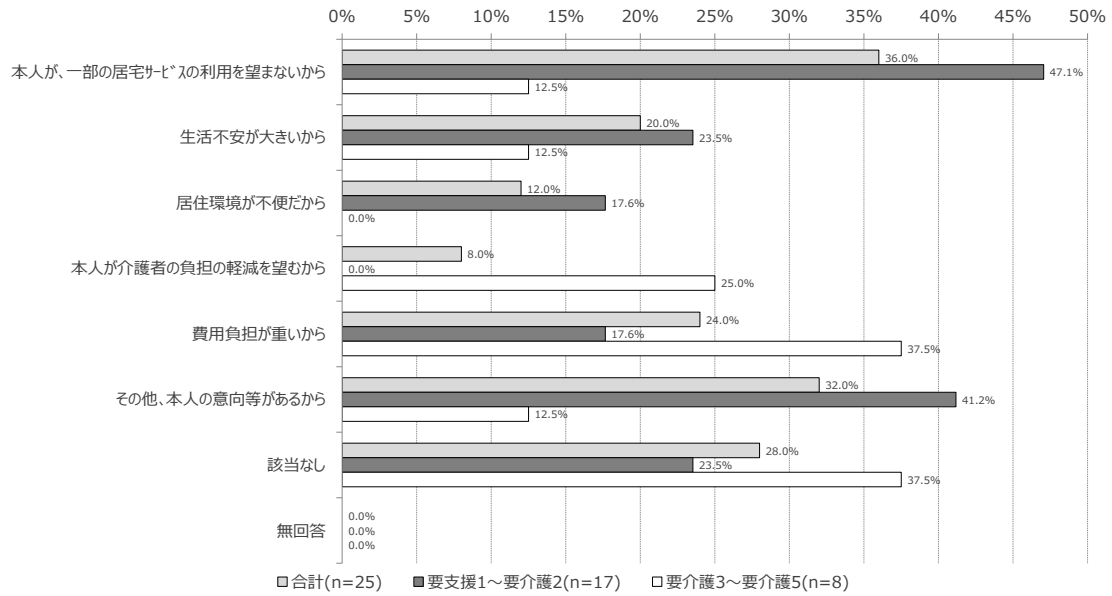
以下の図表は、在宅での生活の維持が難しくなっている理由を「本人の状態」、「本人の意向」、「家族等介護者の意向・負担等」の３つの視点から整理しています。

ここでは、要介護２以下では「認知症の症状の悪化」、要介護３以上では「必要な身体介護の増大」が理由として多く、また共通して多い理由としては、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が挙げられています。

要介護３以上の「必要な身体介護」について具体的にみると、「排泄（日中）」、「排泄（夜間）」などが高い割合を占めています。要介護２以下の「認知症の症状の悪化」について具体的にみると、「家事に支障がある」「一人での外出が困難」「薬の飲み忘れ」「金銭管理が困難」などが高い割合を占めています。

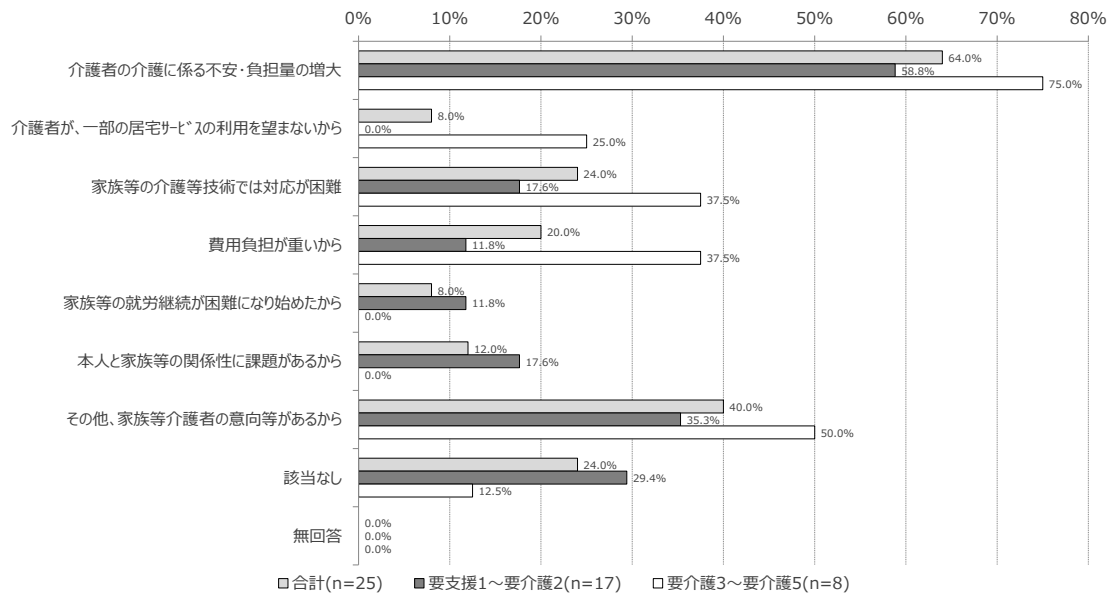


生活の維持が難しくなっている理由 (本人の意向に属する理由、複数回答)



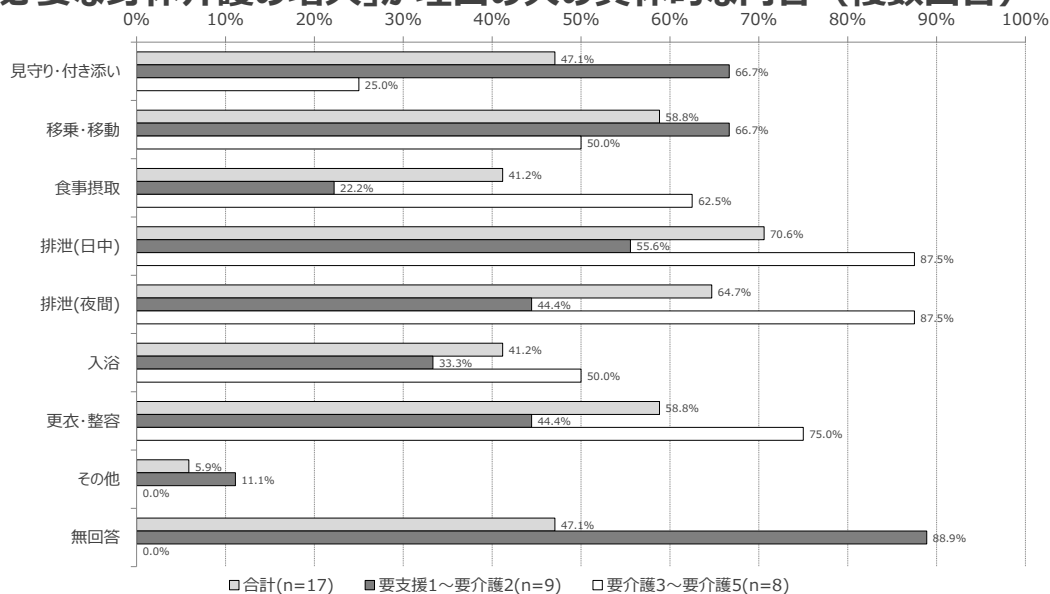
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)



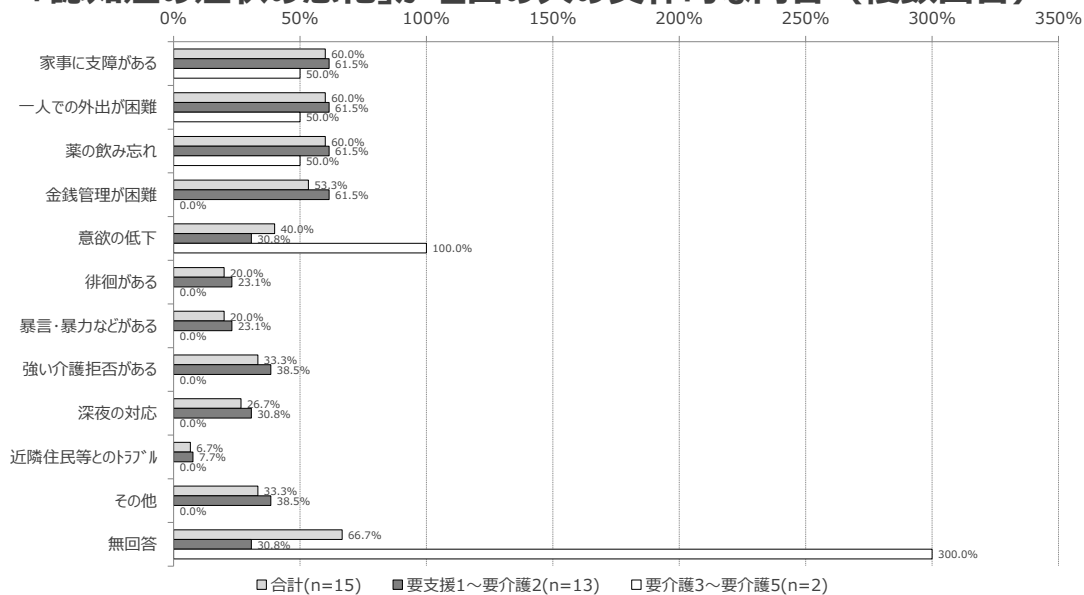
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



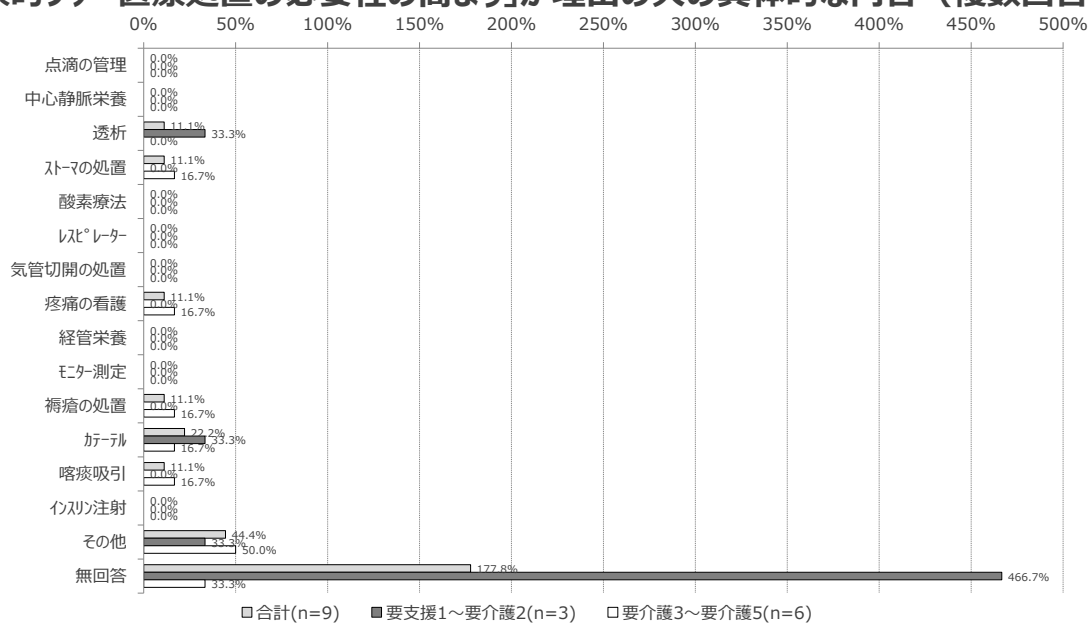
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）

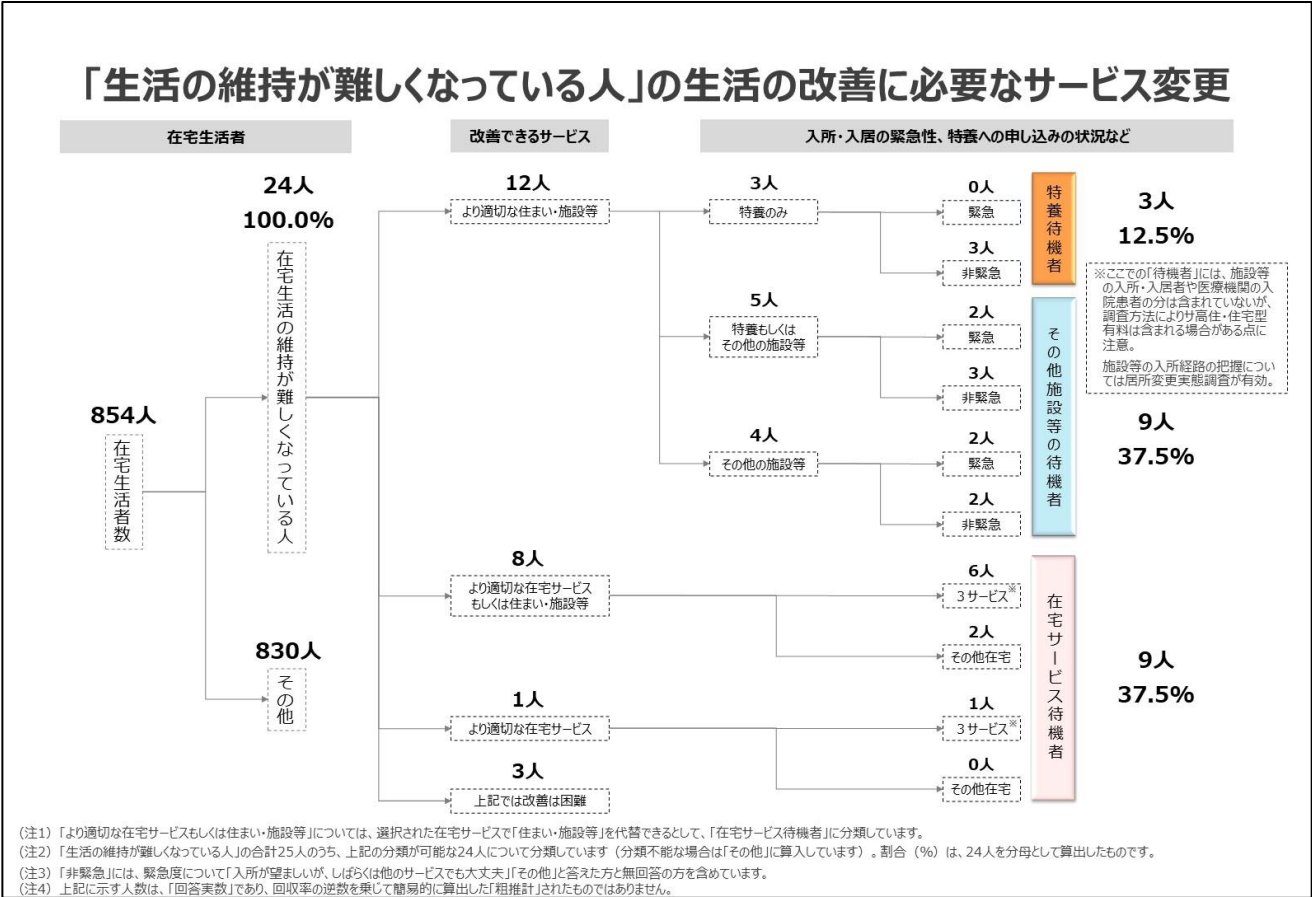


（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

(6)「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更

「在宅生活の維持が難しくなっている人」のうち、担当のケアマネジャーが考える生活改善に必要なサービス等をみると、「特養」が 12.5%、「その他施設等」が 37.5%、「在宅サービス」が 37.5%程度となっています。

一方、「在宅サービス待機者」について、担当のケアマネジャーが考える生活改善に必要なサービスをみると、定期巡回サービスが 66.7%、ショートステイが 55.6%と高くなっています。



※3サービスとは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護を指しています。

(7) 「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス

特別養護老人ホーム以外の「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービスをみると、「その他施設等の待機者」では、グループホーム、特別養護老人ホームが多くなっています。一方、「在宅サービス待機者」では、＜住まい・施設等＞で特定養護老人ホーム、＜在宅サービス＞で定期巡回サービス、ショートステイが多くなっています。

「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス（複数回答）					
生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(9人)			在宅サービス待機者(9人)	
住まい・施設等	住宅型有料	3人	33.3%	住宅型有料	2人 22.2%
	サ高住	4人	44.4%	サ高住	1人 11.1%
	軽費老人ホーム	1人	11.1%	軽費老人ホーム	0人 0.0%
	グループホーム	5人	55.6%	グループホーム	2人 22.2%
	特定施設	2人	22.2%	特定施設	0人 0.0%
	介護老人保健施設	3人	33.3%	介護老人保健施設	1人 11.1%
	療養型・介護医療院	0人	0.0%	療養型・介護医療院	1人 11.1%
	特別養護老人ホーム	5人	55.6%	特別養護老人ホーム	3人 33.3%
在宅サービス	—			ショートステイ	5人 55.6%
				訪問介護、訪問入浴	4人 44.4%
				夜間対応型訪問介護	3人 33.3%
				訪問看護	2人 22.2%
				訪問リハ	2人 22.2%
				通所介護、通所リハ、認知症対応型通所	3人 33.3%
				定期巡回サービス	6人 66.7%
				小規模多機能	0人 0.0%
				看護小規模多機能	2人 22.2%

生活の改善に向けて、代替が可能

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者9人、在宅サービス待機者9人を分母として算出したものです。

(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能です。

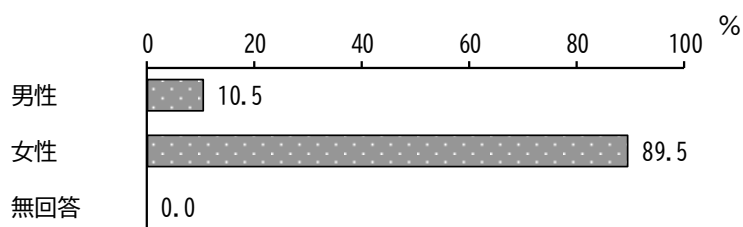
4 ケアマネジャー

問1 あてはまるものの番号にチェックをつけてください。

①性別

「男性」の割合が10.5%、「女性」の割合が89.5%となっています。

回答者数 = 38



②年齢

「60 歳代」の割合が31.6%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が28.9%、「40 歳代」の割合が26.3%となっています。

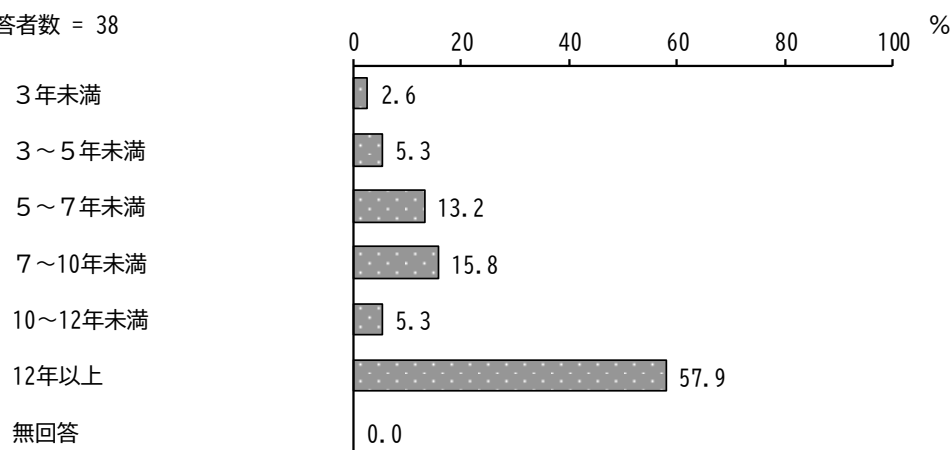
回答者数 = 38



③ケアマネジャーの経験年数

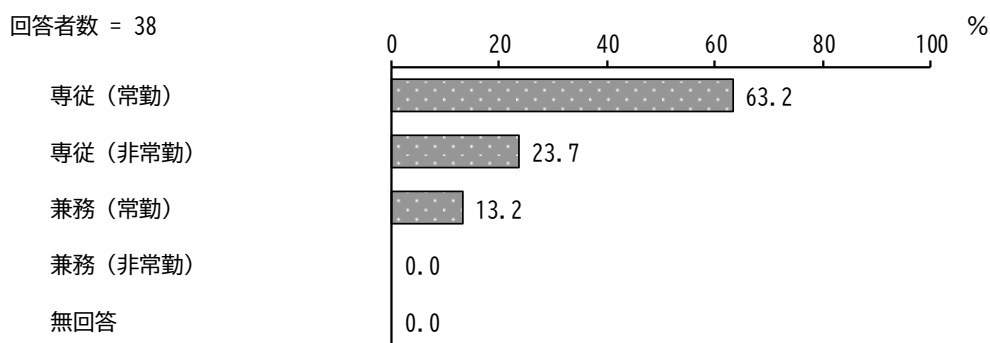
「12 年以上」の割合が57.9%と最も高く、次いで「7～10 年未満」の割合が15.8%、「5～7 年未満」の割合が13.2%となっています。

回答者数 = 38



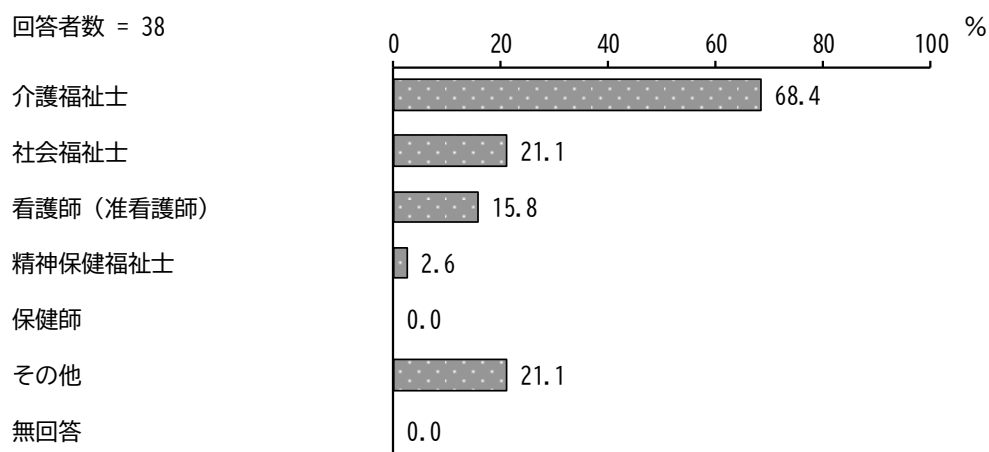
④勤務体系

「専従（常勤）」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「専従（非常勤）」の割合が 23.7%、「兼務（常勤）」の割合が 13.2%となっています。



⑤ケアマネジャー以外の保健医療福祉関係の資格（お持ちの資格すべてに回答）

「介護福祉士」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「社会福祉士」の割合が 21.1%、「看護師（准看護師）」の割合が 15.8%となっています。

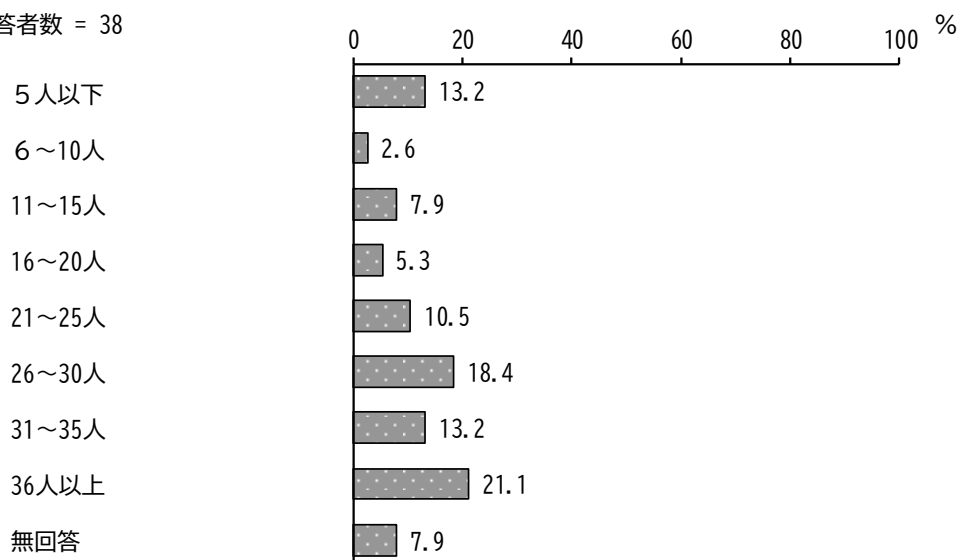


問2 令和4年12月末現在、あなたはケアプランの作成を何人担当していますか。
(それぞれ数字を記入)

①【介護】

「36人以上」の割合が21.1%と最も高く、次いで「26～30人」の割合が18.4%、「5人以下」、「31～35人」の割合が13.2%となっています。

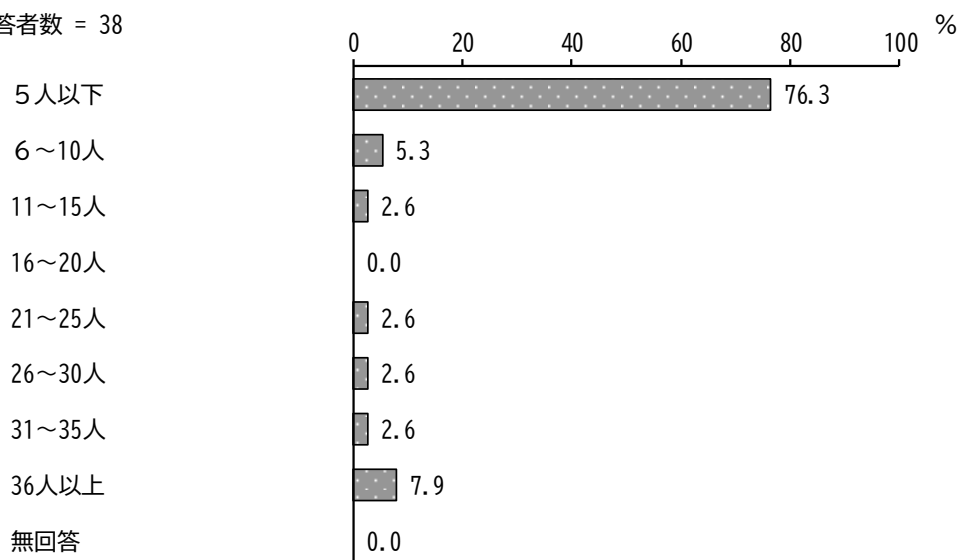
回答者数 = 38



②【介護予防】

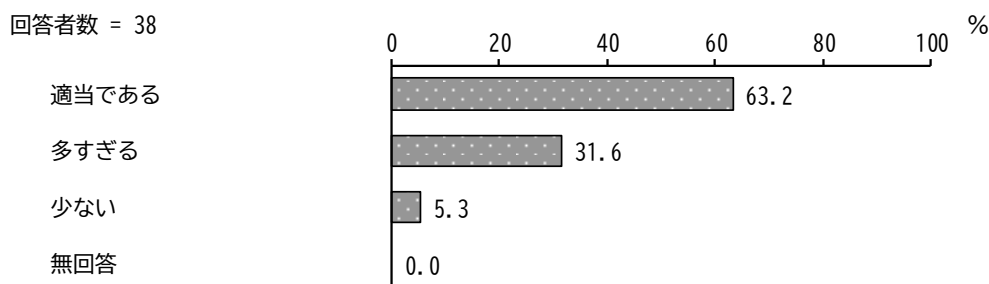
「5人以下」の割合が76.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 38



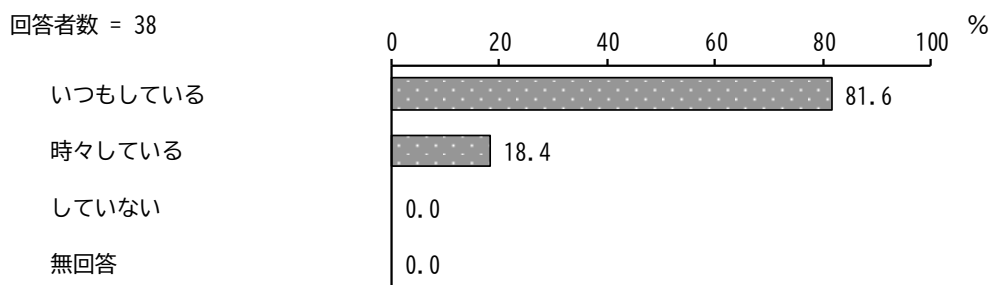
問3 あなたが担当している人数は適当だと思いますか。(回答は1つ)

「適当である」の割合が63.2%と最も高く、次いで「多すぎる」の割合が31.6%となっています。



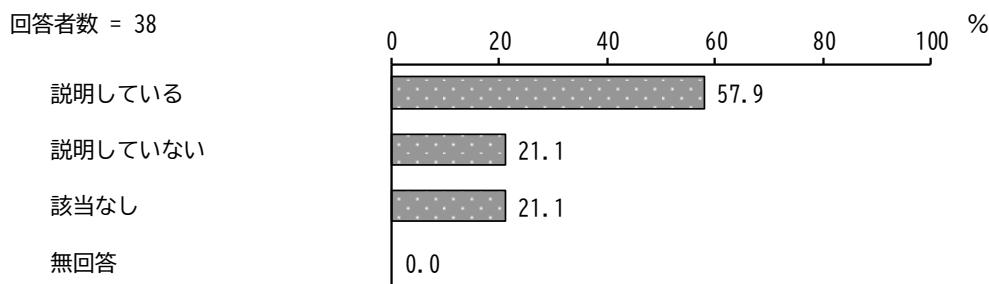
問4 軽度の認定者には、自立支援を考慮しながら介護サービス計画を作成していますか。(回答は1つ)

「いつもしている」の割合が81.6%と最も高く、次いで「時々している」の割合が18.4%となっています。



問5 現在担当している利用者の状態が良くなった場合、変更申請するように説明していますか。(回答は1つ)

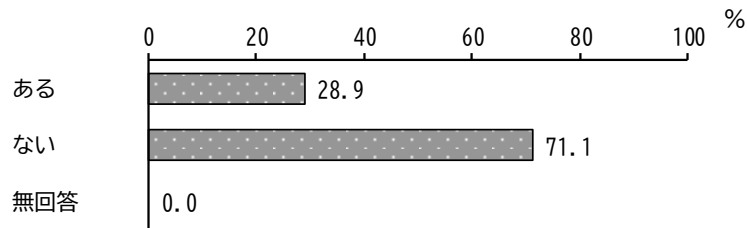
「説明している」の割合が57.9%と最も高く、次いで「説明していない」、「該当なし」の割合が21.1%となっています。



問6 介護サービス計画の作成を断ったことはありますか。(回答は1つ)

「ある」の割合が28.9%、「ない」の割合が71.1%となっています。

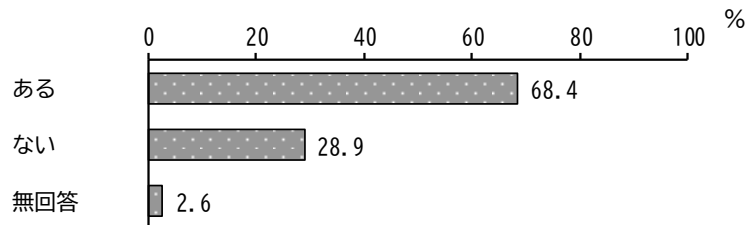
回答者数 = 38



問7 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことはありますか。(回答は1つ)

「ある」の割合が68.4%、「ない」の割合が28.9%となっています。

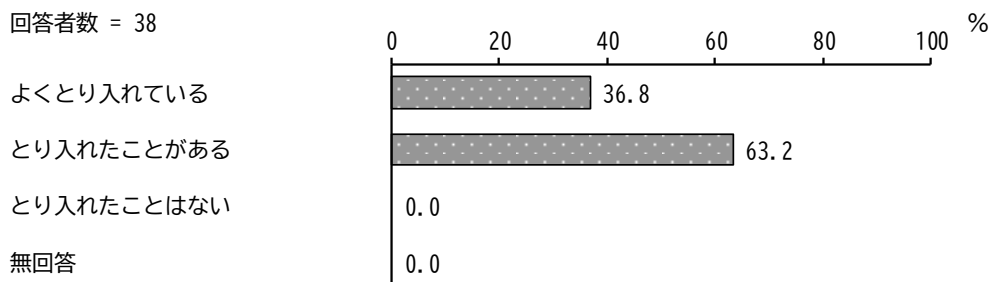
回答者数 = 38



問8 介護保険給付対象外のサービスを取り入れて、サービス計画の作成を行っていますか。(回答は1つ)

「とり入れたことがある」の割合が63.2%と最も高く、次いで「よくとり入れている」の割合が36.8%となっています。

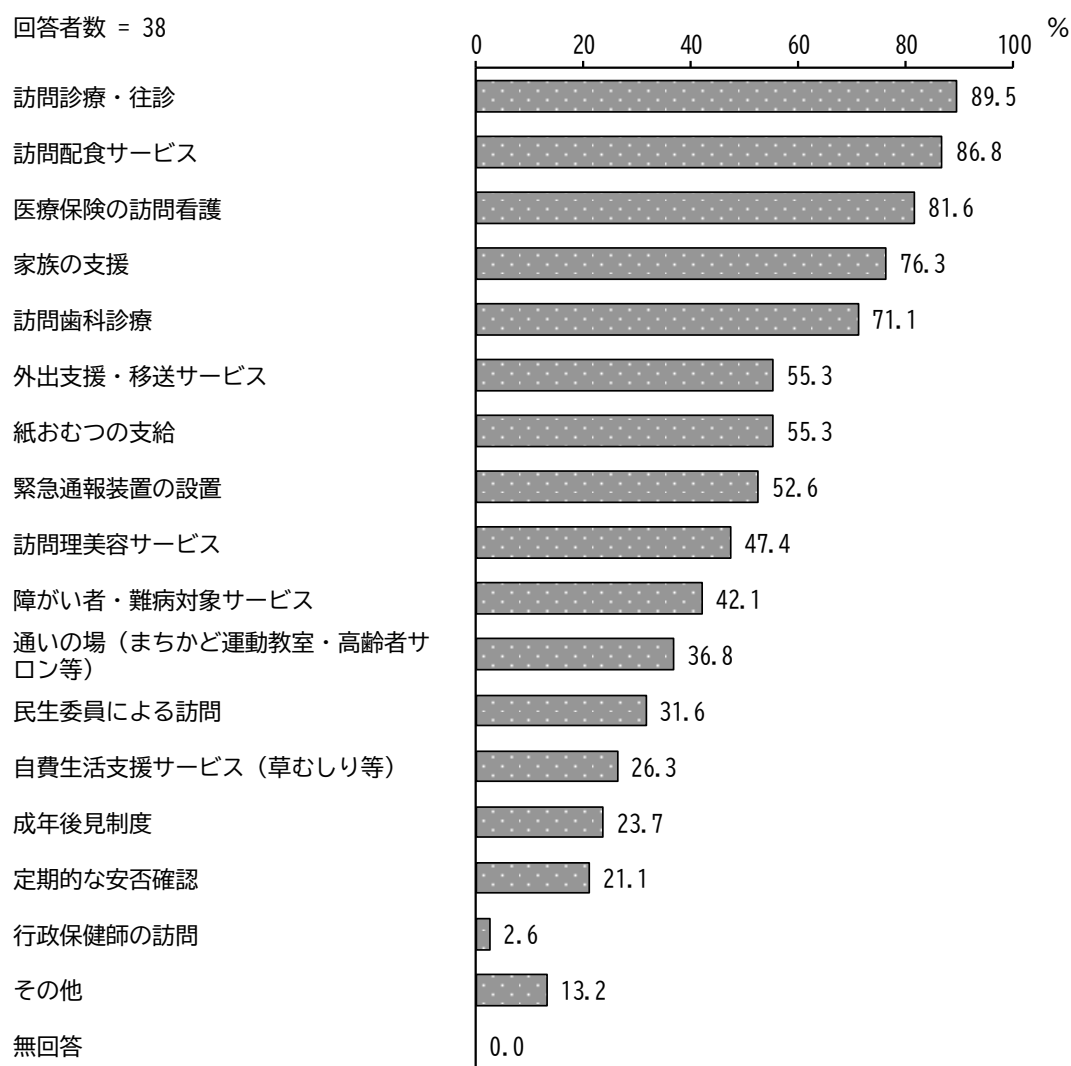
回答者数 = 38



【問8で「よくとり入れている」「とり入れたことがある」のいずれかに回答した方におたずねします。】

問8－1 介護保険給付以外にケアプランに位置づけているサービスや支援活動の種類は何ですか（回答はいくつでも）

「訪問診療・往診」の割合が89.5%と最も高く、次いで「訪問配食サービス」の割合が86.8%、「医療保険の訪問看護」の割合が81.6%となっています。

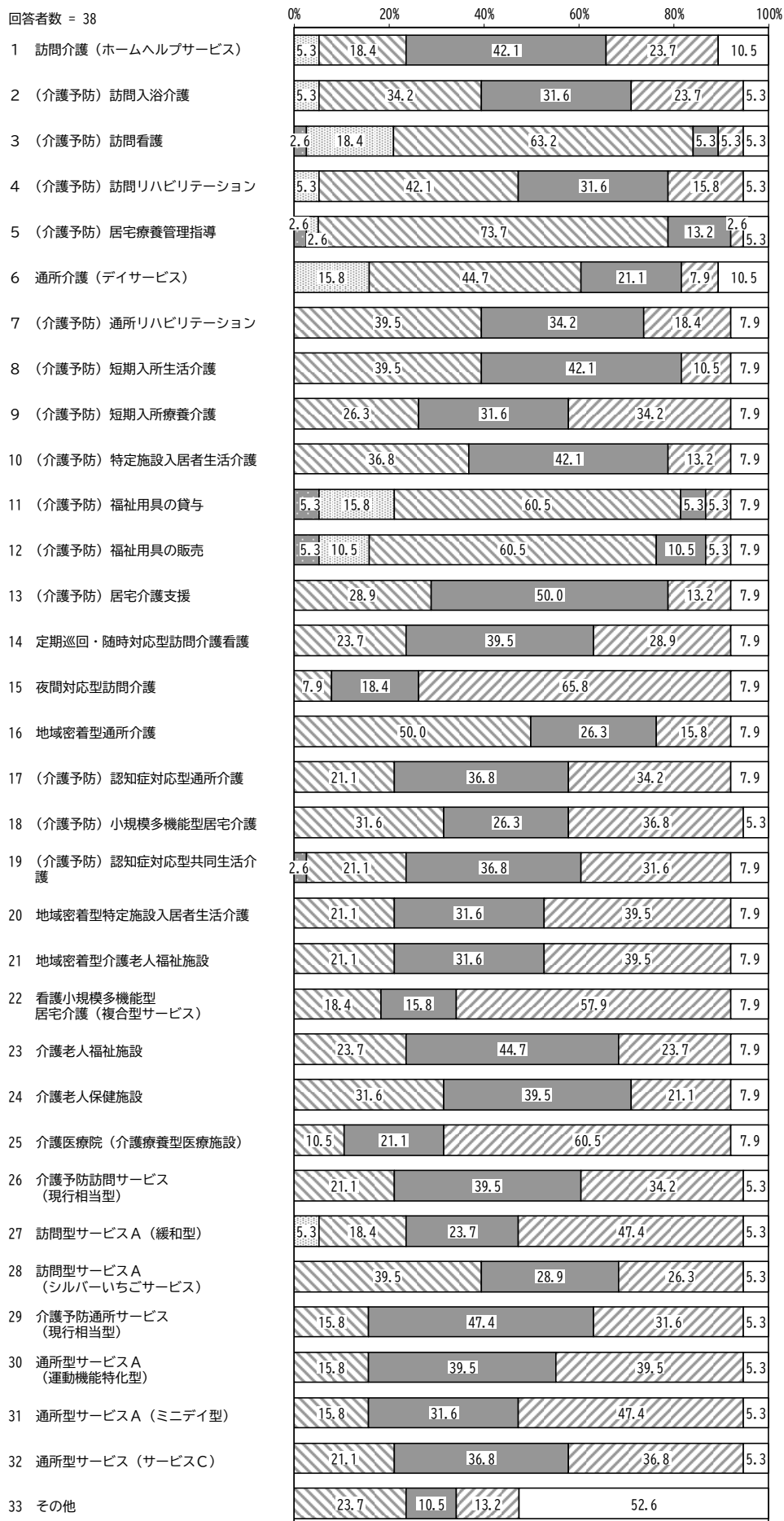


問9 介護保険対象サービスの中で、令和4年12月末現在のサービスの過不足状況についてご回答ください。

3（介護予防）訪問看護、5（介護予防）居宅療養管理指導、11（介護予防）福祉用具の貸与、12（介護予防）福祉用具の販売で「ちょうどよい」の割合が高くなっています。また、15 夜間対応型訪問介護で「少し少ない」と「かなり少ない」をあわせた『少ない』の割合が高くなっています。

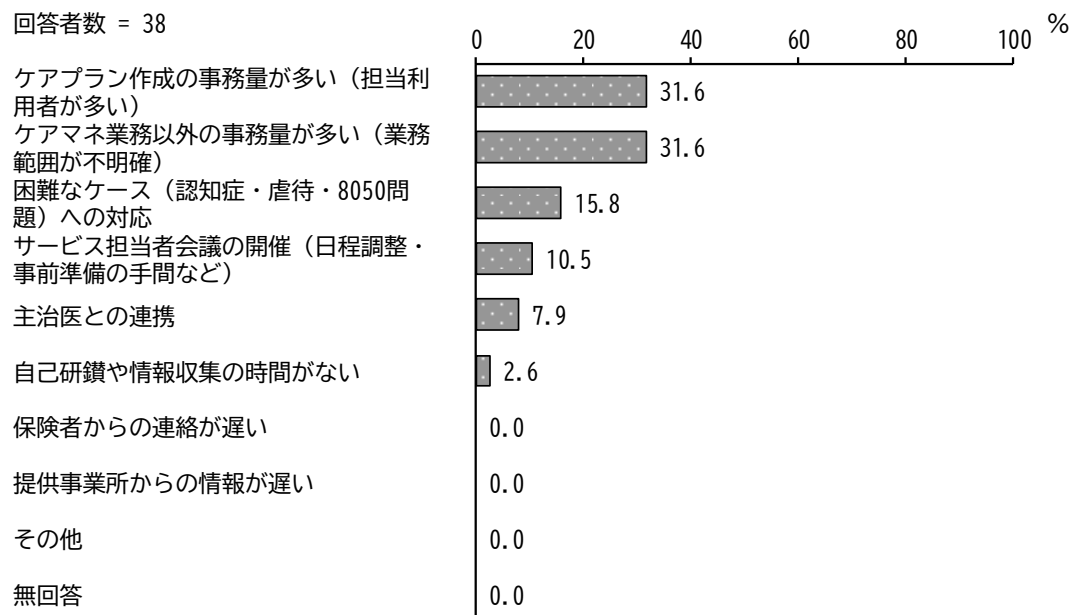
■ かなり多い
■ 少し多い
■ ちょうどよい
■ 少し少ない
■ かなり少ない（ない）
□ 無回答

回答者数 = 38



問 10 介護支援専門員の仕事の中で、最も課題だと考えられるものは何ですか。
(回答は1つ)

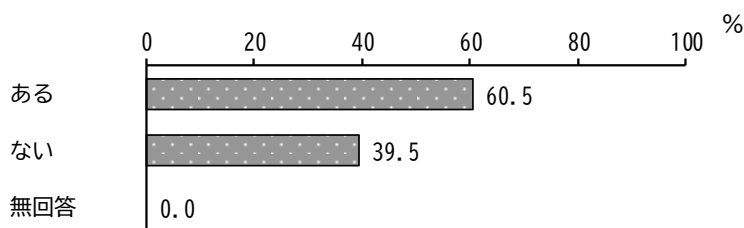
「ケアプラン作成の事務量が多い（担当利用者が多い）」、「ケアマネ業務以外の事務量が多い（業務範囲が不明確）」の割合が 31.6%と最も高くなっています。



問 11 利用者から、苦情を受けたことがありますか。(回答は1つ)

「ある」の割合が 60.5%、「ない」の割合が 39.5%となっています。

回答者数 = 38

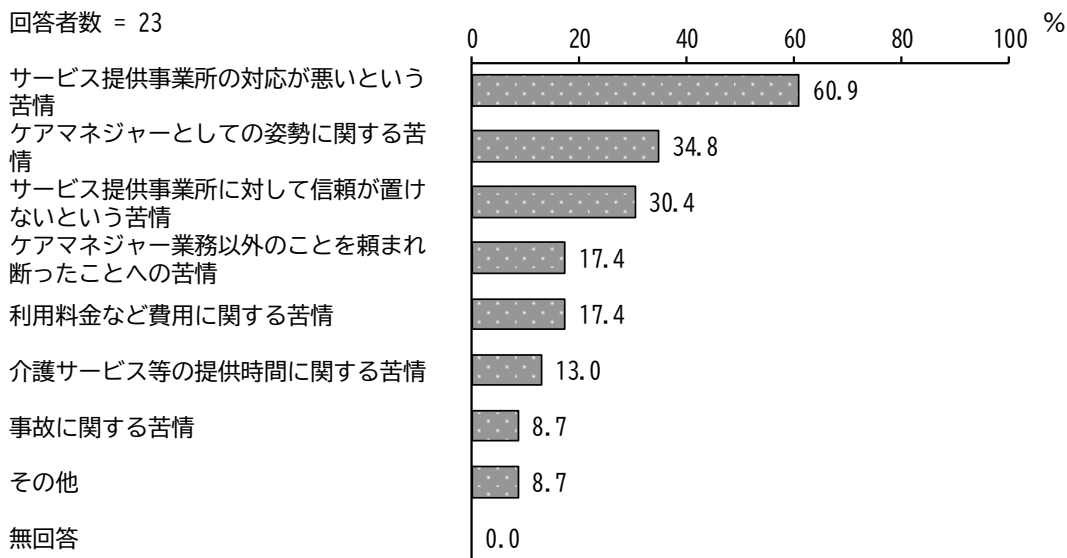


【問 11 で「ある」と回答した方におたずねします。】

問 11-1 どういった苦情を受けたことがありますか。(回答はいくつでも)

「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「ケアマネジャーとしての姿勢に関する苦情」の割合が 34.8%、「サービス提供事業所に対して信頼が置けないという苦情」の割合が 30.4%となっています。

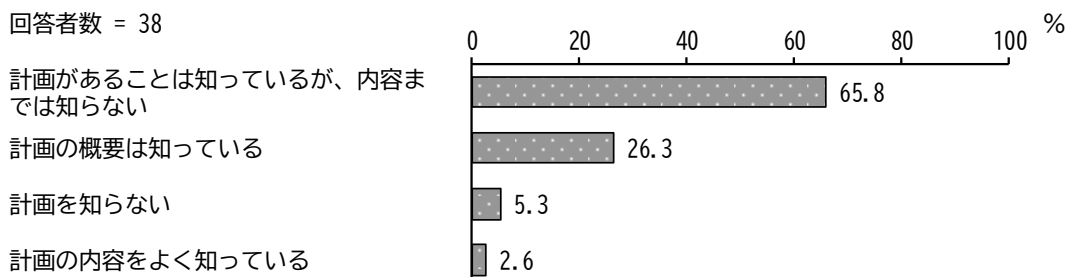
回答者数 = 23



問 12 本市では、「知立市第8期介護保険事業計画・第9次高齢者福祉計画」を策定していますが、計画の内容をご存じですか。(回答は1つ)

「計画があることは知っているが、内容までは知らない」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「計画の概要は知っている」の割合が 26.3%となっています。

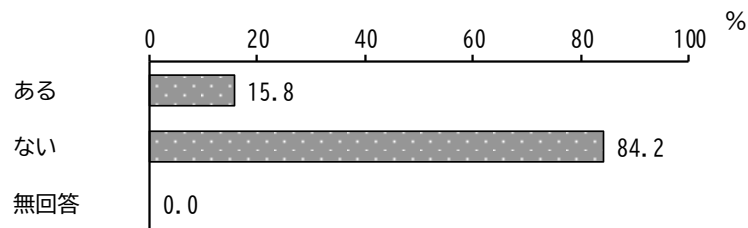
回答者数 = 38



問 13 あなたが受けもっている要介護者の中で、高齢者虐待を受けているか、または受けていると思われる事例がありますか。(回答は1つ)

「ある」の割合が 15.8%、「ない」の割合が 84.2%となっています。

回答者数 = 38



【虐待事例の件数】

「1 件」が 4 事業所、「3 件」が 1 事業所となっています。

【問 13 で「ある」と回答した方におたずねします。】

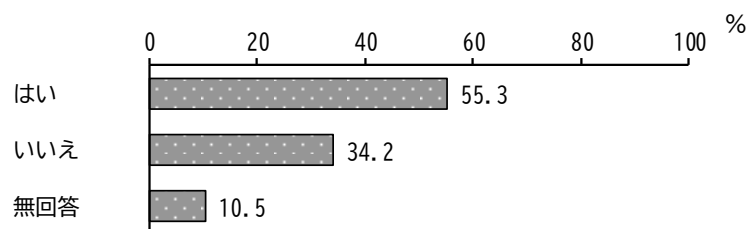
問 13－1 どこから虐待を発見しましたか。(回答はいくつでも)

「被虐待者から」、「虐待者から」が 2 件、「虐待者以外の同居家族から」、「サービス提供事業者から」が 1 件となっています。

問 14 虐待の恐れ等を発見した際、関係機関に相談・通報しましたか。(回答は1つ)

「はい」の割合が 55.3%、「いいえ」の割合が 34.2%となっています。

回答者数 = 38

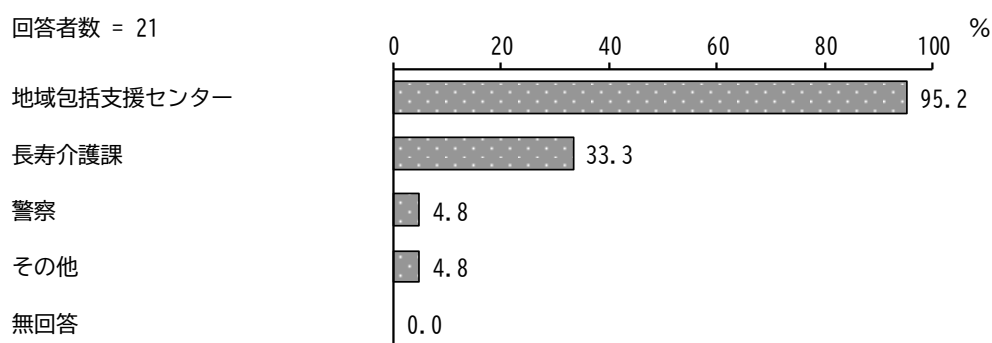


【問 14 で「はい」と回答した方におたずねします。】

問 14－1 相談・通報先はどこですか。（回答はいくつでも）

「地域包括支援センター」の割合が 95.2%と最も高く、次いで「長寿介護課」の割合が 33.3%となっています。

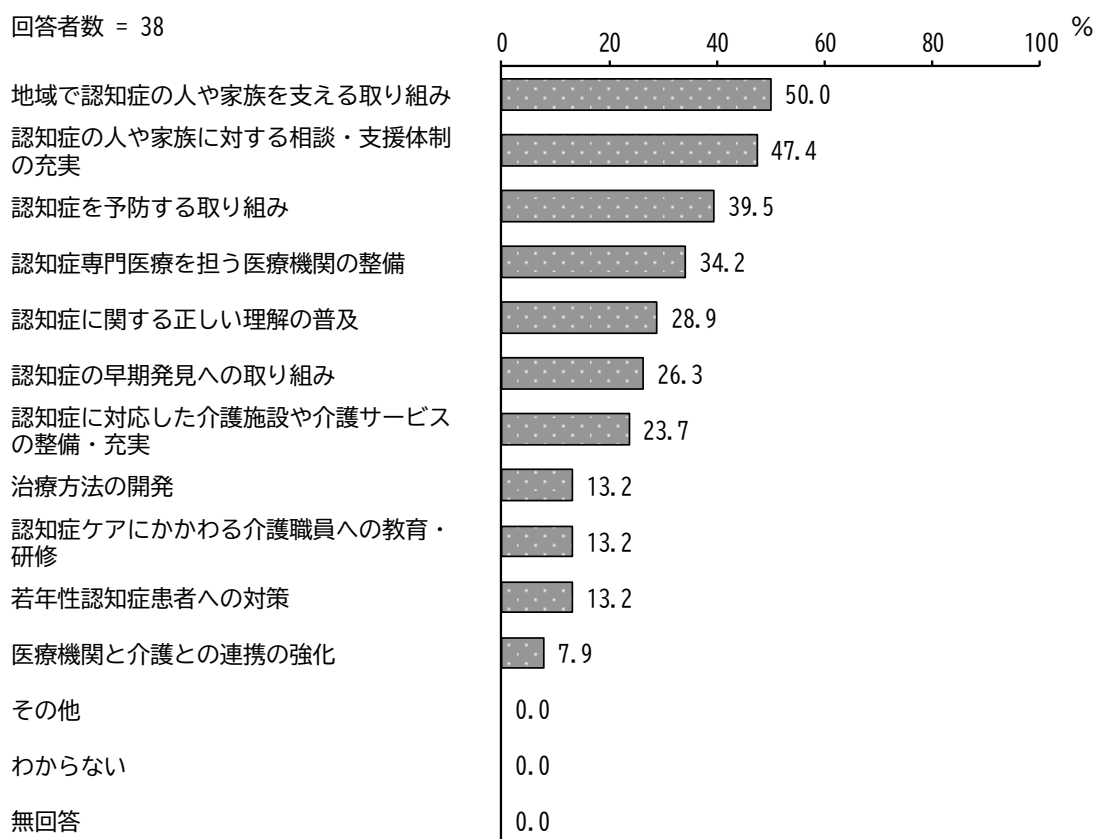
回答者数 = 21



問 15 社会において、特に重点を置くべき認知症対策は何だと思いますか。（回答は3つまで）

「地域で認知症の人や家族を支える取り組み」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「認知症の人や家族に対する相談・支援体制の充実」の割合が 47.4%、「認知症を予防する取り組み」の割合が 39.5%となっています。

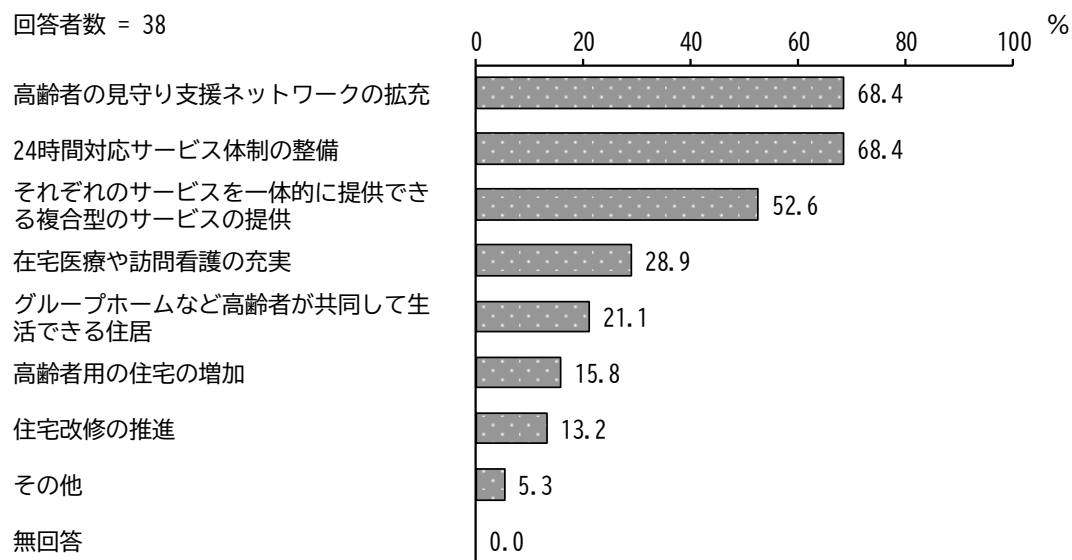
回答者数 = 38



問 16 貴事業所では、要介護認定者が居宅や地域での生活続けるために、どのような
 点の改善が必要だと思いますか。（回答は3つまで）

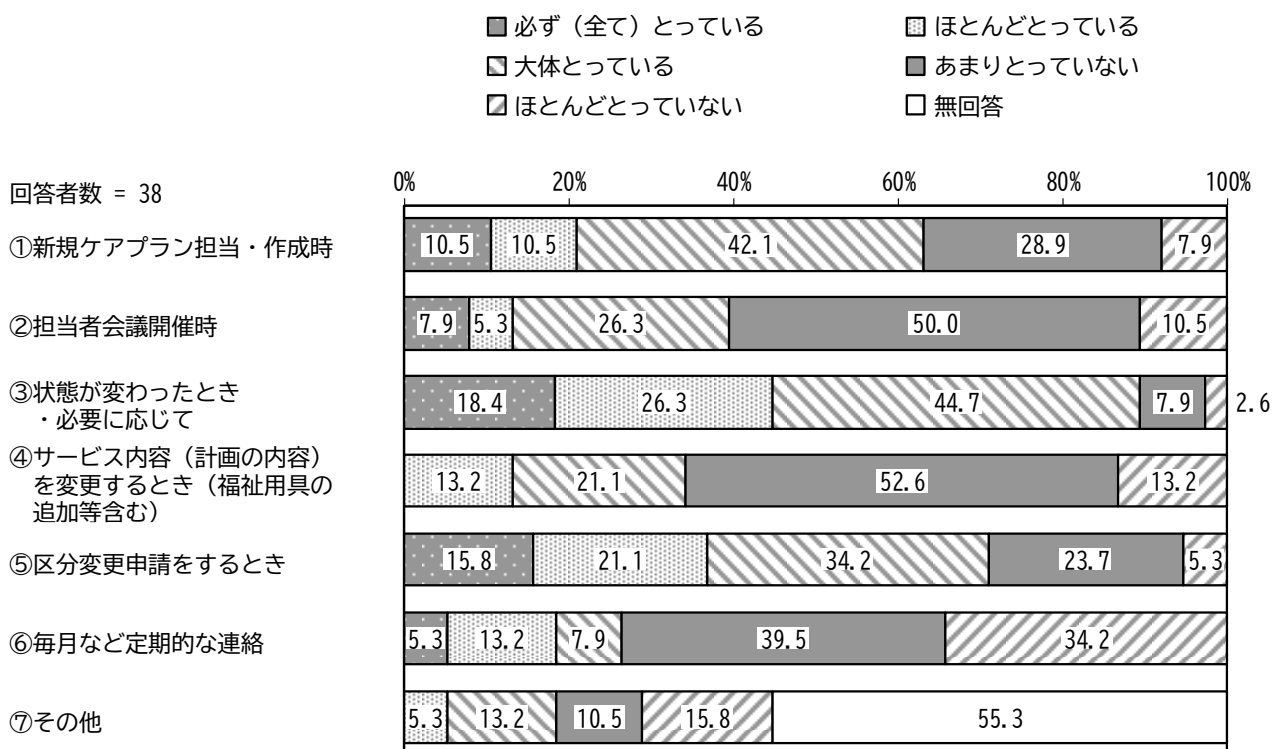
「高齢者の見守り支援ネットワークの拡充」、「24 時間対応サービス体制の整備」の割合が
 68.4%と最も高く、次いで「それぞれのサービスを一体的に提供できる複合型のサービスの提供」
 の割合が 52.6%となっています。

回答者数 = 38



問 17 医療機関とはどのような時に連携をとっていますか。(回答はそれぞれ1つ)
(それぞれの場においての連携状況をお答えください)

「③状態が変わったとき・必要に応じて」、「④サービス内容(計画の内容)を変更するとき(福祉用具の追加等含む)」、「⑤区分変更申請をするとき」で「必ずとっている」と「ほとんどとっている」をあわせた『連携をとっている』の割合が高くなっている一方、「⑥毎月など定期的な連絡」で「ほとんどとっていない」の割合が高くなっています。

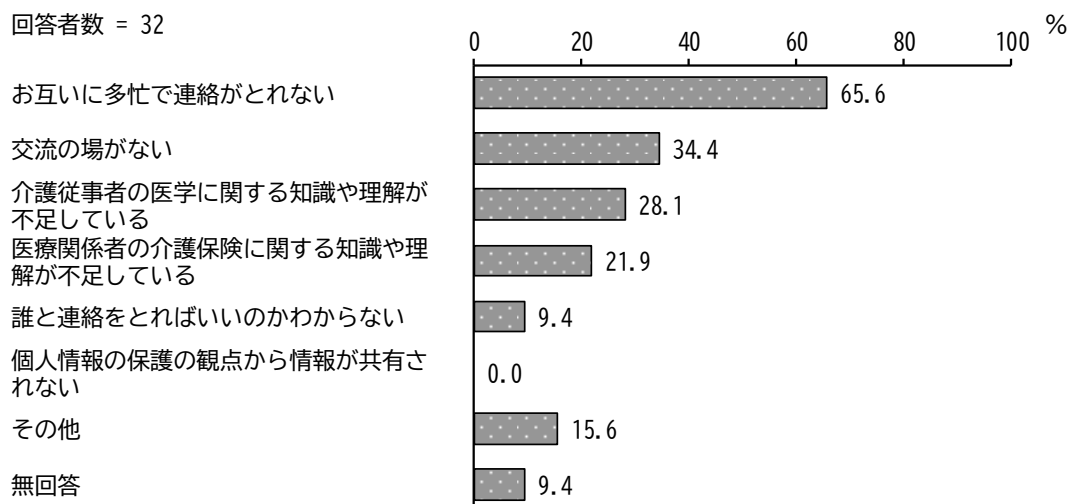


【問 17 のいずれかで「あまりとっていない」「ほとんどとっていない」と回答した方におたずねします。】

問 17-1 連携できていないと考える理由は何ですか。(回答はいくつでも)

「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「交流の場がない」の割合が 34.4%、「介護従事者の医学に関する知識や理解が不足している」の割合が 28.1%となっています。

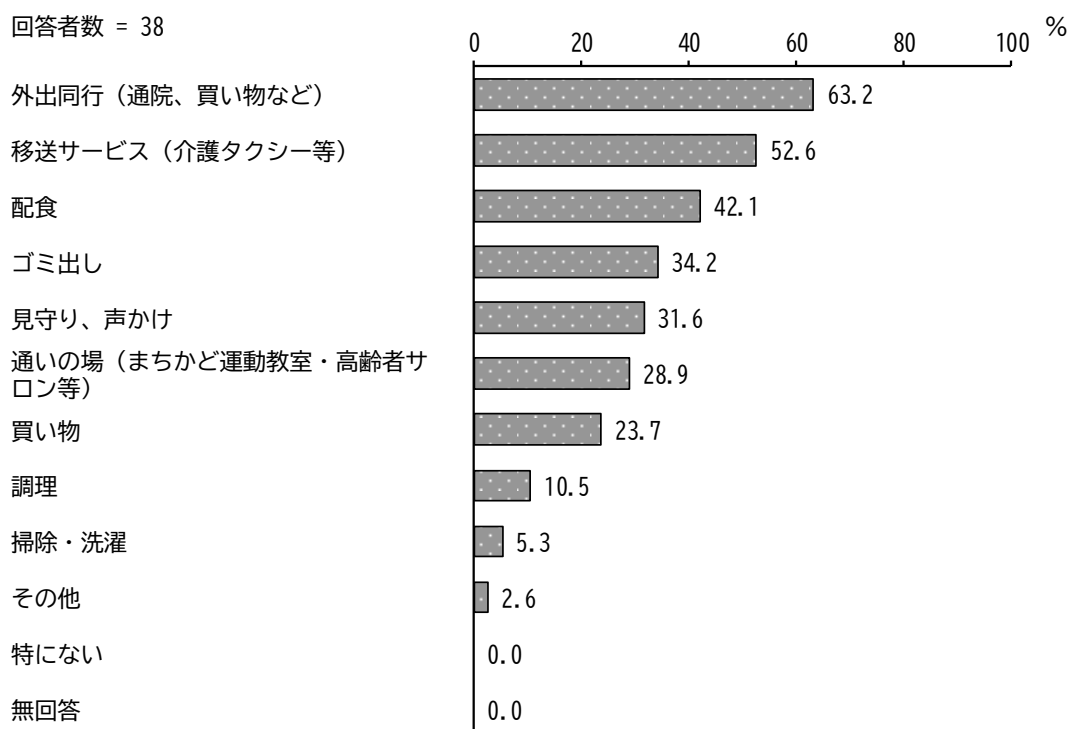
回答者数 = 32



問 20 今後の高齢者の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスについてお答えください。(回答は3つまで)

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「移送サービス（介護タクシー等）」の割合が 52.6%、「配食」の割合が 42.1%となっています。

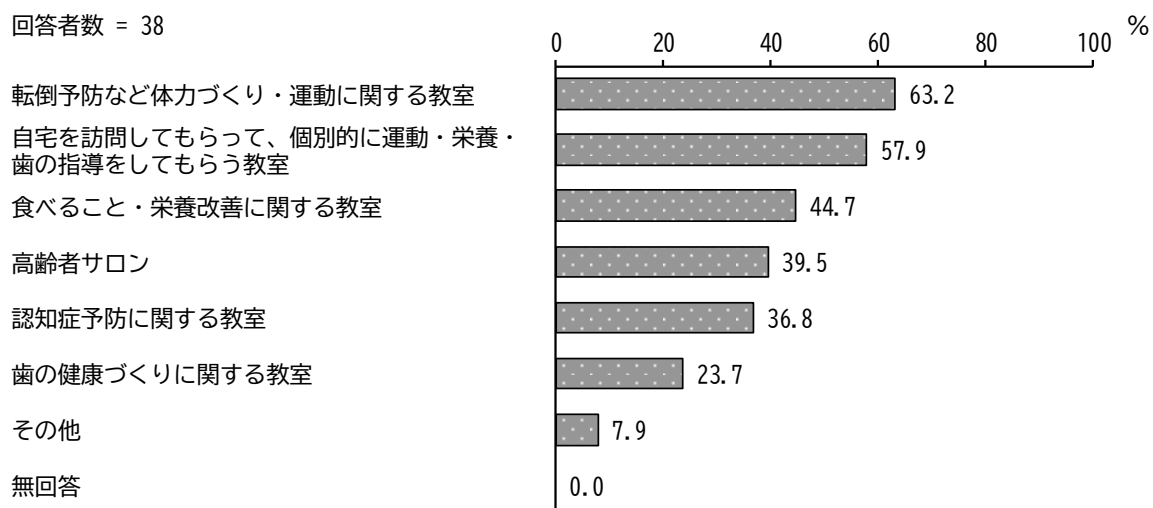
回答者数 = 38



問 21 介護予防事業について、充実をすべきだと思うものをお答えください。
(回答は3つまで)

「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「自宅を訪問してもらって、個別的に運動・栄養・歯の指導をしてもらう教室」の割合が 57.9%、「食生活・栄養改善に関する教室」の割合が 44.7%となっています。

回答者数 = 38

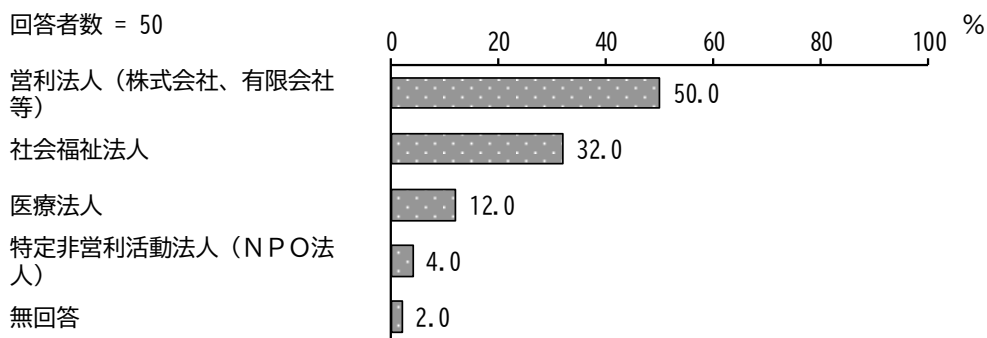


5 事業所

(1) 事業所について

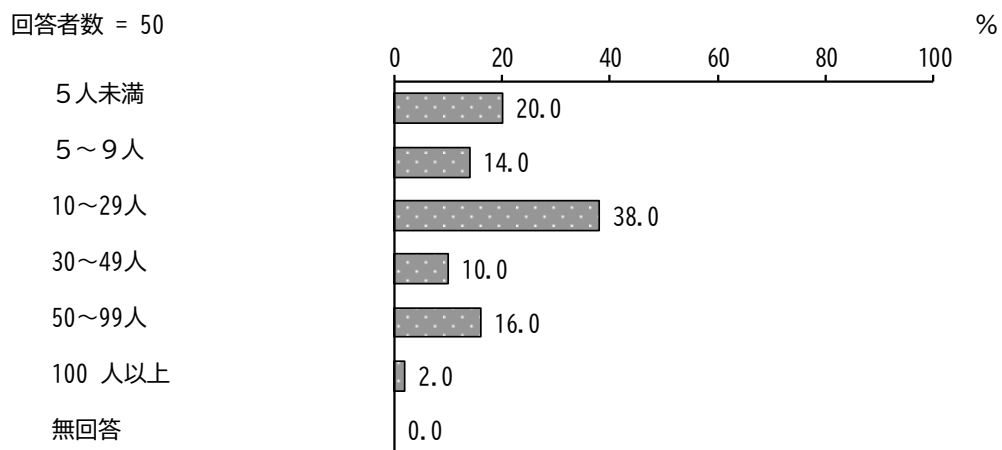
問1 貴事業所の法人格についてあてはまるものはどれですか。(回答は1つ)

「営利法人（株式会社、有限会社等）」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が 32.0%、「医療法人」の割合が 12.0%となっています。



問2 貴事業所の従業員は何人ですか。(回答は1つ)

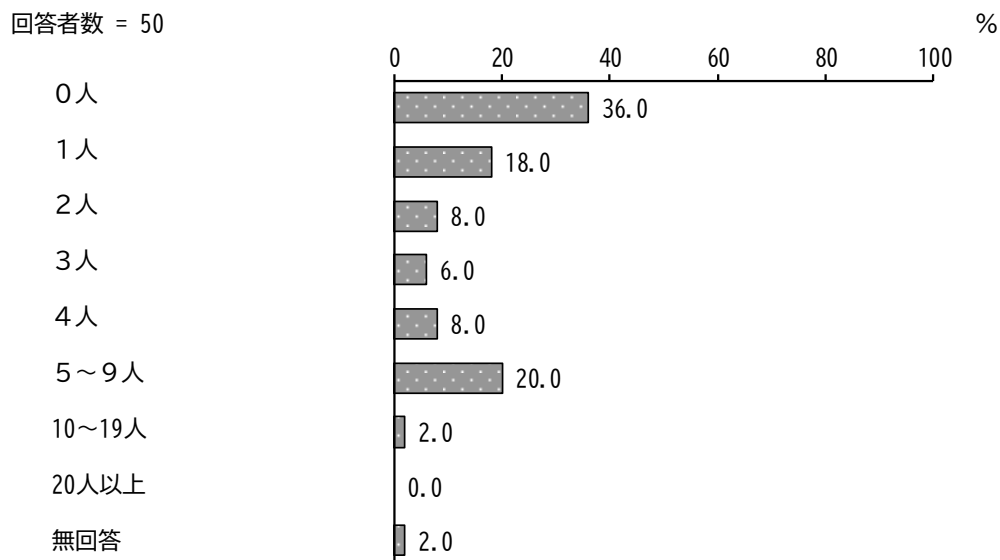
「10～29 人」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「5 人未満」の割合が 20.0%、「50～99 人」の割合が 16.0%となっています。



問3 過去1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

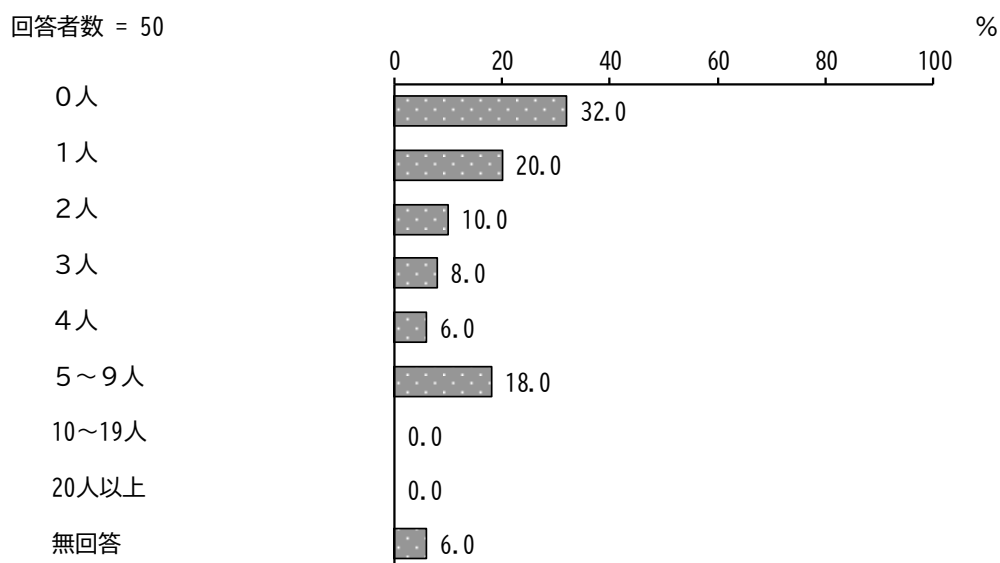
①採用者数

「0人」の割合が36.0%と最も高く、次いで「5～9人」の割合が20.0%、「1人」の割合が18.0%となっています。



②離職者数

「0人」の割合が32.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が20.0%、「5～9人」の割合が18.0%となっています。



問3-1 問3について、正規・非正規の別、年齢別をご記入ください。(数値を記入)

採用者数でみると、正規職員が97人、非正規職員が91人と正規職員の人数が多くなっています。また、正規職員では50～59歳、非正規職員では30～39歳で人数が多くなっています。

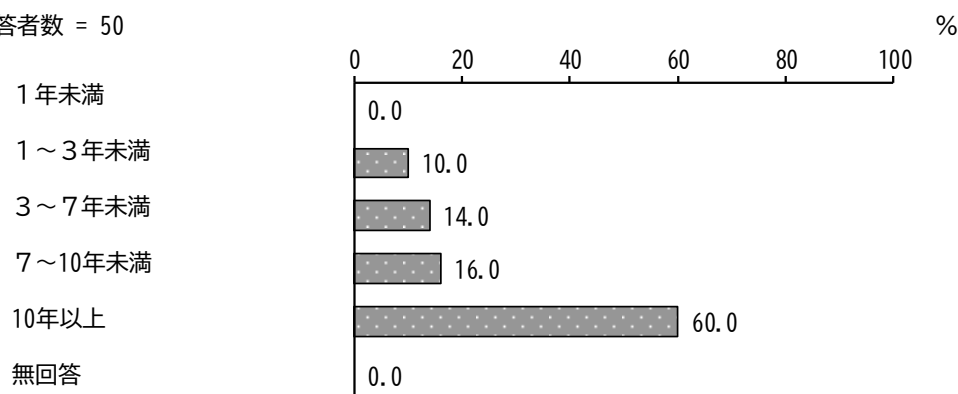
離職者数でみると、正規職員が53人、非正規職員が50人と正規職員の人数が多くなっています。また、正規職員では40～49歳、非正規職員では30～39歳で人数が多くなっています。

	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
人数	97人	91人	53人	50人
合計	188人		103人	
20歳未満	5人	0人	5人	0人
20～29歳	21人	11人	9人	5人
30～39歳	17人	28人	10人	14人
40～49歳	23人	21人	14人	13人
50～59歳	24人	18人	10人	10人
60～69歳	7人	11人	5人	8人
70～79歳	0人	2人	0人	0人
年齢不明	0人	0人	0人	0人

問4 貴事業所の運営年数は何年ですか。(回答は1つ)

「10年以上」の割合が60.0%と最も高く、次いで「7～10年未満」の割合が16.0%、「3～7年未満」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 50

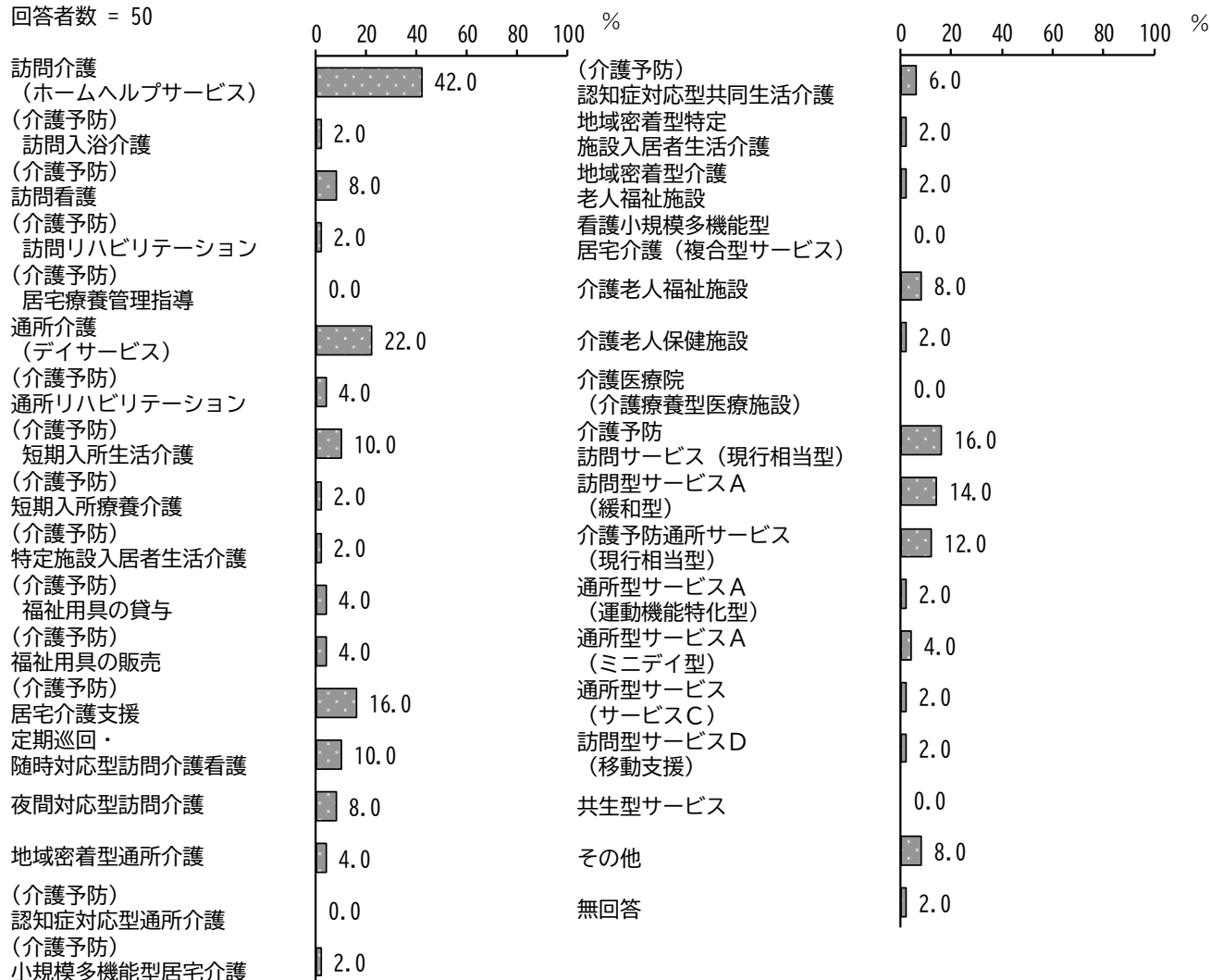


問5 貴事業所における介護サービスの現在の実施状況と今後の実施予定について、ご回答ください。
 (「現在」実施している場合は実施しているの「1」に回答を、さらに今後その介護サービスを拡大または縮小する予定がある場合は拡大の「2」または縮小の「3」に回答をつけてください。「今後」実施の予定がある場合は実施予定の「1」に回答をつけて、実施予定時期を記入してください。)

A 実施しているサービス

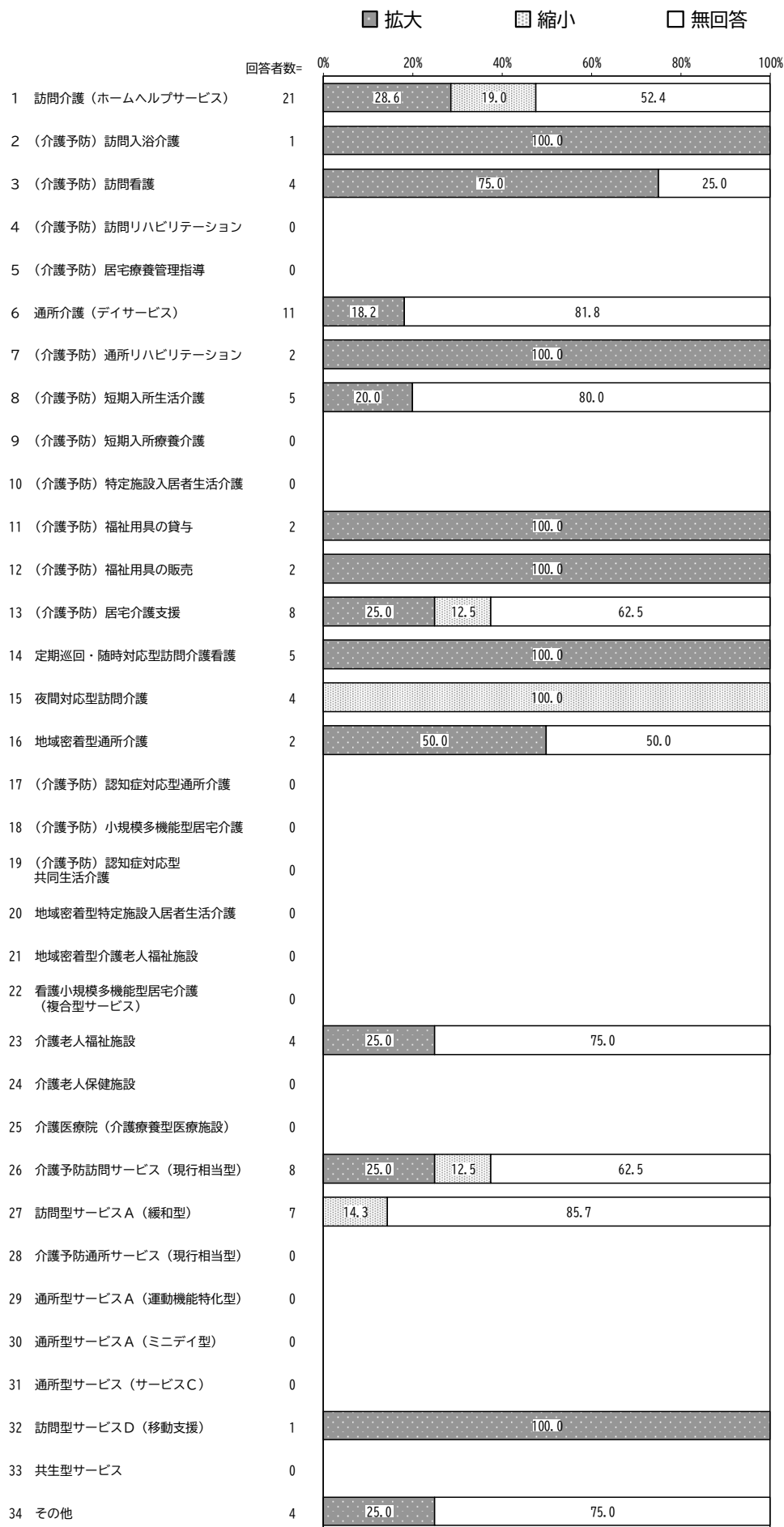
「訪問介護（ホームヘルプサービス）」の割合が42.0%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」の割合が22.0%、「(介護予防)居宅介護支援」、「介護予防訪問サービス（現行相当型）」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 50



B 今後その介護サービスを拡大または縮小する予定

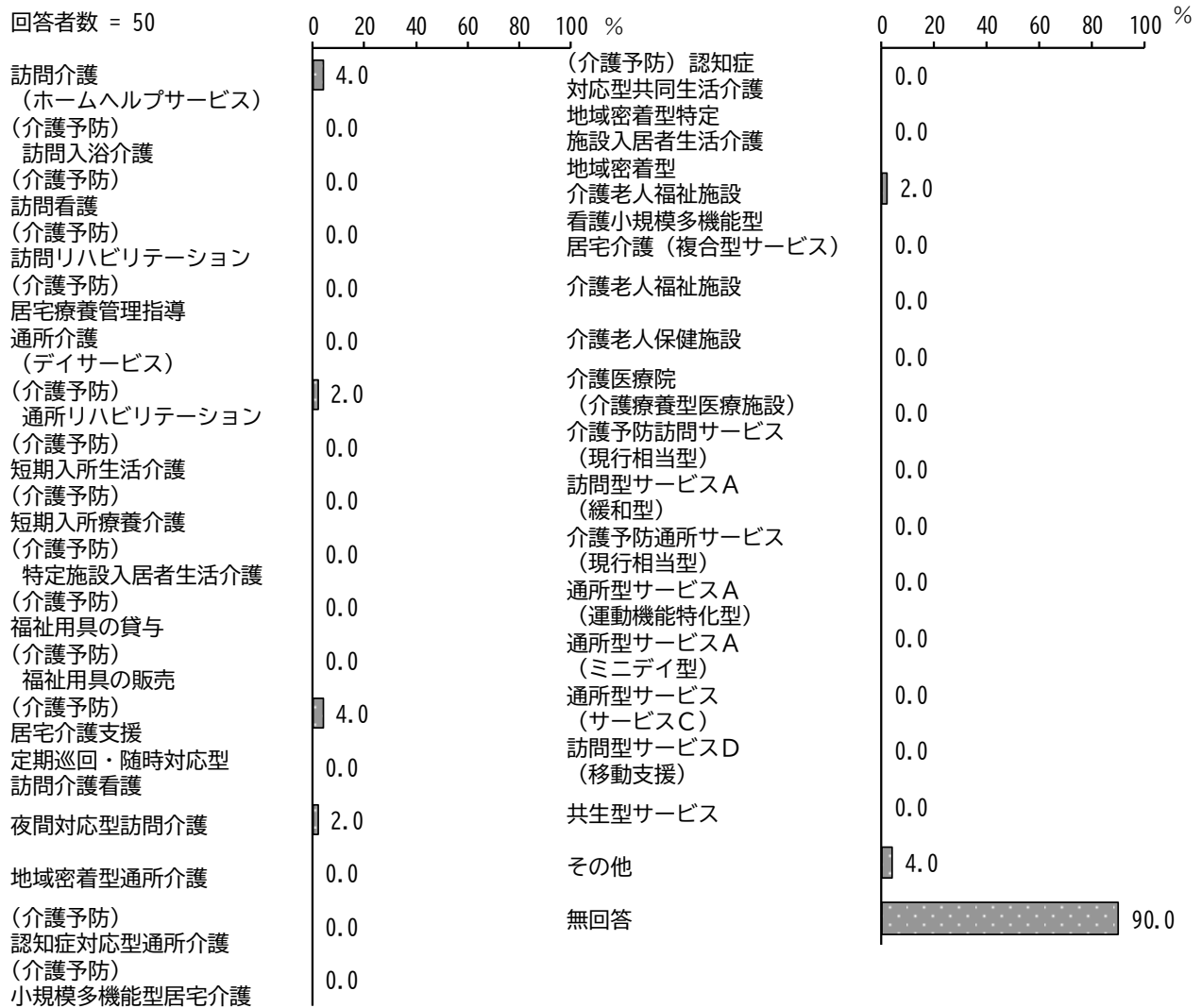
2 (介護予防)訪問入浴介護、7 (介護予防)通所リハビリテーション、11 (介護予防)福祉用具の貸与、12 (介護予防)福祉用具の販売、14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、32 訪問型サービスD(移動支援)で、「拡大」の割合が高くなっています。



C 今後の実施予定

「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「（介護予防）居宅介護支援」の割合が4.0%と最も高くなっています。

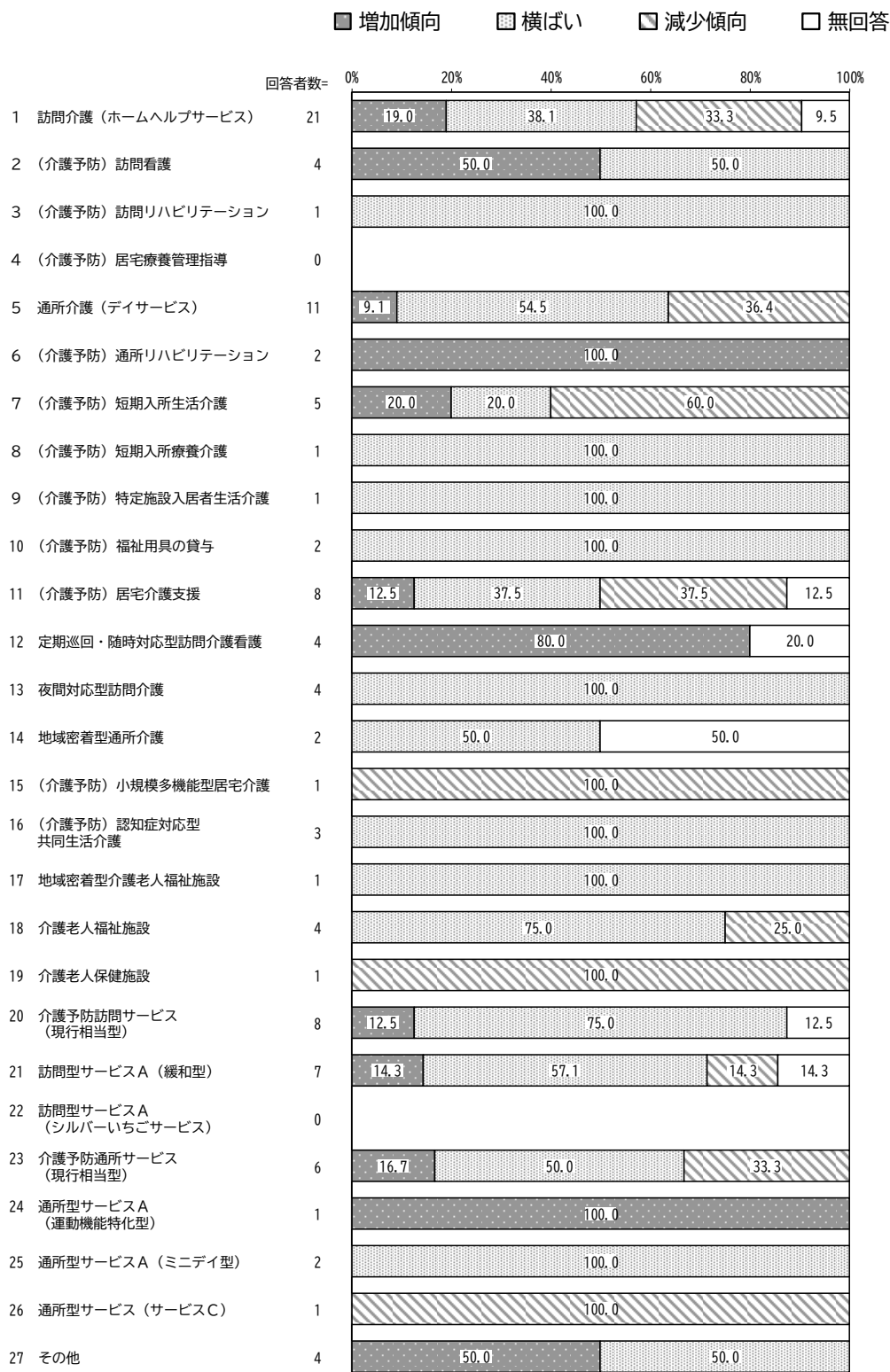
回答者数 = 50



問6 貴事業所で実施している事業について、過去1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の利用者数及びサービスニーズへの対応状況について、各項目で該当するものに回答をつけてください。

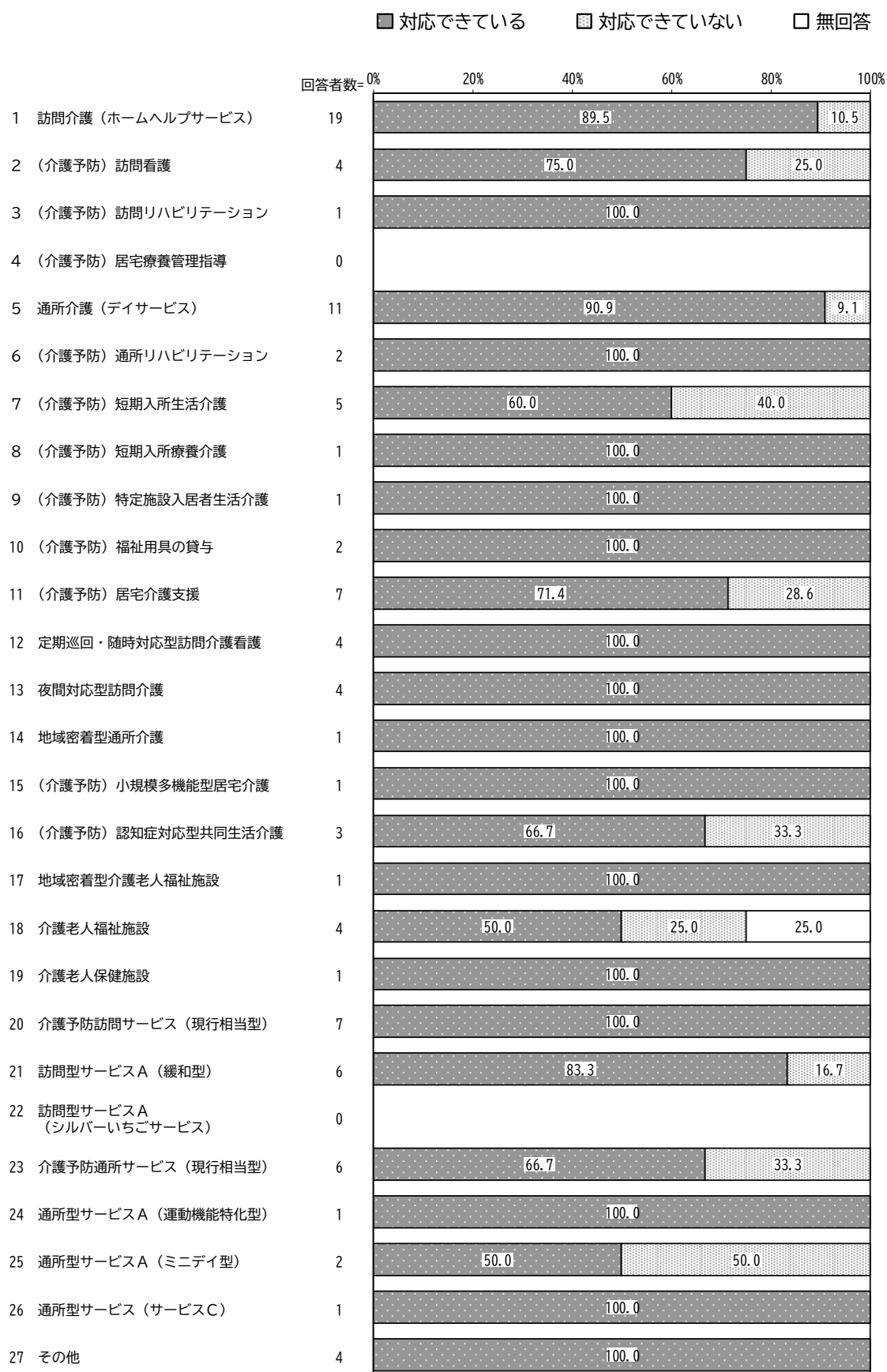
A 利用者数の状況

6 通所介護（デイサービス）24 通所型サービスA（運動機能特化型）で、「増加傾向」の割合が高くなっています。また、5 通所介護（デイサービス）、7（介護予防）短期入所生活介護、15（介護予防）小規模多機能型居宅介護、19 介護老人保健施設、26 通所型サービス（サービスC）で、「減少傾向」の割合が高くなっています。



B サービスニーズへの対応状況

7 (介護予防) 短期入所生活介護、25 通所型サービスA (ミニデイ型) で、「対応できていない」の割合が高くなっています。

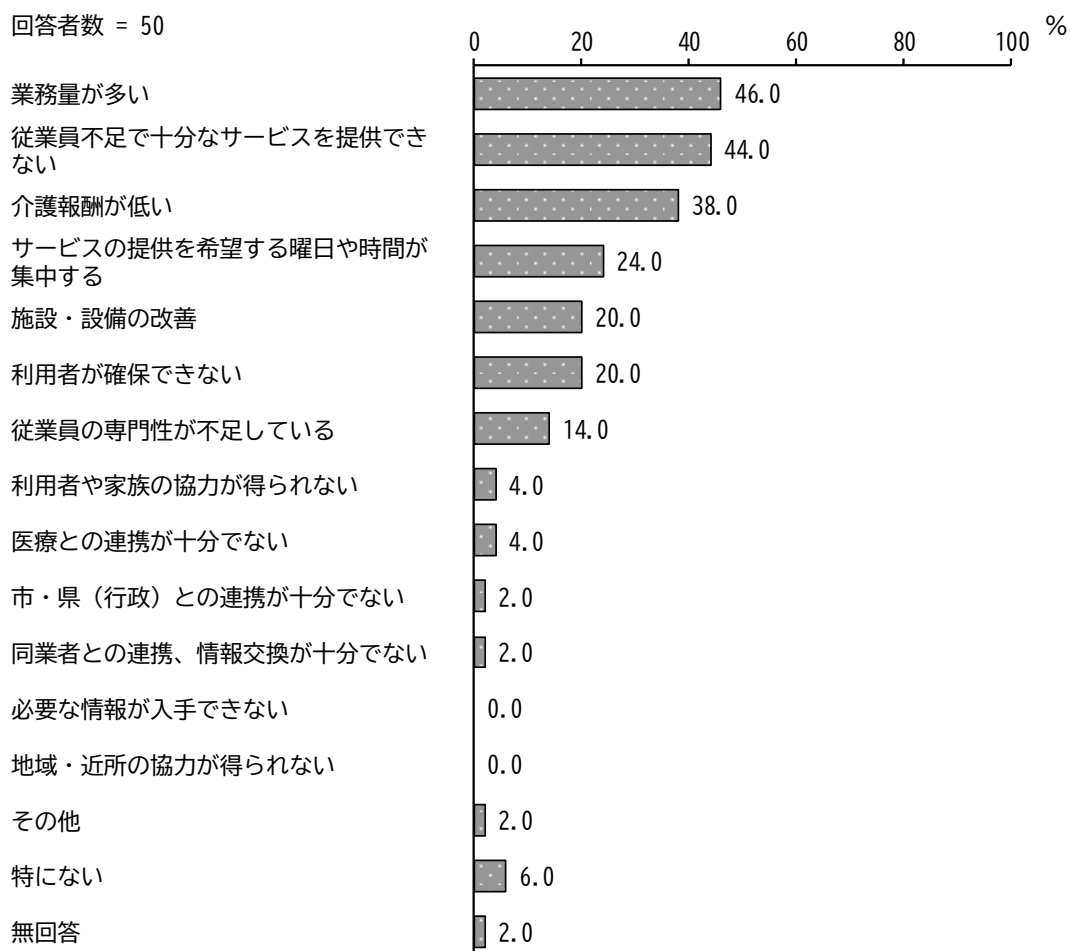


(2) 事業所の運営上の課題

問7 事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか。
(回答は3つまで)

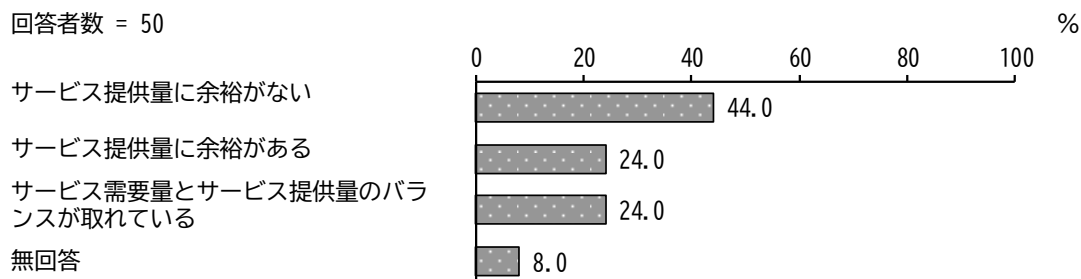
「業務量が多い」の割合が46.0%と最も高く、次いで「従業員不足で十分なサービスを提供できない」の割合が44.0%、「介護報酬が低い」の割合が38.0%となっています。

回答者数 = 50



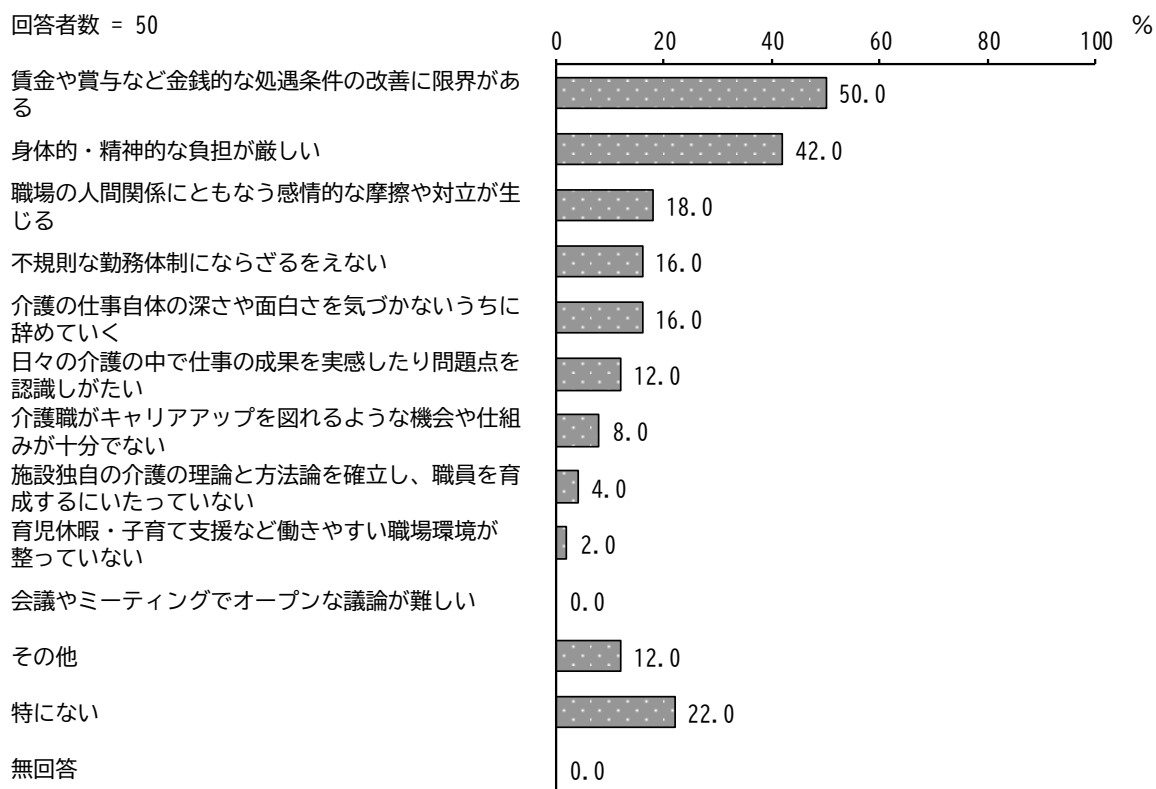
問8 現在、貴事業所におけるサービス提供はどのような状況ですか。(回答は1つ)

「サービス提供量に余裕がない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「サービス提供量に余裕がある」、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」の割合が24.0%となっています。



問9 貴事業所では、職員の確保と定着率向上にはどのような問題点がありますか。(回答は3つまで)

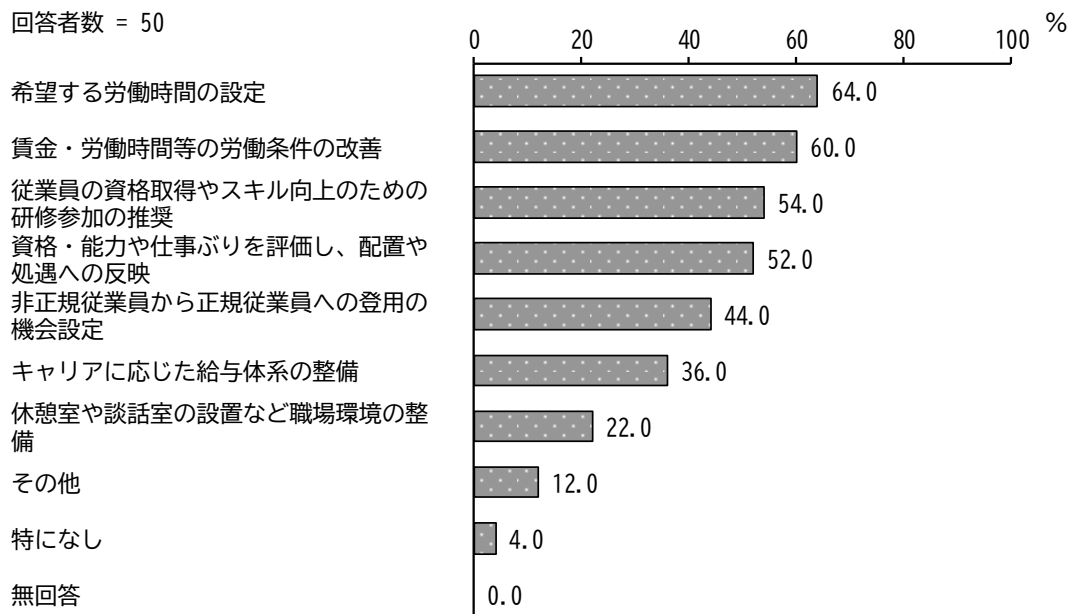
「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」の割合が50.0%と最も高く、次いで「身体的・精神的な負担が厳しい」の割合が42.0%、「特にない」の割合が22.0%となっています。



問 10 人材を確保および定着させるために取り組んでいることは何ですか。
(回答はいくつでも)

「希望する労働時間の設定」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」の割合が 60.0%、「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」の割合が 54.0%、「資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映」の割合が 52.0%となっています。

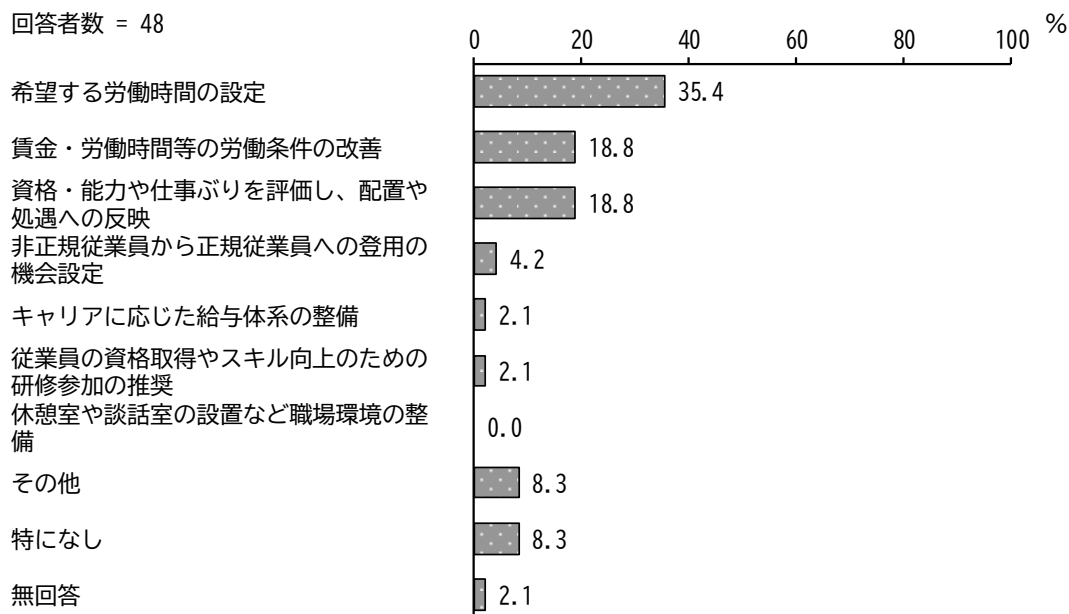
回答者数 = 50



問 10-1 問 10 のうち最も効果があったものをお答えください。(回答は1つ)

「希望する労働時間の設定」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」、「資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映」の割合が 18.8%となっています。

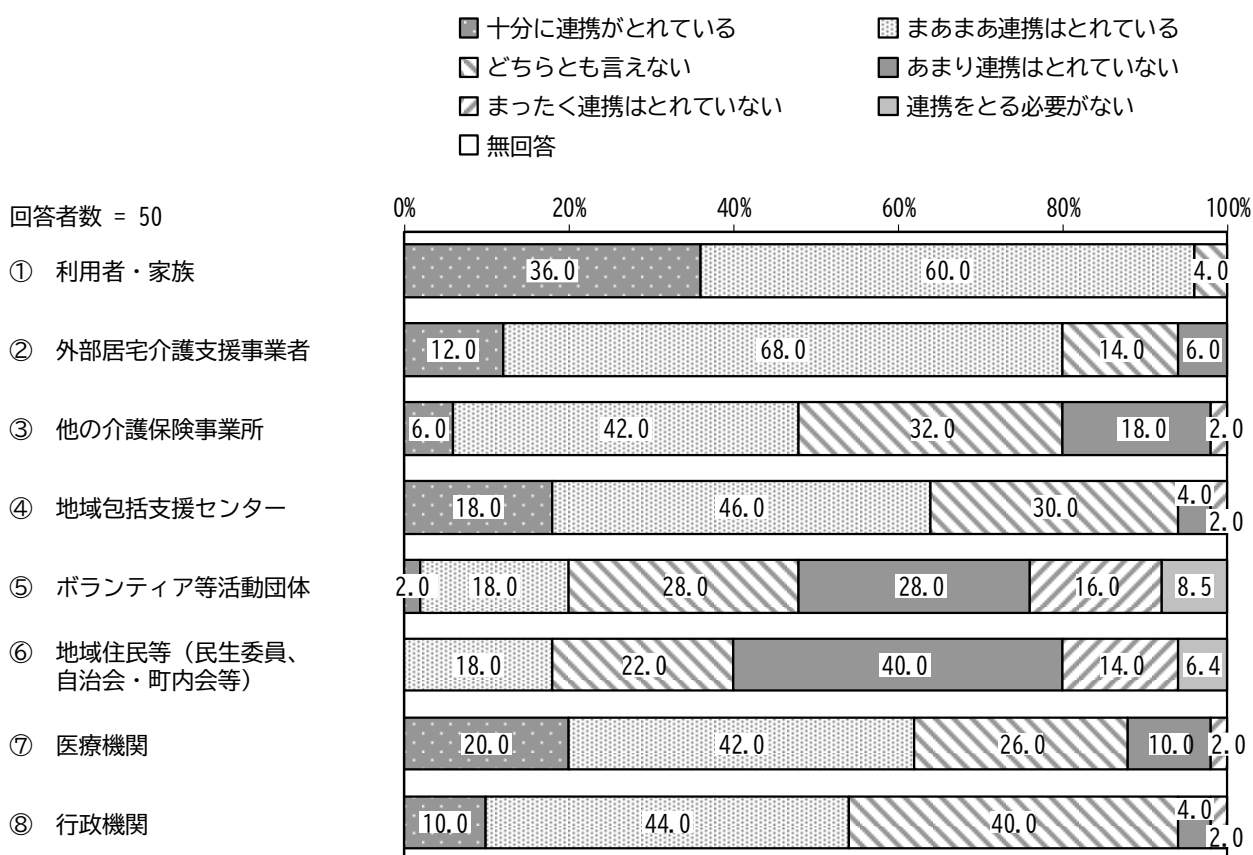
回答者数 = 48



(3) 関係機関との連携について

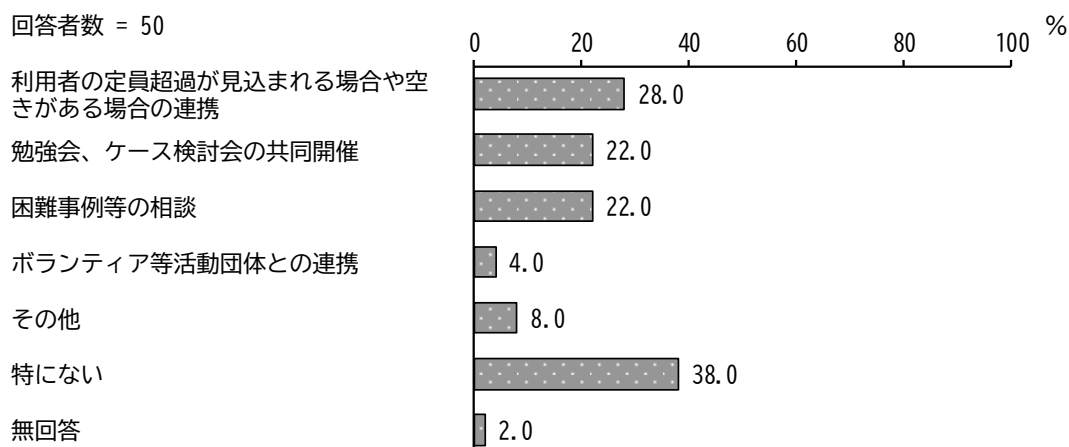
問 11 普段から、以下にあげる人たちとの連携がとれていますか。
(回答はそれぞれ1つ)

①利用者・家族、②外部居宅介護支援事業者で、「十分に連携がとれている」「まあまあ連携がとれている」を合わせた『連携がとれている』の割合が高くなっています。また、⑤ボランティア・NPO、⑥地域住民等で、「あまり連携はとれていない」「まったく連携はとれていない」を合わせた『連携はとれていない』の割合が高くなっています。



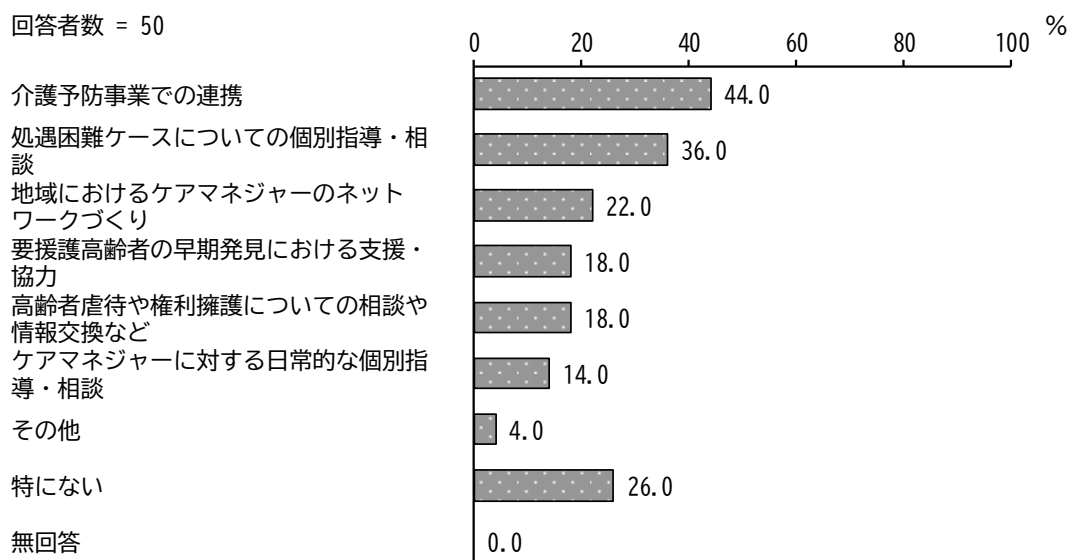
問 12 他法人等との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。
(回答はいくつでも)

「特にない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」の割合が 28.0%、「勉強会、ケース検討会の共同開催」、「困難事例等の相談」の割合が 22.0%となっています。



問 13 地域包括支援センターとの連携について、貴事業所として取り組んでいることが
ありますか。(回答はいくつでも)

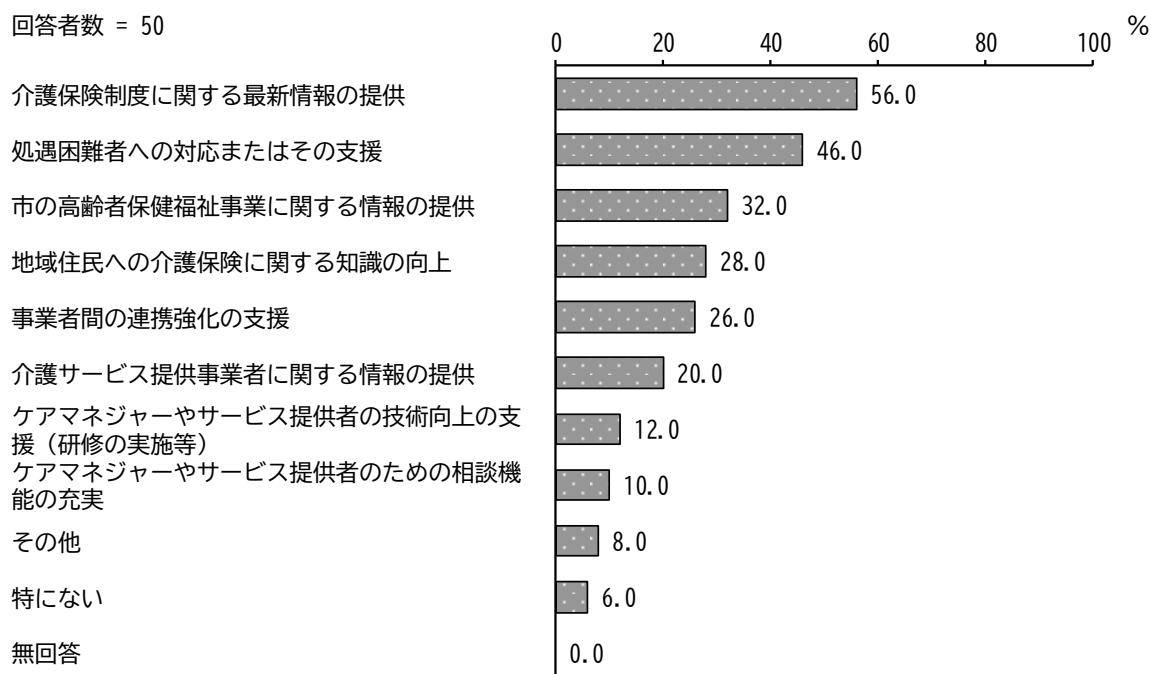
「介護予防事業での連携」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「処遇困難ケースについての個別指導・相談」の割合が 36.0%、「特にない」の割合が 26.0%となっています。



問 14 介護保険サービス事業を行う上で、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。（回答は3つまで）

「介護保険制度に関する最新情報の提供」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「処遇困難者への対応またはその支援」の割合が 46.0%、「市の高齢者保健福祉事業に関する情報の提供」の割合が 32.0%となっています。

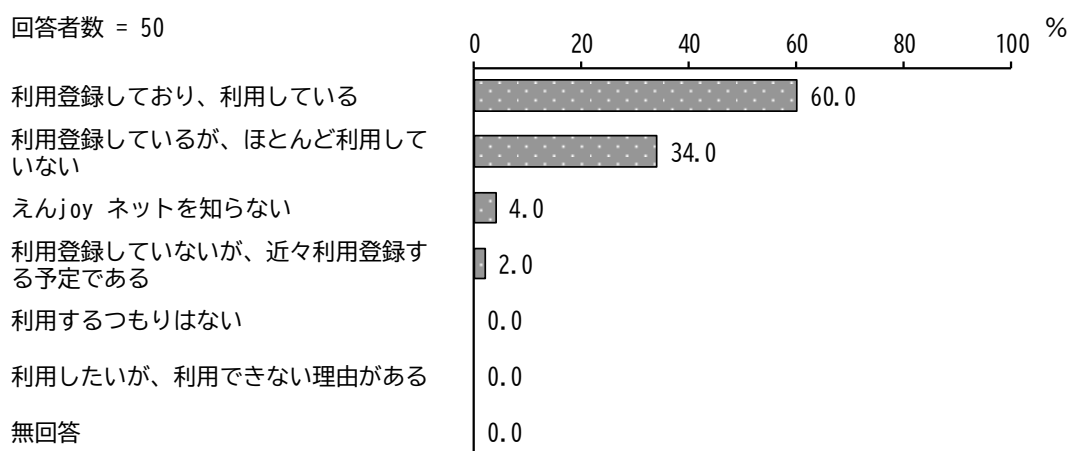
回答者数 = 50



問 15 知立市では「えん joy ネット」により多職種間の情報連携の取り組み等を行っています。貴事業所の「えん joy ネット」への登録・利用状況を教えてください。（回答は1つ）

「利用登録しており、利用している」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「利用登録しているが、ほとんど利用していない」の割合が 34.0%となっています。

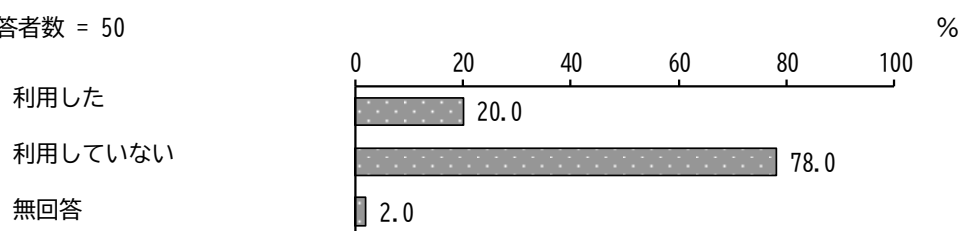
回答者数 = 50



問 16 刈谷・知立・高浜在宅医療・介護連携支援センターを利用したことはありますか。(回答は1つ)

「利用した」の割合が 20.0%、「利用していない」の割合が 78.0%となっています。

回答者数 = 50

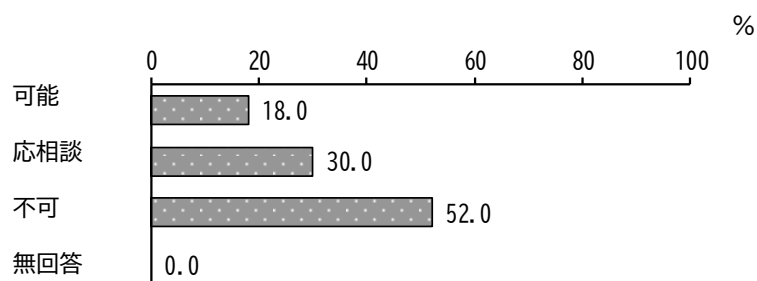


(4) 地域貢献について

問 18 貴事業所での地域への場所の提供（体操やサロン等の実施場所等）はできますか。（回答は1つ）

「不可」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「応相談」の割合が 30.0%、「可能」の割合が 18.0%となっています。

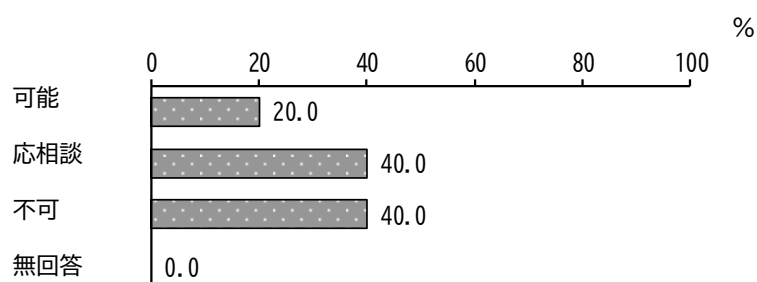
回答者数 = 50



問 19 貴事業所の職員の地域への派遣（研修や講演等の講師等）はできますか。（回答は1つ）

「応相談」、「不可」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「可能」の割合が 20.0%となっています。

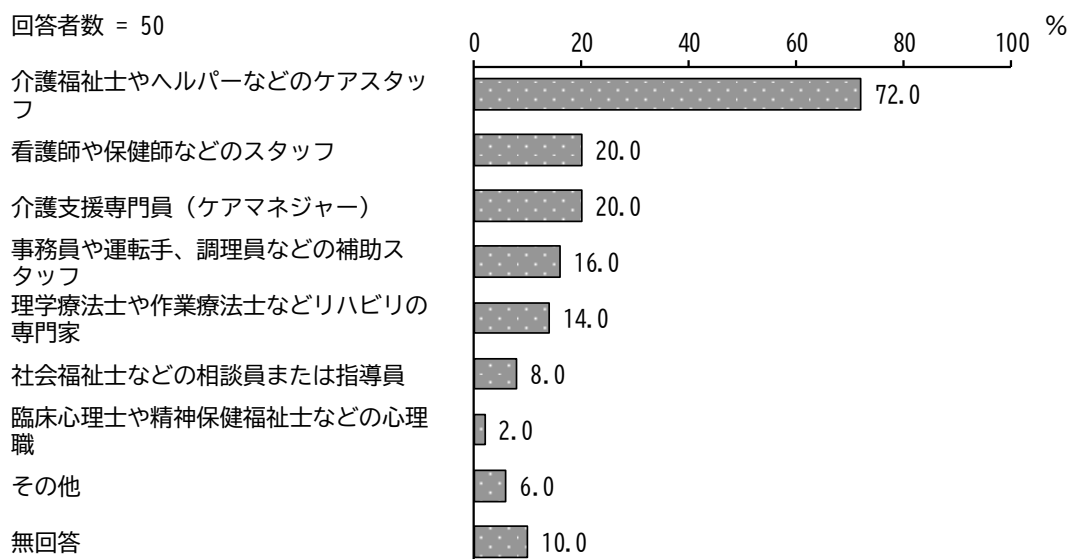
回答者数 = 50



(5) 今後のサービス提供について

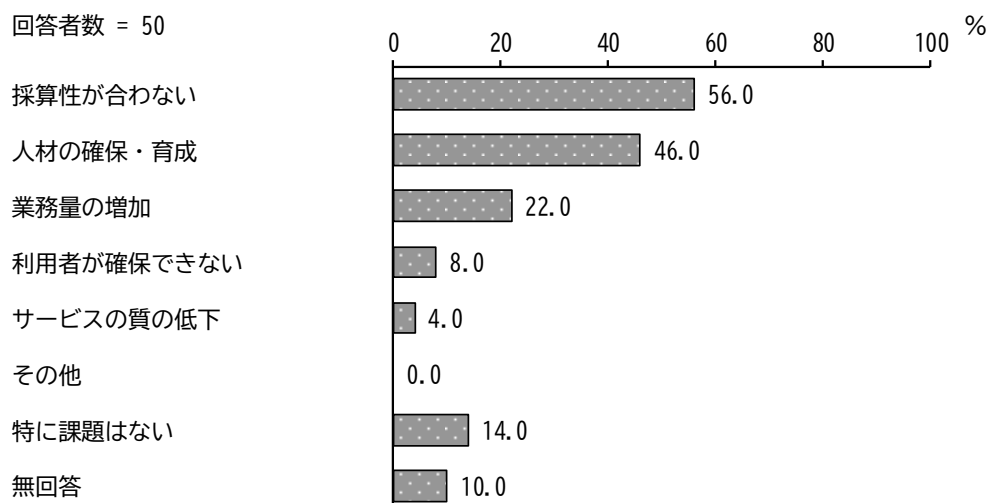
問 20 現在不足している人材はどんな職種ですか。(回答は3つまで)

「介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「看護師や保健師などのスタッフ」、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」の割合が 20.0%となっています。



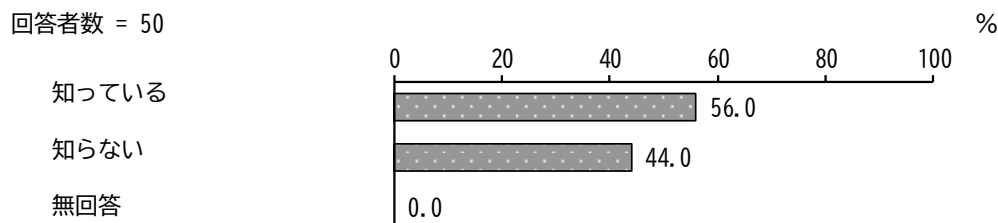
問 21 介護予防・日常生活支援総合事業の緩和サービス、短期集中予防サービスへの参入にあたっての課題は何ですか。(回答はいくつでも)

「採算性が合わない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「人材の確保・育成」の割合が 46.0%、「業務量の増加」の割合が 22.0%となっています。



問 22 人材確保に関する県の補助制度（研修受講支援事業・介護福祉士資格取得支援事業・介護施設内保育所運営事業・外国人介護留学生奨学金等支給支援事業）を知っていますか。（回答は1つ）

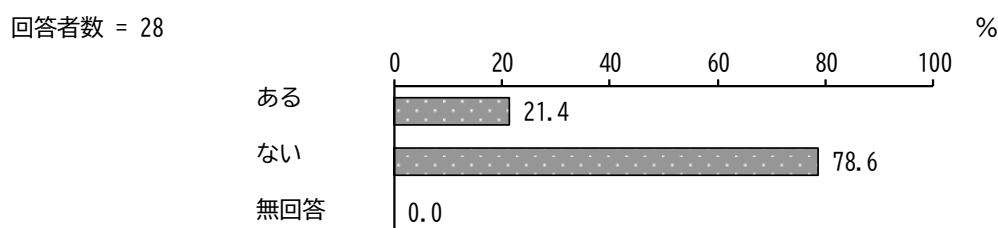
「知っている」の割合が 56.0%、「知らない」の割合が 44.0%となっています。



【問 22 で「知っている」と回答した方におたずねします。】

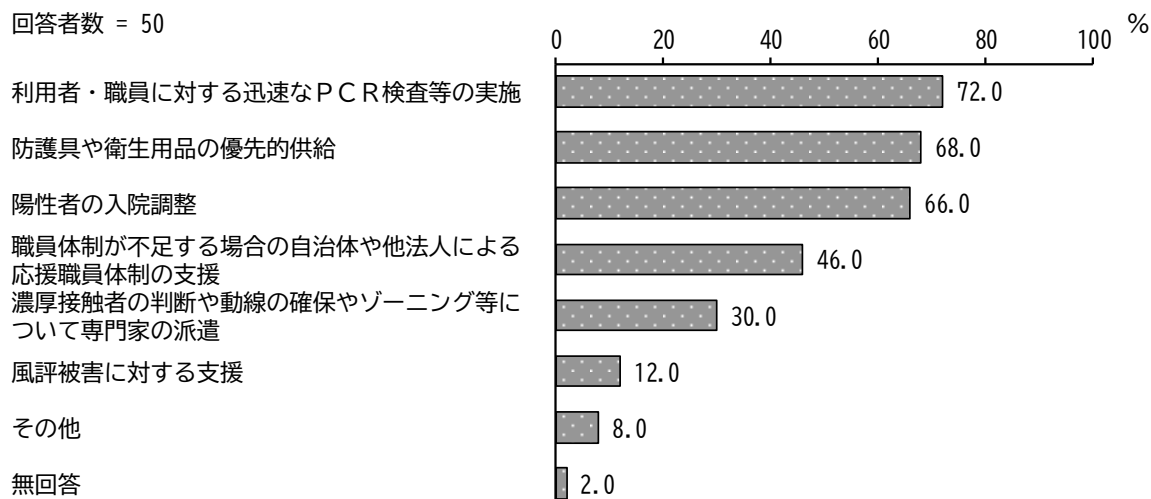
問 22-1 人材確保に関する県の補助制度を使ったことがありますか。（回答は1つ）

「ある」の割合が 21.4%、「ない」の割合が 78.6%となっています。



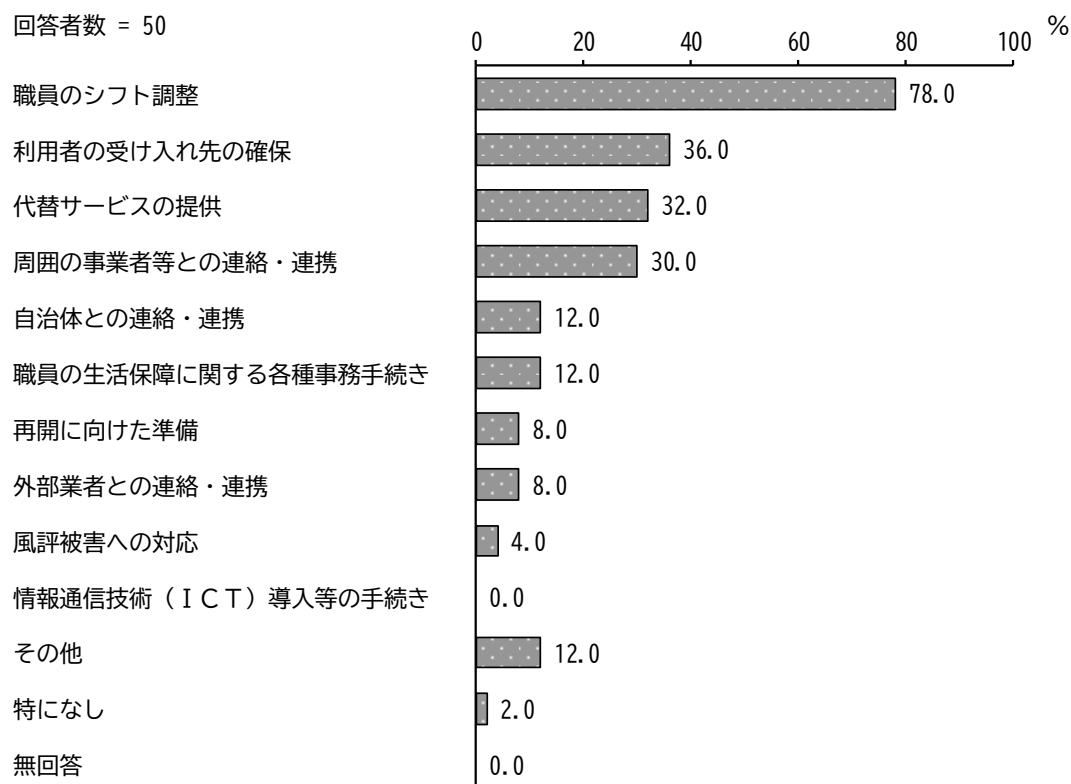
問 23 新型コロナウイルス感染症の発生時に必要な支援は何ですか。（回答はいくつでも）

「利用者・職員に対する迅速なPCR検査等の実施」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「防護具や衛生用品の優先的供給」の割合が 68.0%、「陽性者の入院調整」の割合が 66.0%となっています。



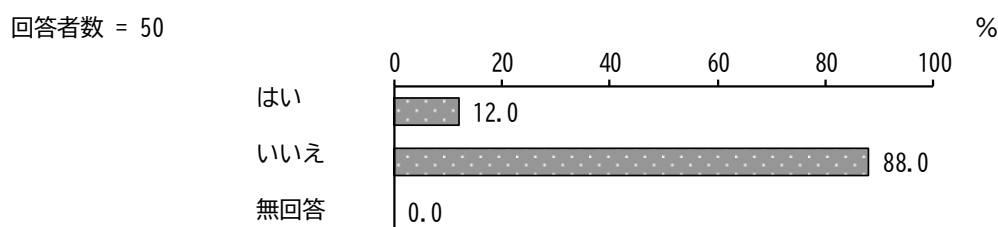
問 24 新型コロナウイルス感染症禍における経営への影響の対応として、特に苦慮されたことはありますか。(回答はいくつでも)

「職員のシフト調整」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「利用者の受け入れ先の確保」の割合が 36.0%、「代替サービスの提供」の割合が 32.0%、「周囲の事業者等との連絡・連携」の割合が 30.0%となっています。



問 25 新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に伴い、食費や管理費等において利用者に負担を求めましたか。(回答は1つ)

「はい」の割合が 12.0%、「いいえ」の割合が 88.0%となっています。



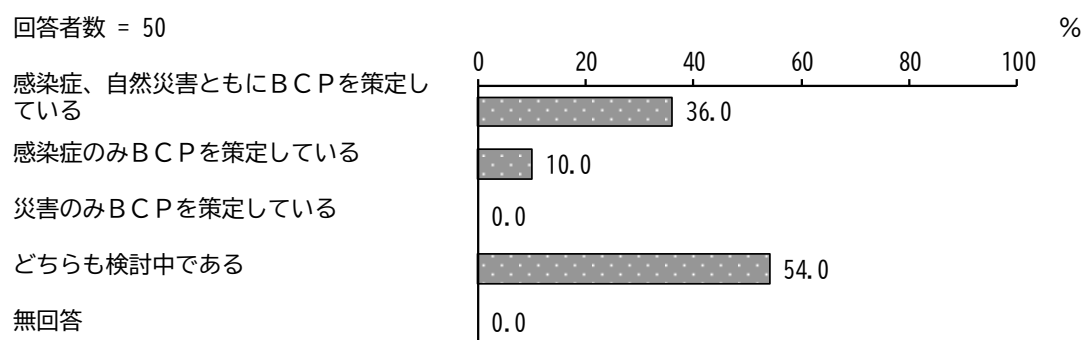
【問 25 で「はい」と回答した方におたずねします。】

問 25-1 どのような内容で月額負担の増額はいくらでしたか。(自由記載)

内容	月額負担の増加額
食費	660 円
食費	300 円
食事代金（月額ではなく 1 食です。）	50 円
食材費の増額（給食業者から食材の高騰により、値上げ依頼があった。そのため、食材を増額した。）	4,080 円
令和 5 年 4 月 1 日より食事代 650 円⇒750 円に変更予定。	100 円
おやつ代	240 円
防護服の費用請求	10,000 円
電気代ガス代	30,000 円

問 26 令和 3 年度介護報酬改定により、感染症や災害が発生した場合の業務継続計画（BCP）等の策定、研修、訓練の実施等が義務づけられましたが（3 年間の経過措置あり）、令和 4 年 12 月末現在の貴事業所の業務継続計画の策定状況についてお答えください。（非常災害対策計画等と一体的に策定している場合も含む）（回答は 1 つ）

「どちらも検討中である」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「感染症、自然災害ともに BCP を策定している」の割合が 36.0%、「感染症のみ BCP を策定している」の割合が 10.0%となっています。



Ⅲ 分析

1 前回比較

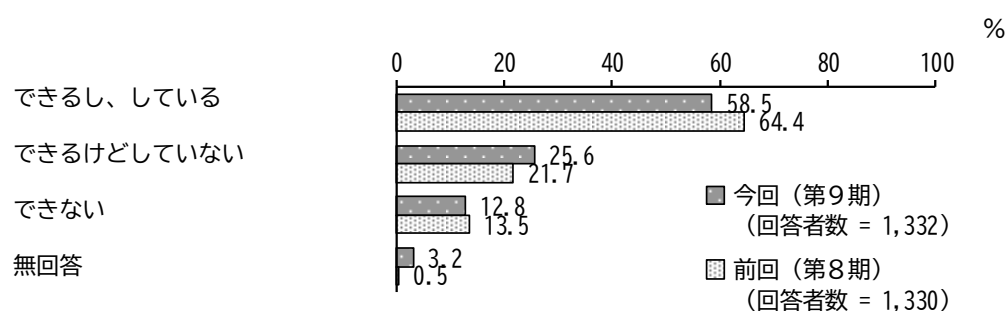
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(2) からだを動かすことについて

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が58.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が25.6%、「できない」の割合が12.8%となっています。

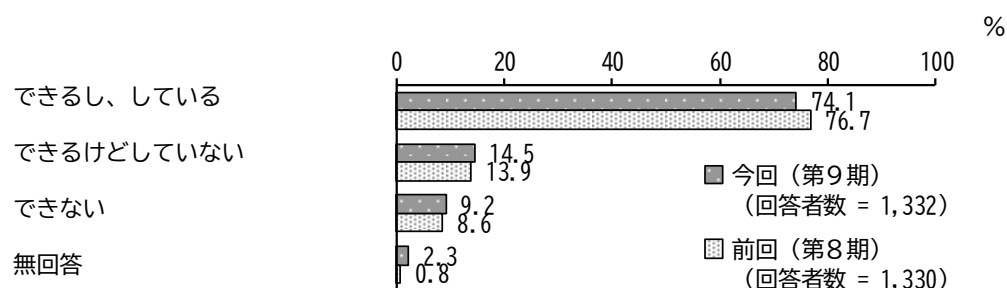
前回と比較すると、「できるし、している」の割合が減少しています。



問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が74.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.5%となっています。

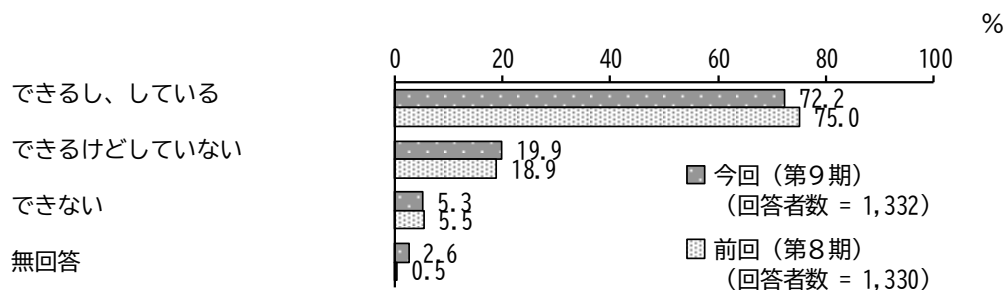
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ)

「できるし、している」の割合が72.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.9%となっています。

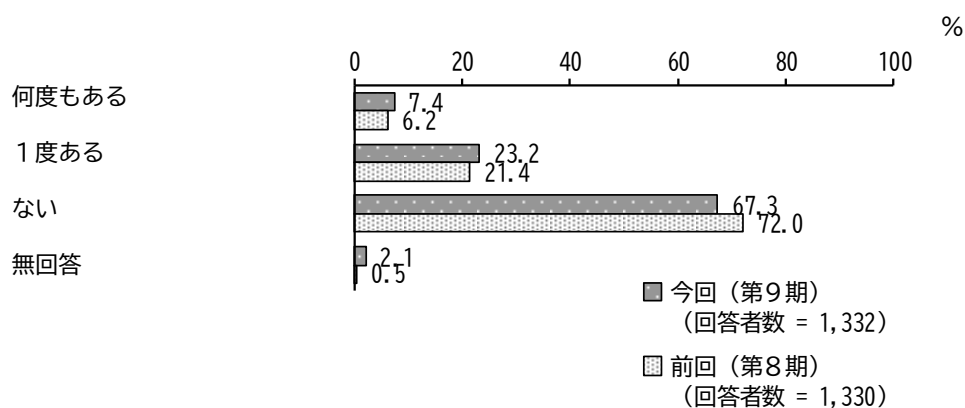
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ)

「ない」の割合が67.3%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が23.2%となっています。

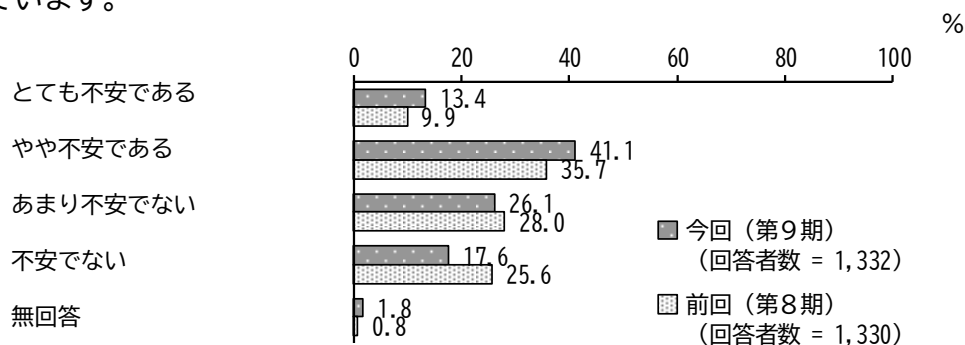
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ)

「やや不安である」の割合が41.1%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が26.1%、「不安でない」の割合が17.6%となっています。

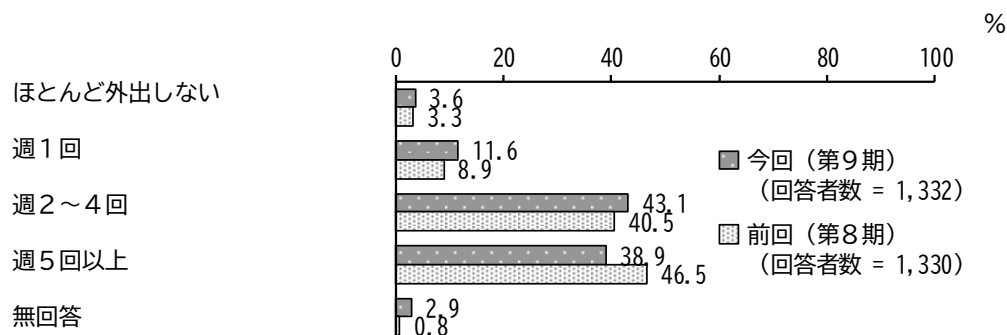
前回と比較すると、「やや不安である」の割合が増加しています。一方、「不安でない」の割合が減少しています。



問9 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ)

「週2～4回」の割合が43.1%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が38.9%、「週1回」の割合が11.6%となっています。

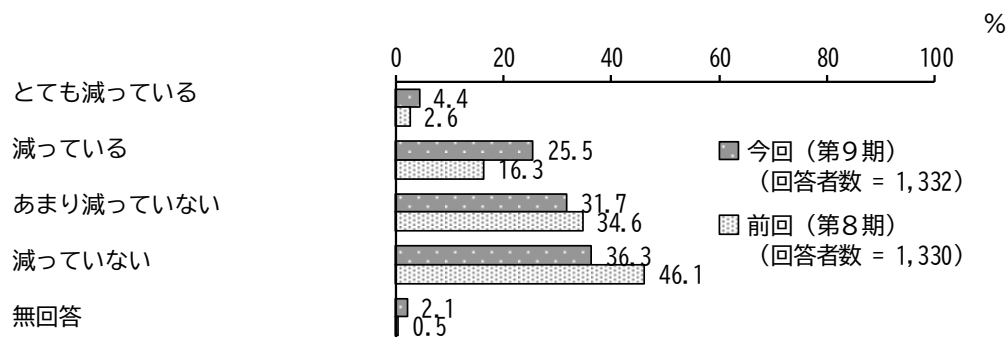
前回と比較すると、「週5回以上」の割合が減少しています。



問10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ)

「減っていない」の割合が36.3%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が31.7%、「減っている」の割合が25.5%となっています。

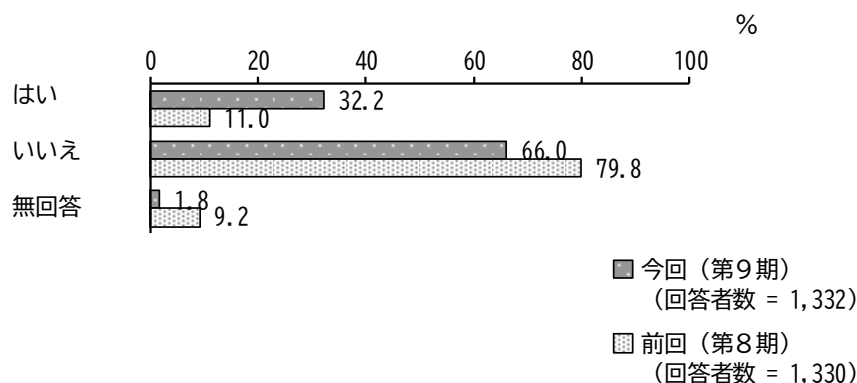
前回と比較すると、「減っている」の割合が増加しています。一方、「減っていない」の割合が減少しています。



問 11 外出を控えていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が 32.2%、「いいえ」の割合が 66.0%となっています。

前回と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。

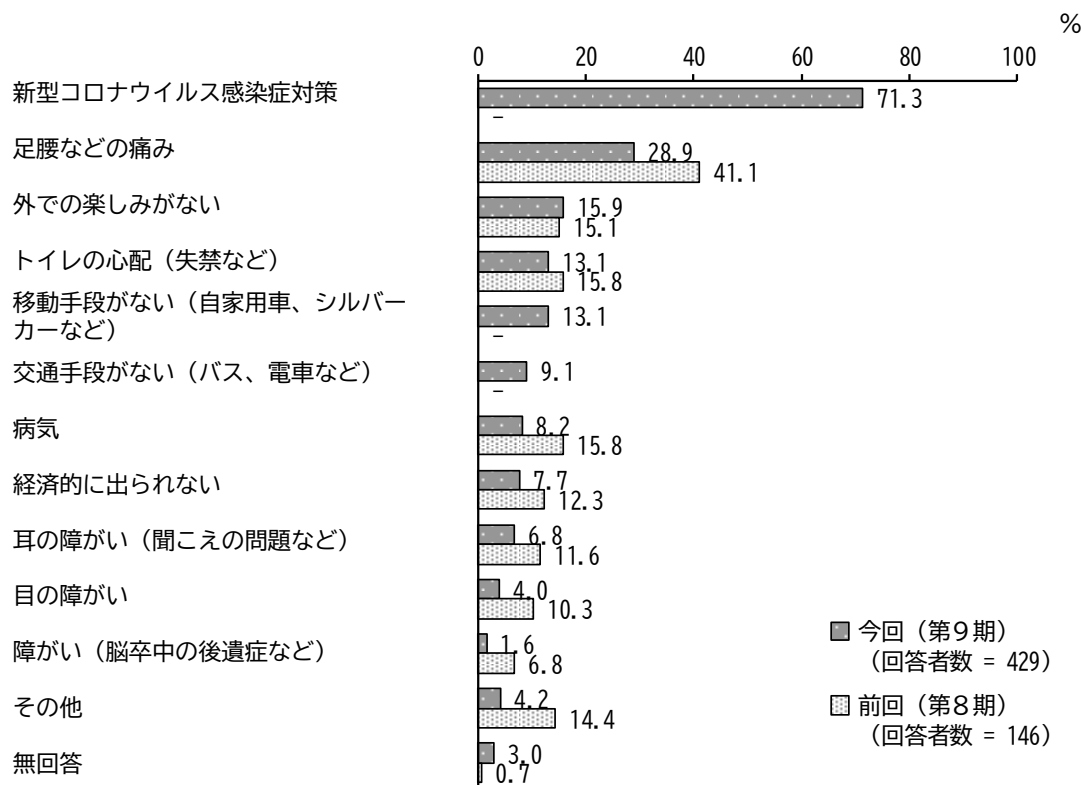


【問 11 で「はい」（外出を控えている）の方のみ】

問 11-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

「新型コロナウイルス感染症対策」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が 28.9%、「外での楽しみがない」の割合が 15.9%となっています。

前回と比較すると、「足腰などの痛み」の割合が増加しています。一方、「病気」「障がい（脳卒中の後遺症など）」「目の障がい」の割合が減少しています。

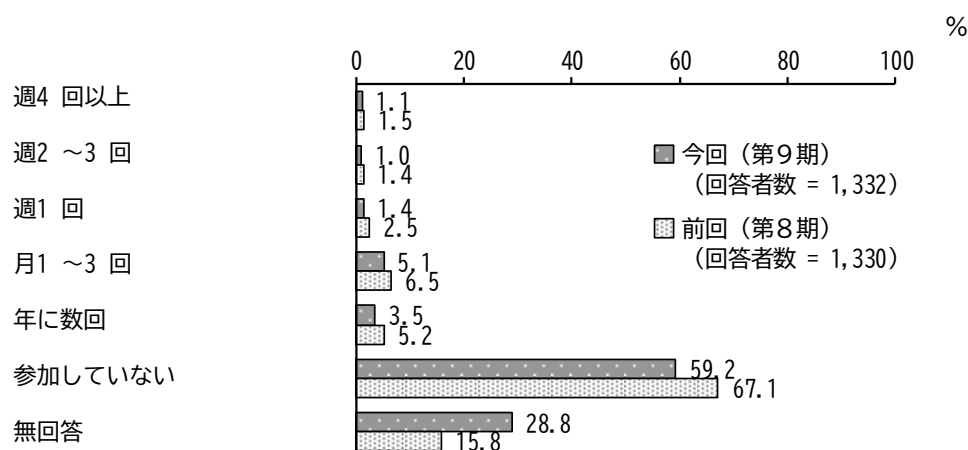


(5) 地域での活動について

問 32 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(ア～クそれぞれ1つに回答)

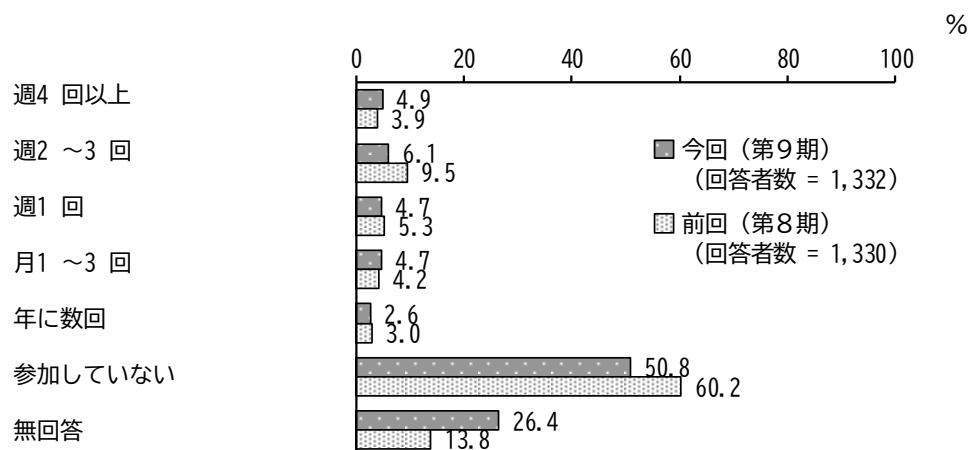
ア ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が 59.2%と最も高くなっています。
前回と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



イ スポーツ関係のグループやクラブ

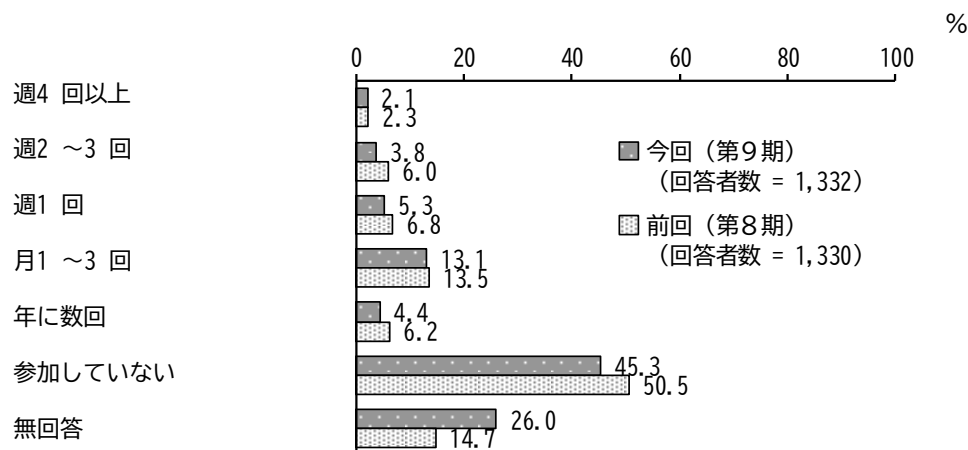
「参加していない」の割合が 50.8%と最も高くなっています。
前回と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



ウ 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が45.3%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が13.1%となっています。

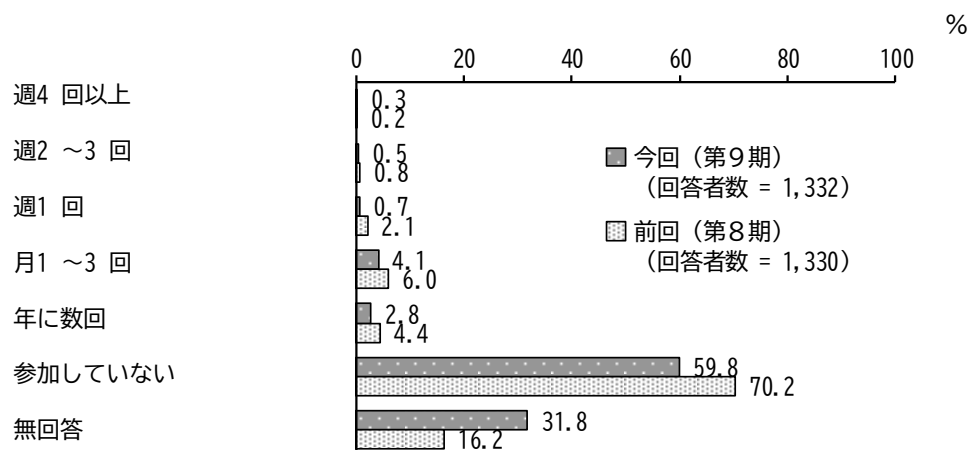
前回と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



エ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が59.8%と最も高くなっています。

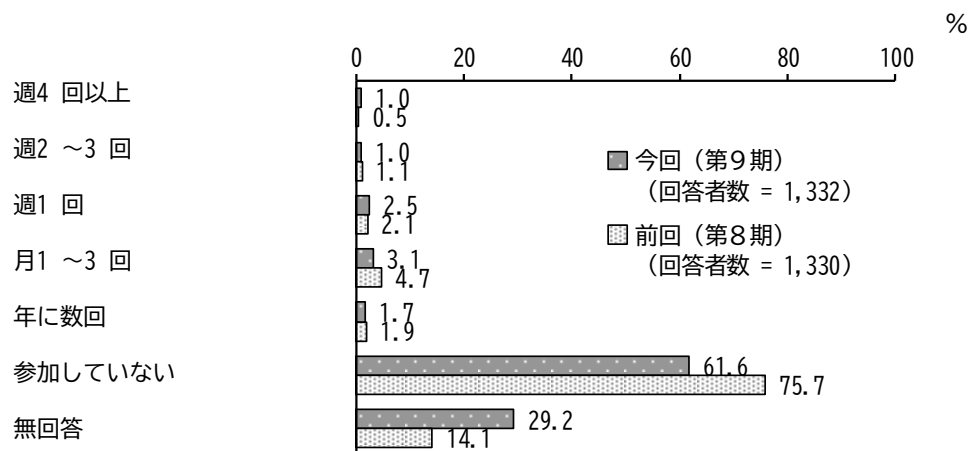
前回と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



オ まちかど運動教室・高齢者サロンなどの介護予防のための通いの場

「参加していない」の割合が61.6%と最も高くなっています。

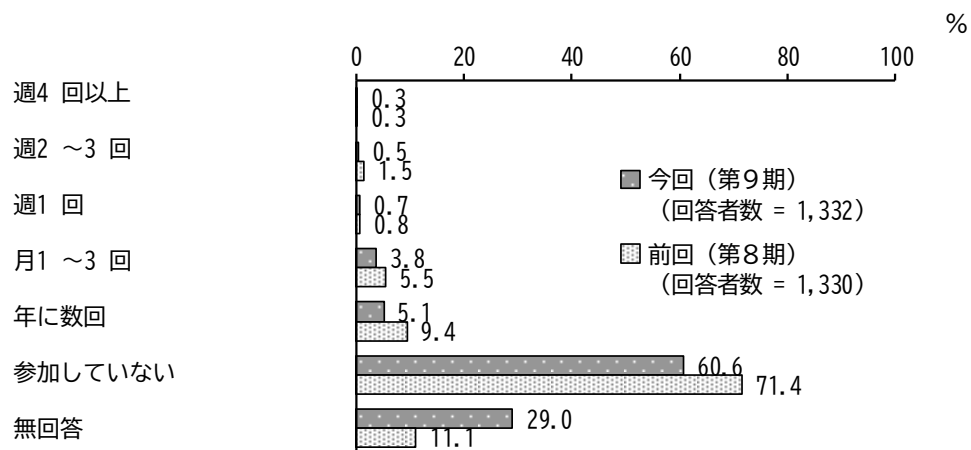
前回と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



カ 老人クラブ

「参加していない」の割合が60.6%と最も高くなっています。

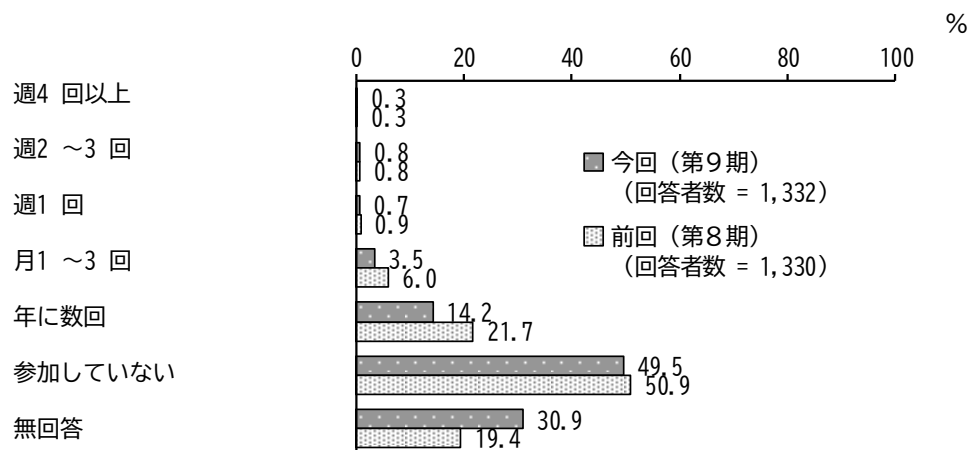
前回と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



キ 町内会・自治会

「参加していない」の割合が49.5%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が14.2%となっています。

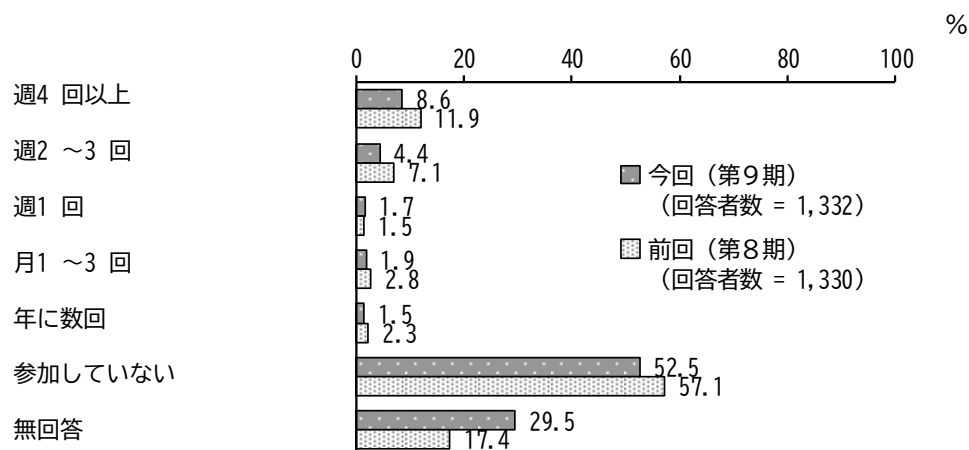
前回と比較すると、「年に数回」の割合が減少しています。



ク 収入のある仕事

「参加していない」の割合が52.5%と最も高くなっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。

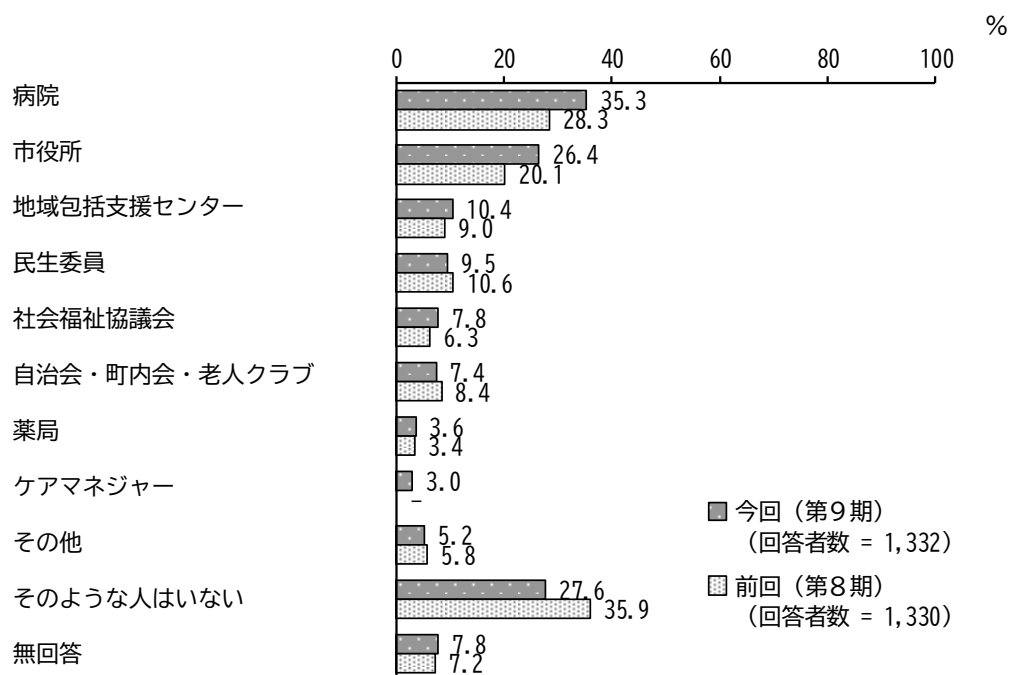


(6) たすけあいについて

問 42 家族や友人・知人以外で、何かあったときにどこに相談しますか。
(いくつでも)

「病院」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が 27.6%、「市役所」の割合が 26.4%となっています。

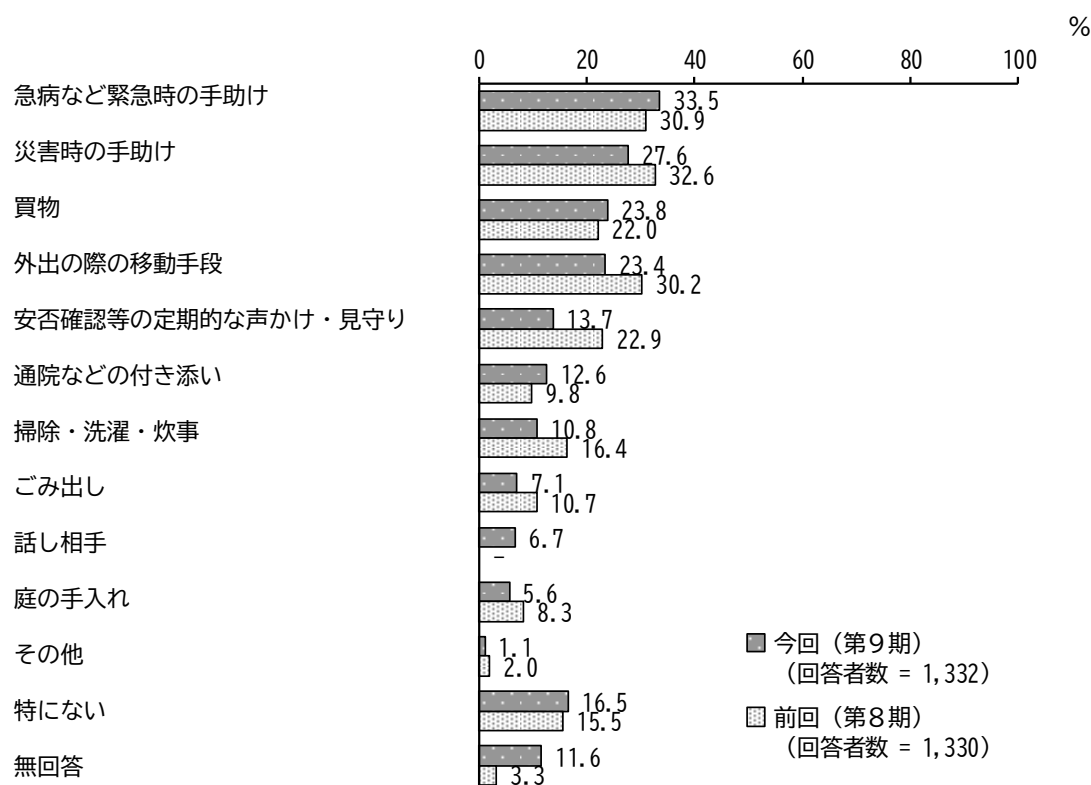
前回と比較すると、「病院」「市役所」の割合が増加しています。一方、「そのような人はいない」の割合が減少しています。



問 43 あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(回答は3つまで)

「急病など緊急時の手助け」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 27.6%、「買物」の割合が 23.8%となっています。

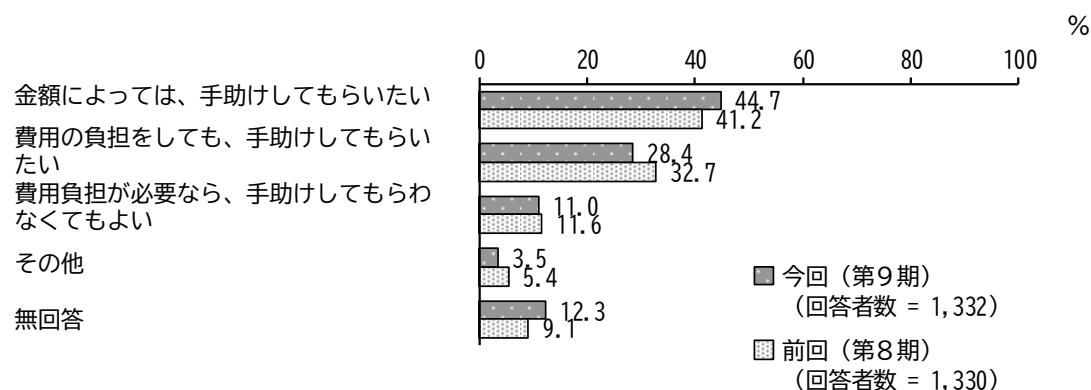
前回と比較すると、「外出の際の移動手段」「掃除・洗濯・炊事」「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が減少しています。



問 44 問 43 のような手助けに対し、費用の負担をすることをどう思いますか。
(回答は1つ)

「金額によっては、手助けしてもらいたい」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「費用の負担をしても、手助けしてもらいたい」の割合が 28.4%、「費用負担が必要なら、手助けしてもらわなくてもよい」の割合が 11.0%となっています。

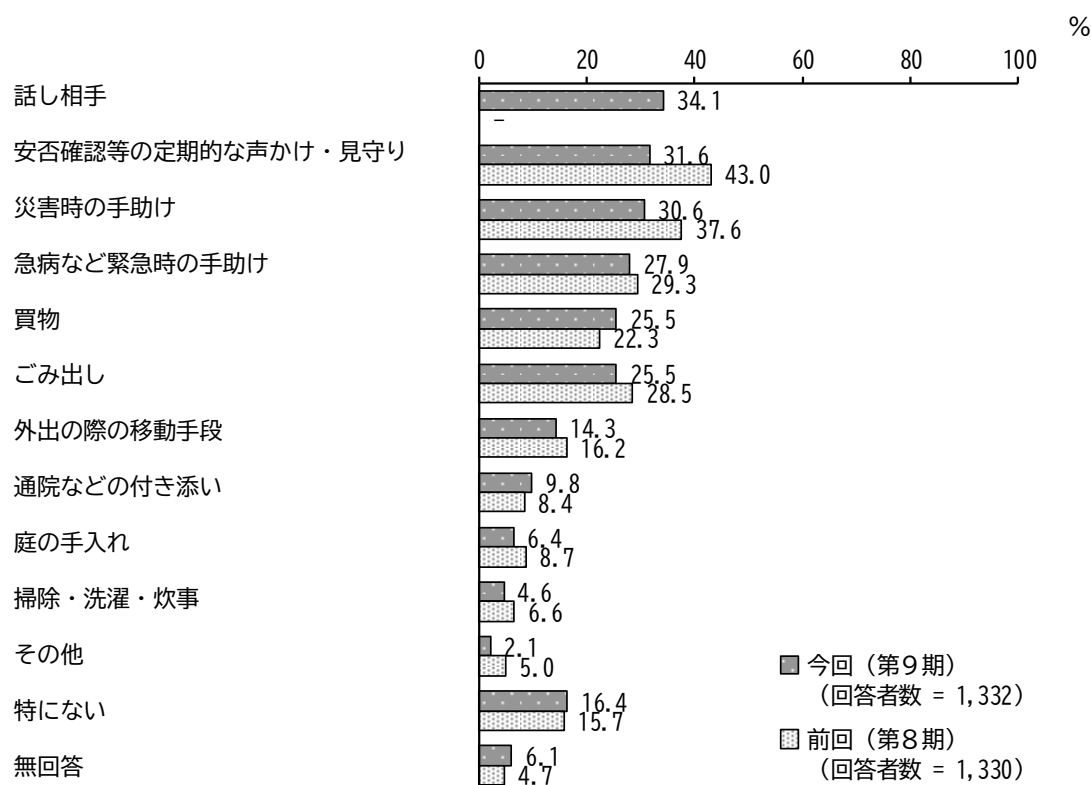
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問 45 あなたのご近所で、高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯があったら、どんな対応ができますか。(いくつでも)

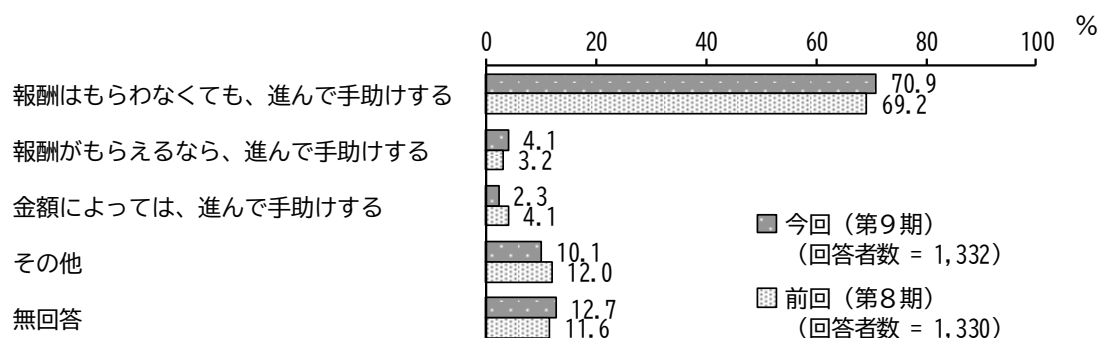
「話し相手」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が 31.6%、「災害時の手助け」の割合が 30.6%となっています。

前回と比較すると、「災害時の手助け」「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が減少しています。



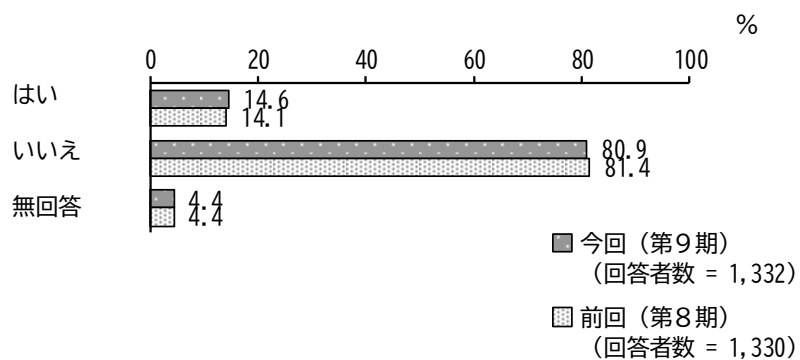
問 46 問 45 のような手助けに対し、報酬をもらうことをどう思いますか。
(回答は1つ)

「報酬はもらわなくても、進んで手助けする」の割合が 70.9%と最も高くなっています。前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問 47 生活支援コーディネーター※を知っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が14.6%、「いいえ」の割合が80.9%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



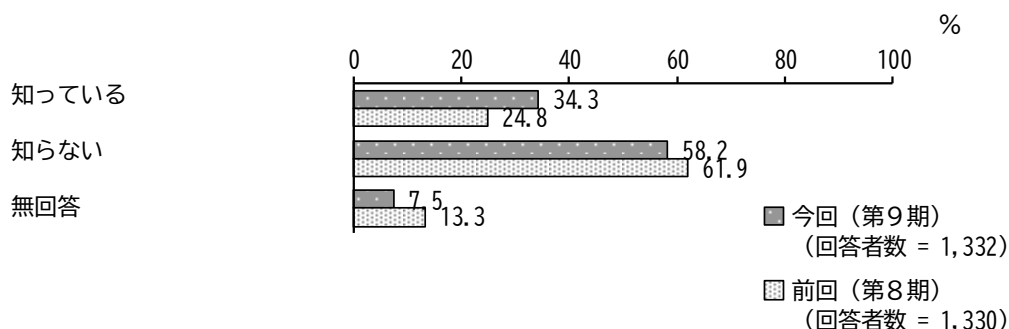
(8) 介護予防について

問 58 介護予防（介護が必要な状態にならないようにすること）について、以下の活動を知っていますか。また、参加したいですか。（それぞれ回答は1つ）

認知度 ア まちかど運動教室（介護予防を目的とした体操教室）

「知っている」の割合が 34.3%、「知らない」の割合が 58.2%となっています。

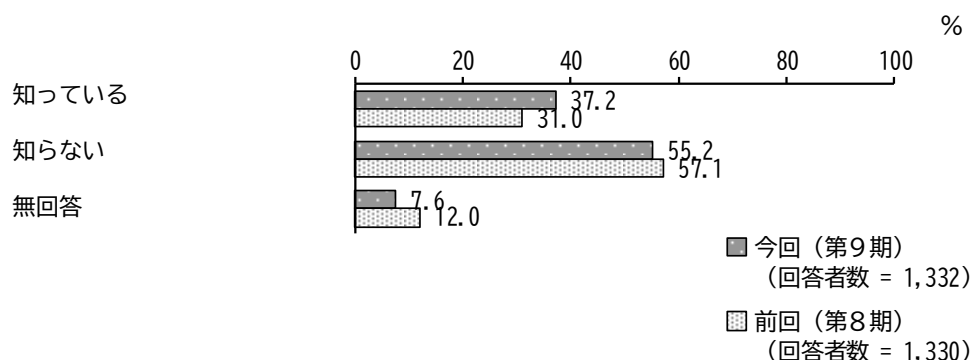
前回と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



認知度 イ 高齢者サロン（身近な場所で高齢者等が定期的に交流する場）

「知っている」の割合が 37.2%、「知らない」の割合が 55.2%となっています。

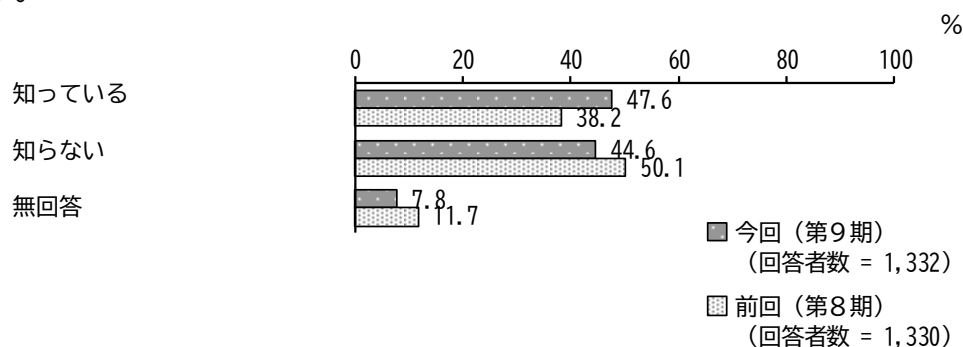
前回と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



認知度 ウ 老人福祉センターの健康教室・講座（福祉体育館内で体操やヨガなど健康づくりの事業を行っています。）

「知っている」の割合が 47.6%、「知らない」の割合が 44.6%となっています。

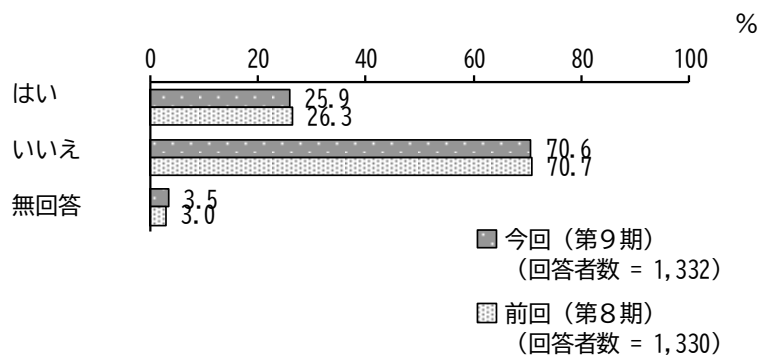
前回と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



(9) 認知症について

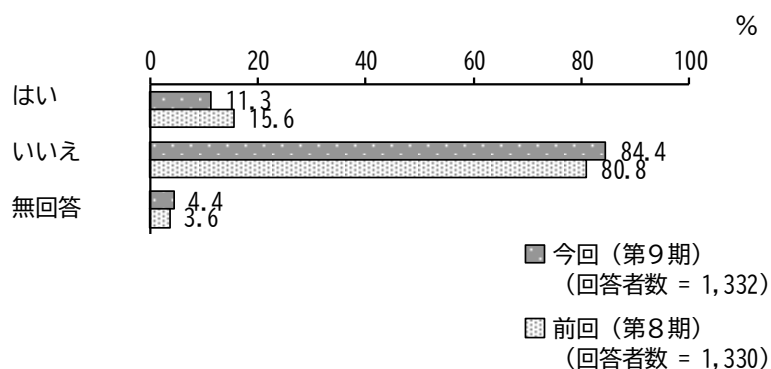
問 60 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が25.9%、「いいえ」の割合が70.6%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問 62 認知症サポーターを知っていますか。(回答は1つ)

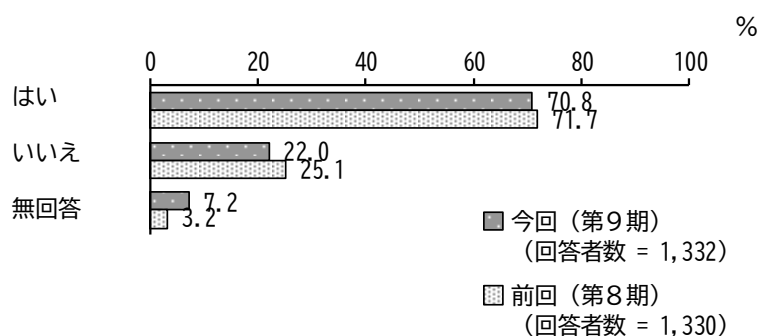
「はい」の割合が11.3%、「いいえ」の割合が84.4%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(10) 在宅医療について

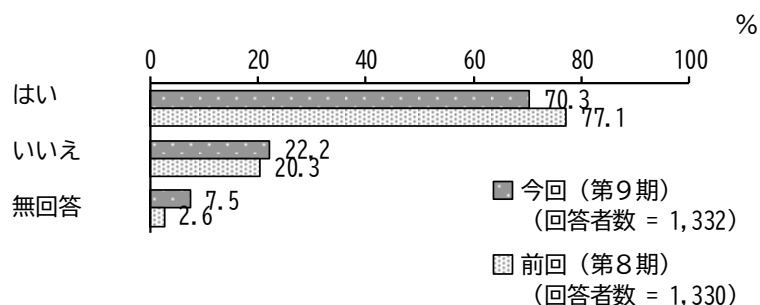
問 64 日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が70.8%、「いいえ」の割合が22.0%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



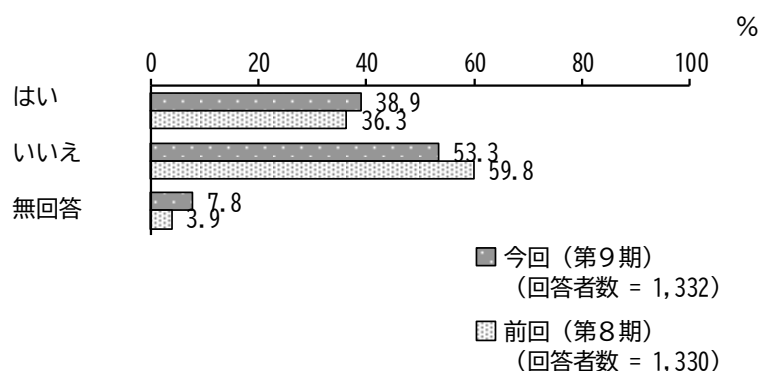
問 65 日ごろから治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」はいますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が70.3%、「いいえ」の割合が22.2%となっています。
前回と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



問 66 日ごろから指導を受けたり、薬に関して相談できる「かかりつけ薬局」はありますか。(回答は1つ)

「はい」の割合が38.9%、「いいえ」の割合が53.3%となっています。
前回と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。

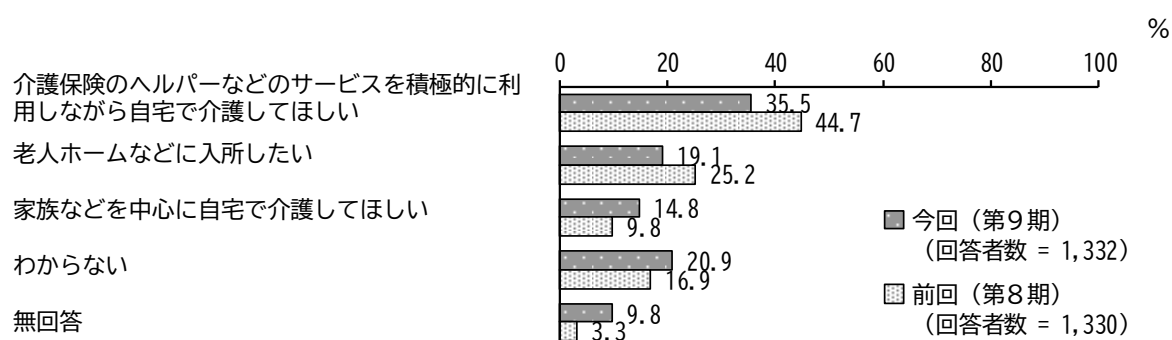


(11) 介護保険について

問 67 今後、あなたご自身に介護が必要となった場合、どのような介護を希望しますか。(回答は1つ)

「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.9%、「老人ホームなどに入所したい」の割合が 19.1%となっています。

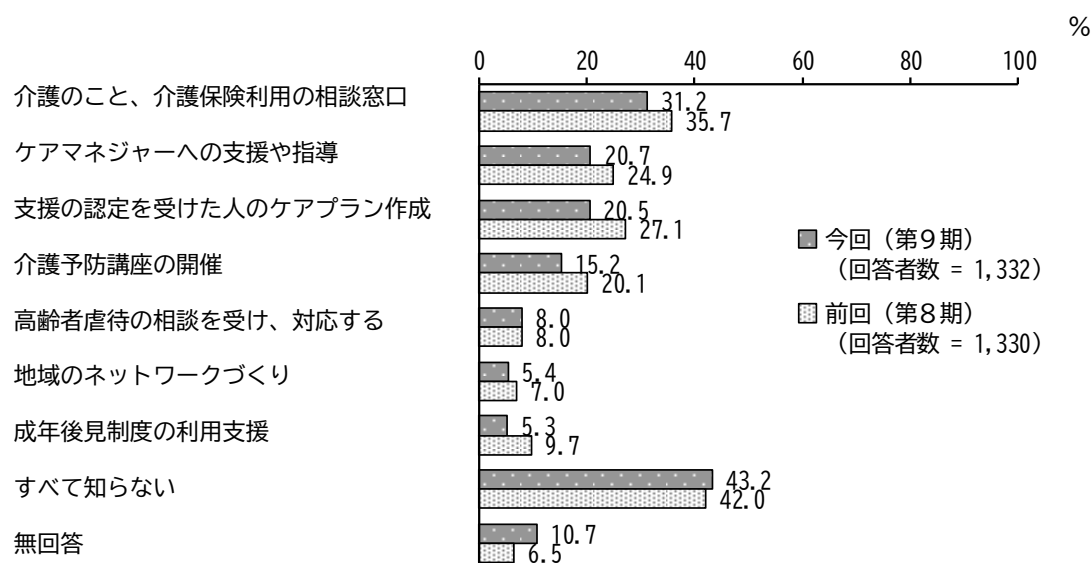
前回と比較すると、「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」「老人ホームなどに入所したい」の割合が減少しています。



問 68 地域包括支援センターの役割として知っているものはどれですか。(いくつでも)

「すべて知らない」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が 31.2%、「ケアマネジャーへの支援や指導」の割合が 20.7%となっています。

前回と比較すると、「支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が減少しています。

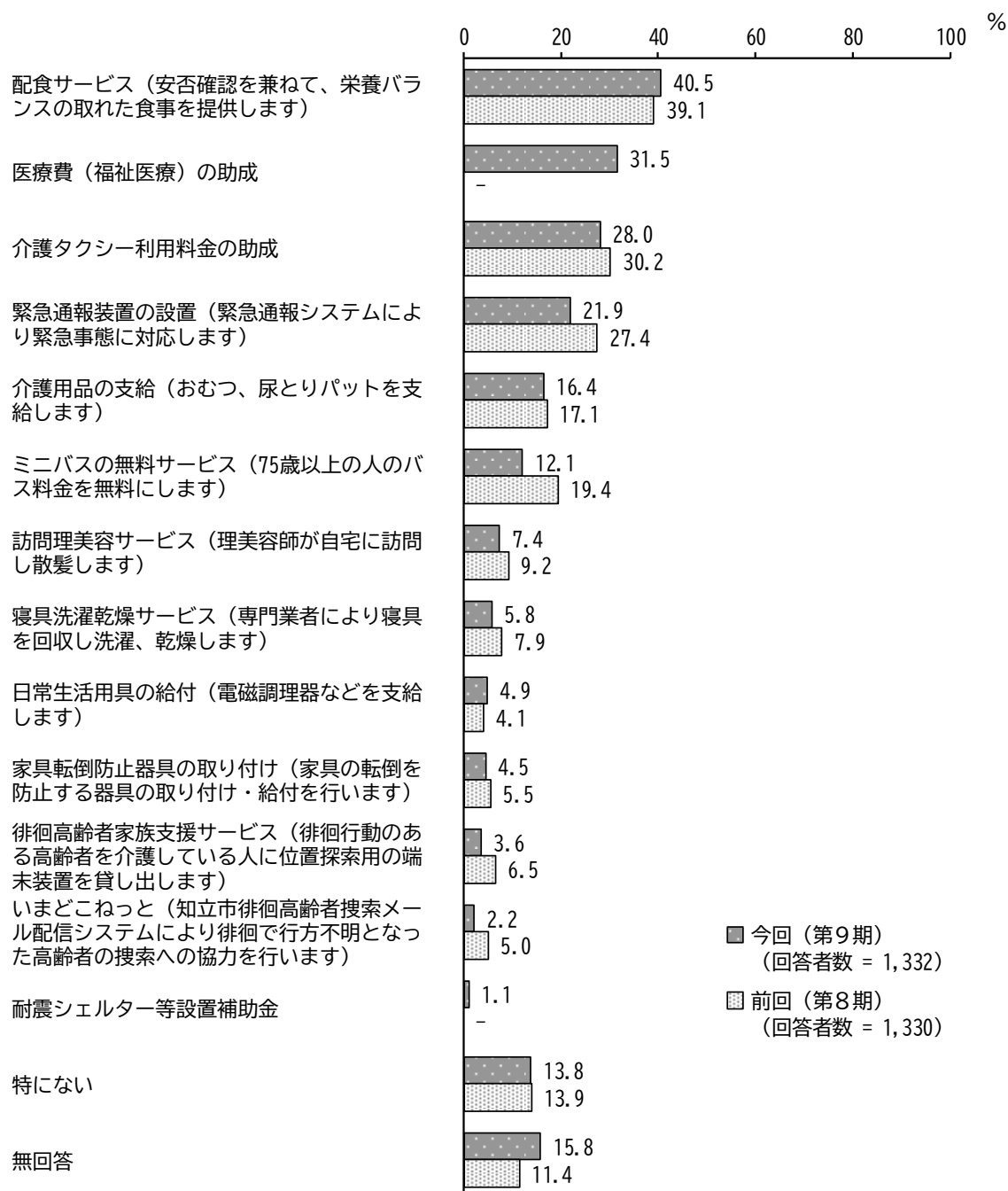


(12) 市の高齢者福祉について

問 69 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて、今後利用したいサービスはありますか。(回答は3つまで)

「配食サービス（安否確認を兼ねて、栄養バランスの取れた食事を提供します）」の割合が40.5%と最も高く、次いで「医療費（福祉医療）の助成」の割合が31.5%、「介護タクシー利用料金の助成」の割合が28.0%となっています。

前回と比較すると、「緊急通報装置の設置（緊急通報システムにより緊急事態に対応します）」「ミニバスの無料サービス（75歳以上の人のバス料金を無料にします）」の割合が減少しています。

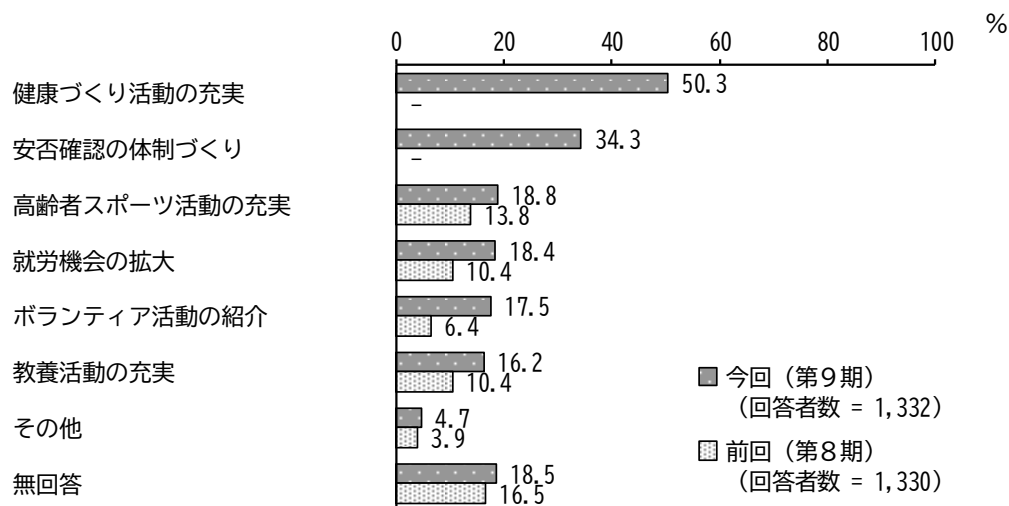


※前回の選択肢「タクシー券交付」は、今回の選択肢「介護タクシー利用料金の助成」に統一しました。

問 71 高齢者の方々が生きがいをもって暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください。(回答は3つまで)

「健康づくり活動の充実」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「安否確認の体制づくり」の割合が 34.3%、「高齢者スポーツ活動の充実」の割合が 18.8%となっています。

前回と比較すると、「就労機会の拡大」「ボランティア活動の紹介」「教養活動の充実」の割合が増加しています。

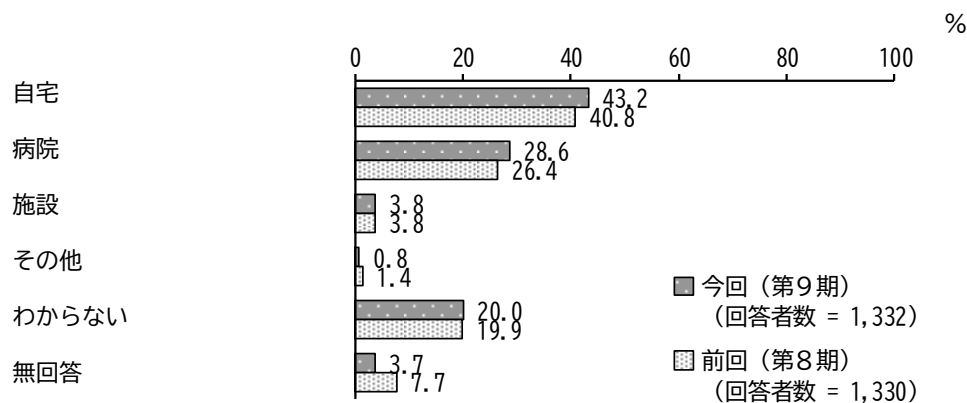


(13) 終末期の考え方について

問 72 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか。

「自宅」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「病院」の割合が 28.6%、「わからない」の割合が 20.0%となっています。

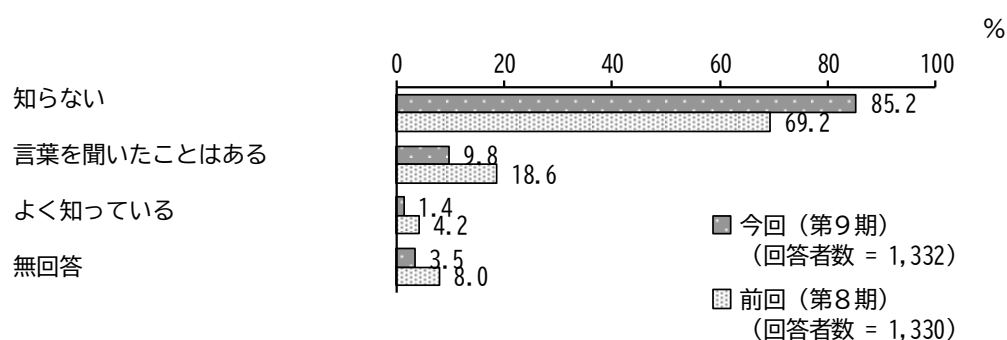
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問 73 「人生会議（ACP）」について、知っていますか。（回答は1つ）

「知らない」の割合が 85.2%と最も高くなっています。

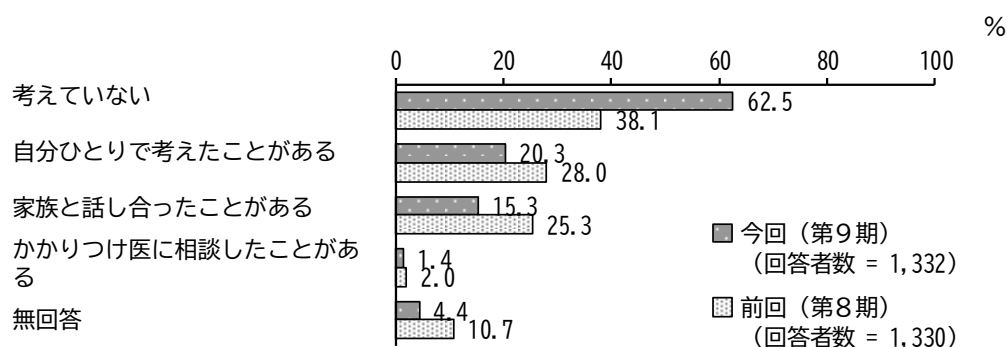
前回と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。一方、「言葉を聞いたことはある」の割合が減少しています。



問 74 あなたは、「人生会議（ACP）」について、考えていますか。（いくつでも）

「考えていない」の割合が62.5%と最も高く、次いで「自分ひとりで考えたことがある」の割合が20.3%、「家族と話し合ったことがある」の割合が15.3%となっています。

前回と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。一方、「自分ひとりで考えたことがある」「家族と話し合ったことがある」の割合が減少しています。

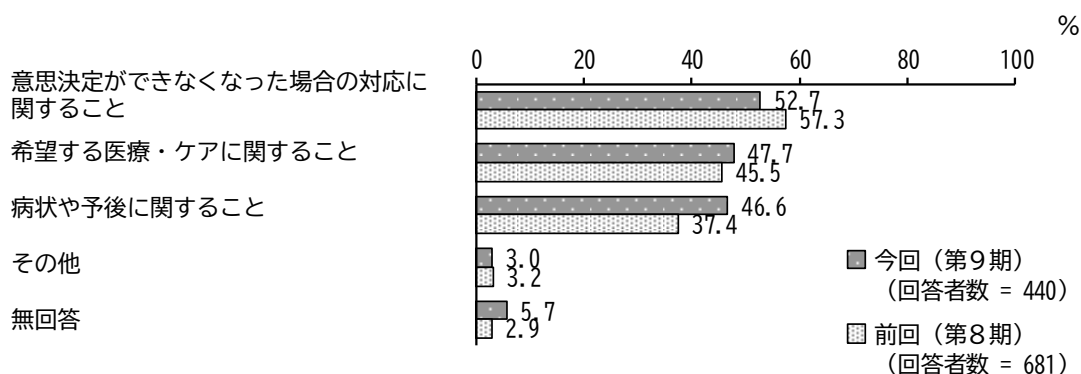


【問 74 で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」の方のみ】

問 74- ① どのような内容を考えてみたか、または話しましたか。（いくつでも）

「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が52.7%と最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」の割合が47.7%、「病状や予後に関すること」の割合が46.6%となっています。

前回と比較すると、「病状や予後に関すること」の割合が増加しています。



2 クロス集計

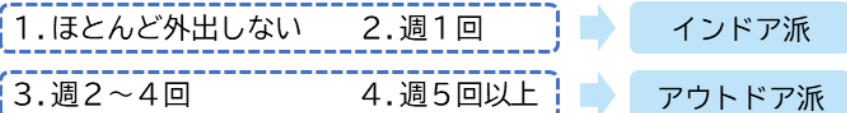
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について

本調査は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することに主眼を置き、市が抱える課題を特定し、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」へとつなげていくための基礎調査として位置づけられています。

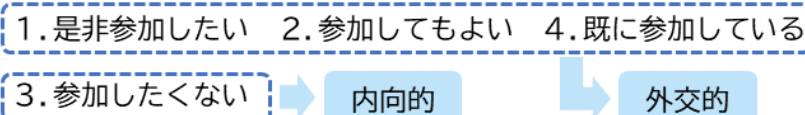
フレイルとは加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりなどが弱くなった状態のことを指し、予防に取り組むことでその進行を緩め健康な状態に戻すことも可能であることから、高齢者をタイプ別に分類し、虚弱高齢者を把握する項目とのクロス集計・分析を行います。

なお、高齢者の「タイプ別分類別」は、下記に示すように問「週に1回以上は外出していますか」及び問「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問より判定しています。

問 週に1回以上は外出していますか。



問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



タイプ別分類	特性	想定される事業の方向性
インドア派 外交的	現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な外交的志向がある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・ボランティア等への参加促進 など
インドア派 内向的	現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強い	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など
アウトドア派 外交的	自宅の外で楽しむ志向が強く、外交的志向もある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・各種事業の運営者との育成支援 ・ボランティア等への参加促進 など
アウトドア派 内向的	自宅の外で楽しむ志向が強いが、外交的志向はあまりない	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など

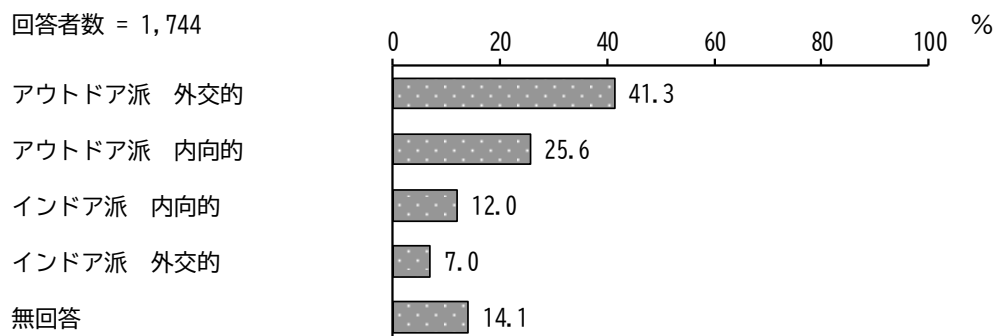
〔活動タイプ別、対人関係別分類によるフレイル予防・介護予防〕



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

タイプ別分類

「アウトドア派 外交的」の割合が41.3%と最も高く、次いで「アウトドア派 内向的」の割合が25.6%、「インドア派 内向的」の割合が12.0%、「インドア派 外交的」の割合が7.0%となっています。



※「週に1回以上は外出していますか。」の問に対して「ほとんど外出しない」、「週1回」と答えた方を『インドア派』、「週2～4回」「週5回以上」と答えた方を『アウトドア派』として集計。

※「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。」の問に対して「参加したくない」と答えた方を『内向的』、「参加してもよい」「既に参加している」「是非参加したい」と答えた方を『外交的』として集計。

【介護状況別】

介護状況別にみると、要支援・事業対象者で「インドア派内向的」の割合が、一般高齢者で「アウトドア派外交的」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	外交的 インドア派	内向的 インドア派	外交的 アウトドア派	内向的 アウトドア派	無回答
全 体	1744	7.0	12.0	41.3	25.6	14.1
一般高齢者	1332	5.0	8.2	47.6	27.4	11.8
要支援・事業対象者	411	13.4	24.3	20.9	19.7	21.7

(2) からだを動かすことについて

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「できない」の割合が、インドア派外交的で「できない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして ない	できない	無 回 答
全 体	1744	48.4	23.1	25.1	3.4
インドア派 外交的	122	35.2	19.7	41.8	3.3
インドア派 内向的	209	21.5	21.5	52.6	4.3
アウトドア派 外交的	721	59.5	26.8	12.2	1.5
アウトドア派 内向的	446	53.4	20.9	24.2	1.6

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「できない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無回答
全 体	1744	63.5	14.3	19.5	2.7
インドア派 外交的	122	45.1	18.0	32.8	4.1
インドア派 内向的	209	38.8	12.9	47.4	1.0
アウトドア派 外交的	721	78.4	12.2	8.5	1.0
アウトドア派 内向的	446	66.8	13.5	18.6	1.1

問6 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「できない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけどして いない	できない	無回答
全 体	1744	63.0	19.6	14.5	2.9
インドア派 外交的	122	47.5	26.2	24.6	1.6
インドア派 内向的	209	35.9	23.9	39.2	1.0
アウトドア派 外交的	721	77.8	16.8	4.3	1.1
アウトドア派 内向的	446	64.8	22.4	11.7	1.1

問7 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、アウトドア派で「ない」の割合が高くなっています。インドア派では、「何度もある」と「1度ある」を合わせると半数以上が1年間に転んだ経験があります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全 体	1744	12.2	25.3	60.1	2.4
インドア派 外交的	122	17.2	32.8	50.0	—
インドア派 内向的	209	22.5	31.1	45.9	0.5
アウトドア派 外交的	721	8.2	23.4	67.7	0.7
アウトドア派 内向的	446	11.0	24.4	63.5	1.1

問8 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

全体に不安を感じている割合が高くなっています。高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派では「とても不安である」と「やや不安である」の割合に大きな差はみられません。アウトドア派では、「とても不安である」よりも「やや不安である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全 体	1744	22.0	40.4	21.4	13.9	2.2
インドア派 外交的	122	40.2	39.3	15.6	4.1	0.8
インドア派 内向的	209	42.1	42.6	11.5	2.9	1.0
アウトドア派 外交的	721	14.0	39.0	28.6	18.0	0.4
アウトドア派 内向的	446	17.7	42.8	21.1	17.7	0.7

(3) 食べることについて

問 14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、アウトドア派で「いいえ」の割合が高くなっています。インドア派では大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	33.9	62.0	4.1
インドア派 外交的	122	44.3	50.8	4.9
インドア派 内向的	209	48.3	47.4	4.3
アウトドア派 外交的	721	26.6	70.3	3.1
アウトドア派 内向的	446	32.3	64.3	3.4

問 15 お茶や汁物等でむせることがありますか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	32.1	63.6	4.3
インドア派 外交的	122	38.5	56.6	4.9
インドア派 内向的	209	45.0	51.2	3.8
アウトドア派 外交的	721	29.0	68.2	2.8
アウトドア派 内向的	446	30.3	65.5	4.3

問 18 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ)

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成に比べ、1人暮らしで「月に何度かある」の割合が高くなっています。1人暮らし以外の家族構成では「毎日ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日ある	週に 何度かある	月に 何度かある	年に 何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1744	51.8	8.9	15.1	9.6	10.0	4.6
1人暮らし	367	3.0	17.4	36.5	17.7	21.0	4.4
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	610	65.1	6.1	9.7	8.4	7.4	3.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	85	67.1	4.7	5.9	14.1	—	8.2
息子・娘との2世帯	253	67.6	7.5	9.1	4.7	6.7	4.3
その他	271	64.2	7.7	8.9	5.9	8.1	5.2

(6) たすけあいについて

問 40 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「ほとんどない」の割合が、アウトドア派外交的で「週に何度かある」の割合が、インドア派外交的で「月に何度かある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日ある	週に 何度かある	月に 何度かある	年に 何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1744	4.9	24.6	29.3	14.4	19.9	6.9
インドア派 外交的	122	2.5	18.0	36.9	16.4	18.9	7.4
インドア派 内向的	209	1.4	6.7	20.1	11.5	51.7	8.6
アウトドア派 外交的	721	5.7	33.6	33.1	13.5	8.9	5.3
アウトドア派 内向的	446	5.8	21.3	26.7	17.3	24.2	4.7

問 43 あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(回答は3つまで)

【費用負担についての考え方別】※問 44

費用負担についての考え方別にみると、費用の負担をしても、手助けしてもらいたいで「急病など緊急時の手助け」「災害時の手助け」の割合が、金額によっては、手助けしてもらいたいで「急病など緊急時の手助け」の割合が、費用負担が必要なら、手助けしてもらわなくてもよいで「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	段 外出の 際の移動手	話し相手	買物	ごみ出し	庭の手入れ	掃除・洗濯・炊事	い 通院などの 付き添	急病など緊急時の 手助け	災害時の手助け	安否確認等の定期 的な声かけ・見守り	その他	特にない	無回答
全 体	1744	23.2	6.8	23.5	8.0	5.8	11.4	13.8	32.3	26.4	12.9	1.0	15.7	13.1
費用の負担 をしても、 手助けして もらいたい	510	27.5	6.5	26.3	8.6	6.1	11.4	16.5	42.4	33.5	12.2	1.4	5.3	10.0
金額によっ ては、手助 けしてもら いたい	749	29.2	7.9	29.6	8.5	8.3	15.0	18.2	36.4	28.3	15.9	0.5	9.1	9.6
費用負担が 必要なら、 手助けして もらわなく てもよい	189	15.3	7.9	19.0	10.1	2.6	10.6	7.9	21.2	24.9	15.3	2.1	32.3	5.8
その他	54	5.6	5.6	11.1	—	—	—	1.9	11.1	13.0	7.4	3.7	61.1	9.3

問 45 あなたのご近所で、高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯があったら、どんな対応ができますか。(いくつでも)

【報酬についての考え方別】※問 46

報酬についての考え方別にみると、報酬はもらわなくても、進んで手助けするで「話し相手」の割合が、報酬がもらえるなら、進んで手助けするで「話し相手」「買物」の割合が、金額によっては、進んで手助けするで「買物」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	外出の際の移動手段	話し相手	買物	ごみ出し	庭の手入れ	掃除・洗濯・炊事	通院などの付き添い	急病など緊急時の手助け	災害時の手助け	安否確認等の定期的な声かけ・見守り	その他	特にない	無回答
全 体	1744	12.4	33.3	22.1	22.6	5.2	4.4	8.4	24.6	25.5	28.4	2.8	19.8	8.0
報酬はもらわなくても、進んで手助けする	1158	14.9	42.2	28.2	30.2	7.1	5.4	10.4	32.6	34.4	38.5	1.4	8.3	1.7
報酬がもらえるなら、進んで手助けする	58	29.3	36.2	36.2	29.3	8.6	10.3	15.5	20.7	24.1	19.0	1.7	17.2	1.7
金額によっては、進んで手助けする	35	22.9	28.6	31.4	11.4	2.9	5.7	17.1	22.9	20.0	22.9	2.9	17.1	—
その他	208	4.3	16.3	6.3	4.8	1.0	1.4	1.9	8.7	7.7	9.6	11.1	58.7	3.8

(7) 健康について

問 50 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ)

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、アウトドア派で「まあよい」の割合が高くなっています。また、インドア派に比べ「とてもよい」の割合も高くなっています。反対に、インドア派では、アウトドア派に比べ「まあよい」の割合が低く、「あまりよくない」「よくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても よい	まあ よい	あまり よくない	よく ない	無 回答
全 体	1744	8.3	62.2	21.4	5.6	2.6
インドア派 外交的	122	3.3	53.3	31.1	10.7	1.6
インドア派 内向的	209	1.9	37.8	42.1	14.4	3.8
アウトドア派 外交的	721	12.1	70.3	14.3	1.4	1.9
アウトドア派 内向的	446	8.7	65.5	19.7	4.7	1.3

(8) 介護予防について

【問 57 で「取り組んでいない」の方のみ】

問 57-① あなたが介護予防に取り組んでいない理由を教えてください。(回答は1つ)

【まちかど運動教室の参加意欲別】※問 58

まちかど運動教室の参加意欲別にみると、他に比べ、現在参加している・参加したいで「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」「きっかけがあれば取り組みたい」の割合が、参加したくないで「健康状態が良いため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康状態が 良いため	体力が落ちて きてから取り 組みたい	もう少し歳を とってから 取り組みたい	きっかけが あれば取り 組みたい	興味があるが、 具体的な 取り組み方が わからない	興味・関心 がない	その他	無回答
全 体	698	20.1	8.2	8.3	18.9	21.3	7.9	3.3	12.0
現在参加している・ 参加したい	56	10.7	5.4	1.8	30.4	41.1	1.8	1.8	7.1
参加していたが、現 在は参加していな い	71	15.5	9.9	2.8	21.1	28.2	5.6	4.2	12.7
参加したくない	392	22.2	8.2	9.2	17.6	18.9	9.2	3.8	11.0

【高齢者サロンの参加意欲別】※問 58

高齢者サロンの参加意欲別にみると、他に比べ、参加していたが、現在は参加していないで「きっかけがあれば取り組みたい」の割合が、現在参加している・参加したいで「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」「きっかけがあれば取り組みたい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康状態が 良いため	体力が落ちて きてから取り 組みたい	もう少し歳を とってから 取り組みたい	きっかけが あれば取り 組みたい	興味があるが、 具体的な 取り組み方が わからない	興味・関心 がない	その他	無回答
全 体	698	20.1	8.2	8.3	18.9	21.3	7.9	3.3	12.0
現在参加している・ 参加したい	51	17.6	3.9	2.0	27.5	29.4	3.9	2.0	13.7
参加していたが、現 在は参加していな い	35	11.4	17.1	11.4	28.6	8.6	8.6	5.7	8.6
参加したくない	434	22.1	8.1	8.1	17.5	21.2	8.5	3.7	10.8

【老人福祉センターの健康教室・講座の参加意欲別】※問 58

老人福祉センターの健康教室・講座の参加意欲別にみると、他に比べ、現在参加している・参加したいで「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康状態が 良い	体力が落ちて きている	もう少し歳を とってからの 取り組みたい	きっかけが あれば取り組み たい	興味があるが、 具体的な組み み方がわから ない	興味・関心 がない	その他	無回答
全 体	698	20.1	8.2	8.3	18.9	21.3	7.9	3.3	12.0
現在参加している・ 参加したい	46	15.2	6.5	8.7	17.4	41.3	—	2.2	8.7
参加していたが、現 在は参加していな い	52	21.2	7.7	5.8	21.2	23.1	5.8	3.8	11.5
参加したくない	426	21.8	8.5	8.5	18.5	19.0	9.4	3.5	10.8

問 58 介護予防（介護が必要な状態にならないようにすること）について、以下の活動を知っていますか。また、参加したいですか。（それぞれ回答は1つ）

認知度 ア まちかど運動教室（介護予防を目的とした体操教室）

「知っている」の割合が 35.2%、「知らない」の割合が 56.0%となっています。

【まちかど運動教室の参加意欲別】

まちかど運動教室の参加意欲別にみると、参加したくないで「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1744	35.2	56.0	8.8
現在参加している・参加したい	215	72.1	25.6	2.3
参加していたが、現在 は参加していない	217	72.8	22.6	4.6
参加したくない	818	30.0	67.4	2.7

認知度 イ 高齢者サロン（身近な場所で高齢者等が定期的に交流する場）

【高齢者サロンの参加意欲別】

高齢者サロンの参加意欲別にみると、参加したくないで「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1744	37.1	54.2	8.7
現在参加している・参加したい	181	82.3	16.6	1.1
参加していたが、現在は参加していない	116	74.1	22.4	3.4
参加したくない	929	36.7	60.5	2.8

認知度 ウ 老人福祉センターの健康教室・講座（福祉体育館内で体操やヨガなど健康づくりの事業を行っています。）

【老人福祉センターの健康教室・講座の参加意欲別】

老人福祉センターの健康教室・講座の参加意欲別にみると、他に比べ、参加したくないで「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1744	47.4	43.7	8.9
現在参加している・参加したい	171	77.8	19.3	2.9
参加していたが、現在は参加していない	190	85.3	12.1	2.6
参加したくない	902	46.5	50.7	2.9

(9) 認知症について

問 60 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(回答は1つ)

【認知症の症状の有無別】

認知症の症状の有無別にみると、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	26.5	69.3	4.1
はい（認知症の症状あり）	187	59.4	40.1	0.5
いいえ（認知症の症状なし）	1474	23.4	75.8	0.8

問 61 ひまわりカフェを知っていますか。(回答は1つ)

【認知症の症状の有無別】

認知症の症状の有無別にみると、認知症の症状の有無に関わらず、「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1744	10.7	84.5	4.8
はい（認知症の症状あり）	192	16.1	82.3	1.6
いいえ（認知症の症状なし）	1465	10.4	87.9	1.7

在宅介護実態調査

(1) あて名の方ご自身のことについて

問 10 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

【認知症の症状がある方の状況別】

認知症の症状がある方の状況別にみると、何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立しているで「利用していない」「宅配給食」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	宅配給食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉センター等)	見守り、声かけ	サロンの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体	292	16.8	5.1	10.6	5.8	5.5	6.2	9.6	7.9	5.8	5.8	44.5	16.1
何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している	70	24.3	4.3	11.4	7.1	7.1	4.3	4.3	5.7	2.9	2.9	52.9	12.9
日常生活は誰かが見てくれているれば自立できている	91	17.6	5.5	12.1	6.6	7.7	7.7	6.6	9.9	13.2	3.3	42.9	16.5
日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている	76	19.7	3.9	7.9	3.9	3.9	2.6	9.2	5.3	2.6	10.5	43.4	14.5
日常生活に問題のある行動を頻繁に起こしてしまうため、常に介護を受けている	36	—	5.6	8.3	2.8	2.8	8.3	22.2	11.1	2.8	2.8	38.9	25.0
著しい精神症状、問題行動があり、専門医療を受けている	5	—	—	20.0	—	—	20.0	20.0	—	—	60.0	20.0	—

問 27 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)
(3つまで選択可)

【認知症の症状がある方の状況別】

認知症の症状がある方の状況別にみると、日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けているで「認知症状への対応」「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	234	19.2	23.9	5.6	15.0	2.6	1.7	4.7	10.7	6.4
何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している	54	18.5	14.8	1.9	16.7	3.7	1.9	9.3	13.0	—
日常生活は誰かが見てくれているれば自立できている	75	24.0	28.0	5.3	18.7	4.0	2.7	4.0	9.3	8.0
日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている	66	19.7	31.8	10.6	13.6	—	1.5	1.5	10.6	6.1
日常生活に問題のある行動を頻繁に起こしてしまうため、常に介護を受けている	24	12.5	20.8	—	4.2	4.2	—	8.3	8.3	16.7
著しい精神症状、問題行動があり、専門医療を受けている	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—

単位：％

区分	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にな	い 主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	32.5	4.7	8.1	3.4	8.5	5.6	6.0	1.7	29.1
何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している	29.6	1.9	11.1	5.6	9.3	3.7	11.1	1.9	27.8
日常生活は誰かが見てくれていれば自立できている	28.0	4.0	6.7	1.3	6.7	6.7	5.3	1.3	28.0
日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている	43.9	4.5	9.1	4.5	9.1	1.5	1.5	3.0	27.3
日常生活に問題のある行動を頻繁に起こしてしまうため、常に介護を受けている	33.3	8.3	4.2	—	12.5	16.7	12.5	—	29.2
著しい精神症状、問題行動があり、専門医療を受けている	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

（前ページの表 続き）

3 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

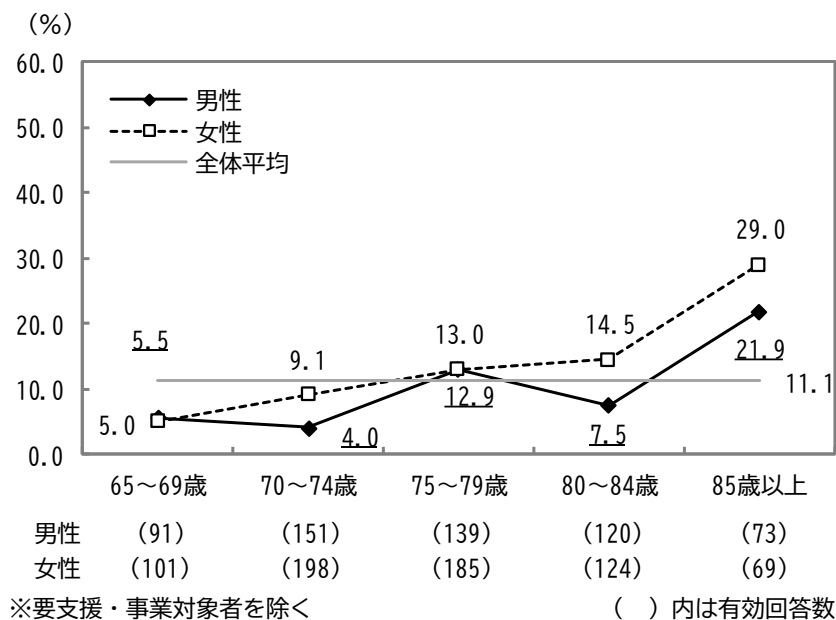
問番号	設問	該当する選択肢
問4	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問5	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問6	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問7	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問8	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

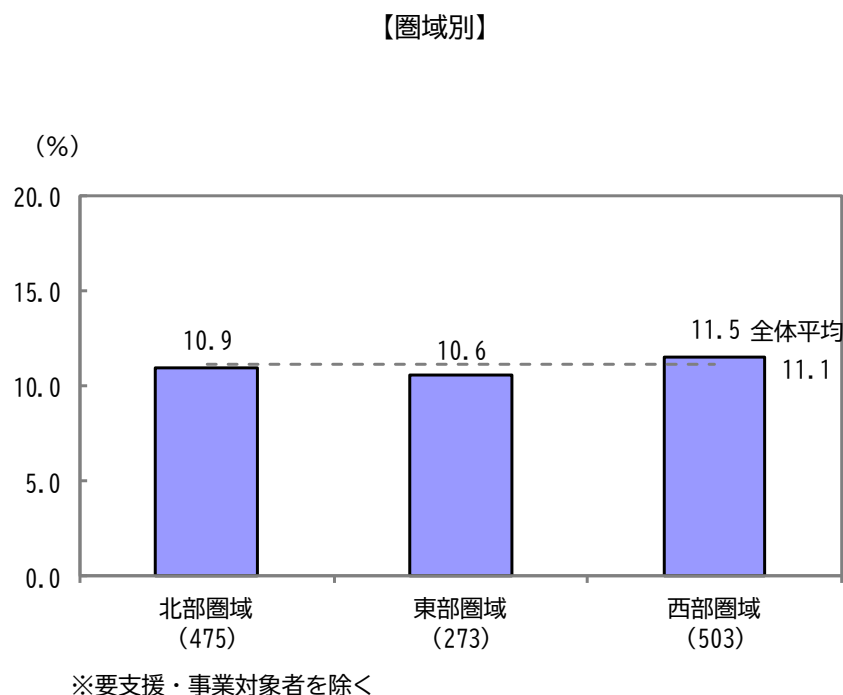
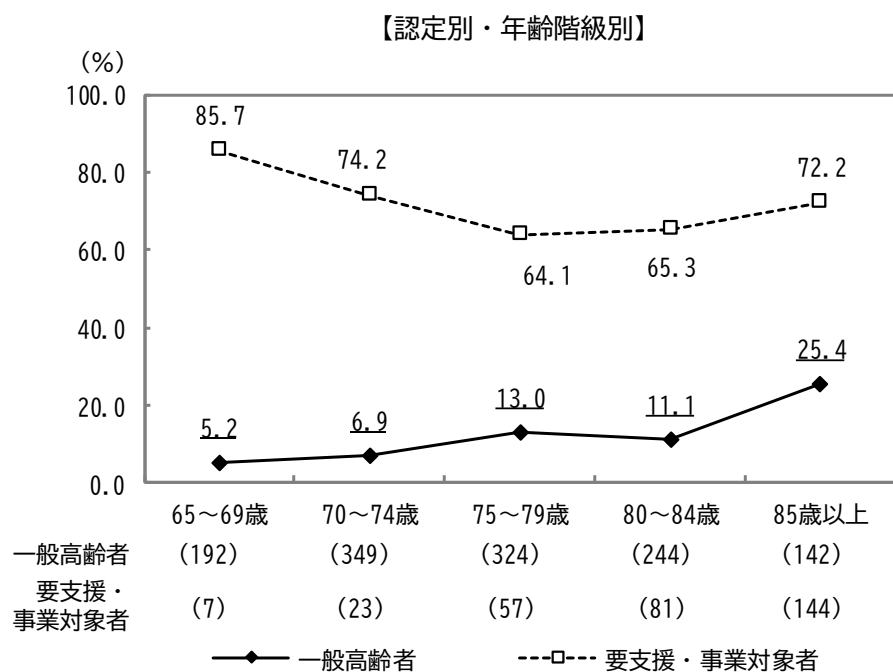
国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で11.1%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で該当者割合が高い傾向にあり、84歳までに比べ85歳以上で該当者割合が上昇しています。

【性別・年齢階級別】



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で割合が高くなっています。また、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれ該当者割合が増加傾向となっています。



(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

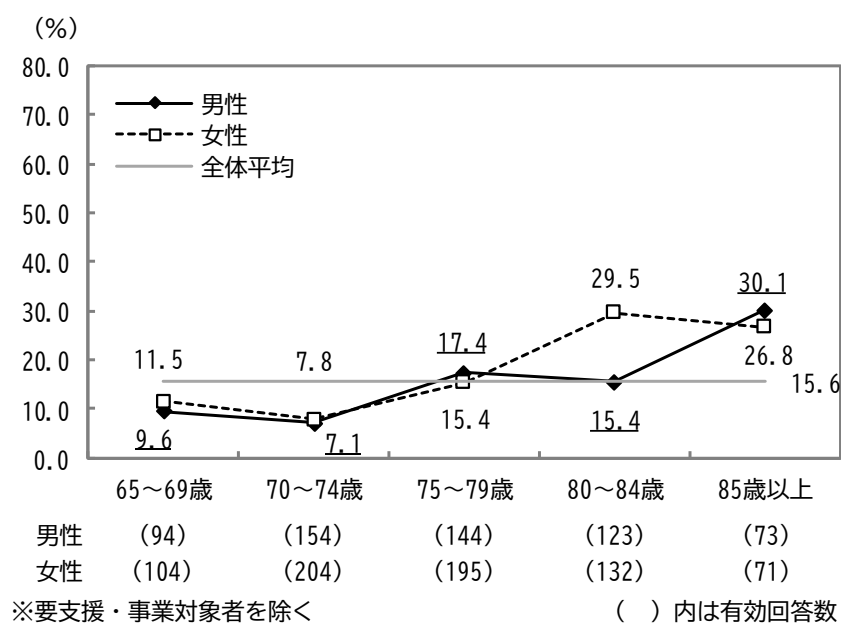
問番号	設問	該当する選択肢
問9	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で15.6%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

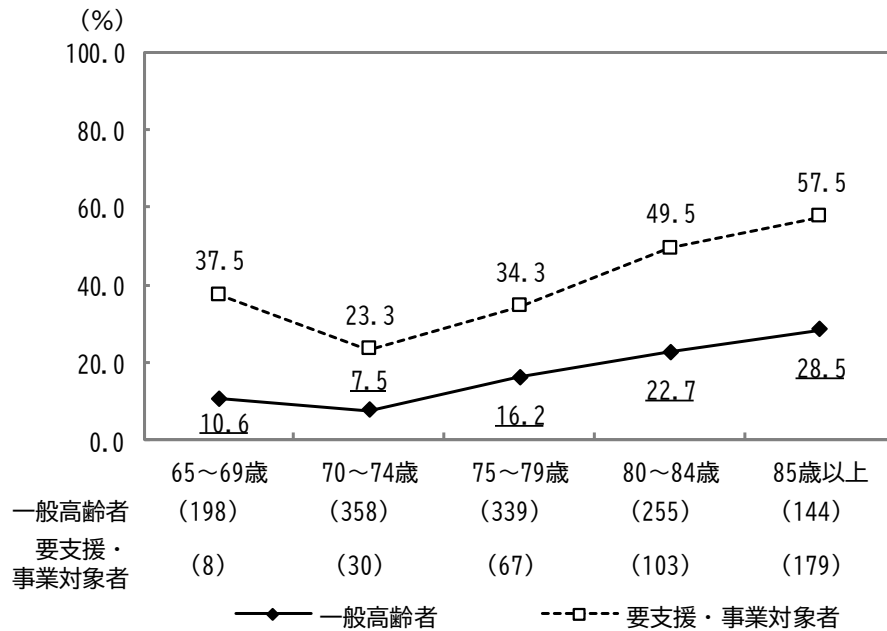
性別・年齢階級別にみると、男性では85歳以上、女性では80歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】

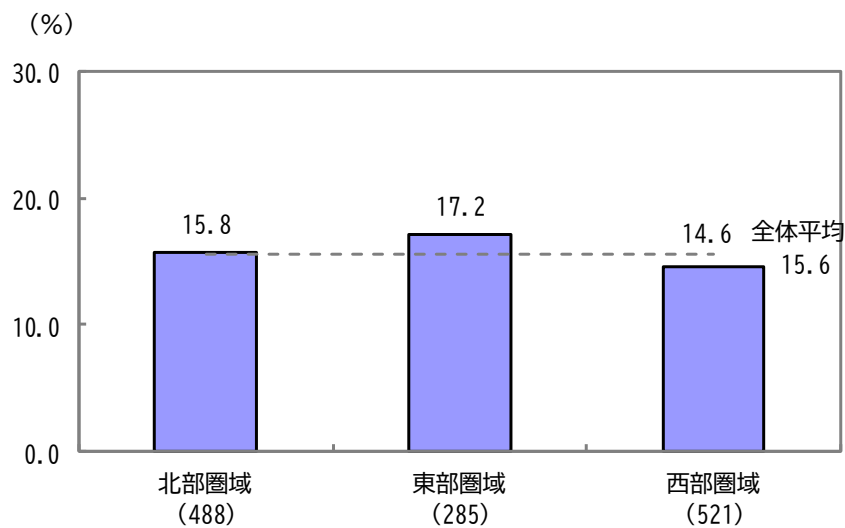


認定別・年齢階級別にみると、要支援・事業対象者では一般高齢者に比べ、どの年齢階級においても倍以上の割合で高くなっています。

【認定別・年齢階級別】



【圏域別】



※要支援・事業対象者を除く

(3) 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

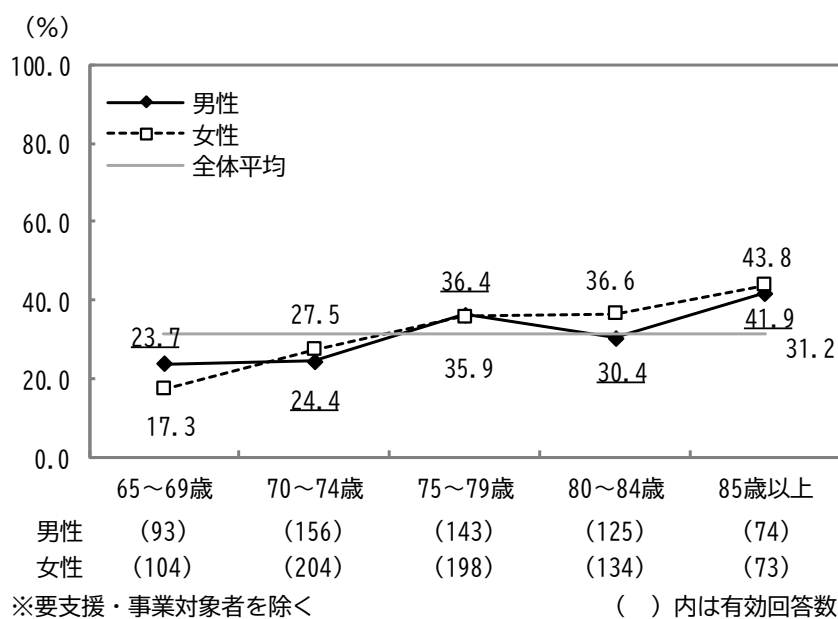
問番号	設問	該当する選択肢
問7	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

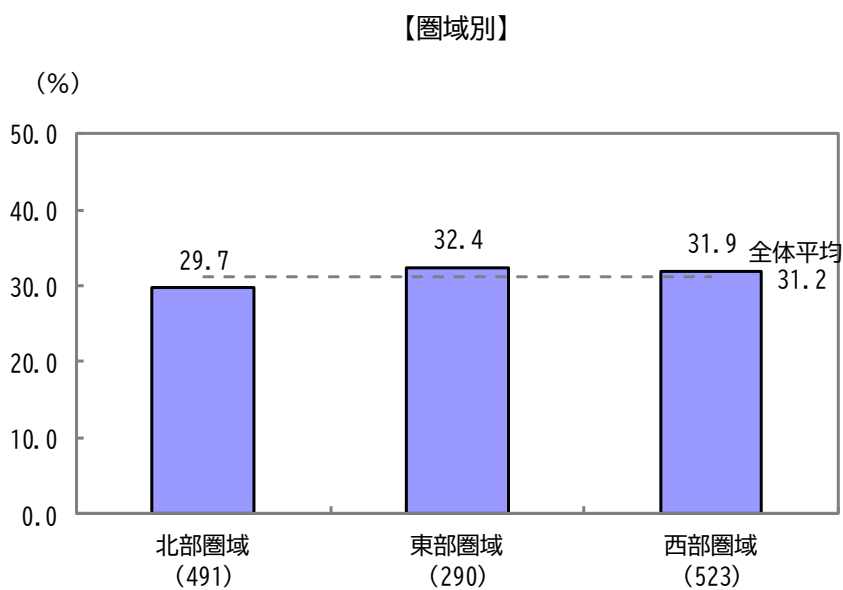
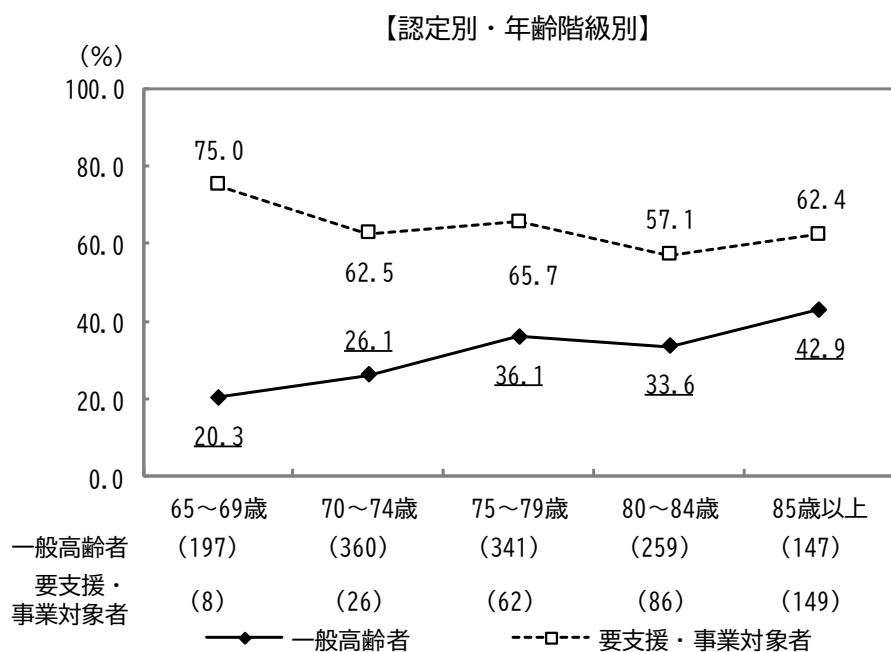
国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で31.2%が転倒リスクの該当者となっています。

性別によって異なる傾向は見られませんでした。年齢階級別にみると、75歳以上になると全体平均を超える傾向が見られました。

【性別・年齢階級別】



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ要支援・事業対象者で割合が高くなっています。また、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれ該当者割合が増加傾向となっています。



※要支援・事業対象者を除く

(4) 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

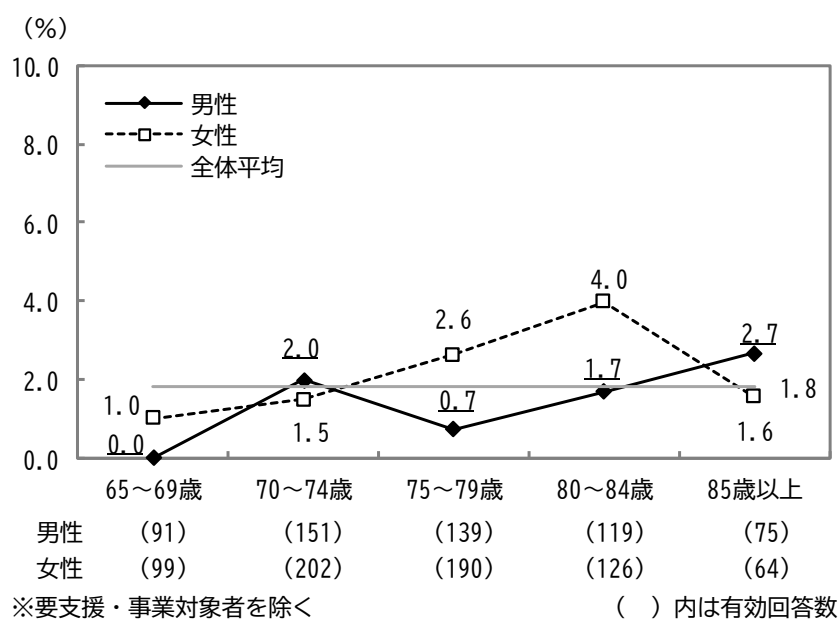
問番号	設問	該当する選択肢
問 13	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問 17	6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 1.8%が低栄養リスクの該当者となっています。

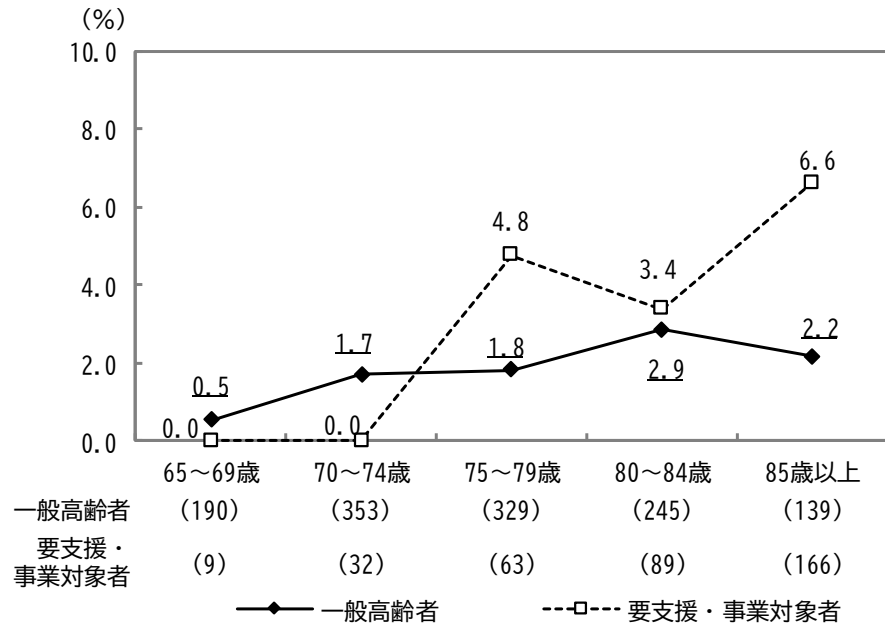
性別・年齢階級別にみると、女性では 80～84 歳以上で 4.0%、男性では 85 歳以上で 2.7%となっています。

【性別・年齢階級別】

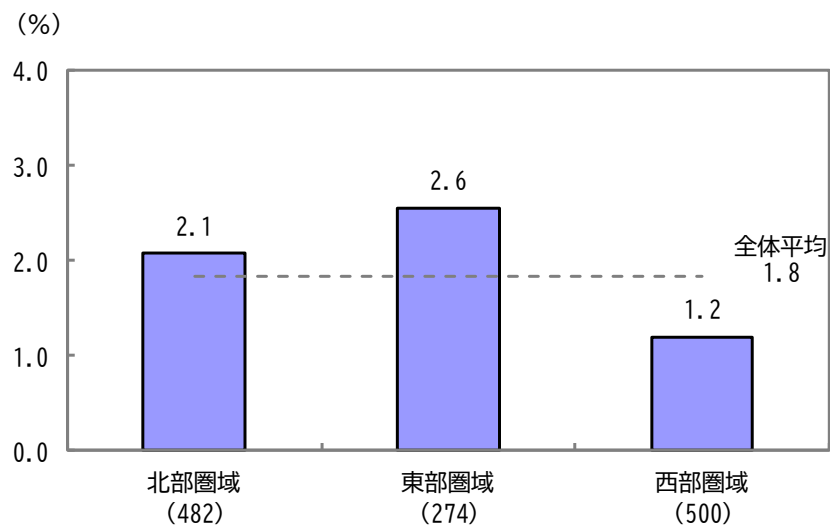


認定別・年齢階級別にみると、75歳以上になると一般高齢者に比べ要支援・事業対象者で割合が高くなっています。

【認定別・年齢階級別】



【圏域別】



※要支援・事業対象者を除く

(5) 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

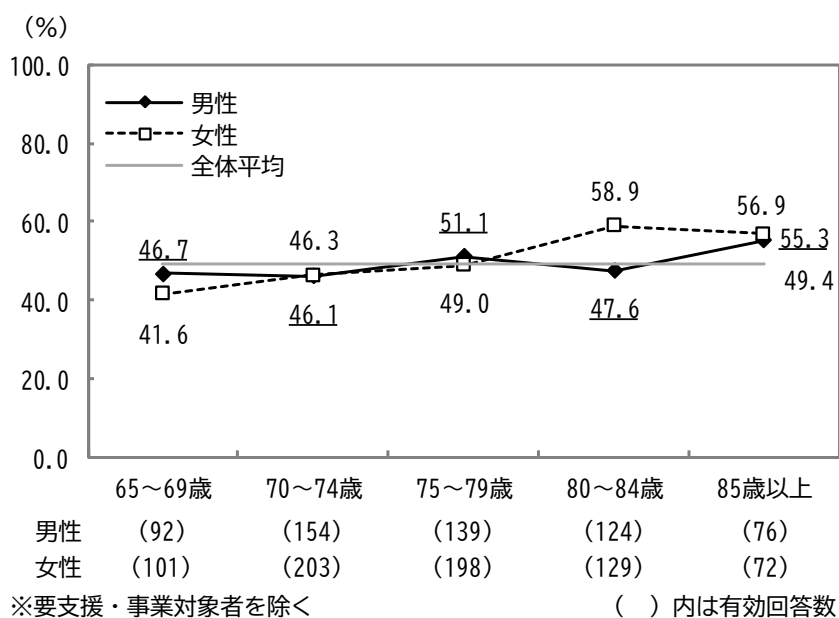
問番号	設問	該当する選択肢
問 19	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 49.4%が該当者となっています。

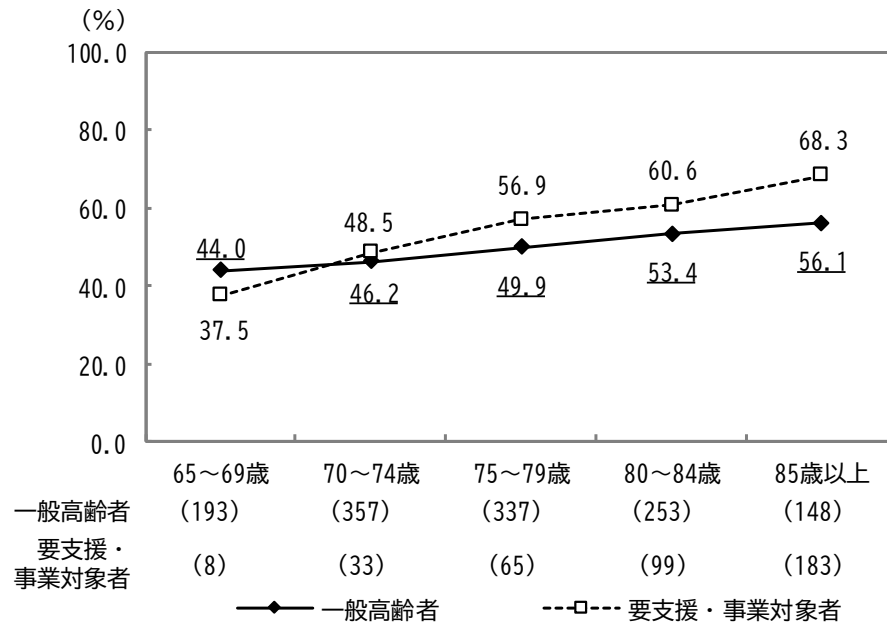
性別・年齢階級別にみると、男性では 85 歳以上、女性では 80 歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】

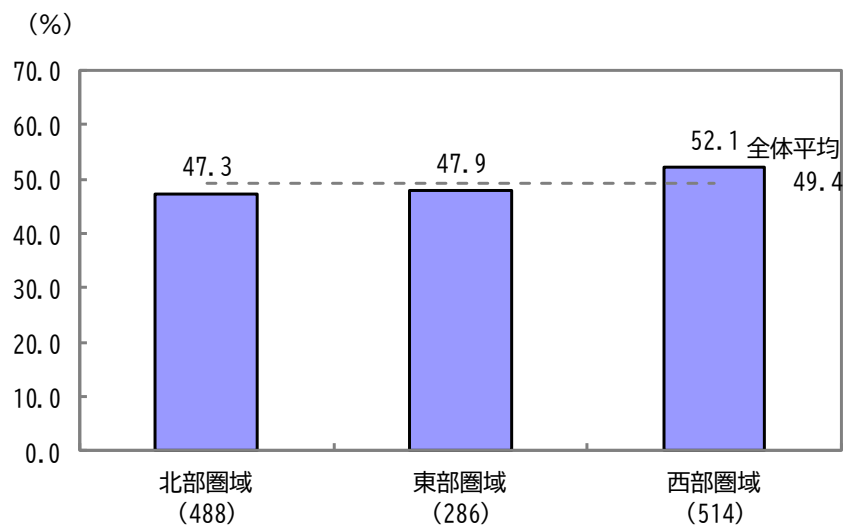


認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに年齢階級が上がるにつれ該当者割合が上昇しています。

【認定別・年齢階級別】



【圏域別】



※要支援・事業対象者を除く

(6) うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

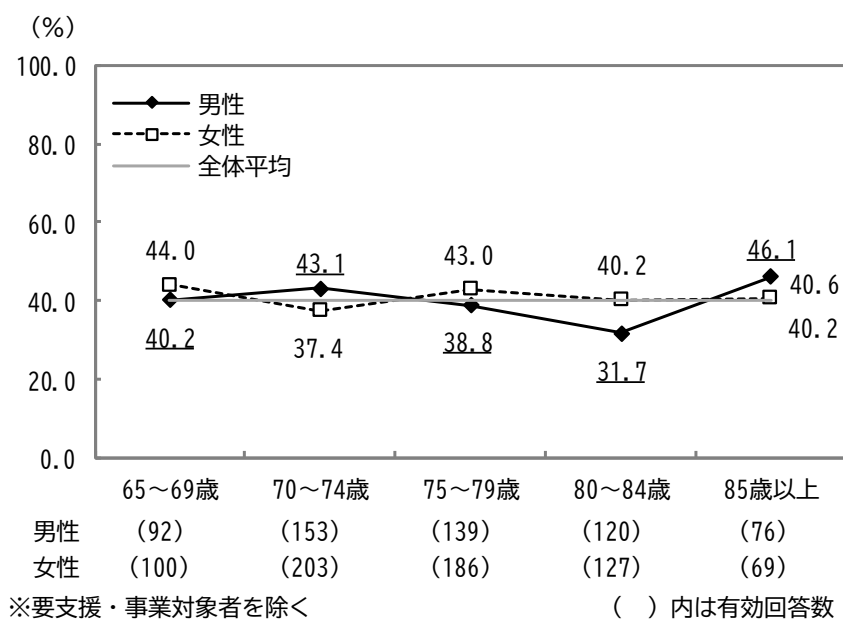
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 52	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 53	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

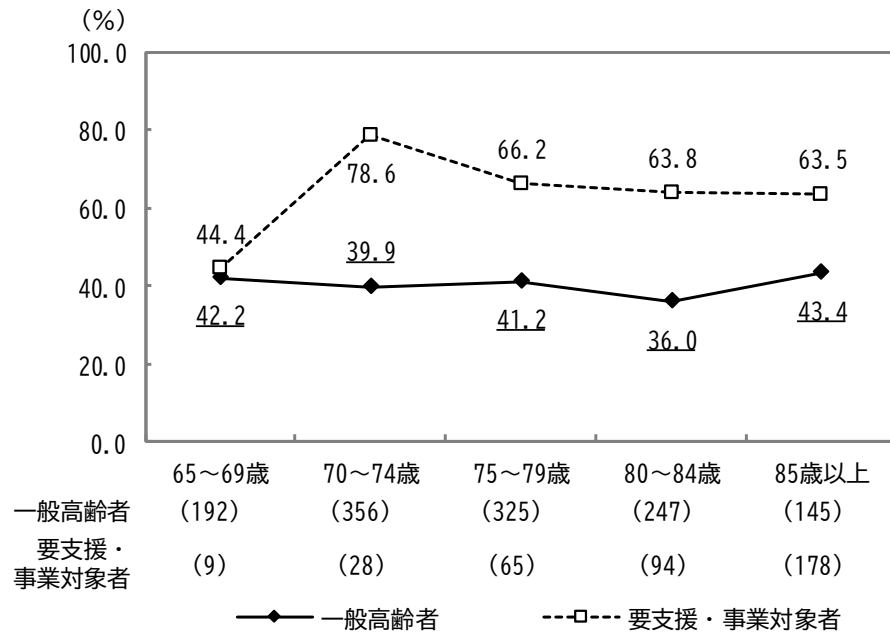
国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で 40.2%が該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、大きな差はみられません。

【性別・年齢階級別】

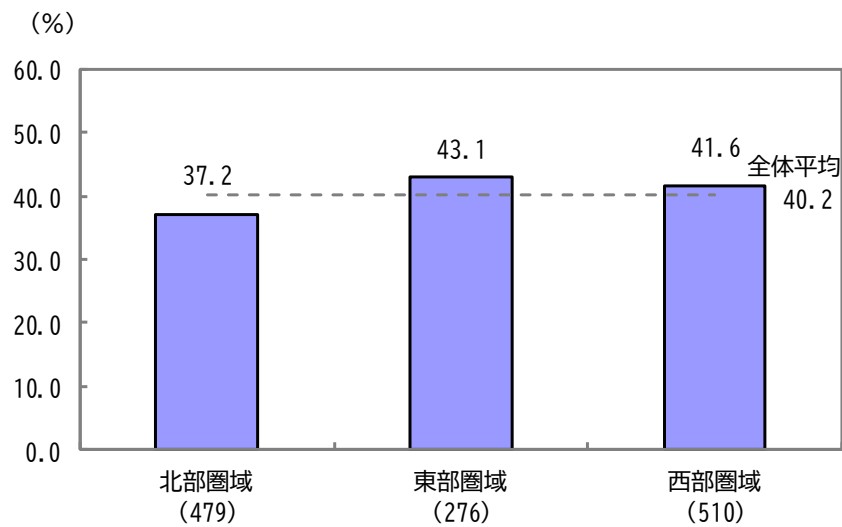


認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者では年齢階級によって大きな差は見られません。要支援・事業対象者では70～74歳でその割合が上昇しています。

【認定別・年齢階級別】



【圏域別】



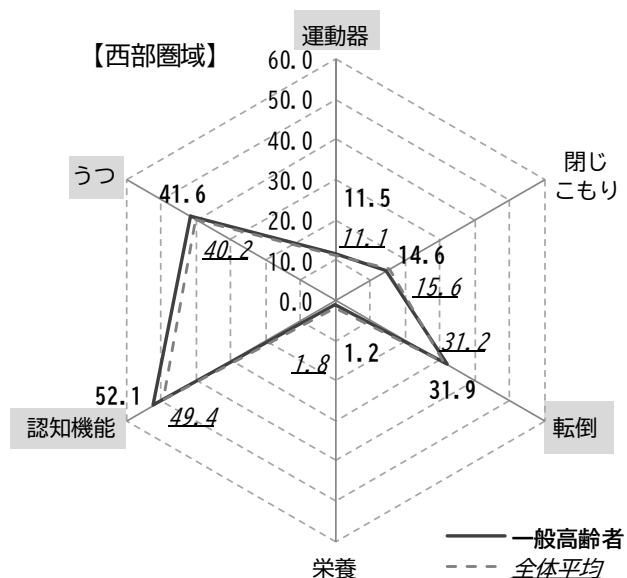
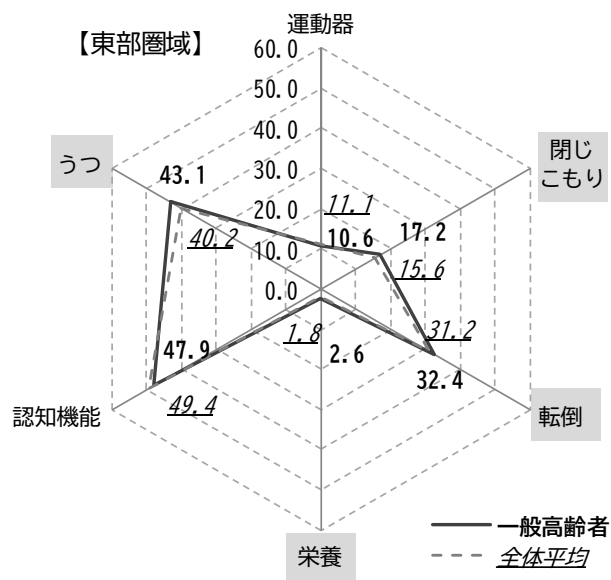
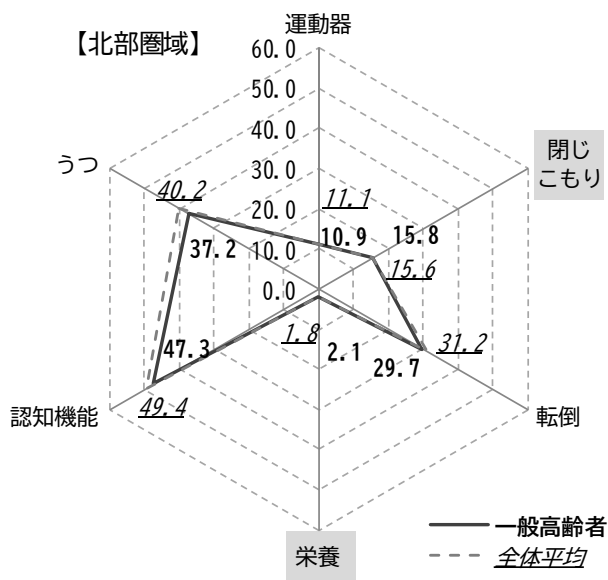
※要支援・事業対象者を除く

(7) 圏域別リスク該当者割合

圏域別の該当者割合をみると、北部圏域では「閉じこもり」「栄養」の2分野が全体より高くなっています。

東部圏域では「閉じこもり」「転倒」「栄養」「うつ」の4分野が全体より高くなっています。

西部圏域では、「運動器」「転倒」「認知機能」「うつ」の4分野が全体より高くなっています。



※要支援・事業対象者を除く

※色がついている項目は、全体よりリスク該当者の割合が高いものを指す。

4 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

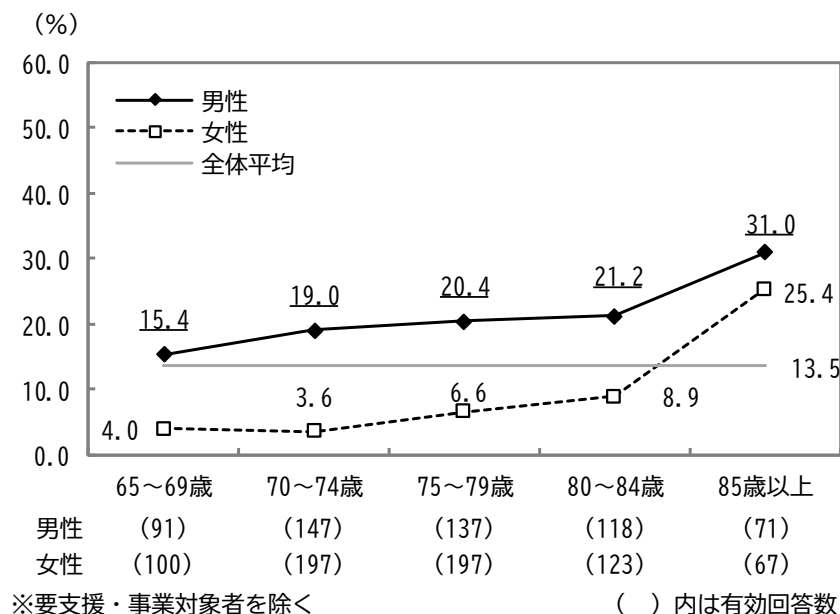
問番号	設問	該当する選択肢
問 21	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 22	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 23	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 24	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問 25	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない

【リスク該当状況】

全体平均では13.5%が手段的自立度の低下者となっています。

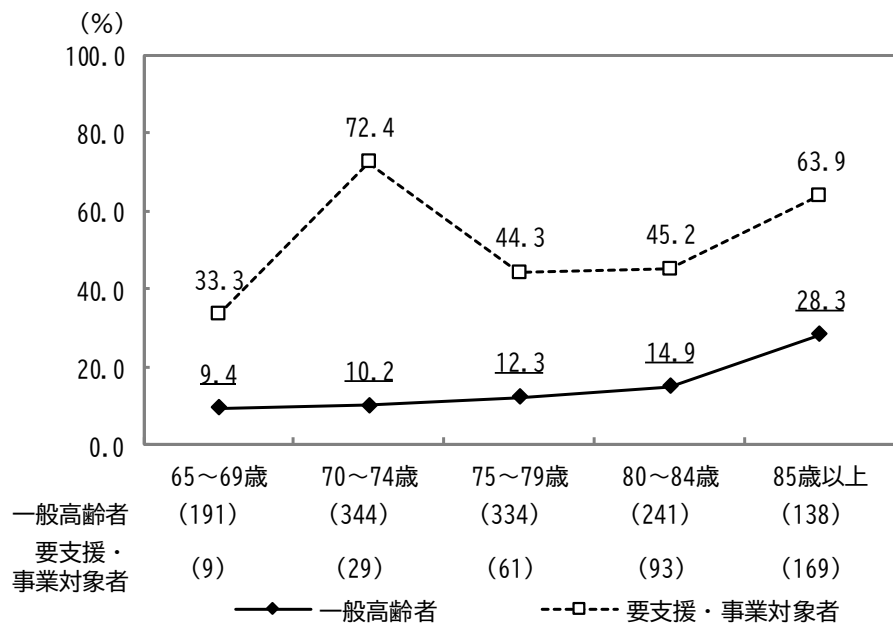
性別・年齢階級別にみると、女性に比べ、男性で割合が高く、年齢階級に関わらず男性の割合は全体平均を上回っています。

【性別・年齢階級別】

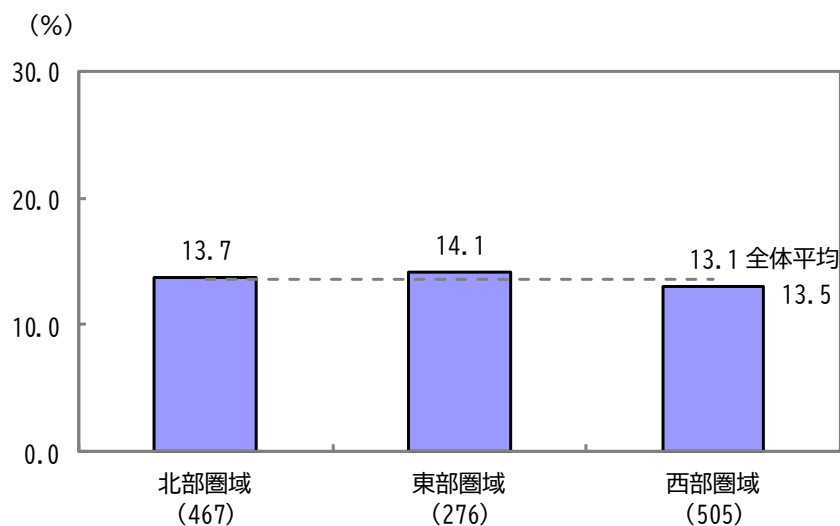


認定別・年齢階級別にみると、年齢階級に関わらず要支援・事業対象者では一般高齢者に比べ、該当者割合が高くなっています。

【認定別・年齢階級別】



【圏域別】



※要支援・事業対象者を除く

IV 調査結果のまとめ

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

●家族や生活状況について

家族構成についてみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が35.0%と最も高くなっています。

普段の生活で介護・介助が必要かについてみると、「介護・介助は必要ない」の割合が72.2%と最も高くなっています。一般高齢者では86.8%、要支援・事業対象者では25.1%と約3倍以上の差があります。

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについてみると、「ふつう」の割合が62.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が21.3%となっています。

●からだを動かすことについて（問4～問8）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、「できるし、している」の割合が48.4%と最も高く、次いで「できない」が25.1%となっています。介護状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」の割合が58.5%と最も高く、要支援・事業対象者では「できない」の割合が65.2%と最も高くなっています。

前回と比較すると、「できるし、している」の割合が一般高齢者では64.4%から58.5%と5.9%低下しています。

●外出について（問9～問12）

週に1回以上外出しているかについてみると、一般高齢者では93.6%（前回調査95.9%）、要支援・事業対象者では75.5%（前回調査75.8%）で、前回と大きな変化はみられません。

昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、「とても減っている」「減っている」が一般高齢者では29.9%（前回調査18.9%）、要支援・事業対象者では62.8%（前回調査58.1%）となっています。前回と比較すると、一般高齢者では減っている人の割合が11.0%増加しています。

外出を控えているかについてみると、「はい」が一般高齢者では32.2%（前回調査11.0%）、要支援・事業対象者では65.7%（前回調査53.7%）となっています。その理由についてみると、一般高齢者では「新型コロナウイルス感染症対策」の割合が71.3%と最も高く、要支援・事業対象者では「足腰などの痛み」の割合が60.0%と最も高くなっています。

どのようにして外出しているかについてみると、一般高齢者では「徒歩」の割合が60.2%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が57.1%となっています。要支援・事業対象者では「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が48.9%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が38.9%となっています。

●食べることについて

肥満度（BMI）についてみると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに「普通」の割合が最も高くなっています。

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたかについてみると、一般高齢者では「いいえ」の割合が高く 67.6%、要支援・事業対象者では「はい」の割合が高く 43.8%となっています。

お茶や汁物でむせることがありますか、6か月間で2－3kg以上の体重減少がありましたかについてみると、介護状況による差はなく「いいえ」の割合が最も高くなっています。

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、介護状況による差はなく「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合が最も低くなっています。また、「自分の歯は20本以上」の割合についてみると、一般高齢者では49.3%、要支援・事業対象者では34.6%と、要支援・事業対象者のほうが約15%低くなっています。

どなたかと食事をともにする機会についてみると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに「毎日ある」の割合が最も高くなっています。また、「ほとんどない」の割合についてみると、一般高齢者では8.0%、要支援・事業対象者では16.3%と約2倍の差があります。

●毎日の生活について

物忘れが多いと感じているかについてみると、一般高齢者では「いいえ」の割合が48.9%と最も高く、要支援・事業対象者では「はい」の割合が58.6%と最も高くなっています。

バスや電車を使って1人で外出しているかについてみると、一般高齢者では「できるし、している」の割合が71.2%と最も高く、要支援・事業対象者では「できない」の割合が45.5%と最も高くなっています。

自分で食品・日用品の買い物をしているかについてみると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに「できるし、している」の割合が最も高くなっています。

また、要支援・事業対象者では「できない」の割合が29.0%、「できるけどしていない」の割合が20.7%で、あわせると約5割となっています。

自分で食事の用意をしているかについてみると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに「できるし、している」の割合が最も高くなっています。また、「できない」の割合についてみると、一般高齢者では8.1%、要支援・事業対象者では23.1%と約3倍の差があります。

自分で請求書の支払いをしているか、自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに「できるし、している」の割合が最も高くなっています。

趣味、生きがいについてみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者では「思いつかない」の割合が高くなっています。

パソコン・スマートフォンの使用についてみると、使用している割合は一般高齢者では58.0%、要支援・事業対象者では28.2%となっています。

新型コロナウイルス感染症の流行を受けた行動や意識の変化についてみると、「健康に気を付けるようになった」の割合が60.4%と最も高く、次に「外出しなくなった」「人と会わなくなった」という行動の変化、次いで「人とのつながりの大切さを知ることができた」となっています。

●地域での活動について

ボランティアや趣味活動など地域での活動への参加について個々にみると、「参加していない」の割合が5割前後と最も高くなっています。ただし、地域活動全体についてみると、「全く活動に参加していない」の割合は24.8%となっています。

老人クラブにどんな活動があれば加入を考えるかについてみると、「健康体操教室等の活動」の割合が22.1%と最も高く、次いで「講演や教養講座」の割合が16.1%、「温泉や花見などの娯楽活動」の割合が13.0%となっています。

地域活動の有志によるグループ活動についてみると、一般高齢者では「参加してもよい」の割合が43.3%で最も高く、要支援・事業対象者では「参加したくない」の割合が46.2%で最も高くなっています。また、その活動に企画・運営（お世話役）として参加したいかについてみると、「参加したくない」の割合が59.8%と最も高くなっています。

●たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」の割合が49.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が40.4%、「別居の子ども」の割合が36.6%となっています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」の割合が47.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が42.1%となっています。

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する場所についてみると、「病院」の割合が34.8%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が24.1%、「市役所」の割合が23.5%となっています。前回アンケートとの比較では、「そのような人はいない」の割合が一般高齢者では35.9%から27.6%と8.3%低下しています。

日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にとどのような支援をしてほしいかについてみると、「急病など緊急時の手助け」の割合が32.3%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が26.4%、「買物」の割合が23.5%となっています。

日常生活上の支援が必要になった時などの、費用の負担についてみると、「金額によっては、手助けしてもらいたい」の割合が42.9%と最も高く、次いで「費用の負担をしても、手助けしてもらいたい」の割合が29.2%、「費用負担が必要なら、手助けしてもらわなくてもよい」の割合が10.8%となっています。

高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯についてどんな対応ができるかについてみると、「話し相手」の割合が33.3%と最も高く、次いで「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が28.4%、「災害時の手助け」の割合が25.5%となっています。

高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯に何か対応した時に、報酬をもらうことについてみると、「報酬はもらわなくても、進んで手助けする」の割合が66.4%と最も高くなっています。

生活支援コーディネーターの認知度についてみると、「はい」の割合が14.9%、「いいえ」の割合が79.7%となっています。

●健康について

現在の幸福度についてみると、「8点」の割合が22.9%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.6%、「10点」の割合が15.4%となっています。

現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」の割合が47.0%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が26.2%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が18.9%となっています。

生活の中で耳の聞こえに困っているかについてみると、「はい」の割合が26.0%、「いいえ」の割合が71.9%となっています。

●介護予防について

寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいるかについてみると、「取り組んでいる」の割合が54.8%、「取り組んでいない」の割合が40.0%となっています。

介護予防に取り組んでいない理由についてみると、「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」の割合が21.3%と最も高く、次いで「健康状態が良いため」の割合が20.1%、「きっかけがあれば取り組みたい」の割合が18.9%となっています。

まちかど運動教室についての認知度と参加意欲についてみると、参加したくないで「知らない」の割合が高くなっています。

高齢者サロンについての認知度と参加意欲についてみると、参加したくないで「知らない」の割合が高くなっています。

老人福祉センターの健康教室・講座についての認知度と参加意欲についてみると、他に比べ、参加したくないで「知らない」の割合が高くなっています。

●認知症について

認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、「いいえ」の割合が69.3%となっています。また、「ひまわりカフェを知っていますか」「認知症サポーターを知っていますか」については、「いいえ」の割合が8割を超えています。

認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために何が必要かについてみると、「認知症の早期診断」の割合が72.1%と最も高く、次いで「認知症の発症予防」の割合が56.8%、「認知症に関する相談窓口」の割合が48.9%となっています。

●在宅医療について

日ごろから治療や指導を受けたり、健康、歯について相談できる「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」はいるかについてみると、「はい」が約7割となっています。

日ごろから指導を受けたり、薬に関して相談できる「かかりつけ薬局」はいるかについてみると、「はい」よりも「いいえ」の割合が高くなっています。

●介護保険について

今後、あなたご自身に介護が必要となった場合、どのような介護を希望するかについてみると、「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」の割合が 35.6%と最も高くなっています。

地域包括支援センターの役割として知っているものについてみると、「すべて知らない」の割合が 36.9%と最も高くなっています。介護状況別にみると、一般高齢者では「すべて知らない」の割合が最も高く、要支援・事業対象者では「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」「ケアマネジャーへの支援や指導」「支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が高くなっています。

●市の高齢者福祉について

介護保険以外の今後利用したい高齢者福祉サービスについてみると、「配食サービス（安否確認を兼ねて、栄養バランスの取れた食事を提供します）」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「介護タクシー利用料金の助成」の割合が 28.9%、「医療費（福祉医療）の助成」の割合が 28.7%となっています。

介護保険以外の今後実施してほしい高齢者福祉サービスについてみると、「車いすの貸与」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「補聴器等の購入費用助成」の割合が 27.1%となっています。

高齢者の方々が生きがいをもって暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものについてみると、「健康づくり活動の充実」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「安否確認の体制づくり」の割合が 33.8%となっています。

●終末期の考え方について

ご自身が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいかについてみると、「自宅」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「病院」の割合が 28.8%、「わからない」の割合が 18.9%となっています。

「人生会議（ACP）」についてみると、「知らない」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」の割合が 10.3%となっています。

あなたは、「人生会議（ACP）」について考えているかについてみると、「考えていない」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「自分ひとりで考えたことがある」の割合が 21.9%、「家族と話し合ったことがある」の割合が 16.0%となっています。

(2) 在宅介護実態調査

●施設の検討状況について

施設の検討状況についてみると、「入所・入居は検討していない」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が 22.9%となっています。

また、要介護度が下がるにつれ、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっており、要介護度 1 では 59.0%となっています。

●介護保険サービスについて

介護保険サービスの利用についてみると、「利用した」の割合が 61.1%となっています。

介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」の割合が 21.1%、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 16.3%となっています。

●ご本人が現状抱えている傷病について

「認知症」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 21.5%、「糖尿病」の割合が 18.6%となっています。

●在宅医療について

日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」はいるかについてみると、「はい」の割合が 85.5%となっています。

訪問診療の利用についてみると、要介護度が上がるにつれ「利用している」の割合が高くなっており、要介護 5 では 70.6%となっています。

日ごろから治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」はいるかについてみると、「はい」の割合が 51.6%となっています。

●今後の介護の希望について

今後の介護の要望についてみると、「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」の割合が 24.9%となっています。

●終末期の考え方について

ご自身が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいかについてみると、「自宅」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 30.8%、「病院」の割合が 18.3%となっています。

「人生会議（ACP）」についてみると、「知らない」の割合が 85.5%と最も高くなっています。また、「人生会議（ACP）」について考えているかについては、「考えていない」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「家族と話し合ったことがある」の割合が 15.2%となっています。

●主な介護者の方について

主な介護者の方の年齢についてみると、「60代」の割合が28.4%と最も高く、次いで「50代」の割合が27.2%、「70代」の割合が21.3%となっています。

主な介護者の方についてみると、「子」の割合が52.4%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が26.0%、「子の配偶者」の割合が10.5%となっています。

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」の割合が25.7%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が24.0%、「日中の排泄」の割合が18.9%となっています。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについてみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が30.1%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が29.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が22.4%となっています。

地域包括支援センターの役割として知っているものについてみると、「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が51.2%と最も高く、次いで「ケアマネジャーへの支援や指導」の割合が50.9%、「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が46.4%となっています。

在宅で介護するために、ご本人と家族にとってどのようなことが重要かについてみると、「緊急時にサービスが利用できること」の割合が69.5%と最も高く、次いで「在宅医療が受けられること」の割合が53.0%、「夜間にサービスが利用できること」の割合が42.5%となっています。

(3) 在宅生活改善調査

●自宅等から居所を変更した利用者の行先別の人数

過去 1 年間に自宅等から居所を変更した利用者は 110 人で、行先別の人数をみると、特別養護老人ホームが 34 人 (30.9%)、介護老人保健施設が 17 人 (15.5%) と多く、住宅型有料老人ホームが 15 人 (13.6%)、その他が 9 人 (8.2%) と続いています。

●自宅等から居所を変更した利用者の要介護度の内訳

過去 1 年間に自宅等から居所を変更した利用者のうち、死亡を除いた要介護度の内訳をみると、要介護 4 が 28.1% と最も多く、要介護 3 が 24.8%、要介護 2 が 18.2%、要介護 5 が 16.5% とそれに続きます。

●現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者

現在自宅等で生活している要支援・要介護者のうち、「生活の維持が難しくなっている人」は 25 人で、2.9% となっています。

属性別にみると、「独居で、自宅等(持ち家)に住む、要介護 2 以下」の割合が 28.0% と最も高くなっています。また、居所が自宅等(持ち家)の利用者が全体の約 6 割を占めています。

●生活の維持が難しくなっている理由

要介護 2 以下では「認知症の症状の悪化」、要介護 3 以上では「必要な身体介護の増大」が理由として多く、また共通して多い理由としては、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が挙げられています。

要介護 3 以上の「必要な身体介護」について具体的にみると、「排泄(日中)」、「排泄(夜間)」などが高い割合を占めています。要介護 2 以下の「認知症の症状の悪化」について具体的にみると、「家事に支障がある」「一人での外出が困難」「薬の飲み忘れ」「金銭管理が困難」などが高い割合を占めています。

●「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更

「在宅生活の維持が難しくなっている人」のうち、担当のケアマネジャーが考える生活改善に必要なサービス等をみると、「特養」が 12.5%、「その他施設等」が 37.5%、「在宅サービス」が 37.5% 程度となっています。

「在宅サービス待機者」について、担当のケアマネジャーが考える生活改善に必要なサービスをみると、定期巡回サービスが 66.7%、ショートステイが 55.6% と高くなっています。

●「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス

特別養護老人ホーム以外の「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービスをみると、「その他施設等の待機者」では、グループホーム、特別養護老人ホームなどが多くなっています。一方、「在宅サービス待機者」では、特定養護老人ホーム、住宅型有料、グループホームが多くなっています。

(4) ケアマネジャー

●属性について

性別でみると、「男性」の割合が 10.5%、「女性」の割合が 89.5%となっています。

年齢別でみると、「60 歳代」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 28.9%、「40 歳代」の割合が 26.3%となっています。

経験年数でみると、「12 年以上」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「7～10 年未満」の割合が 15.8%、「5～7 年未満」の割合が 13.2%となっています。

勤務体系についてみると、「専従（常勤）」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「専従（非常勤）」の割合が 23.7%、「兼務（常勤）」の割合が 13.2%となっています。

介護支援専門員以外の保健医療福祉関係の資格についてみると、「介護福祉士」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「社会福祉士」の割合が 21.1%、「看護師（准看護師）」の割合が 15.8%となっています。

●ケアマネジャー業務全般について

介護支援専門員の仕事の中で、最も課題だと考えられるものについてみると、「ケアプラン作成の事務量が多い（担当利用者が多い）」、「ケアマネ業務以外の事務量が多い（業務範囲が不明確）」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「困難なケース（認知症・虐待・8050 問題）への対応」の割合が 15.8%となっています。

●社会において、特に重点を置くべき認知症対策について

社会において、特に重点を置くべきだと思う認知症対策についてみると、「地域で認知症の人や家族を支える取り組み」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「認知症の人や家族に対する相談・支援体制の充実」の割合が 47.4%、「認知症を予防する取り組み」の割合が 39.5%となっています。

●医療機関との連携について

医療機関とはどのような時に連携をとっているかについてみると、「新規ケアプラン担当・作成時」「状態が変わったとき・必要に応じて」「区分変更申請をするとき」で「必ず（全て）とっている」「ほとんどとっている」「大体とっている」の合計が過半数を上回っています。反対に、「担当者会議開催時」「サービス内容（計画の内容）を変更するとき（福祉用具の追加等含む）」「毎月など定期的な連絡」で「あまりとっていない」「ほとんどとっていない」の合計が過半数を上回っています。

連携できていないと考える理由についてみると、「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「交流の場がない」の割合が 34.4%、「介護従事者の医学に関する知識や理解が不足している」の割合が 28.1%となっています。

(5) 事業所

●介護サービスの実施状況

介護サービスの現在の実施状況についてみると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」の割合が 22.0%となっています。

●事業所の運営上の課題

事業所を円滑に運営していく上で困っていることについてみると、「業務量が多い」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「従業員不足で十分なサービスを提供できない」の割合が 44.0%、「介護報酬が低い」の割合が 38.0%となっています。

サービス提供の状況についてみると、「サービス提供量に余裕がない」の割合が 44.0%と最も高くなっています。

職員の確保と定着率向上での問題点についてみると、「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「身体的・精神的な負担が厳しい」の割合が 42.0%、「特にない」の割合が 22.0%となっています。

●関係機関との連携について

介護保険サービス事業を行う上で、行政の支援等が必要だと思われることについてみると、「介護保険制度に関する最新情報の提供」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「処遇困難者への対応またはその支援」の割合が 46.0%、「市の高齢者保健福祉事業に関する情報の提供」の割合が 32.0%となっています。

地域包括支援センターとの連携に関し、事業所として取り組んでいることについてみると、「介護予防事業での連携」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「処遇困難ケースについての個別指導・相談」の割合が 36.0%となっています。

●地域貢献について

事業所での地域への場所の提供（体操やサロン等の実施場所等）についてみると、「不可」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「応相談」の割合が 30.0%、「可能」の割合が 18.0%となっています。

事業所の職員の地域への派遣（研修や講演等の講師等）についてみると、「応相談」、「不可」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「可能」の割合が 20.0%となっています。

●今後のサービス提供について

現在不足している人材についてみると、「介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ」の割合が 72.0%と最も高くなっています。

介護予防・日常生活支援総合事業の緩和サービス、短期集中予防サービスへの参入にあたっての課題についてみると、「採算性が合わない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「人材の確保・育成」の割合が 46.0%となっています。

人材確保に関する県の補助制度（研修受講支援事業・介護福祉士資格取得支援事業・介護施設内保育所運営事業・外国人介護留学生奨学金等支給支援事業）の認知度についてみると、「知っている」の割合が 56.0%、「知らない」の割合が 44.0%となっています。

V 自由意見

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 生活費や医療費等、経済的なこと

- ・要介護者の10%負担でスタートした介護保険制度も累増・重度化に伴い逐年介護保険料の改定増が続き心配です。後追い施策でなく介護予防の取組みがますます緊要だと思います。
- ・介護がいるものにもっと介護タクシーを助成。
- ・食生活に不安がありますが、好きなものに偏っている事です。毎日外出して歩く事、頭を使う事、身体を動かす事は出来ていると思います。しかし、浪費するので金銭面に不安があります。物価上昇で家計を圧迫している事も関係しています。
- ・介護保険の活用法についてあまり必要性を感じていない高齢者に対してケアマネジャーがサービスを提供しているため、介護保険料の高額化を招いているように思う。高齢者が自分から求めているサービスをすすめることによって介護保険料が増加するのを避ける政策をとって欲しい。
- ・物価上昇、いろいろな経費の上昇。
- ・年金が少ない。介護保険が高い。
- ・年金が毎年、少なくなって生活が大変です。
- ・現在補聴器を利用しているが、価格が高く(60万~80万)、買い替えが出来ずにいる。補聴器購入での誰でも利用できる助成制度があれば老人のイメージすら変わってくと思う。利用者が増える。
- ・年金収入だけで老後の費用が心配である。自分か妻が施設に入ったら、入れるか疑問、安い施設があるか、順番待ち、不安です。
- ・子どもに支援があるように年金(特に国民年金)受給者にも支援がほしい。

(2) 買い物や通院等の外出の手段について(公共交通機関についても含む)

- ・高齢者になると活動範囲が狭くなり道路等の歩行が困難になってくるので道路環境を整備して欲しい。
- ・知立市ミニバスの無料サービスがありますが知立駅を中心として廻っているため出掛たくても時間がかかるとの声を聞きます。私は車の免許を返納し、移動手段に悩んでいます。考慮して頂きたいとおもいます。
- ・公共の乗り物がよりほしい。
- ・通院のタクシー代。予約制度を優先で出来る様。コロナになってから予約が出来ず、病院の予約に間に合わず困ってます。
- ・今は車で動いていますが、ミニバスが一方通行のため、逆廻りのバスを出して欲しい。
- ・足・腰の病後快復が不十分のため歩行困難および老衰で歩行不自由。
- ・高齢の主人が車の運転が出来なくなるとどこへも行けなくなり、日々の買い物やペットの食品が買えず不安になる。ネットの利用も考えるが送料などや価格が高めであるから年金暮らしにはきびしくなる。子どもに負担はかけたくない。

- ・現在は自分で車の運転はできる、病気で動けなくもなく、時間の制約もなく生活上困ってる事は少ない。認知（物忘れ）が多々あり困ってます。
- ・ミニバスが郵便局にとまってほしい。JA あいち中央農協にもとまってほしい。
- ・現在はありますが、市外の通院について直通のバスがあれば安心です。

（３）自分や家族の健康について

- ・おかげさまで元気で毎日過ごせています。元気なうちにいろいろ整理しておきたいのですが、エンディングノートも少しずつ準備しています。（まだまだですが）
- ・親の介護。
- ・奥さんの今後の事が不安です。
- ・屋内で転ばないように敷物はしないようにしている。
- ・病気になったら心配です。
- ・年齢によるとと思いますが（自分の事です）自分の判断力がいつまで続くか心配です。
- ・自分に何かあったとき娘が遠いからそれが心配です。
- ・現在 87 才です。手足の障害で不自由な身体となり、80 才の足腰の弱った妻の介護で生活しています。やがて訪れる老老介護を想うと不安になります。
- ・昼間は 1 人、今はなんとかなっている。ころばないように気をつける。
- ・私は膝関節症のため杖を使用していますが、いずれは動かなくなることを心配しています。そのときは状態により施設か病院にお世話になると思います。

（４）情報提供や相談について

- ・体調が悪いとき医者に行くけど、年だからしょうがないねと言われる。もう少し親身に相談できる所があるとよい。
- ・マイナンバーを早く使えるようにしてほしいです。
- ・ボランティアの方が時々話し相手に来て下さると良いと思います。
- ・突然一人で生活となった時（相手が死亡 or 入院等）どうしたらよいか。相談、世話をしてもらえる窓口、対応してもらえる施設をしておきたい。
- ・外出が出来ない方に週 1 ～ 2 回の訪問会話サービスをして欲しいです。
- ・本音で話せる相談者がいない。
- ・相談窓口の拡充。
- ・現段階では特にはないが、一年後は困ることが発生するだろう。市役所の相談にうかがうのでよろしく。
- ・民生委員さんには何でも相談出来ますか。
- ・かかりつけ医がない。どのようにして決めたらよいかわからない。市でリストを作してほしい。

（５）ふだんの生活に対する支援、援助

- ・ 食事の支度がぼちぼち嫌になり、宅配サービスお願いしたいです。
- ・ 難聴のため社会的交信困難。
- ・ 年齢とともに足・腰が弱り、よく転倒をする様になり 1 人で不安に思う。家の中に手すりをつけられたら今後介助の手間をかけることなく過ごせそうに感じる。
- ・ 車がないので近くにスーパー、病院あるといい。
- ・ 買い物が一番大変です。軽いものはいいいがお米やジュース、お茶は運ぶのに大変です。歩いて買い物も辛いです。近くにスーパーやコンビニがあるので少しは助かります。娘が近くにいるのでたまに助けてもらっています。
- ・ これからは、何でも AI 化とペーパーレス化に進んで、確認の仕方や手続きが年寄りにはわかりにくい世の中になっていくと思います。色々な意味で簡素でわかりやすい方向に向かってほしいと思います。
- ・ 高齢者はもちろん市民として住みやすい市とは言えない。例えば可燃ごみ置き場に今はとても困っている。ごみ収集車が通らないところに住んでいるので本来住民サービスの不公平が大である。生ごみの置場所、狭い場所、通路も改修して欲しい。是非検討をお願いしたい。
- ・ 部屋掃除などベッドメイキング。
- ・ 不用な訪問業者の対応。
- ・ 防犯対策。

（６）生きがいや地域への貢献について

- ・ 豊田市、刈谷市に囲まれ、生産性の活動できるエリアでない知立市で時間あるとき、ふらっと見たり調べたりする場所が欲しい。歴史的（東海道五十三次）、交通網、活かして文化施設、巨大図書館等、他市の老人も参加できるぐらいのエリアにしてもらいたい。
- ・ 現在 91 才。今後、継続的に生き甲斐を維持する方等の追求、発見。
- ・ 自分でできる事は自分でやる。できるだけ動く（スポーツとストレッチ）趣味を楽しむ。実践のみ。
- ・ 公園に高齢者が利用出来るような器具(遊具)を設置して頂きたいと思います。
- ・ 天気の良い日は散歩に出るよう、心掛けてます。歩道にベンチが欲しいです。
- ・ 今現在は、特に、ありません。今後、将来については、高齢化とともに、転倒等の心配もあるのかと、筋力作りに励んでおります。
- ・ 今後の人生を他人に迷惑をかけずに明るく元気に生活して行きたいと願っています。
- ・ 健康寿命を永くたもつためにも、大府の健康の森のように広々としたウォーキングやストレッチができる場所があるとうれしいです。

（７）高齢者や高齢者に関わる人、地域の人等の集いの場

- ・ 高齢者の人口の多い時代に対応出来るいろいろな問題に市としての対策を進めてほしい。部間で検討して進めてほしい。
- ・ 地域内で夫婦のどちらかが介護をうけていたり、遠方の親を呼びよせて介護をされている方がおられ、同じ地域で住むものとして、あいさつや立ち話しをして介護をねぎらう程度しかできていない。その程度しかできないがよいかな。
- ・ 近所で高齢の方だけで住んでいる家の周囲の木が伸びて他家にはみ出した状態である。草も伸びている。どうするのが良いか。
- ・ 近所の人との関わりがほとんどない。
- ・ 健康作り活動や趣味をもっとラフに参加できる所であってほしい。
- ・ 小学生とのふれ合いの場の設定を増やす。高齢者の読書習慣を増やし脳の活性化、話し合い機会を増やして、コミュニケーションを良くする。
- ・ もっと皆様とゆっくりおしゃべりがしたいです。
- ・ ご近所の高齢者や一人住まいの方々のお手伝いをしたいと思いますが、プライバシーのこともあり、どの程度したらよいのか、迷うことがあります。
- ・ 安価で入れる老人ホームの増進。

（８）その他

- ・ 現在の所まだ困っていませんが今後考えていきたいです。
- ・ 大正生れの私には現在の進歩の速い生活には困り事の多い毎日です。特に横文字・新語など。
- ・ 何不自由なく「長生き」させてもらい感謝あるのみです。有難うございます。
- ・ 現在、おかげさまで元気に過ごさせていただいております。これからのことは家族と話合っております。今のところあまり困っていることはありませんがいずれお世話になると思います。
- ・ 終末期には家族にめいわくをかけたくない。
- ・ なかなか庭の手入れが難しい。
- ・ QRコードの使い方。パソコンを使って申し込みができること。

2 在宅介護実態調査

(1) 介護サービスや支援について

- ・働きながら介護をするのは非常に大変です。土曜、日曜日にケアマネ等、相談できると便利と思いますがメール等で答えていただける土日利用ありませんか。
- ・刈谷豊田総合病院に直で行けるバスがあるといいです。介護サービスを受けたいときでも事業所が少なかったりヘルパーさんが手一杯だったりで受けられないことがあったので事業者が充実するといいです。
- ・介護用品など補助があり大変助かっております。
- ・認知症がなくても高齢で体の不自由さが多少でもあればしっかり利用できることを希望します。以前、本人の不自由さは変わらないのに要支援になったことがあり納得できなかった。
- ・介護保険と医療保険の併用ができるようになればよい。
- ・サービスなど充実していると思います。ケアマネさんがとても良い人なので助かっています。
- ・現在、介護4の状態ですがサービスに感謝しています。
- ・介護保険料が高いのに利用料も安くなく今後デイサービスの利用に少し不安を感じる。利用料が安くなればもっと多くの方が利用できるのでは、と素人の考えですが利用者が減れば施設側も困るのでは。もっと介護を受ける人、支援する人、施設それぞれがうまく安心して回転運営ができるようになればと思います。
- ・遠距離の介護なので市への申請や連絡等をインターネット上で申請したい。市役所、保健センターの申請のためネット上で処理できること市役所内であっても縦割りになっており郵便物の介護者への転送も窓口ごとに申請しなければならないのは不便である。
- ・もう少し介護に対して幅広く利用できることを望みます。

(2) 介護者やその家族の負担について

- ・夫婦で住んでいましたが3年前から私が歩けなくなり、1人でアパートで住んでいた娘と一緒に住んでもらっています。今は病院に通いながら何とか歩けるようになって頑張っています。主人もだんだん物忘れがひどくなってケアマネジャーの方に相談しています。
- ・家族で介護と言っても家族のうち1人に介護負担が集中している。その一人の負担を内から外へ（福祉サービスを最大限利用して）減らしていきたいと思っています。サービスの何が利用できるか、ケアマネジャーさんを通して相談したいです。
- ・今入院しているがいつまでも入院していただけないと言われた。でも施設に入るお金がない。自宅に一人では無理、どうして良いかわからない。
- ・現在は80代の父が元気ですので日中の介護をしてくれていますが、父が倒れたら私（娘60代）に今以上に負担がかかると思います。そうなると多分、仕事を辞める必要が出てきます。企業の在宅ワークへの理解がもっとあるとありがたいです。（今、在職している会社はコロナ対応以外はあまり理解がありません）
- ・介護者が身体的に無理になってきたときにどうすればいいのか。
- ・精神の病には人前で一時的に幻聴、妄想が止められる人がいます。家の中は1日中、介護者は心が張りさけんばかりに神経張り巡らせ人格が変化していく、異常を目の当たりに見てきた、心身がボロボロです。病院入院費用以外、お金、年金、生活、全ての相談者がほしい。

- ・足腰が弱くなり交通手段（車）を持たないと移動にすごく困る。タクシーを利用した場合など経済的負担が大きい、何か支援をしていただけないものか。
- ・介護度合いがだんだん高くなるにつれ家族での負担も増える。週2回のデイケアなど利用して介護者の負担や食事も合間にしようとする利用料金だけが高くなる。せっかく枠が広がっても金額の負担が多くなるため、単純に利用料金を高くしてほしくないです。寝たきりでなくても複数項目で度合い（級）なくとも必要な人にはオムツの支援（パットなど）がほしい。
- ・介護をするには収入もないとできないので仕事をやめるわけにはいかないが働く時間も調整しなくてははいけません。
- ・施設入所の費用がかかり過ぎ入所がなかなか出来ない。

（３）その他

- ・本人が歩けなくなれば、どこかでお世話になると思いますが入所するのに早くから申し込みとかないといけないし歩けるうちはできないと言われたがその時にすぐ入所できなければ困ると思います。
- ・もっと説明や指導する場を作ってください。
- ・現在の施策を低下させないようにお願いします。
- ・介護保険がありませんので悩んでいます。
- ・仕組みがよくわからない。
- ・老人ホーム入居にての生活が良いが面会できなったり、居室で家族が入れないことが不満（コロナが理由で）。悩み、相談事を十分に聞く、話す環境に戻らないこと。（感染対策重視で施設が閉鎖的）
- ・まだ元気ですので必要なく利用していません。一度行きましたが何もすることなく一日中椅子に腰掛けていて疲れました。もっと何か考えたほうが良いと思いました。
- ・主な介護者が岐阜に在住。義父母と同居しており、介護には月1回程度しか来ることができない。現在は近くに住んでいる人や介護保険を利用してなんとか在宅で過ごしているが認知も進んでおり、今後在宅を継続していくことは困難になると思われる。
- ・現在は仕事をやめて介護に専念しています。市からの支援にも満足していますが、自分の健康状態をしっかり保つことが大切だと思っています。

知立市介護保険・高齢者福祉に関するアンケート
調査結果報告書
令和5年3月

発行：長寿介護課
知立市広見三丁目1番地
0566-95-0122
0566-83-1141